

平成30年度

主要施策の成果等説明書

高 松 市

地方自治法第233条第5項の規定により、平成30年度
高松市一般会計及び特別会計決算に係る主要施策の成果等
説明書を提出します。

令和元年9月4日

高松市長 大西 秀人

目次

I 総括

1	会計別決算概況	2
2	一般会計決算概況前年度比較	3
3	市債及び基金の状況	3
4	一般会計歳入決算前年度比較	4
5	一般会計歳出決算前年度比較（目的別）	5
6	一般会計歳出決算前年度比較（性質別）	6
7	一般会計歳出決算前年度比較（節別）	7
8	歳入歳出決算の総計及び繰入繰出金の状況	8

II 第6次高松市総合計画に係る主要施策の成果

1	まちづくりの目標別総括表	11
2	まちづくりの目標別主要施策の成果	
(1)	健やかにいきいきと暮らせるまち	19
(2)	心豊かで未来を築く人を育むまち	75
(3)	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	119
(4)	安全で安心して暮らし続けられるまち	175
(5)	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	243
(6)	市民と行政がともに力を発揮できるまち	267

(参考)

第6次高松市総合計画に掲げる施策の目標と実績	301
------------------------	-----

I 総括

1 会計別決算概況

(単位:千円)

区分		予算現額	収入済額	支出済額	差引残額	翌年度への繰越財源	実質収支
会計別							
一般会計		168,580,139	161,133,058	157,657,614	3,475,444	1,391,312	2,084,132
特別会計	国民健康保険事業	45,604,985	44,952,302	44,943,446	8,856	8,856	
	(事業勘定)	45,565,255	44,916,682	44,907,826	8,856	8,856	
	(直診勘定)	39,730	35,620	35,620			
	後期高齢者医療事業	5,627,540	5,619,594	5,603,241	16,353		16,353
	介護保険事業	39,998,063	40,227,824	39,356,556	871,268		871,268
	(保険事業勘定)	39,808,892	40,048,027	39,176,759	871,268		871,268
	(介護サービス事業勘定)	189,171	179,797	179,797			
	母子福祉資金等貸付事業	181,301	200,006	165,909	34,097		34,097
	食肉センター事業	526,205	525,584	523,269	2,315	2,315	
	競輪事業	14,102,025	14,297,618	13,778,965	518,653		518,653
	卸売市場事業	1,206,634	1,174,703	1,174,703			
	中小企業勤労者福祉共済事業	112,954	111,138	104,929	6,209		6,209
	駐車場事業	764,893	731,219	710,109	21,110	21,110	
	計	108,124,600	107,839,988	106,361,127	1,478,861	32,281	1,446,580
	合計	276,704,739	268,973,046	264,018,741	4,954,305	1,423,593	3,530,712

2 一般会計決算概況前年度比較

(単位:千円)

区 分	平成30年度 A	平成29年度 B	対前年度比	
			金 額 A-B=C	増減率 C/B
1 歳 入 総 額	161,133,058	175,880,084	△ 14,747,026	△ 8.4 %
2 歳 出 総 額	157,657,614	172,531,224	△ 14,873,610	△ 8.6 %
3 歳入歳出差引額 (形式収支 1 - 2)	3,475,444	3,348,860	126,584	3.8 %
4 翌年度への繰越財源	1,391,312	1,359,737	31,575	2.3 %
5 実質収支(3 - 4)	2,084,132	1,989,123	95,009	4.8 %
6 財政調整基金積立金	1,500,000	1,000,000	500,000	50.0 %
7 翌年度予算計上可能 額 (5 - 6)	584,132	989,123	△ 404,991	△ 40.9 %

3 市債及び基金の状況

(単位:千円)

区 分	平成30年度末 現 在 高	平成29年度末 現 在 高	増減額	増減率
一 般 会 計	177,868,336	175,177,222	2,691,114	1.5 %
(臨時財政対策債を除く。)	102,267,800	100,456,059	1,811,741	1.8 %
財政調整基金・減債基金 施設整備基金	11,569,571	16,434,104	△ 4,864,533	△ 29.6 %

4 一般会計歳入決算前年度比較

(単位:千円)

款名	平成30年度		平成29年度		対前年度比	
	収入済額 A	構成比	収入済額 B	構成比	金額 A-B=C	増減率 C/B
1 市 税	64,445,751	40.0 %	64,314,910	36.6 %	130,841	0.2 %
2 地 方 譲 与 税	1,005,075	0.6 %	996,605	0.6 %	8,470	0.8 %
3 利 子 割 交 付 金	165,138	0.1 %	187,136	0.1 %	△ 21,998	△ 11.8 %
4 配 当 割 交 付 金	344,737	0.2 %	433,396	0.2 %	△ 88,659	△ 20.5 %
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	254,819	0.2 %	411,826	0.2 %	△ 157,007	△ 38.1 %
6 地 方 消 費 税 交 付 金	8,405,562	5.2 %	8,194,275	4.7 %	211,287	2.6 %
7 ゴルフ場利用税交付金	27,009		27,316		△ 307	△ 1.1 %
8 自動車取得税交付金	322,985	0.2 %	282,863	0.2 %	40,122	14.2 %
9 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	663		672		△ 9	△ 1.3 %
10 地 方 特 例 交 付 金	291,487	0.2 %	239,238	0.1 %	52,249	21.8 %
11 地 方 交 付 税	15,486,161	9.6 %	15,935,064	9.1 %	△ 448,903	△ 2.8 %
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	80,331		89,137	0.1 %	△ 8,806	△ 9.9 %
13 分 担 金 及 び 負 担 金	1,915,222	1.2 %	2,018,542	1.1 %	△ 103,320	△ 5.1 %
14 使 用 料 及 び 手 数 料	3,209,393	2.0 %	3,220,223	1.8 %	△ 10,830	△ 0.3 %
15 国 庫 支 出 金	24,126,291	15.0 %	27,900,166	15.9 %	△ 3,773,875	△ 13.5 %
16 県 支 出 金	9,829,577	6.1 %	9,852,117	5.6 %	△ 22,540	△ 0.2 %
17 財 産 収 入	104,076	0.1 %	587,938	0.3 %	△ 483,862	△ 82.3 %
18 寄 附 金	134,225	0.1 %	154,369	0.1 %	△ 20,144	△ 13.0 %
19 繰 入 金	6,378,152	4.0 %	6,017,010	3.4 %	361,142	6.0 %
20 繰 越 金	2,348,860	1.4 %	4,074,833	2.3 %	△ 1,725,973	△ 42.4 %
21 諸 収 入	2,922,578	1.8 %	4,762,489	2.7 %	△ 1,839,911	△ 38.6 %
22 市 債	19,334,966	12.0 %	26,179,959	14.9 %	△ 6,844,993	△ 26.1 %
合 計	161,133,058	100.0 %	175,880,084	100.0 %	△ 14,747,026	△ 8.4 %

5 一般会計歳出決算前年度比較【目的別】

(単位:千円)

款名	平成30年度		平成29年度		対前年度比	
	支出済額 A	構成比	支出済額 B	構成比	金額 A-B=C	増減率 C/B
1 議会費	753,242	0.5 %	756,214	0.4 %	△ 2,972	△ 0.4 %
2 総務費	18,697,025	11.9 %	23,739,230	13.8 %	△ 5,042,205	△ 21.2 %
3 民生費	66,190,450	42.0 %	66,099,619	38.3 %	90,831	0.1 %
4 衛生費	15,803,925	10.0 %	20,387,026	11.8 %	△ 4,583,101	△ 22.5 %
5 労働費	268,004	0.2 %	271,281	0.2 %	△ 3,277	△ 1.2 %
6 農林水産業費	2,457,579	1.6 %	2,203,566	1.3 %	254,013	11.5 %
7 商工費	1,458,952	0.9 %	1,191,301	0.7 %	267,651	22.5 %
8 土木費	12,001,238	7.6 %	13,239,392	7.7 %	△ 1,238,154	△ 9.4 %
9 消防費	4,979,057	3.1 %	4,981,810	2.9 %	△ 2,753	△ 0.1 %
10 教育費	15,986,913	10.1 %	20,801,277	12.0 %	△ 4,814,364	△ 23.1 %
11 災害復旧費	387,159	0.2 %	165,694	0.1 %	221,465	133.7 %
12 公債費	17,623,627	11.2 %	17,477,421	10.1 %	146,206	0.8 %
13 諸支出金	1,050,443	0.7 %	1,217,393	0.7 %	△ 166,950	△ 13.7 %
合計	157,657,614	100.0 %	172,531,224	100.0 %	△ 14,873,610	△ 8.6 %

6 一般会計歳出決算前年度比較【性質別】

(単位:千円)

区 分	平成30年度		平成29年度		対前年度比	
	支出済額 A	構成比	支出済額 B	構成比	金額 A-B=C	増減率 C/B
1 人 件 費	30,134,896	19.1 %	29,520,310	17.1 %	614,586	2.1 %
2 物 件 費	16,027,050	10.2 %	16,083,365	9.3 %	△ 56,315	△ 0.4 %
3 維 持 補 修 費	2,108,111	1.3 %	1,432,559	0.8 %	675,552	47.2 %
4 扶 助 費	38,699,203	24.5 %	39,016,025	22.6 %	△ 316,822	△ 0.8 %
5 補 助 費 等	17,931,551	11.4 %	17,919,526	10.4 %	12,025	0.1 %
6 建 設 事 業 費	15,352,257	9.7 %	32,983,226	19.1 %	△ 17,630,969	△ 53.5 %
(1) 普通建設事業費	14,965,098	9.5 %	32,817,532	19.0 %	△ 17,852,434	△ 54.4 %
ア 補助事業費	4,783,813	3.0 %	13,993,321	8.1 %	△ 9,209,508	△ 65.8 %
イ 単独事業費	10,181,285	6.5 %	18,824,211	10.9 %	△ 8,642,926	△ 45.9 %
(2) 災害復旧事業費	387,159	0.2 %	165,694	0.1 %	221,465	133.7 %
7 公 債 費	17,623,627	11.2 %	17,477,421	10.1 %	146,206	0.8 %
8 積 立 金	3,214,984	2.0 %	2,005,224	1.2 %	1,209,760	60.3 %
9 投資及び出資金	2,487,508	1.6 %	3,364,206	2.0 %	△ 876,698	△ 26.1 %
10 貸 付 金	1,342,193	0.9 %	1,518,793	0.9 %	△ 176,600	△ 11.6 %
11 繰 出 金	12,736,234	8.1 %	11,210,569	6.5 %	1,525,665	13.6 %
合 計	157,657,614	100.0 %	172,531,224	100.0 %	△ 14,873,610	△ 8.6 %
(参考) 義 務 的 経 費 (人件費+扶助費+公債費)	86,457,726	54.8 %	86,013,756	49.8 %	443,970	0.5 %

7 一般会計歳出決算前年度比較【節別】

(単位:千円)

区 分	平成30年度		平成29年度		対前年度比	
	支出済額 A	構成比	支出済額 B	構成比	金額 A-B=C	増減率 C/B
1 報 酬	4,452,908	2.8 %	4,480,763	2.6 %	△ 27,855	△ 0.6 %
2 給 料	11,170,164	7.1 %	11,147,012	6.5 %	23,152	0.2 %
3 職 員 手 当 等	10,206,543	6.5 %	9,650,213	5.6 %	556,330	5.8 %
4 共 済 費	4,632,550	2.9 %	4,589,527	2.7 %	43,023	0.9 %
5 災 害 補 償 費	9,471		5,473		3,998	73.0 %
6 恩 給 及 び 退 職 年 金	2,529		3,759		△ 1,230	△ 32.7 %
7 賃 金	710,275	0.5 %	673,434	0.4 %	36,841	5.5 %
8 報 償 費	358,781	0.2 %	368,630	0.2 %	△ 9,849	△ 2.7 %
9 旅 費	202,349	0.1 %	198,610	0.1 %	3,739	1.9 %
10 交 際 費	3,793		3,924		△ 131	△ 3.3 %
11 需 用 費	3,298,800	2.1 %	3,237,965	1.9 %	60,835	1.9 %
12 役 務 費	705,945	0.5 %	705,873	0.4 %	72	0.0 %
13 委 託 料	17,714,275	11.2 %	18,244,615	10.6 %	△ 530,340	△ 2.9 %
14 使用料及び賃借料	1,646,246	1.1 %	1,797,857	1.0 %	△ 151,611	△ 8.4 %
15 工 事 請 負 費	10,587,412	6.7 %	25,381,588	14.7 %	△ 14,794,176	△ 58.3 %
16 原 材 料 費	14,141		16,544		△ 2,403	△ 14.5 %
17 公 有 財 産 購 入 費	347,983	0.2 %	1,703,779	1.0 %	△ 1,355,796	△ 79.6 %
18 備 品 購 入 費	447,309	0.3 %	491,141	0.3 %	△ 43,832	△ 8.9 %
19 負担金、補助及び交付金	19,633,539	12.5 %	20,171,094	11.7 %	△ 537,555	△ 2.7 %
20 扶 助 費	32,861,948	20.8 %	32,695,638	18.9 %	166,310	0.5 %
21 貸 付 金	1,342,193	0.9 %	1,518,793	0.9 %	△ 176,600	△ 11.6 %
22 補償、補填及び賠償金	643,645	0.4 %	701,577	0.4 %	△ 57,932	△ 8.3 %
23 償還金、利子及び割引料	18,156,199	11.5 %	18,103,266	10.5 %	52,933	0.3 %
24 投 資 及 び 出 資 金	2,487,508	1.6 %	3,364,206	1.9 %	△ 876,698	△ 26.1 %
25 積 立 金	3,214,984	2.0 %	2,005,224	1.2 %	1,209,760	60.3 %
26 寄 附 金	69,652		58,291		11,361	19.5 %
27 公 課 費	238		1,859		△ 1,621	△ 87.2 %
28 繰 出 金	12,736,234	8.1 %	11,210,569	6.5 %	1,525,665	13.6 %
合 計	157,657,614	100.0 %	172,531,224	100.0 %	△ 14,873,610	△ 8.6 %

8 歳入歳出決算の総計及び繰入繰出金の状況

区 分 会 計 名		歳 入		
		決 算 額	う ち 繰 入 金	
			繰 入 先 の 計 会 計	決 算 額
一 般 会 計		千円 161,133,058	母子福祉 資金等 貸付事業 特別会計	千円 42,244
			競輪事業 特別会計	80,000
			計	122,244
			特別会計	
	国民健康保険事業	44,952,302	一般会計	5,280,606
	後期高齢者医療事業	5,619,594	一般会計	1,193,803
	介護保険事業	40,227,824	一般会計	5,490,612
	母子福祉資金等貸付事業	200,006	一般会計	22,057
	食肉センター事業	525,584	一般会計	450,959
	競輪事業	14,297,618		
	卸売市場事業	1,174,703	一般会計	23,020
	中小企業勤労者福祉共済事業	111,138	一般会計	10,256
	駐車場事業	731,219	一般会計	264,921
	計	107,839,988		12,736,234
合 計		268,973,046		12,858,478

歳 出		
決 算 額	う ち 繰 出 金	
	繰 出 先 の 会 計	決 算 額
千円		千円
157,657,614	国民健康保険事業特別会計	5,280,606
	後期高齢者医療事業特別会計	1,193,803
	介護保険事業特別会計	5,490,612
	母子福祉資金等貸付事業特別会計	22,057
	食肉センター事業特別会計	450,959
	卸売市場事業特別会計	23,020
	中小企業勤労者福祉共済事業特別会計	10,256
	駐車場事業特別会計	264,921
	計	12,736,234
44,943,446		
5,603,241		
39,356,556		
165,909	一 般 会 計	42,244
523,269		
13,778,965	一 般 会 計	80,000
1,174,703		
104,929		
710,109		
106,361,127		122,244
264,018,741		12,858,478

Ⅱ 第6次高松市総合計画 に係る主要施策の成果

(注)

1 事業費の記載について

「施策の概要調書」の事業費及び「主な事務事業の内容一覧」の事業費の合計は、特別会計への繰出金等を含むため、一致しないことがあります。

2 行政評価結果に関する記載について

(1) 「政策の概要調書」の総合評価は、当該年度の行政評価における政策評価の結果を記載しています。

評価項目	評価内容
総合評価	(政策を構成する施策の総合評価の平均得点率) A：86%以上、B：71%以上86%未満、C：56%以上71%未満、D：56%未満

(2) 「施策の概要調書」の総合評価は、当該年度の行政評価における施策評価の結果を記載しています。

また、成果指標の達成度は、当該年度の目標値に対する実績値の割合を記載しています。

評価項目	評価内容
総合評価	(成果指標の達成度から算定した得点率) A：86%以上、B：71%以上86%未満、C：56%以上71%未満、D：56%未満
成果達成度	(当該年度の目標値に対する実績値の割合) 晴れ：100%以上、薄日：90%以上100%未満、曇り：80%以上90%未満、 小雨：60%以上80%未満、雨：60%未満

(3) 「主な事務事業の内容一覧」の各事務事業において、成果達成度は、当該年度の目標値に対する実績値の割合を記載しています。また、妥当性、有効性、効率性、総合評価及び今後の方向性については、当該年度の行政評価における事務事業評価の結果を記載しています。なお、評価の記載がない事務事業（事務事業名の前に「(評価対象外)」と記載している事業）は、内部事務や裁量の余地のない事業など一定の要件により事務事業評価の対象外となったものです。

評価項目	評価内容
成果達成度	当該年度の目標値に対する実績値の割合 ※(事業概要、事業実績等)欄に、◎成果指標名 実績値(目標値)を記載しています。
妥当性	(市民ニーズや社会情勢を考慮した、事業の目的や手法の妥当性) A：妥当である、B：改善の余地がある、C：大幅な見直しが必要である、D：市民ニーズ等に合っていない
有効性	(上位施策目標及び住民福祉の向上への貢献度) A：貢献が大きい、B：貢献が中程度、C：貢献が小さい、D：全く貢献していない
効率性	(費用対効果) A：向上している、B：同程度、C：低下している、D：10%以上低下している
総合評価	(成果達成度、妥当性、有効性、効率性を得点化した得点率) A：86%以上、B：71%以上86%未満、C：56%以上71%未満、D：56%未満
今後の方向性	拡充、継続、改善継続、縮小、統合、完了、休止、廃止

3 市民満足度調査結果に関する記載について

「政策の概要調書」及び「施策の概要調書」における市民満足度調査結果については、当該年度の市民満足度調査結果から、各施策に対する「満足」と「やや満足」を合わせた「満足度」、「やや不満」と「不満」を合わせた「不満度」及び「重要」と「やや重要」を合わせた「重要度」を記載しています。

(参考) 施策全体の満足度25.3%、施策全体の不満度16.6%

1 まちづくりの目標別総括表

目指すべき都市像

「活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松」

264,018,741千円

1 健やかにいきいきと暮らせるまち

159,066,671千円

2 心豊かで未来を築く人を育むまち

8,801,562千円

3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち

7,863,672千円

4 安全で安心して暮らし続けられるまち

17,299,647千円

5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち

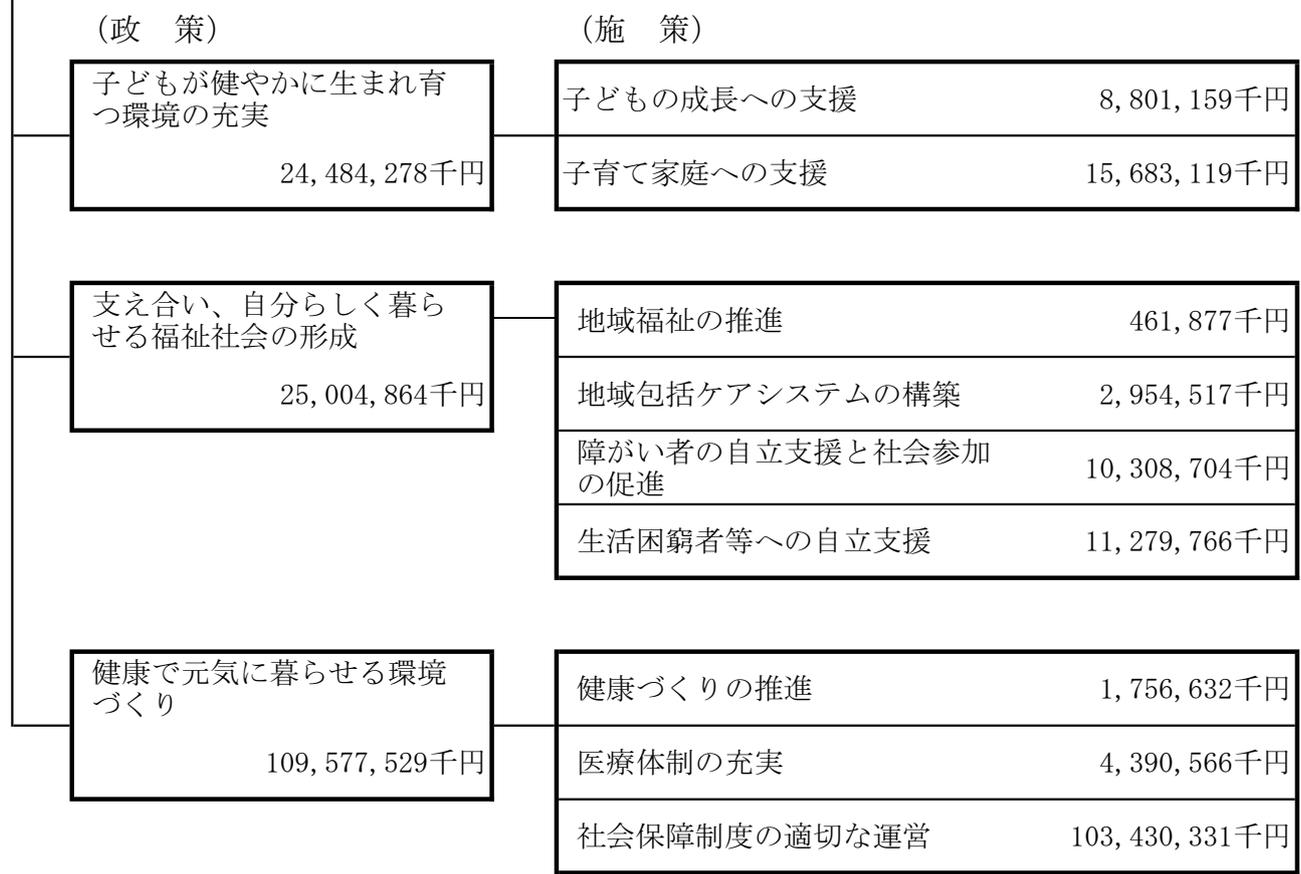
3,630,979千円

6 市民と行政がともに力を発揮できるまち

67,356,210千円

(まちづくりの目標)

1 健やかにいきいきと暮らせるまち	159,066,671千円
-------------------	---------------



(まちづくりの目標)

2 心豊かで未来を築く人を育むまち		8,801,562千円
(政 策)	(施 策)	
男女共同参画社会の形成 42,163千円	男女共同参画の推進	42,163千円
社会を生き抜く力を育む教育の充実 8,036,889千円	学校教育の充実	1,897,096千円
	学校教育環境の整備	6,092,814千円
	子どもの安全確保	4,283千円
	青少年の健全育成	39,279千円
	家庭・地域の教育力の向上	2,820千円
	大学等高等教育の充実	597千円
心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成 529,610千円	生涯学習の推進	529,610千円
基本的人権を尊重する社会の確立 192,900千円	人権尊重意識の普及・高揚	178,689千円
	平和意識の普及・高揚	14,211千円

(まちづくりの目標)

3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
7,863,672千円

(政 策)	(施 策)
地域を支える産業の振興と 経済の活性化 4,518,288千円	商工業の振興 383,425千円
	農林水産業の振興 3,733,738千円
	特産品の育成・振興とブランド 力の向上 24,343千円
	就業環境の充実 376,782千円
文化芸術の振興と発信 1,389,514千円	文化芸術の振興 1,099,389千円
	文化財の保存・活用 290,125千円
元気を生み出すスポーツの 振興 975,854千円	スポーツの振興 975,854千円
訪れたい観光・MICE (マイス)の振興 893,690千円	観光客受入環境の整備 584,291千円
	観光客誘致の推進 309,399千円
国際・国内交流の推進と定住 の促進 86,326千円	国際・国内交流の推進 41,378千円
	移住・交流の促進 44,948千円

(まちづくりの目標)

4 安全で安心して暮らし続けられるまち	17,299,647千円
---------------------	--------------

(政 策)	(施 策)
安全で安心して暮らせる社会環境の形成 3,210,944千円	消防・救急の充実強化 948,044千円
	防災・減災対策の充実 1,291,874千円
	交通安全対策の充実 127,838千円
	防犯体制の整備 80,353千円
	生活衛生の向上 748,062千円
	消費者の権利保護と自立促進 14,773千円
環境と共生する持続可能な循環型社会の形成 4,876,768千円	ごみの減量と再資源化の推進 350,975千円
	廃棄物の適正処理 4,384,997千円
	不法投棄の防止 1,567千円
	地球温暖化対策の推進 58,957千円
	環境保全活動の推進 80,272千円
豊かな暮らしを支える生活環境の向上 9,211,935千円	居住環境の整備 851,503千円
	身近な道路環境の整備 2,627,122千円
	河川・港湾の整備 635,838千円
	みどりの保全・創造 509,122千円
	水の安定供給 498,445千円
	汚水・雨水対策の充実 4,089,905千円

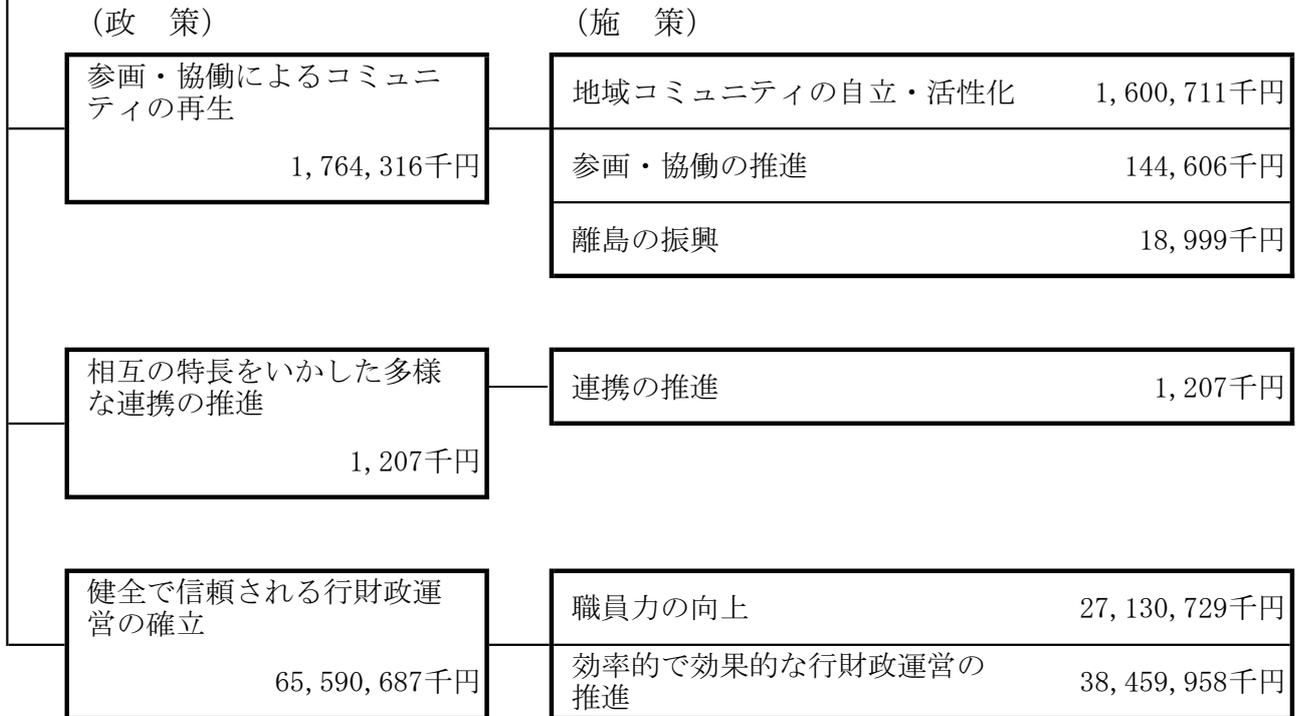
(まちづくりの目標)

5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	3,630,979千円
-------------------------	-------------

(政 策)	(施 策)
コンパクトで魅力ある都市空間の形成 180,678千円	多核連携型コンパクト・エコシティの推進 169,137千円
	景観の保全・形成・創出 11,541千円
快適で人にやさしい都市交通の形成 2,168,373千円	公共交通の利便性の向上 1,970,238千円
	自転車の利用環境の向上 198,135千円
拠点性を発揮できる都市機能の充実 1,281,928千円	拠点性を高める交通網の整備と利用促進 619,391千円
	拠点性を高める道路ネットワークの整備 522,907千円
	中心市街地の活性化 139,630千円

(まちづくりの目標)

6 市民と行政がともに力を発揮できるまち	67,356,210千円
----------------------	--------------



(1) 健やかにいきいきと暮らせるまち

2 まちづくりの目標別主要施策の成果

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実

総合評価
A

1 政策の概要

子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実を図るため、母子の健康の確保と増進、病気の予防や早期発見への取組に加え、子どもの生きる力を育てる教育や体験学習環境の整備・充実に努めるとともに、障がいのある子どもや様々な理由により配慮が必要な子どもを始め、全ての子どもが、地域の中で安心して生活し、成長・自立していけるよう、子どもの成長への支援に努めます。

また、子育て家庭が孤立することなく、心身ともにゆとりをもって子育てができるよう、地域社会全体で支援するとともに、男女が共に仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現できるよう、子育て家庭への支援に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
子どもの成長への支援	92%	A
子育て家庭への支援	88%	A
平均	90%	A

3 政策の評価

子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実に向けて、2施策に取り組んだ。

「子どもの成長への支援」では、設定する3つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

「子育て家庭への支援」では、設定する3つの指標のうち、保育施設待機児童数（4月1日現在）において、認定こども園の創設等により、受入れ枠を増やしたものの、それを上回る保育需要の伸びがあったことなどから、目標に届かなかったが、他の2つの指標については、目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は90%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
子どもの成長への支援	35.2%	10.9%	77.2%
子育て家庭への支援	30.7%	15.9%	77.0%
平均	33.0%	13.4%	77.1%

施策	子どもの成長への支援
----	------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
8,801,159千円	A	35.2%	77.2%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実
担当局	健康福祉局

対象	市内の18歳未満の児童及びその保護者	意図	全ての子どもの健やかな成長を社会全体で支え、子どもを生き育てやすいまちづくりを推進する。
----	--------------------	----	--

概要 (実績)	妊婦や乳幼児に対する健康診査を始め、子どもの成長・発達についての情報提供や相談を実施し、子どもと親の心身の健康保持に寄与したほか、ひとり親家庭の自立に向けた就労支援などにも取り組んだことにより、子どもと保護者への支援の充実につながった。		
------------	--	--	--

成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度	
		① 状況	1歳6か月児健康診査受診率	94.1%	93%
	受診率は、目標値に達しており、健診受診により、必要な支援へつながり、保護者の育児に関する不安や負担を軽減できている。引き続き、未受診者への受診勧奨を行うことなどにより、受診率の更なる向上を目指していきたい。	達成度の推移		☀️	
	② 状況	認定こども園数	17施設	18施設	94.4%
	認定こども園への移行を予定していた施設が、移行を延期したことなどにより、目標を達成できなかった。なお、平成29年度に中間見直しを行った「高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、評価している。	達成度の推移		☁️	
	③ 状況	自立支援プログラム策定者の就職率	72.2%	84%	86.0%
	目標値には達しなかったが、就職件数として、カウントされないプログラム策定者の中には、当初転職を希望していたものの、結果的に継続就労を選択した者や、専門性の高い職に就くため、学校に通い始めた者等が含まれており、就労支援という点において、一定の役割を果たすことができている。	達成度の推移		☁️	

施策の課題	子どもの健やかな学びを支援するために、子ども一人一人の発達段階に応じた質の高い教育・保育を安定的に提供することが必要である。
	また、地域ぐるみでの子育て支援の充実が求められていることから、様々な形態や種類の子育て支援団体との相互交流とネットワークづくりや連携強化など、体制強化が必要である。

施策の方向性	平成27年3月に策定した、「子ども・子育て支援推進計画」に基づき、子どもの心身の健やかな育ちへの支援、健やかな成長を促す学びへの支援、配慮を要する子どもと保護者への支援などに取り組むことにより、子どもの成長と子育てを社会全体で支援していく。
--------	--

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	(評価対象外) こども未来館管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	44,396千円							
健康福祉局 こども未来館		<p>(事業概要、事業実績等) こども未来館施設に係る保守点検、設備総合管理業務、保安警備業務、建物清掃等、適正な施設管理を行った。 また、こども未来館の運営業務として、非常勤嘱託職員を適正に配置し、業務を行った。</p>						
2	各種医療給付事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	121,847千円	96.6%		A	A	B	A	継続
健康福祉局 保健センター		<p>(事業概要、事業実績等) 子どもの健全育成を推進するため、未熟児養育医療、育成医療、小児慢性特定疾病医療に係る医療費の公費負担を行い、患者家族の医療費負担の軽減に寄与した。 ◎各事業の給付件数 実績1,208件(目標1,250件)</p>						
3	こんにちは赤ちゃん事業(新生児訪問指導)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	18,234千円	132.0%	93.0%	A	A	B	A	継続
健康福祉局 保健センター		<p>(事業概要、事業実績等) 生後間もない乳児がいる家庭を、助産師や保健師が訪問し、専門的な立場から様々な悩みを聞き、子育てに関する情報の提供、母子の養育環境等の把握や助言、育児支援を行った。 助産師・保健師の、きめ細やかな支援や情報提供等により、産婦の不安や負担の軽減につなげることができた。 ◎新生児訪問指導の未把握数 実績34人(目標50人) ◎訪問実施率 実績93%(目標100%)</p>						
4	妊娠期からの子育て世代包括支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	12,937千円	特別重点	104.0%		A	A	B	A
健康福祉局 保健センター		<p>(事業概要、事業実績等) 保健センター及び総合センターに「子育て世代包括支援センター」を設置し、保健師等の母子保健コーディネーターを配置し、妊娠届出時の面接や相談の充実などに取り組んだ結果、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援につなげることができた。 また、産科医療機関や地域子育て支援コーディネーターなど、関係機関等との連携及び協力体制を強化するため、「子育て世代包括支援ネットワーク会議」を開催したことにより、子育て世代の支援体制を更に充実させることができた。 ◎把握しているハイリスク妊産婦のうち支援につながった割合 実績83.2%(目標80%)</p>						
5	(評価対象外) 妊婦・乳児及び歯科健康診査事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	395,344千円							
健康福祉局 保健センター		<p>(事業概要、事業実績等) 妊婦・乳児健康診査や妊婦歯科健康診査の助成を行うことにより、必要な時期に健康診査を受けることができ、健やかな妊娠出産に寄与した。 また、新生児に対する聴覚検査の助成を行うことにより、新生児の聴覚異常について、早期の発見と支援につなげることができた。</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	不妊治療費助成事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	106,157千円		91.7%	A	B	B	A	拡充
健康福祉局 保健センター		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>特定不妊治療を行っている夫婦に治療費の一部を助成したことにより、経済的負担の軽減に寄与した。</p> <p>◎特定不妊治療助成件数 実績528件(目標576件)</p>						
7	母子健康相談事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	8,694千円		65.2%	A	A	B	B	継続
健康福祉局 保健センター		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>妊娠期には保健師等の専門職による、はじめてのパパママ教室やふたごのママ教室を開催し、沐浴や着替の体験、講義や相談により、育児に必要な知識や育児支援の情報提供などを行った。また、乳幼児期にも保健師等の専門職による4か月児相談、ことば相談、ひまわり個別相談、のびのび教室や子育て中の悩みや不安を聴き、子どもとの関わり方のアドバイスや子育て支援情報の提供などを行い、育児の不安感・負担感の軽減に寄与した。</p> <p>◎各事業参加者数 実績21,294人(目標32,680人)</p>						
8	(評価対象外) 幼児健康診査事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	32,069千円							
健康福祉局 保健センター		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>幼児健康診査時の保健師や心理士、言語聴覚士等の専門職による個別相談や、保育士、子育て支援コーディネーターによる子どもとの具体的な関わり方のアドバイス、子育て支援情報の提供等により、子どもの発育・発達や育児に対する不安や負担を軽減することができた。</p>						
9	年長児童の赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,734千円		172.0% 124.0%	A	A	A	A	継続
健康福祉局 子育て支援課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>次代の親となる子どもの豊かな人間性を育成するため、地域子育て支援拠点事業実施団体と協働して、中学生を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・ふれあい交流する場を提供し、赤ちゃんとの関わり方等の学習及び抱き方、遊び方等の体験学習を行った。体験学習に参加することにより、結婚や子育てに対する理解が深まった。</p> <p>◎ライフデザインを考えるきっかけとなった生徒の割合 実績86%(目標50%) ◎乳幼児に関心を持つようになった生徒の割合 実績93%(目標75%)</p>						
10	公立保育所・幼稚園等施設整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	323,422千円	特別重点	100.0% 100.0%	A	B	B	A	継続
健康福祉局 こども園総務課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>公立保育所・幼稚園において認定こども園への移行整備等を実施したことにより、教育・保育環境が向上した。</p> <p>◎認定こども園対象児童数 実績258人(目標258人) ◎大規模修繕実施施設対象児童数 実績924人(目標924人)</p> <p>なお、工程調整に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額:100,579,000円) また、前年度からの繰越事業である、川島地区幼保一体化施設整備に伴う造成工事や実施設計業務等については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費:113,580,888円)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	私立保育所・幼稚園等施設整備補助事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	245,789千円	特別重点	72.3%	91.3%	A	B	B	A
健康福祉局 こども園総務課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>待機児童の解消や施設の老朽化への対応を行うため、私立保育所等の創設や大規模修繕などの施設整備に対して助成を行うことにより、保育環境が向上した。</p> <p>◎待機児童数(4月1日現在) 実績62人(目標0人) ◎大規模修繕実施施設対象児童数 実績982人(目標1,076人)</p> <p>なお、実施主体の事業が遅れたことにより、年度内に補助金の支出が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額:116,640,000円)</p>						
12	私立幼稚園施設型給付事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	380,011千円		72.3%		A	A	B	A
健康福祉局 こども園総務課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>子ども・子育て支援新制度に移行する私立幼稚園に対し、法で定める公定価格に基づき、施設型給付として給付することにより、私立幼稚園の適正かつ円滑な運営を助長し、就学前教育の充実につながった。</p> <p>◎待機児童数(4月1日現在) 実績62人(目標0人)</p>						
13	私立認定こども園施設型給付事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,281,624千円		72.3%		A	A	B	A
健康福祉局 こども園総務課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>子ども・子育て支援新制度において、私立認定こども園に対し、法で定める公定価格に基づき、施設型給付費として給付することにより、保育サービスの充実につながった。</p> <p>◎待機児童数(4月1日現在) 実績62人(目標0人)</p>						
14	(評価対象外) 公立保育所等運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,637,707千円							
健康福祉局 こども園運営課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>児童福祉施設最低基準に基づき、公立保育所・こども園に正規職員及び非常勤嘱託職員等を配置し、社会状況や地域の保育ニーズに沿った保育事業を実施したほか、給食の提供や食育を実施した結果、入所(園)児童の健やかな育成につながった。</p>						
15	保育所・幼稚園等への芸術士派遣事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	38,000千円	一般重点	94.0%		A	A	B	A
健康福祉局 こども園運営課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>芸術士と派遣先である保育所・こども園及び幼稚園児童が協同し、継続して創作活動を実施したことにより、子どもたちが持っている感性や創造力を伸ばすことができた。</p> <p>また、平成31年2月には活動報告展を開催し、多くの市民に事業内容や成果を発表したほか、活動内容の冊子を作成し、市内外に事業内容を周知した。</p> <p>◎芸術士派遣事業実施施設の満足度 実績94%(目標100%)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
16	(評価対象外) 幼稚園管理運営事業 215,698千円 健康福祉局 こども園運営課							
	(事業概要、事業実績等) 幼稚園設置基準に基づき、公立幼稚園の維持管理を適正に行うことにより、保育している幼児の心身ともに健やかな育成に寄与した。							
17	(評価対象外) 新規採用保育教育士等 等実地研修指導事業 1,530千円 健康福祉局 こども園運営課							
	(事業概要、事業実績等) 教育委員会主催の新規採用研修が行われない保育所配属の新規採用保育教育士に対し、退職した保育所長が訪問し、職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施したほか、具体的な相談を受けることにより、使命感や実践力を養うことができた。 また、新任保育所長等に対しても、適切な施設運営に関する指導や、相談を受けることにより、組織マネジメント力を養うことができた。							
18	(評価対象外) 公立保育所等管理事業 165,176千円 健康福祉局 こども園運営課							
	(事業概要、事業実績等) 児童福祉施設最低基準に基づき、公立保育所・こども園の維持管理を適正に行うとともに、安全で快適な保育環境を整えたことにより、保育している乳幼児の健やかな育成に寄与した。							
19	子ども・子育て支援事業 21,488千円 健康福祉局 こども未来館		141.6%	A	A	B	A	継続
	(事業概要、事業実績等) みんなのひろば・プレイルームを子どもと保護者がともに育ち合う場として、また保護者同士の交流や情報交換の場として、子どもと保護者の居場所を提供し、子育て支援に貢献した。 ◎みんなのひろば・プレイルーム利用者数 実績80,443人 (目標56,800人)							
20	こども未来館学習体験事業 36,119千円 健康福祉局 こども未来館		127.5%	A	B	B	A	継続
	(事業概要、事業実績等) こども未来館の施設を活用した体験的な学習活動を通して、子どもたちの想像力(創造力)と探究心を育むことで、健やかな成長への支援に寄与した。 ◎こども未来館学習実施延べ人数 実績4,821人(目標3,780人)							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		こども未来館わくわく体験事業	一般重点	146.1%	A	B	B	A
21	2,550千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>子どもの夢や想像力を育むような魅力あるイベントプログラムを提供することにより、子どもを中心とした幅広い世代の人々が来館し、世代間交流の場として、また子どもの遊び・体験・学びの場として貢献した。</p> <p>◎わくわく体験事業参加者数 実績5,550人(目標3,800人)</p>						
	健康福祉局 こども未来館							
	(評価対象外) 要保護児童対策事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
22	4,963千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>社会問題となっている児童虐待の増加を防止、減少させるために必要な事業であり、予防のための各種啓発活動、具体的事例の解決のためのケース会議、関係機関を対象とした講演の実施など、積極的に行ってきた。また通告のあった児童の進行管理を確実に行うことができた。</p> <p>高松市児童対策協議会 1回 代表者会議 16回 (情報交換会を含む) 実務者会議 1回 個別ケース検討会 209回</p>						
	健康福祉局 こども女性相談課							
	(評価対象外) 養育支援訪問事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
23	872千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>児童虐待につながる恐れのある、養育に不安を抱える家庭を訪問することにより、状況悪化の歯止めとなった。</p> <p>養育支援員13人 主任養育支援員4人 (うち主任養育支援員3人) 養育指導・相談 延べ250人日 家事支援 延べ25人日 特定妊婦 延べ9人日 計 284人日 (訪問回数216回)</p>						
	健康福祉局 こども女性相談課							
	(評価対象外) 子育て短期支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
24	350千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>保護者が病気、仕事、育児疲れなどで、一時的に養育が困難となった場合に、児童養護施設等で児童を一時的に養育・保護することにより、保護者の子育てと仕事の両立に寄与した。</p>						
	健康福祉局 こども女性相談課							
	(評価対象外) 児童家庭相談事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
25	8,998千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>社会問題となっている児童虐待の増加を防止、減少させるために、養育に不安のある保護者に対し、家庭訪問や電話対応など、問題解決に向けて積極的に活動してきた。</p> <p>家庭相談員1人 子ども家庭支援員2人 相談日時 月曜日～金曜日 8時30～17時 延べ相談対応件数 8,745件</p>						
	健康福祉局 こども女性相談課							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
26	(評価対象外) 母子生活支援施設運営事業 20,141千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 こども女性相談課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子(DV被害にあった女子等)とその者の監護すべき児童が福祉に欠けると認められた場合において、母子保護を実施し、自立促進のための生活支援を行った。なお、平成20年度から、市の直営から指定管理制度に移行し、管理運営を社会福祉法人に委託している。</p> <p>平成30年度末入所状況 3世帯7人(実入所世帯・入所者数)</p>						
27	ひとり親家庭子育て支援事業 594千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 こども家庭課		129.8%	B	B	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 生後6か月から小学校6年生までの子どもを養育するひとり親家庭を対象に、たかまつファミリー・サポート・センターの利用料金の一部を助成することにより、ひとり親家庭の父母等の育児の負担軽減につながった。</p> <p>◎利用時間数 実績1,428時間(目標1,100時間)</p>						
28	ひとり親家庭自立支援事業 11,536千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 こども家庭課		111.4%	A	B	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 母子・父子自立支援員3人を配置し、ひとり親家庭の自立に関する相談に応じ、必要な情報提供及び指導を行い、ひとり親家庭の自立に寄与した。就労全般に関し専門性の高い就業支援専門員1人を配置し、ひとり親家庭の自立に関連した情報発信等を積極的に行った。</p> <p>◎母子自立支援相談解決件数 実績1,671件(目標1,500件)</p>						
29	ひとり親家庭等医療費助成事業 434,576千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 こども家庭課			A	B	B	B	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) ひとり親家庭等を対象に、保険診療に係る高額医療費までの自己負担分を助成することにより、対象世帯の経済的負担を軽減できた。</p> <p>年間支給件数 150,767件 年間助成額 421,722千円</p>						
30	ひとり親家庭無料職業紹介事業 5,718千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 こども家庭課		60.8% 375.0%	A	A	B	B	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 児童扶養手当受給者等を対象に、各人の状況に応じた自立支援プログラムを策定し、きめ細やかで継続的な就労支援を実施した。また、本庁舎2階ジョブコーナーとの連携により、職業紹介や求人情報の提供などを行ったほか、こども家庭課内に開設している無料職業紹介所から職業紹介を行うなど、効果的に就労を支援した。</p> <p>◎自立支援プログラム策定件数 実績79件(目標130件) ◎職業紹介件数 実績15件(目標4件)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
36	発達障がい児等支援事業（こども園運営課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	166,522千円		100.0%	A	A	B	A	継続
		<p>（事業概要、事業実績等） 公立保育所、こども園及び公立幼稚園に支援員を配置し、関係機関等と連携をしながら、早期に対応することで、支援を必要とする乳幼児一人一人のニーズに応じた教育・保育環境を提供することができた。</p> <p>◎発達障がい児等支援員配置率 実績100%（目標100%）</p>						
健康福祉局 こども園運営課								
37	子どもの貧困対策コーディネート事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	83千円	一般重点	116.0%	A	B	A	A	統合
		<p>（事業概要、事業実績等） 平成30年4月に専門のコーディネーターをこども女性相談課に1人配置し、関係機関等と連携することにより、子どもの貧困対策について、ワンストップで相談に応じた。</p> <p>また、当該事業を紹介するリーフレットを作成・配布するなど、連携による関係機関相互の情報共有とネットワーク構築の重要性の周知・啓発を行った。</p> <p>◎コーディネート研修会・勉強会等参加者数 実績116人（目標100人）</p>						
健康福祉局 地域共生社会推進室								

施策	子育て家庭への支援
----	-----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
15,683,119千円	A	30.7%	77.0%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実
担当局	健康福祉局、教育局

対象	市内の18歳未満の児童及びその保護者	意図	全ての子育て家庭が、心身共にゆとりをもって子育てができる環境を整える。
----	--------------------	----	-------------------------------------

概要（実績）
 子ども医療費の助成や多子世帯の保育料の減免など、各種の経済的な支援を行ったほか、地域子育て支援拠点事業など、子育て家庭に対するサポート体制の充実を図り、子育てしている保護者の負担を軽減した。また、延長保育、一時預かり、休日保育、病児保育など、市民ニーズに即した保育サービスを提供した結果、保護者が安心して就労できる環境を整え、子育てと仕事の両立支援に一定の効果が得られた。

成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		達成度の推移		
①	子育て支援拠点施設設置割合	100%	100%	100.0%
	状況	教育・保育提供区域全てにおいて、子育て支援拠点施設を設置できており、目標は達成できている。		
②	放課後児童クラブ入会率	94.7%	97.5%	97.1%
	状況	直営の放課後児童クラブを新たに3教室開設するなど、受け皿の確保に努めたが、利用を希望する児童数の増加により、目標を達成できなかった。		
③	保育施設等待機児童数（4月1日現在）	62人	0人	72.3%
	状況	「高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、認定こども園の創設等により、受入れ枠を増やしたものの、それを上回る保育需要の伸びがあったことや、保育士不足により、目標を達成できなかった。		

施策の課題
 【健康福祉局】平成30年版「少子化社会対策白書」（内閣府）によれば、第1子出産後に就業を継続した女性の割合は5割を超えたものの、離職した女性の4分の1が仕事と育児の両立の難しさが理由としており、仕事と子育てが両立できる環境整備を、国・県・企業等と連携を図りながら、推進していくことが求められている。
 【教育局】ボランティアや保健師等の連携・協力の下、引き続き、4か月児相談を活用したブックスタート事業を積極的に実施し、読書活動の更なる推進が必要である。

施策の方向性
 平成27年3月に策定した、「高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、地域における子育て支援や、子育てと仕事の両立支援などに取り組むことにより、安心して子育てできる環境の充実を図っていく。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1	子育て支援対策推進事業 10,284千円 健康福祉局 子育て支援課		103.8% 136.6%	A	A	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 子育て支援総合情報発信事業(子育てハンドブックの発行、らっこネット運営)や子育てに関するネットワークづくり(地域組織活動育成事業、こども未来ネットワーク会議開催)を支援することにより、地域ぐるみで幅広い分野での子育て支援を効果的に推進することができた。</p> <p>◎ネットワーク会議参加者総数：実績135人(目標130人) ◎らっこネットアクセス件数：実績68,323件(目標50,000件)</p>						
2	子育て世代親元近居等支援事業 3,035千円 健康福祉局 子育て支援課	重点 一般重点	64.4%	C	A	C	C	廃止
		<p>(事業概要、事業実績等) 離れて暮らす子ども世帯及びその親世帯等が引越しにより、高松市内で同居又は同一校区内に近居する場合に、転居の費用の一部を助成した。 なお、補助実施世帯へのアンケート調査の結果、本事業の同居・近居を誘引する効果が限定的であったため、平成30年度をもって事業を廃止した。</p> <p>◎助成件数：実績29件(市内転居16件、市外転居13件) (目標45件(市内転居35件、市外転居10件))</p>						
3	こども食堂等支援事業 255千円 健康福祉局 子育て支援課	重点 特別重点	107.7%	A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 子どもの孤食を防止するほか、安らげる場所を確保するため、子ども達に無料又は安価で温かく栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、地域住民とのつながりの強化や学習・生活習慣についての支援も行う「こども食堂」等の開設や運営に係る費用の一部を補助した。 また、積極的な周知により、こども食堂についての理解が深まり、こども食堂の新規開設につながった。</p> <p>◎こども食堂か所数：実績14か所(目標13か所)</p>						
4	(評価対象外) 児童厚生施設管理運営事業 47,926千円 健康福祉局 子育て支援課	重点						
		<p>(事業概要、事業実績等) 児童厚生施設管理運営事業を実施することにより、子どもが安心・安全に遊べる場を提供し、子どもの健全育成に寄与した。 利用者数58,016人</p>						
5	(評価対象外) 健やか子ども基金管理事務 10千円 健康福祉局 子育て支援課	重点						
		<p>(事業概要、事業実績等) 子育て家庭が安心して子どもを生み育てられる環境整備を推進するために設置した健やか子ども基金の適切な管理を行った。 【基金を用いた平成30年度の事業】 風しん予防接種等補助事業(保育所等)施設等遊具整備事業(保育所等)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	地域子育て支援拠点事業（子育て支援課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	112,202千円		98.1%	A	A	B	A	継続
健康福祉局 子育て支援課		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>地域子育て支援拠点事業の実施により、子育て家庭の抱える育児への不安・負担感、閉塞感を和らげ、安心して子育て・子育てができる環境の整備につながった。</p> <p>実施か所：委託10か所、直営2か所</p> <p>◎利用者数：実績78,478人（目標80,000人）</p>						
7	（評価対象外）助産施設運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	5,264千円							
健康福祉局 こども女性相談課		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>保健上必要があるにもかかわらず、生活保護世帯及び市県民税非課税世帯の経済的理由により、入院助産を受けることができない妊産婦に対して、助産を援助することができた。</p> <p>年間利用件数15件</p>						
8	（評価対象外）子育て相談事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,830千円							
健康福祉局 こども女性相談課		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>養育に不安をもつ保護者に対し、専門の相談員が、助言を行うだけでなく適切な窓口や専門機関を紹介することができた。</p> <p>年間相談件数223件</p>						
9	子ども医療費助成事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,682,301千円			A	B	B	B	拡充
健康福祉局 こども家庭課		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>子どもの医療費のうち、通院については小学校卒業まで、入院については中学校卒業までの、保険診療に係る高額医療費までの自己負担分を助成することにより、対象世帯の経済的負担の軽減につながった。</p> <p>【受給者数（月平均）】</p> <p>乳幼児・小学生 44,402人</p> <p>中学生 352人</p> <p>【支給額】</p> <p>乳幼児・小学生（入院・通院）1,594,150千円</p> <p>中学生（入院）15,833千円</p>						
10	（評価対象外）児童手当等支給事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,918,001千円							
健康福祉局 こども家庭課		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な成長に資するため、中学校修了前の児童を養育している父又は母等に「児童手当」を支給した。</p> <p>受給者数 32,548人</p> <p>支給額 6,900,630千円</p> <p>支給事務費 17,371千円</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	地域子育て支援拠点事業（こども園総務課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	130,597千円		125.7%	A	A	B	A	継続
健康福祉局 こども園総務課		<p>（事業概要、事業実績等） 保育所を拠点として、育児・保育に関する専門的知識・経験を有する保育士としての能力を活用し、子育て中の親子の支援を実施したことにより、子育て家庭の育児不安の解消に寄与した。</p> <p>◎地域子育て支援拠点事業相談件数 実績14,956人 （目標11,900人）</p>						
12	就園等奨励事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	300,238千円		72.3%	A	A	A	A	縮小
健康福祉局 こども園運営課		<p>（事業概要、事業実績等） 私立幼稚園児の保護者の経済的負担を軽減することにより、公・私立幼稚園間の費用負担における格差を是正し、子育て環境が向上した。</p> <p>◎待機児童数（4月1日現在） 実績62人（目標0人）</p>						
13	多子世帯保育料等減免事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			99.4%	A	A	A	A	継続
健康福祉局 こども園運営課		<p>（事業概要、事業実績等） 多子世帯に対し、保育料等を減免することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て環境が向上した。</p> <p>◎保育所・幼稚園等入所（園）児童数 実績16,050人 （目標16,148人）</p>						
14	ブックスタート事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,285千円		95.7%	A	A	A	A	継続
教育局 中央図書館		<p>（事業概要、事業実績等） 4か月児相談時に、ブックスタートパック（絵本・ブックリスト・図書館案内）の配布や読み聞かせを実施したことにより、子育て支援と子どもの読書活動の推進につながった。</p> <p>◎ブックスタートパックを配布した人数 実績：3,286人（目標：3,435人）</p>						
15	病児保育事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	114,132千円		95.2%	A	A	A	A	拡充
健康福祉局 子育て支援課		<p>（事業概要、事業実績等） 病児・病後児保育事業を実施することにより、保護者の子育てと仕事の両立支援やワーク・ライフ・バランスの推進など、安心して子育てができる環境の整備につながった。</p> <p>病児・病後児保育施設：5か所</p> <p>◎病児・病後児保育事業利用者数：実績7,242人（目標7,610人）</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
16	ファミリー・サポート・センター事業 12,890千円	重点 一般重点	成果達成度 120.3% 98.5%	妥当性 A	有効性 B	効率性 B	総合評価 A	今後の方向性 継続
	健康福祉局 子育て支援課	<p>(事業概要、事業実績等) ファミリー・サポート・センター事業を実施することにより、地域で育てる子育てサポートとして仕事と育児が両立できる環境を整備し、子育て家庭への支援に貢献した。</p> <p>◎ファミリー・サポート・センター事業利用件数 実績8,181件 (目標6,800件) ◎ファミリー・サポート・センター登録会員数 実績2,562人 (目標2,600人)</p>						
17	放課後子ども教室事業 19,795千円	重点 特別重点	成果達成度 83.2% 82.0%	妥当性 A	有効性 A	効率性 B	総合評価 B	今後の方向性 拡充
	健康福祉局 子育て支援課	<p>(事業概要、事業実績等) 放課後子ども教室事業を推進することにより、児童に安心安全な居場所を提供し、児童の健全育成に寄与した。 実施校区 33校区</p> <p>◎参加児童数 実績42,421人 (目標51,000人) ◎登録児童数 実績2,952人 (目標3,600人)</p>						
18	放課後児童クラブ事業 816,250千円	重点 特別重点	成果達成度 97.1%	妥当性 A	有効性 A	効率性 B	総合評価 A	今後の方向性 拡充
	健康福祉局 子育て支援課	<p>(事業概要、事業実績等) 放課後児童クラブ事業を実施することにより、児童にとって安全な居場所を提供するとともに、保護者が安心して就労できる環境を整え、子育てと仕事の両立支援に貢献した。</p> <p>◎放課後児童クラブ入会率 実績94.7% (目標97.5%)</p> <p>なお、年度内に事業の完了が不可能となった施設整備については、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：60,955,000円) また、前年度からの繰越事業である施設整備事業については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：56,232,924円)</p>						
19	認可外保育施設支援事業 45,981千円	重点	成果達成度 72.3%	妥当性 A	有効性 A	効率性 B	総合評価 A	今後の方向性 継続
	健康福祉局 こども園総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 認可外保育施設に対して補助を実施したことにより、認可外保育施設の保育水準及び入所児童の福祉の向上に一定の効果があつたほか、認可外保育施設に入所している第2子以降の児童の保護者に対して補助を実施したことにより、子育てに係る経済的負担の軽減につながった。</p> <p>◎待機児童数 (4月1日現在) 実績62人 (目標0人)</p>						
20	私立保育所運営支援事業 4,964,487千円	重点	成果達成度 72.3%	妥当性 A	有効性 A	効率性 B	総合評価 A	今後の方向性 継続
	健康福祉局 こども園総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 通常の保育事業に加えて、私立保育所が実施する各種特別保育事業に係る経費を支弁したことにより、保育所の安定的な経営につながった。</p> <p>◎待機児童数 (4月1日現在) 実績62人 (目標0人)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
21	小規模保育事業等地域型保育給付事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	493,567千円		72.3%	A	A	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>子ども・子育て支援新制度において、小規模保育事業等に対し、法で定める公定価格に基づき、地域型保育給付として給付することにより、保育サービスの充実につながった。</p> <p>◎待機児童数（4月1日現在） 実績62人（目標0人）</p>						
健康福祉局 こども園総務課								
22	保育士確保緊急対策事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	293千円	特別重点	72.3%	A	A	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>待機児童解消に向け、保育士確保が喫緊の課題となる中、特に保育士が不足傾向にある私立保育所等における保育士の確保を図るため、潜在保育士等の市内私立保育施設への就職を支援する市独自の緊急対策事業を実施した。</p> <p>◎待機児童（4月1日現在）実績62人（目標0人）</p>						
健康福祉局 こども園運営課								

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成

総合評価
B

1 政策の概要

支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成を図るため、ユニバーサルデザインの普及啓発や、福祉施設の適正な運営など、地域福祉の推進に努めるとともに、高齢者が、住み慣れた地域で共に支え合い、自分らしく安心して暮らし続けられる社会の実現を目指し、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進します。

また、障がい者の自己決定を尊重し、適切な意思決定等を行えるよう支援するほか、障がい者の個別性に応じた支援を推進するとともに、ライフステージに応じた切れ目ない支援や、社会的障壁の除去と合理的配慮の普及に向けた取組を推進するなど、障がい者の自立支援と社会参加の促進に努めます。

また、生活困窮者等について、早期の自立に向けた支援等を推進します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
地域福祉の推進	85%	B
地域包括ケアシステムの構築	97%	A
障がい者の自立支援と社会参加の促進	100%	A
生活困窮者等への自立支援	50%	D
平均	83%	B

3 政策の評価

支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成に向けて、4施策に取り組んだ。

「地域福祉の推進」では、設定する2つの成果指標のうち、指導監査における文書指摘がない社会福祉法人等の割合において、制度周知や実地検査により、数値は改善したものの、目標に届かなかったが、他の指標については、目標を概ね達成した。

「地域包括ケアシステムの構築」及び「障がい者の自立支援と社会参加の促進」では、設定する5つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

「生活困窮者等への自立支援」では、設定する2つの成果指標とも、目標に届かなかった。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は83%となり、政策全体として目指す方向に概ね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
地域福祉の推進	22.3%	18.3%	74.9%
地域包括ケアシステムの構築	26.9%	19.1%	79.9%
障がい者の自立支援と社会参加の促進	19.9%	17.1%	70.3%
生活困窮者等への自立支援	13.6%	15.6%	47.0%
平均	20.7%	17.5%	68.0%

施策	地域福祉の推進
----	---------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
461,877千円	B	22.3%	74.9%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成
担当局	健康福祉局、市民政策局

対象	市民	意図	地域福祉の推進や福祉施設の適正な運営に関する各種事業を展開し、みんなで支え合う地域福祉を推進する。

概要（実績）

民生委員・児童委員の充足率を高めるため、欠員が生じている地区での補充推薦に努め、目標に対し97.7%の達成率であった。
 また、第3次高松市地域福祉計画の周知や、民生委員・児童委員に対する研修等、社会福祉法人の指導監督、ユニバーサルデザイン基本指針に基づくユニバーサルデザインの普及・啓発のほか、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業として、まるごと福祉相談員を2名配置し、市民からの相談や情報提供を「まるごと」受け、様々な支援機関と連携して支援するなど、本市の地域福祉を推進した。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		97.7%	100%	97.7%
①	状況	達成度の推移		
②	状況	達成度の推移		
③	状況	達成度の推移		

施策の課題

【健康福祉局】住民相互のつながりや信頼関係を築き、ともに助け合い支え合って行ける地域社会を実現するために、今後さらに、避難行動要支援者名簿の登録率や民生委員の充足率を高めていく必要があるほか、複合的な課題にも対応できるよう、福祉の総合相談窓口を設置するなど、包括的な相談支援体制を充実させていく必要がある。
 【市民政策局】年齢や性別、障がいの有無、国籍の違いなどにかかわらず、誰もが快適に生活できるように、市全体でユニバーサルデザインの考え方を広げていくことが必要である。

施策の方向性

引き続き、安全・安心に暮らせる福祉環境の整備に向けた、みんなで支え合う地域福祉を推進するほか、分野を超えた複合的な課題にも対応できるよう、包括的な相談支援体制を構築するなど、「地域共生社会」の実現を目指す。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	(評価対象外) 民生・児童委員活動支援等事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	118,301千円							
健康福祉局 健康福祉総務課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>職務上必要な知識・技術を習得するため、民生委員児童委員連盟大会、民生委員児童委員研修会を開催し、民生委員児童委員の資質向上に寄与した。</p> <p>また、地区間の連携強化のため、地区民生委員児童委員協議会会長研修や主任児童委員研修を実施した。</p>						
2	災害援護事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,113千円		62.5%	A	A	B	C	継続
健康福祉局 健康福祉総務課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>避難行動要支援者の新規対象者に対して、登録希望調査票を個別に送付し、登録を直接呼びかけたほか、広報たかまつ等を通じた広報活動を積極的に行い、避難行動要支援者の更なる登録につなげた。</p> <p>◎避難行動要支援者新規登録率 実績12.5% (目標20%)</p>						
3	社会福祉団体活動助成事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	129,752千円		71.4%	A	A	B	B	継続
健康福祉局 健康福祉総務課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>広く市民の相談に応じるなど、地域福祉推進のための事業を実施する高松市社会福祉協議会に対して、補助金を交付することにより、地域福祉活動の充実に寄与した。</p> <p>また、社会福祉諸団体に補助金を交付することにより、地域福祉を支える基盤づくりに寄与した。</p> <p>◎相談件数 実績283件 (目標220件)</p>						
4	戦争犠牲者追悼式等事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,579千円		116.0%	A	B	B	A	継続
健康福祉局 健康福祉総務課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>遺族の高齢化や、若年層の戦争に対する関心の希薄化に伴い、追悼式への参列者が減少傾向にあるため、遺族に向けて案内状を個別に発送するとともに、関係団体に対しても出席依頼を行うなど、広く周知することで、ほぼ例年どおりの参列があった。</p> <p>◎追悼式参列者率 実績9.4% (目標8.1%)</p>						
5	(評価対象外) 臨時福祉給付金給付事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	39,971千円							
健康福祉局 健康福祉総務課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>平成26年4月からの消費税引き上げに際し、低所得者への影響に鑑み実施する臨時福祉給付金等給付事業を円滑に進めた。</p> <p>なお、平成29年度をもって事業は終了したが、平成30年度に国庫補助金の精算返還金の返還を行った。</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
6	(評価対象外) 社会福祉事業							
	833千円	<p>(事業概要、事業実績等) 各種社会福祉統計調査を実施した結果、市民の現状やニーズを踏まえた国の施策立案の実現に貢献するとともに、本市の福祉行政の向上に寄与した。</p>						
健康福祉局 健康福祉総務課								
7	(評価対象外) 法外援護事業							
	11,224千円	<p>(事業概要、事業実績等) 前年度の援護金支給者に対し、申請案内を送付するとともに、支給制度について、広報紙への掲載を行うことにより対象者への周知を行った。</p>						
健康福祉局 健康福祉総務課								
8	(評価対象外) 低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業							
		<p>(事業概要、事業実績等) 令和元年10月からの使用開始に向けて準備を進めるため、平成31年3月補正予算に事業費を計上したが、内容の詳細を精査するため、全額を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：184,049,000円)</p>						
健康福祉局 健康福祉総務課								
9	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業		107.2%	A	A	A	A	拡充
	8,460千円	<p>(事業概要、事業実績等) 平成30年8月から勝賀総合センターエリア・香南地区の2か所で「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」のモデル事業として、「まるごと福祉相談員」を2名配置し、地域に関わりながら、市民からの相談や情報提供を「まるごと」受け、様々な支援機関と連携して支援した。 ◎まるごと福祉相談員のアウトリーチ件数 実績343件 (目標320件)</p>						
健康福祉局 地域共生社会推進室								
10	若者育成支援推進事業	特別重点	100.0%	A	A	B	A	継続
	561千円	<p>(事業概要、事業実績等) 困難を有する若者やその家族を包括的に支援するため、高松市若者支援協議会を開催し、関係機関相互のネットワーク形成を図ったほか、相談できる支援機関へとつながり、はじめの一歩を踏み出すことができるように「たかまつ若者支援サポートブック」を作成した。 ◎協議会の構成団体数 実績27団体 (目標27団体)</p>						
健康福祉局 地域共生社会推進室								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
11	(評価対象外) 総合福祉会館管理運営事業 132,400千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 健康福祉総務課							
		(事業概要、事業実績等) 施設の利用を通じて、身体障がい者や高齢者の生きがいがづくりが図られるとともに、社会生活への適応性が高まるなど、市民福祉の向上に寄与した。また、施設情報を積極的にPRすることで、施設の利用増進に取り組んだ。						
12	(評価対象外) 社会福祉法人指導監督事業 370千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 健康福祉総務課							
		(事業概要、事業実績等) 社会福祉法人及び施設等に対し、指導監査を行った結果、適正な運営を確保することができ、引き続き、利用者や家族が安心して福祉サービスの提供を受けられるなど、市民福祉の向上に寄与した。						
13	ユニバーサルデザイン推進事業 12,313千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 ユニバーサルデザイン推進室	特別重点	88.2%	115.7%	A	A	A	拡充
		(事業概要、事業実績等) 一人一人の多様性が尊重され、年齢や性別、障がいの有無、国籍の違いなどにかかわらず、誰もが快適に過ごすことのできる、ユニバーサルデザイン社会の実現を目指すとともに、その考え方を周知啓発するため、「たかまつユニバーサルデザインマップ」の公開、小中学生用ユニバーサルデザイン啓発動画の作成、心のユニバーサルデザイン啓発事業等を実施した。 ◎施策全体の満足度(市民満足度調査) 実績25.3%(目標28.7%) ◎ユニバーサルデザイン啓発講座等参加者数 実績532人(目標460人)						

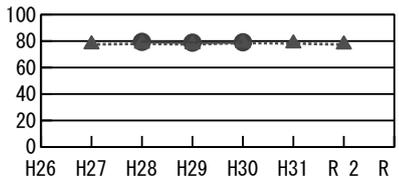
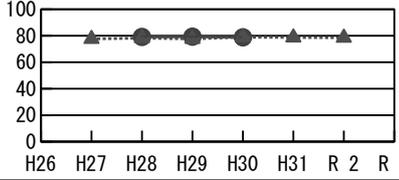
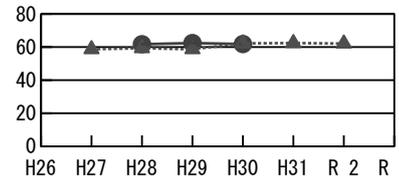
施策	地域包括ケアシステムの構築
----	---------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
2,954,517千円	A	26.9%	79.9%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成
担当局	健康福祉局

対象	高齢者等	意図	住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、医療・介護・予防・生活支援・住まいなどが一体的に切れ目なく提供される状態となる。
----	------	----	---

概要(実績) 「第7期高松市高齢者保健福祉計画」に基づき、各種施策・事業を実施し、地域全体で高齢者を支える体制づくりを推進した。高齢者保健福祉事業の取組として、シルバー人材センターや老人クラブへの補助による生きがいづくりの促進、在宅生活支援、認知症高齢者対策及び虐待防止、高齢者居場所づくり事業や、三層構造による地域で支え合う見守り体制強化、徘徊高齢者保護ネットワーク事業などを推進した。介護保険対象施設等の充実への取組として、特別養護老人ホームの計画的な整備、軽費老人ホームへの運営補助、地域密着型サービス施設整備の補助等を行うとともに、老人福祉施設等の指導監査を行った。地域包括支援センターにおいて、高齢者に関する総合相談支援、介護予防ケアマネジメント、権利擁護等のほか、認知症ケアの推進、地域ケア会議の開催、介護予防教室などを行い、介護予防の推進に取り組んだ。新しい総合事業を実施し、多様な主体による様々なサービス提供体制を構築するとともに、地域の在宅医療・介護関係機関との連携を推進した。

成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		① 状況	要介護者の在宅比率	79.1%
	在宅で生活している要介護認定者の割合は、目標値の78.6%を0.5ポイント上回り、目標を達成した。	達成度の推移		
				
② 状況	自立高齢者率	78.8%	78.9%	99.9%
	介護・支援を必要としていない65歳以上の高齢者の割合は、目標値の78.9%を0.1ポイント下回った。	達成度の推移		
				
③ 状況	自立後期高齢者率	61.8%	62.2%	99.4%
	介護・支援を必要としていない75歳以上の高齢者の割合は、目標値の62.2%を0.4ポイント下回った。	達成度の推移		
				

施策の課題 高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、切れ目のない医療と介護の提供体制の構築を推進するほか、介護保険サービス基盤の充実、介護予防の推進、地域全体で高齢者を支える体制づくりに取り組んでいる。今後においても、高齢者一人一人の状態に応じて、様々な支援が切れ目なく提供される環境づくりや、共に支え合う社会づくりが求められている。

施策の方向性 住み慣れた地域で共に支え合い、高齢者が自分らしく安心して暮らし続けられる社会の実現を目指し、包括的な支援体制の構築や介護予防と社会参加の推進、生活環境の充実に努める。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1	在宅医療・介護連携推進事業	特別重点	100.0%	A	A	B
7,196千円	<p>(事業概要、事業実績等) 在宅医療と介護を一体的に提供できる体制を構築するため、在宅医療・介護関係者の情報共有及び連携強化に係る8項目の事業について、全て着手している。また平成30年10月に、在宅医療に関する相談や退院調整への支援などを行う在宅医療支援センターを庁内に開設した。</p> <p>◎多職種連携構築度評価平均得点(多職種連携研修等に参加している専門職による、地域の多職種連携構築度評価の平均得点)実績5点(目標5点)</p>							
	健康福祉局 長寿福祉課							
2	生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業	特別重点	316.7%	A	A	A	A	継続
	55,676千円	<p>(事業概要、事業実績等) 国のガイドラインに基づき、サービスの提供体制構築に向けたコーディネーター機能を果たす「生活支援コーディネーター」を中心とした地域の把握や問題解決に向けた「地域福祉ネットワーク会議」を設置している。平成30年度においては市内44地区のうち39地区に設置でき、地域の課題を解決する中で、住民主体のサービスの提供がされるなど、地域で高齢者を支える体制づくりを推進することができた。</p> <p>◎住民主体によるサービスを提供している(地域コミュニティにおいてサービスBを提供している)地区数実績19地区(目標6地区)</p>						
	健康福祉局 長寿福祉課							
3	介護保険補助金等事業	重点	91.6%	A	B	B	A	改善継続
	5,698千円	<p>(事業概要、事業実績等) 第7期高松市高齢者保健福祉計画に基づき施設整備事業に着手した。また、離島での介護サービス提供事業者に補助金を交付したほか、社会福祉法人等における介護サービス利用者のうち、生活困難者に対して利用額を軽減することにより、介護サービスを利用する高齢者の安心と安全を確保することができた。</p> <p>◎社会福祉法人等利用者負担減額の対象となる登録率実績87%(目標95%)</p> <p>なお、施設整備事業については、国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するため、事業費を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：3,634,000円)</p>						
	健康福祉局 介護保険課							
4	(評価対象外)介護予防推進事業(地域包括ケア推進室分)	重点						
	8,413千円	<p>(事業概要、事業実績等) 新しい総合事業の実施に当たり、住民主体によるサービス提供を行う団体に対し、立上げ及び運営に要する費用について補助を行い、地域での支え合い体制づくりを推進した。</p> <p>実績 立上補助 訪問型サービス 10団体 通所型サービス 11団体 運営補助 訪問型サービス 18団体 通所型サービス 6団体</p>						
	健康福祉局 長寿福祉課							
5	(評価対象外)介護予防推進事業(介護保険課分)	重点						
	1,212,491千円	<p>(事業概要、事業実績等) 香川県国民健康保険団体連合会に審査支払事務を委託するなどにより、適正な事業費の支給を行った。</p>						
	健康福祉局 介護保険課							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	(評価対象外) 介護予防支援事業 311,684千円							
	健康福祉局 地域包括支援センター	(事業概要、事業実績等) 長寿福祉課実施のいきいきデイサービス事業からの移行を多く想定していたため、目標値を下回った。 高齢者人口の伸びと共に、平成29年度実績55,030件と比べ、8.8%増加している。 介護予防ケアマネジメント件数 目標 60,564件 実績 59,875件						
7	介護予防推進等事業 19,544千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 地域包括支援センター		104.3%	110.5%	A	A	A	A
		(事業概要、事業実績等) 高齢者が運動、栄養、口腔及び認知機能の向上に取り組むための教室を実施した。また、元気を広げる人の養成講座、のびのび元気体操講習会の実施により、介護予防ボランティアの養成に取り組んだ。 介護予防教室(各種) 628回、延べ15,648人 元気を広げる人の活動、のびのび元気体操 5,680回 延べ82,858人 ◎教室参加者数(介護予防教室・認知症予防教室) 実績15,648人(目標15,000人) ◎事業参加者数(元気を広げる人の活動・のびのび元気体操等) 実績82,858人(目標75,000人)						
8	(評価対象外) 認知症高齢者等対策 推進事業 4,832千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 地域包括支援センター	(事業概要、事業実績等) 小学生から高齢者まで幅広い年齢層の住民を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターを継続して養成した。 認知症サポーター養成講座(参加人数) 平成30年度目標: 3,000人 平成30年度実績: 4,725人						
9	(評価対象外) 介護予防推進事業(地域包括支援センター分) 73千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 地域包括支援センター	(事業概要、事業実績等) 新しい総合事業の介護予防・生活支援サービス事業について職員研修会等で説明したことにより、相談・指導を行うことができた。 訪問型サービスC(I) 実績3件(目標6件) 訪問型サービスC(II) 実績0件(目標20件)						
10	瓦町健康ステーション事業 27,923千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 長寿福祉課		112.5%		A	A	B	A
		(事業概要、事業実績等) 平成27年10月にコトデン瓦町ビル8階IKODE瓦町内に開設した瓦町健康ステーションにおいて、各種講座を開催し、市民の健康づくりや生きがいに寄与した。 ◎瓦町健康ステーションの年間来場者数 実績38,252人(目標34,000人)						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		11	軽度生活援助事業 24,967千円		85.7%	A	A	B
健康福祉局 長寿福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 65歳以上の一人暮らし高齢者等に外出時の援助、家周りの掃除、家屋内の整理・整頓など、在宅の一人暮らし高齢者等の生活支援に資する軽易な日常生活上の援助を行うことで、自立した生活の継続を可能にするるとともに、介護予防に資することができた。 (登録者数 2,798人、延べ利用回数 13,730回) ◎軽度生活援助利用率 実績30% (目標35%)</p>							
12	敬老事業 46,183千円	重点	100.0%	A	B	B	A	縮小
	健康福祉局 長寿福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 敬老の日の前後に各地区で長寿をお祝いする催しを行うほか、88、99歳の節目の年を迎える方に祝い金を、100歳の高齢者及び市内男女最高齢の方には祝品を贈ること、長寿をお祝いし、高齢者の生活の向上に努める意欲を高めることができた。(敬老会対象者数59,148人、敬老祝金支給対象者88歳:2,056人、99歳:131人、敬老祝品贈呈件数130件) ◎敬老事業参加率 実績100% (目標100%)</p>						
13	高齢者居場所づくり事業 11,991千円	重点	102.4%	A	A	B	A	継続
	健康福祉局 長寿福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 介護予防や健康増進、地域のボランティア活動、世代間交流など、様々な地域活動の場となる高齢者の居場所を設置することで、高齢者の孤立化防止や、介護予防を促進することができた。また、小学生以下の子どもとの交流を行った場合に、子どもとのふれあい加算を実施することで、世代間交流を促進することができた。 (居場所数241か所、子どもとの交流数46か所) 平成30年度からは、高齢者との居場所等と高松市内3医師会連合会、歯科医師会、医療系大学及び民間事業者との連携事業を実施し、希望する居場所等において健康づくりに関する講話等を行った。(連携事業実施居場所等70か所) ◎主観的健康感の維持向上率 実績95.2% (目標93%)</p>						
14	高齢者と地域の交流事業 10,074千円	重点	96.8%	A	A	B	A	継続
	健康福祉局 長寿福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 地区のボランティアの協力により、コミュニティセンター等で月1回程度、会食等方式の食事をすることで、高齢者の孤独感の解消及び地域社会との交流を図ることができ、高齢者福祉の向上及び共助と連携の地域福祉づくりに寄与した。 (実施28地区・30か所、延べ食数23,149食) ◎高齢者と地域の交流事業実施箇所 実績30か所 (目標31か所)</p>						
15	高齢者福祉施策推進事業 20,940千円	重点	107.6%	A	B	B	A	継続
	健康福祉局 長寿福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 高齢者が住み慣れた地域社会で、健康で生きがいを持って生活を送ることができるよう、高齢社会にふさわしい保健福祉施策を推進した。また、出前講座や様々なサービスをまとめた冊子の配布等を通じて、高齢者福祉サービスの周知することができた。 (高齢者在宅福祉サービスリーフレット作成部数 13,000部) ◎施策に対する満足度 (市民満足度調査) 実績26.9% (目標25%)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		16	高齢者福祉タクシー助成事業 13,917千円 健康福祉局 長寿福祉課		93.2%	A	B	B
		<p>(事業概要、事業実績等) タクシー助成券を交付することで、外出することが難しい在宅の高齢者の外出を支援することができた。(交付人数3,172人) ◎タクシー助成券利用率 実績46.6%(目標50%)</p>						
17	高齢者福祉通信機器貸与等事業 2,147千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			71.4%	C	C	B	C	縮小
		<p>(事業概要、事業実績等) 福祉電話や緊急通報を貸与又は給付することで、一人暮らし高齢者等の孤独感の解消を図るとともに、急病、災害その他緊急時に迅速かつ適切な対応ができる環境を整備することができた。(福祉電話貸与台数93台) ◎高齢者福祉通信機器貸与率 実績1%(目標1.4%)</p>						
18	高齢者見守り事業 74,045千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点 特別重点	成果達成度 134.6% 38.5%	妥当性 A	有効性 A	効率性 A	総合評価 B	今後の方向性 拡充
		<p>(事業概要、事業実績等) 地域で支えあう見守り協定、特別あんしん見守り事業の三層構造による見守り活動を推進する。また、介護相談専用ダイヤルを整え、24時間365日、介護や日常生活の不安を相談できる体制を整えた。さらに、緊急通報装置から見守り機能を持つあんしん通報装置への切替を行うサービスを実施した。(地域で支えあう見守り協定事業所数82事業所、地域で支えあう見守り協力員約1,000人、介護相談専用ダイヤル相談件数443件、あんしん通報装置設置件数1,627件、配食見守り事業利用者数790人) ◎見守り協定に基づく通報件数 実績35件(目標26件) ◎見守り対象としたハイリスク高齢者のカバー率 実績20%(目標52%)</p>						
19	在宅高齢者家族支援事業 39,766千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			96.0%	A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 在宅で高齢者を介護している方に、寝たきり高齢者等介護見舞金、高齢者短期入所等のサービスを提供することで、家族の介護の負担を軽減することができた。さらに、対象者全員が受給できるよう、要介護認定更新結果通知に、本事業について、分かりやすく記載したチラシを同封するとともに、介護支援専門員や民生委員等の関係者に本事業の更なる啓発を行った。(介護見舞金支給者数656人、短期入所事業利用日数延べ960日) ◎在宅認定者率(要介護4、5) 実績52.8%(目標55%)</p>						
20	シルバー人材センター運営補助事業 17,060千円 健康福祉局 長寿福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			92.3%	A	B	C	B	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 高齢者活躍人材育成事業の実施による高齢者への技能講習や、就業を通じて社会活動への参加の場を提供している高松市シルバー人材センターの内滑な運営を促進するため、補助金の交付を行うことにより、高齢者の生きがいを促進することができた。(延べ受注件数20,237件、就業延べ人員150,770人) ◎シルバー人材センター会員数 実績1,716人(目標1,860人)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		21	高齢者と施設の交流事業 4,956千円		70.9%	A	A	B
健康福祉局 長寿福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 委託先の特養老人ホーム等に給食施設において調理された食事を、社会福祉協議会や民生委員の協力を得て、一人暮らしの高齢者の家庭に配食することによって、栄養バランスの取れた食事を提供する地区) (利用者数366人、延べ食数24,301食、23施設 26地区)</p> <p>◎配食を受けた高齢者率 実績3.9% (目標5.5%)</p>							
22	寝たきり高齢者等支援事業 66,076千円	重点	107.6%	A	A	B	A	継続
	健康福祉局 長寿福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 寝たきり等の高齢者に紙おむつ給付等のサービスを提供することで、日常生活上の不安を和らげ、在宅での生活を支援することができた。(寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業登録人数 1,821人、延べ給付人数 19,644人)</p> <p>◎施策に対する満足度 (市民満足度) 実績 26.9% (目標25%)</p>						
23	老人クラブ活動助成事業 33,825千円	重点	83.6%	A	A	B	B	継続
	健康福祉局 長寿福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 地域でのボランティア活動や交通キャンペーンなどの社会奉仕活動や、伝統文化の継承など地域を豊かにする社会貢献活動を展開し、各地域において、重要な役割を果たしている老人クラブの活動を支援することにより、高齢者の生きがいづくりと社会活動への参加を促進することができた。(単位クラブ数 348クラブ)</p> <p>◎老人クラブ会員数 実績17,560人 (目標21,000人) (平成30年4月1日時点)</p>						
24	(評価対象外) 老人福祉センター等 運営事業 64,688千円	重点						
	健康福祉局 長寿福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 高齢者が、住み慣れた地域社会で安心して自立生活を営むことができるよう、老人福祉センター、老人いこいの家などの地域に密着した既存施設の有効活用を、行うことで、高齢者の生きがいづくりと社会活動への参加を促進することができた。(香南ふれあい館等 延べ1,254人、ふれあい福祉センター 延べ55,236人、老人いこいの家 延べ11,923人)</p> <p>なお、高松市ふれあい福祉センター勝賀の敷地内にあるブロック塀の改修工事費について、平成30年度第2次補正予算における地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用するため、翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：3,143,000円)</p>						
25	介護相談員派遣等事業 3,252千円	重点	115.4%	A	C	B	A	改善継続
	健康福祉局 介護保険課	<p>(事業概要、事業実績等) 介護相談員の派遣施設を4事業所増やし、合計27事業所に拡充したことにより、介護相談員派遣回数が増加し、利用者の利便性の向上と派遣施設におけるサービス内容の改善につなげた。</p> <p>◎介護相談員が受けた相談件数 実績4,985件 (目標4,320件)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		26	地域ケア会議推進事業	一般重点	86.4%	189.4%	A	A	B
648千円	<p>(事業概要、事業実績等) 地域ケア会議(個別プラン検討)：目標値32回、96事例。実績32回、96事例。前年と比較、開催回数・事例も増えた。マネジメントの委託が底上げの寄与が大きい。また、委託先介護支援専門員も、本人の課題解決、多職種の視点から手がつけられない利用者やプラン検討を継続し、次期計画に活かすポイント作成などで、確実に自立支援に繋がり、介護予防や重症化予防が期待できる。</p>								
	健康福祉局 地域包括支援センター	<p>◎地域ケア会議(地域課題)を開催している地区の割合 実績86.4%(目標100%) ◎事業所等の介護支援専門員が事例提供した割合 実績94.7%(目標50%)</p>							
27	認知症ケア推進事業	特別重点	252.5%	10.0%	A	A	B	C	継続
	6,348千円	<p>(事業概要、事業実績等) 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の実現を目指し、認知症の人や家族を支援する「認知症地域支援推進員」を配置し、「認知症ケアバス」や「認知症あんしんサポート手帳」の普及を促進するとともに、「認知症初期集中支援チーム」が訪問支援等を行った。また、認知症カフェは、平成30年度目標値のとおり新たに6か所設置運営することができた。 認知症カフェ参加人数 延べ1,012人(平成30年4月～31年3月)</p>							
	健康福祉局 地域包括支援センター	<p>◎認知症地域支援推進員の相談件数のうち、医療等のサービス支援につながった数 実績303件(目標120件) ◎認知症初期集中支援チームの訪問件数のうち、医療や介護サービス等につながった実人数 実績9人(目標90人)</p>							
28	(評価対象外) 地域包括支援センター運営事業	重点							
	181,325千円	<p>(事業概要、事業実績等) 保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員などが連携し、高齢者に関する総合相談支援、介護予防ケアマネジメント、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント等を行い、介護予防の推進に取り組んだ。</p>							
	健康福祉局 地域包括支援センター								
29	軽費老人ホーム事務費補助事業	重点	100.0%		A	A	B	A	継続
	211,573千円	<p>(事業概要、事業実績等) 軽費老人ホームの運営に要する経費の一部を補助することで、自立した生活を営むこと不安のある高齢者が、収入に応じた低額な料金で利用できる施設を確保することができた。(交付法人数13法人(13施設)、軽費老人ホーム定員数488人) ◎入所者実数(延べ) 実績556人(目標556人)</p>							
	健康福祉局 長寿福祉課								
30	高齢者住宅改造助成事業	重点	30.0%		B	B	B	D	縮小
	3,704千円	<p>(事業概要、事業実績等) 在宅で生活している高齢者が利用する、浴室・玄関などの手すりの取付けや段差の解消、和式便器の洋式便器への取り替えるなどの改造工事に対して助成金を交付することで、高齢者の在宅生活を支援するとともに、介護者の負担を軽減することができた。(高齢者住宅改造助成件数 11件) ◎高齢者住宅改造助成を行った高齢者率 実績0.06%(目標0.2%)</p>							
	健康福祉局 長寿福祉課								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
31	高齢者住宅等安心確保事業 8,147千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 長寿福祉課		80.3%	A	A	B	B	改善継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 高齢者世帯付住宅へ生活援助員を派遣し、日常生活の相談・指導、安否確認、緊急時の対応等のサービスを入居者に提供することにより、高齢の入居者が自立して安全かつ快適に生活できる場を確保することができた。 (県営住宅1棟28戸、市営住宅3棟61戸) ◎生活援助員への相談件数 実績5,219件(目標6,500件)</p>						
32	老人福祉施設整備支援事業 109,055千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 長寿福祉課		115.0%	A	A	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 老人福祉施設整備のため、社会福祉法人が、独立行政法人福祉医療機構から借入れた資金について、その利子の一部を同法人へ補助すること及び施設整備等に対する補助金を交付することにより、老人福祉施設整備が促進され、入所者の生活の場を確保する効果があった。 ◎補助金を交付した老人福祉施設数 実績23施設(目標20施設) なお、事業主体の事業着手が遅れたことにより年度内の事業完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：75,122,000円) また、前年度からの繰越事業については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：30,800,000円)</p>						
33	(評価対象外) 老人保護施設措置事業 346,300千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 長寿福祉課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 居宅において養護を受けることが困難な高齢者を、養護老人ホームに措置入所させることで、保護することができた。(養護老人ホーム入所者数 164人)</p>						

施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進
-----------	-------------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
10,308,704千円	A	19.9%	70.3%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成
担当局	健康福祉局

対象	障がい者及び障がい児	意図	必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行うことにより、障がい者及び障がい児が自ら選択した場所に居住し、自立した日常生活を送ることができるようにする。
-----------	------------	-----------	--

概要（実績）	障がい者及び障がい児が、自立した日常生活又は社会生活を送ることができるよう、必要な支援を実施した。 障がい者サービス利用者数 2,808人 障がい児サービス利用者数 857人 障害者医療受給者 11,464人 更生医療支給認定者 1,077人
---------------	---

成果指標	①	指標名 施設入所者の地域生活への移行者数（累積）	H30実績	H30目標	達成度
	状況	障がい者の自立支援と社会活動への参加の促進を図るため、施設入所者の地域移行を推進した結果、目標値を達成できた。	92人	54人	170.4%
				達成度の推移 	
②	指標名	福祉施設から一般就労への移行者数	H30実績	H30目標	達成度
	状況	障がい者の自立支援と社会活動への参加の促進を図るため、地域生活支援拠点等を活用し、福祉施設から一般就労への移行を推進した結果、目標値を達成できた。	55人	54人	101.9%
				達成度の推移 	
③	指標名		H30実績	H30目標	達成度
	状況				
				達成度の推移 	

施策の課題	支援の対象となる障がいの多様化に伴い、障害福祉サービスコストの増加が予想されるため、より効果的なサービス提供について検討する必要がある。
--------------	--

施策の方向性	障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らし、積極的に社会活動に参加できる地域社会づくりを目指し、より一層効果的で適正な施策の実施に取り組み、成果の向上を図る。
---------------	---

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1	障害者福祉施設等整備事業 6,460千円 健康福祉局 障がい福祉課		104.4% 126.7%	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 障害者福祉施設等の整備を実施したことにより、障害者福祉施設等の利用促進に効果があった。</p> <p>◎共同生活援助事業所の定員数 実績262人(目標251人) ◎就労継続支援B型の定員数 実績888人(目標701人)</p> <p>なお、障害者福祉施設等における安全対策整備にあたり、実施期間を確保するため、事業を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：2,719,000円) また、前年度からの繰越事業である防犯対策整備事業については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：2,095,000円)</p>						
2	(評価対象外) 福祉手当支給等事業 268,439千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 特別障害者手当、障害児福祉手当等の支給を行うことにより、障がい者及びその家族の経済的負担が軽減した。</p>						
3	(評価対象外) 障害者福祉施設等運営事業 5,950千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 障害者施設等を運営し、障がい者(児)に対し、必要とされるサービスを提供したことにより、障がい者の自立支援や社会活動への参加促進に効果があった。</p>						
4	(評価対象外) 介護給付費等審査会事業 3,811千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 審査会を開催し、障害支援区分認定基準に照らして適正な審査及び判定を行ったことにより、障害福祉サービス支給決定手続きの透明化・公平化に効果があった。</p>						
5	(評価対象外) 障害程度区分認定事業 22,990千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 障害支援区分の認定等のために調査を実施するとともに、医師の意見書を作成したことにより、審査会事務が効果的に実施できた。</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
6	障害者医療費助成事業 1,640,533千円		102.2%	A	A	B	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 障がい者を対象に医療費(保健診療の自己負担額(高額療養費及び入院時食事(生活)療養費に係る標準負担額は除く。))の全部又は一部を助成したことにより、障がい者の医療費に係る経済的な負担が軽減した。</p> <p>◎受診率 実績234.47%(目標229.38%)</p>						
7	障害者権利擁護事業 5,055千円		80.0%	A	B	B	B	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 成年後見制度利用の支援、虐待案件に対する支援等を行うことにより、障がい者の権利擁護の促進に効果があった。</p> <p>◎成年後見人申立決定人数 実績8人(目標10人)</p>						
8	(評価対象外) 障害者施策推進事業 234千円							
	健康福祉局 障がい福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 平成30年3月に策定した、本市の障がい者施策にかかる総合的計画となる「たかまつ障がい者プラン」の進捗管理等のため、高松市障害者施策推進懇談会を開催し、関係団体他、福祉に携わる人々の連携強化に効果があった。</p>						
9	障がい者就労支援促進事業 10,730千円	一般重点	60.0%	A	A	B	C	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 中央商店街の空き店舗を活用し、障がい者を雇用し事業を行う事業者への支援を実施することにより、知的・精神障がい者の就労促進、社会的・経済的自立に寄与する効果があった。</p> <p>◎雇用契約をした障がい者数 実績3人(目標5人)</p>						
10	(評価対象外) 障害者自立支援医療事業 556,215千円							
	健康福祉局 障がい福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 自立支援医療を認定し、医療費の自己負担額の軽減を行ったことにより、障がい者の自立と社会参加の促進に効果があった。</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	障害者相談支援事業 90,471千円		109.7%	A	A	B	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 在宅福祉サービスの利用援助、社会資源を利用するための支援、ピアカウンセリング、介護相談及び情報の提供を総合的に実施したことにより、障がい者やその家族の不安解消、生活の利便性の向上に効果があった。</p> <p>◎障害者相談件数 実績768件(目標700件)</p>						
12	障がい者地域生活支援推進事業 114,174千円	特別重点	133.1%	A	B	B	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 障がい者の地域での生活を支援するため、基幹相談支援センター(中核拠点及び地域拠点)を運営している。 また、福祉の拠点として、高松市総合福祉会館から移転したコスモス園を運営している。</p> <p>◎基幹相談支援センター相談件数 実績1,464件(目標1,100件)</p>						
13	障害者手帳交付事業 59,052千円		95.5%	A	B	B	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 障がい者からの手帳交付申請に基づき、適正な障害認定を行い、障害者手帳の交付等を行うことにより、障がい者福祉の増進に寄与した。</p> <p>◎サービス提供による決算額 実績24,916千円(目標26,093千円)</p>						
14	障害児放課後支援事業 17,943千円		100.0%	A	A	B	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 養護学校に通う児童のうち、放課後帰宅しても保護者の監護を受けられない児童に対し、放課後支援事業を実施したことにより、障がい児の健全な育成、保護者の負担軽減に効果があった。</p> <p>◎放課後支援事業利用日数 実績283日(目標283日)</p>						
15	発達障害者サポート事業 6,456千円		127.5%	A	A	A	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 発達障害者支援コーディネーターを配置して、各種相談を行った結果、発達障がい者の福祉の向上に効果があった。 また、「発達障がい児・者サポーター養成講座」を開催したことにより、発達障がい児・者の基本的理解を深めるとともに、ライフサイクルに応じた支援や、地域で生活していくための支援ができる人材の育成に効果があった。</p> <p>相談受付件数 421人 サポーター養成講座修了者 89人</p> <p>◎障害児通所サービス受給者数 実績854人(目標670人)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		16	福祉用品助成等事業 33,082千円 健康福祉局 障がい福祉課		165.0%	A	A	B
		(事業概要、事業実績等) 障がい者(児)に対し、紙おむつの給付、車いすの貸与、福祉電話の貸与、住宅改造の助成等を行ったことにより、本人及びその家族の精神的・経済的負担が軽減した。 ◎紙おむつ支給件数 実績4,949件(目標3,000件)						
17	補装具費・日常生活用具支給等事業 198,801千円 健康福祉局 障がい福祉課		101.8%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 障がい者(児)に対し、補装具や日常生活用具の給付を行ったことにより、本人及びその家族の精神的・経済的負担が軽減した。 ◎補装具給付件数 実績1,018件(目標1,000件)						
18	(評価対象外) 障害福祉サービス給付事業 6,957,366千円 健康福祉局 障がい福祉課							
		(事業概要、事業実績等) 障害福祉サービス費を支給することにより、障がい者(児)の自立した日常生活や社会生活が向上した。 障がい者サービス利用者数 2,808人 障がい児サービス利用者数 857人						
19	障がい者アートリンク事業 12,487千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点 一般重点	250.0%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 希望する障がい福祉サービス事業所へアーティストを派遣し、障がい者が継続して芸術活動を行う中で、作品展などを通じて社会とつながったり、活動が認知されたりすることを通じて、障がい者の社会参加促進に効果があった。 ◎アートリンクに参加した障がい者(児)延べ人数 実績5,500人(目標2,200人)						
20	障害者社会活動支援事業 7,312千円 健康福祉局 障がい福祉課		94.7%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 障害者団体への支援を行うことにより、障がい者(児)の自立支援や社会活動の参加促進に効果があった。 ◎障害者社会見学事業における参加者数 実績1,231人(目標1,300人)						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		21	障害者地域活動支援事業 86,685千円 健康福祉局 障がい福祉課		118.3%	A	A	B
		(事業概要、事業実績等) 地域活動支援センター事業や意思疎通支援事業等を行うことにより、障がい者(児)の自立支援や社会活動の参加促進に効果があった。 ◎利用人数 実績 21,294人(目標18,000人)						
22	障害者福祉タクシー事業 36,267千円 健康福祉局 障がい福祉課		75.7%	A	B	B	B	継続
		(事業概要、事業実績等) 障がい者(児)に福祉タクシー券を交付することにより、障がい者(児)の外出機会を創出し、自立支援や社会参加の推進に効果があった。 ◎タクシー助成券使用率 実績37.83%(目標50%)						
23	福祉のまちづくり推進事業 10千円 健康福祉局 障がい福祉課		70.0%	A	A	B	B	継続
		(事業概要、事業実績等) 香川県福祉のまちづくり条例に基づき、特定施設新築等届出書等の提出を促し審査・指導・助言を行ったことにより、市民の誰もが安全かつ円滑に利用できるような公共的建物等の福祉的環境の整備促進に効果があった。 ◎特定施設整備主に対する指導及び助言数 実績56件(目標80件)						
24	(評価対象外) 障害者移動支援等事業 168,181千円 健康福祉局 障がい福祉課							
		(事業概要、事業実績等) 外出の際の移動の支援、創作活動及び生産機会の提供を行うことにより、障がい者(児)の社会活動への参加の促進に効果があった。 サービス利用者数 954人						

施策	生活困窮者等への自立支援
----	--------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
11,279,766千円	D	13.6%	47.0%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成
担当局	健康福祉局

対象	生活困窮者	意図	困窮の程度に応じ、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長する。 生活保護に至る前の生活困窮者に対して、生活困窮者自立支援法に基づき早期的な支援を行うことにより、生活困窮状態からの早期自立を図る。
	概要(実績)		生活困窮者に対し、困窮の程度に応じ、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長した。生活保護に至る前の生活困窮者に対して、生活困窮者自立支援法に基づき、困窮者それぞれの状態に応じた包括的かつ継続的な自立相談支援事業等を実施したほか、高松市生活困窮者自立支援事業連絡会を開催し、庁内外の関係機関等の連携体制の強化を図るとともに、庁内の連絡会構成課の担当者研修会を実施した。また、就労訓練事業所として、新たに1事業所の認定を行った。

成果指標	①	指標名	勤労収入の増加による生活保護廃止率	H30実績	10.5%	H30目標	20%	達成度	52.5%
		状況	稼働能力のある者には、ハローワーク等と連携して就労指導するとともに、被保護者の状況を把握しながら、段階的に就労機会を増やすなど、経済的自立を目指し取り組んだが、目標を下回った。	達成度の推移					

成果指標	②	指標名	支援プラン作成率	H30実績	15.3%	H30目標	30%	達成度	51.0%
		状況	生活困窮者それぞれの状況に応じて、継続的かつ包括的な支援を実施するための支援プランを作成し、困窮者の早期自立を促したが、支援プランの作成に至るまでの相談者が少なく、目標を下回った。	達成度の推移					

成果指標	③	指標名		H30実績		H30目標		達成度	
		状況		達成度の推移					

施策の課題	<p>経済状況と雇用環境を反映し、生活保護受給者数はやや減少傾向にあるが、ケースワーカー及び査察指導員数の充足を図るなど、実施体制の整備が必要である。</p> <p>生活困窮者自立支援事業については、早期支援を実現するため、地域における生活困窮者の把握など、地域ネットワークを活用した包括的な取組が必要である。</p>
-------	---

施策の方向性	<p>引き続き、生活困窮者に対して健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立支援施策を推進することにより、自立を助長する。</p> <p>生活困窮者自立支援事業については、ニーズに応じた支援を計画的かつ継続的に行う。</p>
--------	---

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	(評価対象外) ホームレス自立支援事業 3千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 生活福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 療養の確保及び日用品等の援助物資を支給した結果、ホームレスの生存が保障され、生活の安定を確保した成果が得られた。</p>						
2	(評価対象外) 行旅死亡人等取扱事業 3,789千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 生活福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 行旅死亡人に対して適切に葬祭・埋葬や、旅費等の救護を行った結果、公衆衛生が維持され、行旅人に係る旅行中の生活を安定させる成果が得られた。</p>						
3	(評価対象外) 中国残留邦人生活支援事業 48,797千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 生活福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 中国残留邦人等の置かれている特別な事情に鑑み、老後の生活の安定と地域での生き生きとした暮らしを実現するため、支援給付や日常生活の助言等の支援をした結果、生活の安定を確保できた。</p>						
4	(評価対象外) 生活保護扶助事業 11,194,151千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 生活福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 要保護者に対して、生活保護の実施及び被保護者就労支援事業を通じて日常生活への自立支援を行った結果、要保護者の最低生活が保障されるとともに、自立を助長した成果が得られた。</p>						
5	(評価対象外) 生活困窮者自立支援事業 33,026千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 生活福祉課	<p>(事業概要、事業実績等) 平成27年度から施行された生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者が抱える複合的な課題を十分に把握し、他の機関と連携して支援計画を作成するなど、それぞれの状態に応じた包括的かつ継続的な自立相談支援事業を実施し、困窮状況からの早期脱却に向けて支援した。</p>						

平成30年度 政策の概要調書

総合計画 画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり

総合評価
B

1 政策の概要

健康で元気に暮らせる環境づくりを図るため、健康寿命の延伸と生活の質の向上を目指し、健康づくりの普及啓発や生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底を推進し、乳幼児から高齢者までのライフステージに応じた健康づくりの推進に努めるほか、感染症の発生予防、まん延防止に努めます。

また、医療人材の確保や監視指導などによる医療機関等の適正な運営の確保とともに、市立病院の充実や、救急医療体制の確保に努め、市民が安心できる医療体制の充実を図ります。

また、国民健康保険を始め、介護保険や後期高齢者医療などの社会保障制度の適切な運営に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
健康づくりの推進	54%	D
医療体制の充実	88%	A
社会保障制度の適切な運営	96%	A
平均	79%	B

3 政策の評価

健康で元気に暮らせる環境づくりに向けて、3施策に取り組んだ。

「健康づくりの推進」では、設定する3つの成果指標のうち、介護保険の要介護2～5の認定率において、目標を達成したものの、がん検診受診率及び内臓脂肪症候群該当者出現率（国保ベース）については、目標に届かなかった。

「医療体制の充実」では、設定する3つの成果指標のうち、地域医療機関への逆紹介率について、平成30年9月に高松市立みんなの病院が移転したことに伴い、初診患者数が増加したことから、目標に届かなかったものの、他の2つの指標については、目標を達成又は概ね達成した。

「社会保障制度の適切な運営」では、設定する3つの成果指標について、目標を概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は79%となり、政策全体として目指す方向に概ね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
健康づくりの推進	49.8%	11.3%	79.5%
医療体制の充実	46.8%	17.6%	85.9%
社会保障制度の適切な運営	26.1%	19.5%	79.9%
平均	40.9%	16.1%	81.8%

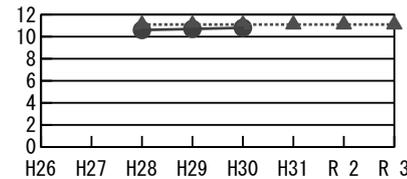
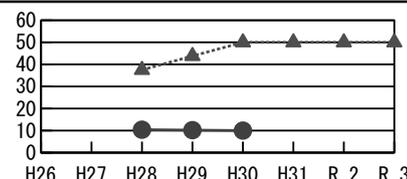
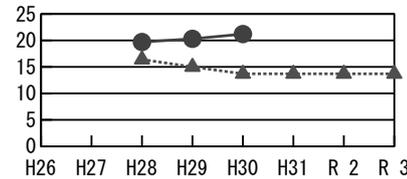
施策	健康づくりの推進
----	----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,756,632千円	D	49.8%	79.5%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	健康で元気に暮らせる環境づくり
担当局	健康福祉局

対象	市民	意図	健やかに心豊かに生活できる。

概要(実績)
 各種健康診査や健康教室、食育の推進等の取組により、市民の心身両面の健康づくりを推進した。また、予防接種事業等の実施により、感染症予防対策を推進した。

成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		① 状況	介護保険の要介護2～5の認定率	10.8%
	現時点では、目標値以上に達成できている状況である。引き続き、市民の健康づくりの取組を進め、更なる向上を目指していきたい。	達成度の推移		
				
② 状況	がん検診受診率	10%	50%	20.0%
	がん検診の対象者数算出方法の変更に伴い、受診率が低下しており、目標達成が困難な状況であるが、引き続き、がん検診の周知啓発に努めることにより、受診率の向上を目指していきたい。	達成度の推移		
				
③ 状況	内臓脂肪症候群該当者出現率(国保ベース)	21.2%	13.7%	45.3%
	現時点では、目標値を達成できていない状況である。市民の健康づくりの取組を、一層、効果的に推進することなどにより、目標達成を目指していきたい。	達成度の推移		
				

施策の課題
 平成30年度に中間見直しを行った、市民の健康づくりの指針である「高松市健康都市推進ビジョン」に基づき、各種検診・健診の充実や食育の推進など、市民主体の健康づくりの取組を引き続き推進するとともに、これらの取組の周知・啓発に努め、市民の検診等の受診や事業への参加を促す必要がある。

施策の方向性
 健康都市高松の実現に向け、乳幼児期から高齢期に至る、それぞれのライフステージに応じた心と体の健康づくりや食育の推進、予防接種事業等の感染症予防対策などの取組を通じて、市民の健康づくりへの意識を高めることなどにより、市民一人一人が健やかに暮らせる環境づくりを推進していく。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	骨髄等移植ドナー支援事業 800千円 健康福祉局 保健対策課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
						A	A	A
		(事業概要、事業実績等) ドナーに対する助成を6件及び事業所に対する助成を4件行った。						
2	(評価対象外) 保健統計調査事業 1,115千円 健康福祉局 保健対策課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) 統計法に基づき実施される統計調査(人口動態調査等)の厚生労働省受託事務として円滑に実施した。						
3	(評価対象外) 保健所管理運営事業 28,808千円 健康福祉局 保健対策課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) 効率的な保守点検に努め、必要な修繕措置を行った結果、施設・設備とも適正に維持管理できた。						
4	(評価対象外) 栄養改善指導事業 3,667千円 健康福祉局 保健センター	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) 巡回指導等を通じて、特定給食施設等への指導及び助言を行ったことにより、対象施設の適切な給食管理に資することができた。						
5	(評価対象外) 原爆被爆者健康診断事業 68千円 健康福祉局 保健センター	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) 原子爆弾被爆者を対象とした健康診断の通知を行うなど、被爆者の健康の保持増進に寄与した。						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	(評価対象外) 国民健康・栄養調査事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1千円							
健康福祉局 保健センター		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>国から委託を受け、国民健康・栄養調査を実施する事業であるが、平成30年度においては、国からの調査該当地区指定がなかったため、実施しなかった。</p>						
7	自殺対策推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,921千円	一般重点	113.4%	83.3%	A	A	B	A
健康福祉局 保健センター		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>自殺予防について、地域や職域で広く健康教育や啓発事業に取り組んだ。特に、9月の自殺予防週間には瓦町FLAGで展示啓発や県と合同でキャンペーン活動を実施したほか、3月の自殺対策強化月間には琴電瓦町駅でのキャンペーンと図書館及び瓦町FLAGでの展示啓発を行った。また、若者層への自殺予防対策として「こころの体温計システム」を活用し、高校文化祭や2学期開始時に市内中学3年生に向け「こころの体温計カード」を配布し、自殺予防啓発に取り組んだ。また、自殺予防や相談対応の知識・技術等の向上を図るため、職員及び相談従事者研修を実施した。</p> <p>◎健康教育の参加者数 実績5,332人(目標4,700人) ◎支援人数 実績5人(目標6人)</p>						
8	精神障害者社会復帰支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,225千円		73.9%		A	A	B	B
健康福祉局 保健センター		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>精神障害者社会復帰支援事業の一つとしてデイケアを実施し、グループ活動を通して、精神障害者同士の交流を図り、仲間づくりの場を提供できた。また、当事者のための生活スキルアップセミナーを実施し、精神障害者の社会参加や自立を促した。また、統合失調症家族教室も実施し、家族に対して病気への対応と正しい知識の周知啓発を行い、精神保健福祉に係る普及啓発に寄与した。</p> <p>◎デイケア参加者延べ数 実績525人(目標710人)</p>						
9	精神保健福祉普及啓発・相談事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,121千円		115.7%		A	A	B	A
健康福祉局 保健センター		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>こころの健康相談やこころの健康セミナーを実施し、市民に対して、こころの健康づくりやこころの病気の理解と正しい知識の周知啓発活動に取り組んだ。特に、こころの健康セミナーでは、開催場所を瓦町FLAGで実施するなど、より参加しやすい環境づくりに努め、効果があった。また、統合失調症家族教室も実施し、家族に対して病気への対応と正しい知識の周知啓発を行い、精神保健福祉に係る普及啓発に寄与した。</p> <p>◎啓発事業・家族教室の参加者数 実績590人(目標510人)</p>						
10	地域食育推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,408千円		92.8%	83.4%	A	A	A	A
健康福祉局 保健センター		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>野菜摂取量増加に向けた取組を「たかつ野菜たっぷり生活プロジェクト」として、食育フェスタや野菜たっぷり生活キャンペーン、ラリー等を実施するとともに、食生活改善推進協議会活動の支援や、「食」の大切さを伝えるフードスタート運動を継続的に実施した結果、市民の「食」への関心を高めることができた。</p> <p>◎食育に関心をもつ人の割合 実績83.5%(目標90%) ◎伝達講習会参加者数 実績2,502人(目標3,000人)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性			
11	地域保健推進事業		199.3%	93.7%	A	B	A	A	継続
	2,172千円	<p>(事業概要、事業実績等) 地域に密着した、きめ細かな保健事業を推進するため、保健委員会連絡協議会の運営を補助し、ブロック研修会及び本市との共催事業等を開催した結果、市民の健康意識が向上した。 また、地域及び企業・事業所等の職域に対して、健康運動指導士を派遣した運動教室を開催し、運動推進に寄与した。</p> <p>◎講演会等参加者数 実績3,189人(目標1,600人) ◎講演会等参加者満足度 実績93.7%(目標100%)</p>							
健康福祉局 保健センター									
12	難病患者地域支援ネットワーク事業		102.2%		A	A	B	A	継続
	144千円	<p>(事業概要、事業実績等) 難病患者及び家族に対して、地域における保健医療・福祉の充実と連携を図るため、保健師等の家庭訪問及び健康相談により、在宅療養の支援を行い、医療講演会・相談会・交流会等の開催により、安定した療養生活の確保と生活の質の向上に寄与した。</p> <p>◎事業参加者満足度 実績92%(目標90%)</p>							
健康福祉局 保健センター									
13	8020(歯科保健)推進事業		180.6%		A	B	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) ライフステージに応じた歯科保健事業を実施し、歯と口腔の健康づくりを推進した。 協会けんぽとの連携により、歯科健康教室を企業へ出向き実施することで、働く世代への歯科保健の普及啓発を行うことができた。</p> <p>◎幼児歯科健康診査受診者数 実績1,987人(目標1,100人)</p>							
健康福祉局 保健センター									
14	保健活動事業		93.1%		A	A	B	A	継続
	29,260千円	<p>(事業概要、事業実績等) 保健師等による家庭訪問、健康相談、事務所相談、健康診査、健康教育、地区組織活動を実施したことにより、市民の健康づくりの気運が向上し、健康増進に寄与した。</p> <p>◎参加者の満足度 実績93.1%(目標100%)</p>							
健康福祉局 保健センター									
15	(評価対象外)保健センター管理運営事業								
	80,402千円	<p>(事業概要、事業実績等) 施設運営に支障を来さないよう、年間を通して計画的に各種保守点検業務を実施したほか、修繕については、空調の不具合による緊急工事など、緊急性の高いものから順次取り組んだ結果、安全かつ良好な施設の維持管理ができた。 また、各地域保健活動センターについては、地域の保健事業等に活用ができたことにより、各地域での市民の健康の保持及び増進に寄与することができた。</p>							
健康福祉局 保健センター									

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		16	(評価対象外) ほっとぴあん運営事業 21,000千円 健康福祉局 保健センター					
		(事業概要、事業実績等) ハウス美装工業株式会社を指定管理者として運営を委託し、適切に維持管理を行ったことにより、市民の健康増進に資することができた。						
17	がん対策推進事業 343,802千円 健康福祉局 保健センター	重点 一般重点	成果達成度 20.0%	妥当性 A	有効性 A	効率性 B	総合評価 D	今後の方向性 継続
		(事業概要、事業実績等) がん検診対象者の全市民に受診券を送付し、胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん・前立腺がん検診を実施した。また、地域や職域におけるがん予防の普及啓発、乳がん・子宮頸がん検診未受診者に対する再勧奨、精密検査未受診者に対する受診勧奨などを行い、がんの早期発見・早期治療につなげることができた。 ◎がん検診受診率 実績10% (目標50%)						
18	健康づくり推進事業 58,983千円 健康福祉局 保健センター	重点	成果達成度 75.0% 82.4%	妥当性 A	有効性 B	効率性 B	総合評価 B	今後の方向性 継続
		(事業概要、事業実績等) 健康増進法に基づき、生活習慣病予防、健康増進など、心身の健康に関する正しい知識の普及啓発を行ったことにより、壮年期からの健康保持・増進に寄与した。 ◎健康教育の参加者数 実績10,497人(目標14,000人) ◎健康相談の参加者数 実績6,177人(目標7,500人)						
19	(評価対象外) 予防接種事業 1,117,375千円 健康福祉局 保健センター	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) 子どもの定期予防接種及び高齢者に対する成人用肺炎球菌予防接種、インフルエンザ予防接種を実施することで、感染症予防等、市民の健康維持に寄与した。 なお、風しんに関する追加的対策については、国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するため、事業費を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：108,249,000円)						
20	(評価対象外) エイズ相談事業 242千円 健康福祉局 感染症対策室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) 保健所でHIV抗体無料検査、相談等を行い、エイズについてのまん延防止、正しい知識の普及啓発を行った。 また、従来からの一般市民を対象とした活動に加え、近年では青年層を対象とした講演や文化祭でのパネル展示を実施する等、積極的な啓発活動を行った。						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
21	(評価対象外) 感染症予防事業 31,555千円							
	健康福祉局 感染症対策室	<p>(事業概要、事業実績等) 研修会、出前講座といった職員や市民に対する啓発活動の機会を増やし、予防啓発を推進した。感染症発生時には、疫学調査、まん延防止対策等、迅速・適正な対応を行った。保健所と指定医療機関でのB・C型肝炎無料検査により早期に陽性者を発見し、受診勧奨等を行った。</p>						
22	(評価対象外) 結核予防事業 24,563千円							
	健康福祉局 感染症対策室	<p>(事業概要、事業実績等) 保健所と医療機関が連携を密にして、結核患者に対し適正な指導を行い、再発防止のために服薬支援を実施した。家族等の接触者には健康診断を実施する等、早期発見に取り組んだ。また、健康教育や講演会を開催する等、市民に対して結核についての正しい知識の普及啓発を行った。</p>						

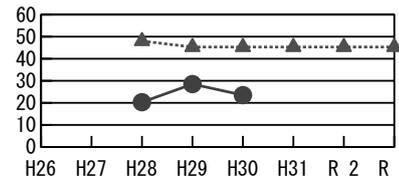
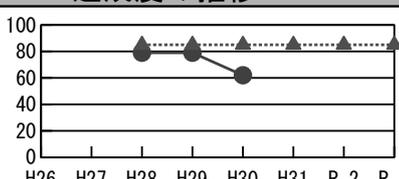
施策	医療体制の充実
----	---------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
4,390,566千円	A	46.8%	85.9%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	健康で元気に暮らせる環境づくり
担当局	健康福祉局、市民政策局

対象	市民	意図	安定した医療供給体制を整えることにより、市民が安心して暮らすことができる環境づくりを目指す。
----	----	----	--

概要(実績)
 医事監視指導事業 医療機関への立入検査を実施した。
 医療安全支援センター運営事業 市民からの医療に関する相談対応など、医療安全の確保を図った。
 薬事監視指導事業 薬局・医薬品販売事業者等の許認可申請に対する審査・薬事監視指導を実施することにより、医薬品等の有効性・安全性を確保し、市民の保健衛生の向上に寄与した。
 市立病院運営 市民病院と香川診療所を移転統合し、平成30年9月からスタートした「みんなの病院」では、急性期病院としての医療機能の充実を図る一方、地域包括ケアの後方支援にも取り組んだ。また、塩江分院では、保健、医療、福祉が一体となった「地域まるごと医療の実践」を基本方針として病院運営に当たり、地域医療に貢献した。
 新病院整備事業 建設工事を施工するとともに、医療機器の購入、病院移転計画の策定を行い、平成30年9月1日に「高松市立みんなの病院」を開院した。

成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度	
		① 状況	立入検査違反率	23.5%	45.3%
		平成30年度の立入検査件数は132件で、違反施設数は31件であった。29年度と比較して違反率は減少し、目標を達成することができている。違反施設に関しては、改善計画書の提出を求め、適正な管理となるよう努めた。			
	② 状況	地域医療機関からの紹介率	58%	60%	96.7%
		地域医療支援病院として、地域医療機関への訪問や地域医療連携カンファレンス、セミナー等の症例検討会を通して、顔の見える関係を築き、スムーズな連携・受入れを行った。30年9月仏生山町への病院移転に伴う入院調整により、前年度実績をやや下回ったものの、移転を機に順調に回復している。			
	③ 状況	地域医療機関への逆紹介率	62%	85%	72.9%
		後方支援病院として、かかりつけ医を推奨していることから入院調整のスムーズな連携に取り組んでいる。30年9月仏生山町への病院移転に伴う入院調整により、7、8月は著しく伸びたが、9月を境に初診患者数が増加したことで逆紹介率は前年より1.7ポイント下がっている。			

施策の課題
 【健康福祉局】医療現場においては、地域間・診療科間における医師の偏在等による医師不足や専門診療科不足が深刻であり、医師の確保や地域医療等の充実が必要である。また、災害時医療救護体制の整備を更に進めるため、災害時医療救護活動マニュアルを踏まえ、地域災害医療対策会議を設置するとともに、災害医療コーディネーターを委嘱する必要がある。
 【病院局】新規患者の更なる獲得を図るとともに、可能な限り経費圧縮に努め、病院事業の健全経営に取り組む必要がある。また、附属医療施設については、できる限り早期に開院する必要がある。

施策の方向性
 【健康福祉局】地域医療や救急医療体制を確保するため、地域間・診療科間の医師偏在を解消するなど、国・県主導の下、関係機関と連携しながら医師の確保に努める必要がある。また、災害時医療救護体制については、地域災害医療対策会議や災害医療コーディネーターと連携しながら、災害時医療救護活動マニュアルに沿った実践的な訓練・研修に取り組む必要がある。
 【病院局】「第3次高松市病院事業経営健全化計画」に基づき、引き続き、救急患者の積極的な受入れや、がん医療に重点的に取り組むなど、良質な医療の提供と経営の健全化に取り組む必要がある。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	医療安全推進事業 335千円 健康福祉局 保健対策課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				146.2%		A	A	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 医療安全支援センターの運営により、医療に関する市民の相談に対応した他、医療機関への医療安全に関する情報提供を行うなど、市民の医療に対する信頼の確保に寄与した。結果、医療相談の対応に納得した相談者は、目標値55%に対して実績値80.4%で、相談満足度が向上した。</p> <p>◎相談者の納得度「納得した」の割合 実績80.4% (目標55%)</p>						
2	(評価対象外) 薬事監視指導事業 758千円 健康福祉局 生活衛生課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 保健衛生上の見地から、医薬品医療機器等法に基づき薬局、医薬品販売業者、医療機器販売業者等の許可申請・届出に対する審査・指導及びこれらの施設に対する監視指導を実施することにより、医薬品、医療機器等の有効性及び安全性を確保し、市民の保健衛生の向上に寄与した。</p>						
3	看護師養成所運営補助事業 3,555千円 健康福祉局 地域医療対策室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			98.0%		A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 看護師及び准看護師の養成所に対し、運営費の一部を助成することにより、医療人材の確保に努めるとともに、医療体制の充実に寄与した。</p> <p>入学定員数 125人 卒業生数 122人 資格試験合格者数 119人 (合格率98%)</p> <p>◎養成所卒業生の資格取得率 実績98% (目標100%)</p>						
4	災害時医療救護事業 1,602千円 健康福祉局 地域医療対策室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%	100.0%	A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 災害時における円滑な医療救護活動を行うため、高松市内3医師会連合会及び高松市歯科医師会の医療救護事業に対し、助成を行うことにより、医療救護班の派遣体制の確保に寄与した。 また、災害時に避難所・応急救護所等で使用するための備蓄医薬品等のうち、期限切れのものについて更新を行った。</p> <p>◎備蓄医薬品のうち有効期限内である医薬品の割合 実績100% (目標100%) ◎医療救護活動の実施率 実績100% (目標100%)</p>						
5	産科医等確保支援事業 4,389千円 健康福祉局 地域医療対策室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			87.0%		A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 医療施設が産科医及び助産師に支給する、分娩手当に係る費用の一部を助成することにより、処遇改善を通じ、産科医等の確保に寄与した。 (負担割合は国・県1/2、市1/6、事業者1/3)</p> <p>対象施設 4施設 医師・助産師従事者数 40人 分娩件数 771件</p> <p>◎該当施設における産科医及び助産師の従事人数 実績40人 (目標46人)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	寄附講座開設事業 69,652千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				525.0%	33.3%	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 香川大学医学部に寄附講座を設置し、過疎化や高齢化が進む地域に存在する、に 高松市民病院江分院を一つ専門医を育成・確保するとともに、保健・福祉等 の係機関と連携した地域に必要医療を研究することにより、あるべき地域医 療提供体制の確立に寄与した。附講座を設置し、高松市立みんなの病院において、 また、徳島大学医学部に寄与した。附講座を設置し、高松市立みんなの病院において、 ファイナルドワンクとして専門性の高い消化器内科・総合内科及び循環器内科診療 を行いつつ、医学生及び専門的診療能力を有する医師等の人材育成を行い、高松 地域における医療レベルの向上に寄与した。</p> <p>◎大学からの医学生受入人数 実績4人(目標8人) ◎地域医療に関する講演会開催数 実績1回(目標3回)</p>						
健康福祉局 地域医療対策室								
7	(評価対象外) 離島救急患者輸送事業 937千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 本市の離島において救急患者が発生し、船舶を借り上げて輸送した場合の輸送 費補助を行うことにより、離島住民等の福祉の向上に寄与した。 なお、平成30年度は、男木島で1件の実績があった。</p>						
市民政策局 地域振興課								
8	在宅当番医制等事業 23,073千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%	111.2%	A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 地区医師会に委託し、各医師会調整の下、休日(日曜・祝日)に当番制で休日 診療(原則9:00~18:00)を行うことにより、休日における初期救急医 療体制の確保に寄与した。 診療日数 72日 患者数 29,787人(綾歌地区医師会を除く。)</p> <p>◎休日における休日当番医の開設稼働率 実績100%(目標100%) ◎市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度 実績46.8%(目標42.1%)</p>						
健康福祉局 地域医療対策室								
9	歯科救急医療センター休日・夜間救 急歯科診療事業運営補助事業 12,000千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%	111.2%	A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 休日及び夜間に、歯科救急医療センターにおいて歯科診療を行う高松市歯科医 師会に対し、運営費の一部を助成することにより、休日・夜間における歯科救急 医療体制の確保に寄与した。 (診療時間は休日9:00~16:00(12:00~13:00は休憩)、夜 間は月~土曜19:30~22:00) 診療日数 (休日)75日 (夜間)293日 患者数 (休日)1,528人 (夜間)1,140人</p> <p>◎休日・夜間における救急歯科診療の開設稼働率 実績100%(目標100%) ◎市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度 実績46.8%(目標42.1%)</p>						
健康福祉局 地域医療対策室								
10	病院群輪番制運営補助事業 66,081千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%	111.2%	A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 夜間の二次救急医療体制を確保するため、輪番病院の運営・調整に係る費用に 対し、助成をすることにより、夜間における重症患者の受入体制の確保に寄与し た。 輪番制による受入患者数4,575人(補助対象外の県立中央病院を除く。) 夜間急病診療所からの転送患者数392人(県立中央病院を含む。)</p> <p>◎夜間における輪番病院の開設稼働率 実績100%(目標100%) ◎市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度 実績46.8%(目標42.1%)</p>						
健康福祉局 地域医療対策室								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	病院群輪番制病院設備整備費補助事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	12,694千円		100.0% 111.2%	A	A	B	A	継続
健康福祉局 地域医療対策室		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>輪番病院の設備整備に係る費用に対して助成を行い、診療に必要な設備を整備することにより、二次救急医療体制の充実に寄与した。</p> <p>対象施設数 1病院 対象設備 内視鏡システム</p> <p>◎夜間における輪番病院の開設稼働率 実績100% (目標100%) ◎市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度 実績46.8% (目標42.1%)</p>						
12	(評価対象外) 夜間急病診療所運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	182,302千円							
健康福祉局 地域医療対策室		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>夜間における初期救急医療体制を確保するため、高松市医師会を指定管理者として、夜間急病診療所の運営を行った。診療時間は19:30～23:30で、診療科目は毎日の内科・小児科に加え、木曜日に耳鼻咽喉科、土曜日に眼科の診療を行うとともに、重症患者は二次輪番病院に転送するなど、二次救急医療機関との連携体制を確保した。</p> <p>診療日数 365日 患者数 14,421人 (内科) 6,637人 (小児科) 7,427人 (耳鼻咽喉科) 178人 (眼科) 179人</p>						

施策	社会保障制度の適切な運営
-----------	--------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
103,430,331千円	A	26.1%	79.9%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	健康で元気に暮らせる環境づくり
担当局	健康福祉局、市民政策局

対象	市民（国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険及び国民年金制度の各事業の対象者）	意図	市民が健やかにいきいきと暮らせるよう、安心して医療・介護・年金を受けることができる社会保障制度を適切に運営する。
-----------	---	-----------	--

概要（実績）

国民健康保険の保険料の賦課・徴収事務及び保険給付事務の適正な執行により、国民健康保険事業の適切な運営を図った。また、国民健康保険及び介護保険の保険給付費の適正化の周知活動に努めるとともに、新たな事業に取り組んだことにより、市民の健康保持に対する意識が向上した。また、直営診療施設事業により、離島の医療体制を確保し、住民の健康保持・増進に寄与した。また、後期高齢者医療制度の適切な運営の支援・促進を行った。さらには、介護を必要とする高齢者が、地域において安心して必要なサービスを受けられるよう、介護保険料の賦課・徴収事務や、介護保険給付、要介護認定、サービス事業所の指定等の事務の適正な執行とともに、介護給付費等適正化事業の推進やサービス提供事業所の指導監督の徹底など、介護保険事業の適切な運営を行った。また、国民年金制度について広報たかまつ等を通じて周知するなど、市民の年金受給権確保に努めた。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		国民健康保険の被保険者1人当たりの保険給付費	369,981円	367,817円
①	状況	医療費通知、特定健康診査等の保健事業に積極的に取り組み、保険給付費の上昇抑制を図ったものの、一人当たりの保険給付費は上昇する結果となり、目標の達成には至らなかった。		
②	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		介護保険サービス利用率	83.3%	83.6%
②	状況	適切な介護サービスの利用について助言や指導などを行い、適正に管理することができた。		
③	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		1人当たり介護サービス費用額	148,693円	146,799円
③	状況	介護予防の推進やケアマネジャー及び事業所への指導・助言を行うなど、給付費の適正化を図ったものの、医療系サービスの利用者の増加のほか、報酬改定の影響もあり、一人当たり介護サービス費用額は上昇する結果となり、目標の達成には至らなかった。		

施策の課題

【健康福祉局】国民健康保険・介護保険の被保険者一人当たりの保険給付費を抑制するため、生活習慣病予防の取組や重症化予防、介護予防の取組とともに、地域包括ケアシステムの構築による在宅医療・介護連携を推進する必要がある。後期高齢者の急増に伴い、介護給付費が増高する中、介護保険料収納率の向上や、適正な保険給付が課題となっている。また、公正かつ的確な要介護（要支援）認定のほか、介護サービスの質の向上を始め、見込量の適切な把握とともに、これを充足する介護サービス提供体制を確保する。

【市民政策局】国民年金制度について、更に積極的な周知・啓発に努める必要がある。

施策の方向性

【健康福祉局】国民健康保険料の賦課・徴収及び保険給付事務の適正な執行により、国民健康保険事業の適切な運営を図るほか、後期高齢者医療制度の適正な運営の支援を行う。また、介護保険制度の安定的な運営を図るため、介護保険料の賦課・徴収、保険給付事務や要介護（要支援）認定を適正に行うとともに、サービスの質の向上を図ることにより、介護や支援を必要とする高齢者が、適切かつ効果的に介護サービスを利用できるようにする。

【市民政策局】国民年金制度について広報たかまつ等を通じて周知するなど、市民の年金受給権の確保に努める。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1	国民健康保険保健事業 426,071千円 健康福祉局 国保・高齢者医療課		99.4%	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 早期発見による疾病の発生や重症化を予防するため、特定健康診査、糖尿病性腎症等重症化予防事業、さらには、後発医薬品の適正化に寄与した。各種保健事業に積極的に取り組み、健康増進と保険給付費の適正化を図った。また、施策達成するための成果指標である国民健康保険の被保険者1人当たりの保険給付費の上昇抑制に取り組んだ結果、実績は369,981円(目標367,817円)となった。</p> <p>◎国民健康保険の被保険者1人当たりの保険給付費の上昇抑制 実績369,981円(目標367,817円)</p>						
2	(評価対象外) 後期高齢者医療事業 9,887,452千円 健康福祉局 国保・高齢者医療課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 広域連合が保険者である後期高齢者医療制度の窓口業務等を行い、適正に運営した。人間ドック・歯科ドックの助成をすることで、早期発見による疾病の発生や重症化・長期化を防止し、市民の健康保持に対する意識の向上に寄与した。</p>						
3	(評価対象外) 国民健康保険運営事業 12,500,358千円 健康福祉局 国保・高齢者医療課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 国民健康保険法等に基づき被保険者に保険証を交付したほか、適正な資格管理や保険料の賦課限度額の引き上げ等、適正な賦課を行うとともに、一般会計からの繰入金を充当することにより、国民健康保険事業の適正で安定的な運営を行うことができた。また、介護納付金等、他の法律等に基づく費用等を納付すること等により、国民健康保険事業の健全な運営を確保し、社会保障及び市民福祉の向上を図った。</p> <p>なお、システム改修内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：8,856,000円)</p>						
4	(評価対象外) 国民健康保険給付事業 31,631,480千円 健康福祉局 国保・高齢者医療課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 国民健康保険被保険者に対し、疾病・負傷の治療を目的とした療養の給付や出産・死亡に関する必要な保険給付を行うことにより、適正な事業運営を行うことができた。</p>						
5	(評価対象外) 国民健康保険料収納事業 51,829千円 健康福祉局 国保・高齢者医療課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 保険料等納付推進員の雇用、休日・夜間開庁による納付相談、コールセンターを含む電話催告を実施することにより、保険料の収納を確保した。また、長期滞納者に対し、滞納処分を適切に執行することにより、滞納保険料の収納につながった。このほか、口座振替の推進、コンビニエンスストアでの収納を行うことにより、被保険者の利便性を確保した。</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	(評価対象外) 国民健康保険直営診療施設運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	26,222千円	(事業概要、事業実績等) 離島(女木島・男木島)の医療体制を確保するとともに、診療所事業の適正な運営を行うことにより、住民の健康保持・増進に寄与した。						
健康福祉局 国保・高齢者医療課								
7	(評価対象外) 介護給付等費用適正化等事業(地域支援任意事業)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	30,791千円	(事業概要、事業実績等) サービスの適正利用のため、介護給付費通知をサービス利用者及び家族に発送し、点検を促したほか、ケアマネジャーや事業所への指導・助言を行ったことなどにより、不適切な給付を抑制した。						
健康福祉局 介護保険課								
8	(評価対象外) 介護保険運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	954,019千円	(事業概要、事業実績等) 保険料の適正賦課や納付における口座振替制度の利用促進のほか、保険料等納付推進員制度を活用することで保険料収入を確保することができた。						
健康福祉局 介護保険課								
9	(評価対象外) 介護保険給付事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	35,640,769千円	(事業概要、事業実績等) 香川県国民健康保険団体連合会に審査支払事務を委託するなどにより、適正な事業費の支給を行った。また、自己負担軽減等の制度を活用してもらうことにより、利用者にとっても使いやすい介護保険とすることができた。						
健康福祉局 介護保険課								
10	(評価対象外) 介護保険認定事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	287,254千円	(事業概要、事業実績等) 公正かつ的確な要介護(要支援)認定を行うために、介護認定審査会委員及び認定調査員の能力の向上を図り、介護認定審査会を適正に実施することができた。						
健康福祉局 介護保険課								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	(評価対象外) 国民年金事務							
	9,806千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>国民年金に関する各種届出事務や相談業務等を適正に実施した。また、市民の年金受給権を確保するため、国民年金制度について広報たかまつ等を通じて周知した。</p>						
	市民政策局 市民課							

(2) 心豊かで未来を築く人を育むまち

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
	政策	男女共同参画社会の形成

総合評価
B

1 政策の概要

男女共同参画社会の形成を図るため、社会のあらゆる分野の政策・方針決定過程への女性の参画拡大を促進するとともに、基本的人権としての男女平等の実現に向けた取組を着実に推進します。

また、長時間労働の是正等による働き方改革を進め、仕事と家庭を両立できる環境を整備することなどにより、女性の活躍とワーク・ライフ・バランスを推進し、男女が共に、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画の推進に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
男女共同参画の推進	75%	B
平均	75%	B

3 政策の評価

男女共同参画社会の形成に向けて、1 施策に取り組んだ。

「男女共同参画の推進」では、設定する3つの成果指標のうち、事業所における女性従業員の割合及び男性の育児休業者がいた事業所の割合については、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は75%となり、政策全体として目指す方向に概ね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
男女共同参画の推進	14.0%	14.2%	54.1%
平均	14.0%	14.2%	54.1%

施策	男女共同参画の推進
----	-----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
42,163千円	B	14.0%	54.1%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	男女共同参画社会の形成
担当局	市民政策局、健康福祉局、教育局

対象	市民	意図	男女共同参画社会を形成するため、男女共同参画市民フェスティバルなど、様々な機会を通じて意識啓発を図るとともに、男女共同参画センターを市民の活動拠点として、家庭や職場など、あらゆる分野への参画の促進や、共に豊かで安心できる生活・環境づくりを推進し、男女共同参画の社会づくりを進める。
	概要(実績)		女性活躍推進法に基づく女性の活躍促進事業として、企業等の一般事業主行動計画策定支援のためのアドバイザー派遣や企業認定・表彰などを行うとともに、女性の就労相談事業を行った。また、コミュニティセンター等において女性教室を開催し、女性の自主的な学習や社会活動への参画を促した。さらに、女性相談業務において、配偶者等からの暴力(DV)を受けた被害者を始め、様々な悩みを抱える女性に対する事情に即した情報提供や、必要性・緊急性に応じて、関係機関と連携しながら適切な保護を実施する等の支援を行った。

成果指標	①	指標名	審議会等における女性委員の割合	H30実績	39.4%	H30目標	41.2%	達成度	95.6%
		状況	平成30年度における目標数値は達成できなかった。今後とも、高松市における審議会等委員への女性の登用推進要綱等に基づき、女性委員の割合拡大を推進する必要がある。	達成度の推移					

成果指標	②	指標名	事業所における女性従業員の割合	H30実績	31%	H30目標	46.2%	達成度	67.1%
		状況	平成30年度調査において、目標達成状況としては7割程度であるが、今後とも意識啓発に努め、女性が継続して就労できる環境づくりや職域を拡大していく必要がある。	達成度の推移					

成果指標	③	指標名	男性の育児休業者がいた事業所の割合	H30実績	2.6%	H30目標	3.9%	達成度	66.7%
		状況	平成30年度調査において、目標達成状況としては7割程度である。今後とも男性の育児休業取得に向けた意識啓発を行う必要がある。	達成度の推移					

施策の課題	【市民政策局】女性の活躍推進や子育て世代の女性の就労環境など、経済情勢や新たな社会問題から生じる課題に対応するため、男女共同参画への更なる意識啓発が必要である。【健康福祉局】配偶者等からの暴力(DV)を受けた被害者を始め、離婚問題や生活困窮等さまざまな悩みを抱える女性に対し、自立に向けた支援が必要であり、女性相談業務の専門性の向上や関係機関との連携強化等、更なる支援体制の充実を図ることが必要である。【教育局】社会情勢の変動等に伴い、多様化する女性の価値観やニーズを的確に把握して、時代に即応した講座の実施が求められている。
-------	---

施策の方向性	男女共同参画社会の形成に向け、これまでの取組を継承しつつ、「第4次たかまつ男女共同参画プラン」において取り組むこととしている各種啓発活動や相談事業などについて、市民参画の手法を用いながら、総合的・計画的に実施する。
--------	---

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1	女性団体育成事業		68.7%	125.0%	A	B	B
950千円	(事業概要、事業実績等) 男女共同参画の視点から、地域社会の発展に寄与することを目的とした女性団体の活動を支援した。 ◎地域コミュニティ協議会における正副会長のうち女性の割合 実績21.3% (目標31%) ◎団体活動回数 実績25回 (目標20回)								
	市民政策局 男女共同参画・協働推進課								
2	女性の活躍促進事業	重点	50.0%	100.0%	A	B	A	B	継続
	4,222千円	(事業概要、事業実績等) 女性活躍推進法に関するセミナーの開催や女性活躍企業認定・表彰の実施など、女性の管理職登用やワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を増加させる事業を実施したことにより、女性の職業生活における活躍を推進し、男女が共に、あらゆる分野で活躍できる社会の形成に寄与した。 ◎管理職に占める女性の割合が30%以上である事業所の割合 実績15% (目標30%) ◎本市の支援を受けて策定された一般事業主行動計画の数 実績5本 (目標5本)							
	市民政策局 男女共同参画・協働推進課								
3	女性の就労相談事業	重点	166.7%	167.5%	A	B	A	A	継続
	2,000千円	(事業概要、事業実績等) 女性のための就労相談窓口において、働くことを希望する女性の就業機会を増加させる事業を推進したことにより、女性の職業生活における活躍を推進し、男女が共に、あらゆる分野で活躍できる社会の形成に寄与した。 ◎女性の就労相談窓口利用者のうち就業につながった人数 実績50人 (目標30人) ◎女性の就労相談件数 実績201件 (目標120件)							
	市民政策局 男女共同参画・協働推進課								
4	(評価対象外) 女性相談事業	重点							
	8,693千円	(事業概要、事業実績等) 配偶者等からの暴力をはじめとする問題・悩みを抱える女性に対して、事情に即した情報提供を行うことや、必要性・緊急性に依りて、関係機関と連携しつつ適切な保護を実施する等の支援を行った。 平成30年度 相談延べ件数：3, 435件 実人員：649人 うち、DV被害相談延べ件数：1, 146件 実人員：255人							
	健康福祉局 こども女性相談課								
5	男女共同参画社会推進事業	重点	95.9%	90.0%	A	B	A	A	継続
	1,104千円	(事業概要、事業実績等) 男女共同参画都市宣言の趣旨を踏まえ、男女共同参画週間に講演会、弁護士相談、パネル展を実施したほか、男女共同参画市民フェスティバルなどの機会に、広く市民に対する啓発活動を行うなど、男女共同参画社会の推進に寄与した。 ◎事業に対する満足度 (アンケートなど) 実績94% (目標98%) ◎講演会等の参加人数 実績162人 (目標180人)							
	市民政策局 男女共同参画・協働推進課								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	(評価対象外) 男女共同参画センター管理運営事業 24,220千円							
	市民政策局 男女共同参画・協働推進課	(事業概要、事業実績等) 男女共同参画社会の実現に向けた市民活動拠点である高松市男女共同参画センターの管理運営を、前年度に引き続き、特定非営利活動法人たかまつ男女共同参画ネットに委託し、学習研修事業や相談事業を実施するなど、男女共同参画社会の実現に寄与した。						
7	女性教育推進事業 974千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	教育局 生涯学習センター		87.2%	A	B	B	B	統合
		(事業概要、事業実績等) 女性の自発的な学習意欲に基づき、豊かな人間形成を培うとともに、資質や能力の向上を促すため、49コミュニティセンターにおいて、人権、環境、男女共同参画、防災問題などの現代的課題に対応した各種講座を実施した。 ◎女性教室の受講延べ人数 実績：10,900人（目標：12,500人）						

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実

総合評価
A

1 政策の概要

社会を生き抜く力を育む教育の充実を図るため、次代を担う青少年が、心豊かにたくましく育つよう、基礎・基本を身につける確かな学力の育成や豊かな心と体を育てる教育の推進など、学校教育の充実を図るとともに、学校教育施設の整備や教育機能と就学支援の充実などの学校教育環境の整備、大学等高等教育の充実に努めます。

また、家庭及び地域の教育力の向上を図るとともに、青少年の健全育成や、子どもの安全確保対策を推進します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

学校教育の充実	得点率	評価
学校教育の充実	100%	A
学校教育環境の整備	90%	A
子どもの安全確保	100%	A
青少年の健全育成	100%	A
家庭・地域の教育力の向上	75%	B
大学等高等教育の充実	100%	A
平均	94%	A

3 政策の評価

社会を生き抜く力を育む教育の充実に向けて、6施策に取り組んだ。

「学校教育の充実」、「子どもの安全確保」、「青少年の健全育成」及び「大学等高等教育の充実」の4施策では、設定する8つの成果指標について、目標を達成した。

「学校教育環境の整備」では、設定する2つの成果指標のうち、教育用PCのうち、タブレット端末の配置割合において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。

「家庭・地域の教育力の向上」では、設定する2つの成果指標のうち、地域交流事業を実施している割合において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は94%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満足度	重要度
学校教育の充実	22.0%	20.7%	71.0%
学校教育環境の整備	31.8%	10.7%	72.3%
子どもの安全確保	39.7%	13.9%	81.4%
青少年の健全育成	19.8%	14.2%	69.1%
家庭・地域の教育力の向上	22.7%	13.0%	66.2%
大学等高等教育の充実	14.5%	16.8%	54.9%
平均	25.1%	14.9%	69.2%

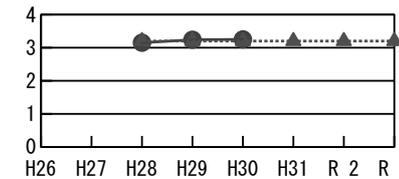
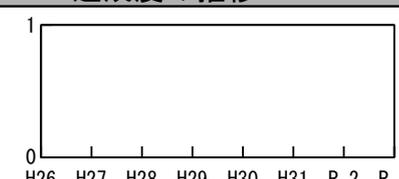
施策	学校教育の充実
----	---------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,897,096千円	A	22.0%	71.0%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	高松の子どもたち（児童生徒）、学校、家庭及び地域	意図	教員の資質の向上と教育指導体制の充実を図り、高松の子どもたちの確かな学力、豊かな心と体を育成するとともに、学校・家庭・地域が、その役割を十分に担い相互に連携して学校教育を充実させる。
----	--------------------------	----	---

概要（実績）	<p>学習指導要領の趣旨に沿った授業、少人数学級の推進等で、総合的な学力の向上を図り、また、特別支援教育、帰国児童生徒・外国人児童生徒指導援助、高等学校教育等を充実させ、確かな学力の育成に寄与した。</p> <p>道徳教育や学校人権教育の推進、体験活動による地域の人々との交流、読書活動による本とのふれあい、児童生徒が運動に親しむ習慣づくりや家庭との連携による基本的生活習慣の育成により、豊かな心と体を育てる教育を推進した。</p> <p>教員に対する研修を充実させ、教員の資質向上を図り、また、特別支援教育支援員配置や学校評価推進による学校運営の改善等により、教育指導体制の充実に取り組んだ。</p>
--------	---

成果指標	① 指標名	学校評価平均評価得点（確かな学力の育成に関すること）	H30実績	H30目標	達成度	
			3.25点	3.2点	101.6%	
	① 状況	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や総合的な学力向上を図るため、学習指導要領の趣旨に沿った教育課程の編成や少人数学級編制の推進、学校ニーズに応じた特別支援教育支援員、英語指導補助員等を配置するなど、きめ細かな指導に取り組んだ。	達成度の推移			
			達成度の推移			
	② 指標名	学校評価平均評価得点（体力・運動能力の育成に関すること）	H30実績	H30目標	達成度	
			3.2点	3.2点	100.0%	
② 状況	家庭や地域と連携して、体力の向上、食育の推進と心身の健康づくり等に取り組む、豊かな心と体を育てる教育の推進を図ることにより目標は達成できた。	達成度の推移				
		達成度の推移				
③ 指標名		H30実績	H30目標	達成度		
③ 状況		達成度の推移				
		達成度の推移				

施策の課題	本施策については、日々教育活動を充実していくことが重要であり、また、子どもの健全育成のために、地域や家庭の教育力の向上を支援する取組の充実、また、確かな学力の定着と個性と創造性を伸ばす教育を更に進めるため、わかりやすい授業の創造や授業内容を向上させる具体的な取組が課題として挙げられる。
-------	---

施策の方向性	学校・家庭・地域の連携を基本に子どもの健全な育成を推進するとともに、教育環境の変化に対応した特色ある教育内容・方法の開発、学校図書館の充実などの学習環境を整備し、学校教育の充実を図る。
--------	--

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1	教育相談・就学指導委員会開催事業 1,631千円 教育局 総合教育センター		100.0%	A	A	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 就学等教育相談会7回、就学指導委員会5回を実施し、新規就学児童277名の相談、在学児童生徒を含めた就学判定を504名実施した。</p> <p>◎就学指導委員会判定率 実績100% (目標100%)</p>						
2	高等学校英語教育推進事業 5,312千円 教育局 高松第一高等学校事務局		84.0%	A	A	B	B	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 選抜コースの国際文科コースにおいて、外国からの招聘講師による授業や、外部講師による英語での授業、海外語学研修などを実施したことにより、国際化に対応できる人材を育成した。</p> <p>◎国際文科コース卒業生の国公立大学合格者数 実績21人 (目標25人)</p>						
3	高等学校教材研究等事業 16,869千円 教育局 高松第一高等学校事務局		111.4%	A	A	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 教師用教科書・指導用図書及び理科・数学などの教材の購入のほか、ピアノの調律、パソコン等の貸借など、教材等の管理・整備を行ったことにより、教育環境の充実に効果があった。</p> <p>◎国公立大学の合格率 実績39% (目標35%)</p>						
4	児童生徒副読本支給事業 28,333千円 教育局 学校教育課		100.0%	A	A	B	A	縮小
		<p>(事業概要、事業実績等) 学校教育における補助教材として、小学校1年生から6年生に体育用と道徳用、小学校3・4年生に社会科用、中学校1年生から3年生に道徳用の副読本を支給することにより、教育の充実に寄与するとともに、保護者の負担を軽減した。</p> <p>◎児童生徒副読本配布率 実績100% (目標100%)</p>						
5	教材研究等事業 17,212千円 教育局 学校教育課		100.0%	A	A	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 教職員が使用する教科書及び指導書等の整備を行い、義務教育の充実を図ったほか、新学習指導要領の移行措置に対応した教師用指導書を支給し、確かな学力を育てる教育を推進した。</p> <p>◎高松市立小中学校教員への配布率 実績100% (目標100%)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性			
6	教育研究研修事業 6,270千円		83.3%		A	A	B	B	継続
	教育局 学校教育課	<p>(事業概要、事業実績等) 「高松市生徒みらい議会」を開催し、中学校・高松第一高等学校の生徒の代表が、より良いまちづくりについてテーマごとにグループ会議を行い、生徒の市政についての関心が深まるとともに、未来の有権者としての自覚を促す効果があった。また、学校現場における自主的研修に助成し、教員の資質向上に寄与した。</p> <p>◎高松生徒みらい議会参加者数 実績30人(目標36人)</p>							
7	(評価対象外) 教材整備事業 85,128千円								
	教育局 教育局総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 概ね計画どおりに小学校及び中学校の教材を整備したことにより、児童・生徒の学習環境が充実した。</p>							
8	(評価対象外) 学校教育管理事業 13,101千円								
	教育局 学校教育課	<p>(事業概要、事業実績等) 学校教育課で嘱託職員を雇用することにより、学校教育に対する様々なニーズに対応し、学校教育の円滑な運営につながった。</p>							
9	総合的な学習の時間活性化推進事業 4,980千円		100.0%		A	A	A	A	継続
	教育局 学校教育課	<p>(事業概要、事業実績等) 総合的な学習の時間の充実や地域等の教育力の有効活用のため、市立小中学校71校全校に経費補助を行ったことにより、各学校において効果的な活用が図られ、家庭、学校、地域、行政などの緊密な連携づくりに寄与した。</p> <p>◎総合的な学習の時間における地域人材活用率 実績100%(目標100%)</p>							
10	帰国児童等指導援助事業 1,633千円		70.0%		A	A	B	B	継続
	教育局 学校教育課	<p>(事業概要、事業実績等) 市内小中学校に在籍する児童生徒で、日本語指導を必要としている帰国児童生徒・外国人児童生徒に、学習や生活についての指導助言を行う指導者を派遣し、外国人児童生徒等が日本語で学習に参加できるよう日本語指導が行われた結果、学校生活を支援する上で成果が得られた。</p> <p>◎帰国児童等の学校生活への適応率 実績100%(目標100%)</p>							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	100.0%	100.0%	A	A	B	A	継続
11	少人数学級推進事業 19,588千円 教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 少人数学級推進事業を実施した8校から生徒指導上の問題が減少し、学校が安定してきたとの報告もあり、学校教育の充実に繋がった。 ◎少人数学級市費講師配置率 実績100% (目標100%) ◎高松市独自の少人数学級編成校数 実績8校 (目標8校)							
	英語教育推進事業 112,861千円 教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 「語学指導等を行う外国青年招致事業」(JETプログラム)による外国語指導助手(ALT)22名を各学校に派遣することにより、中学校英語教育や小学校英語活動、国際理解教育が充実した。 また、小学校において、小学校1年生から実施する英語教育において、学級担任を補助する「英語指導補助員」を全小学校に配置することにより、英語教育が充実した。 ◎外国語指導助手(ALT)配置率 実績100% (目標100%) ◎英語指導補助員1人当たり派遣時間数 実績105時間 (目標105時間)							
13	特別支援教育推進事業 110,528千円 教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 支援員の配置促進とともに、障がいの種別や程度に対応した適切な支援の充実を図ることにより、対象児童生徒の教育環境が整備され、保護者や教員の負担軽減につながった。 ◎特別支援教育支援員配置率 実績100% (目標100%)							
	学校給食推進事業 5,654千円 教育局 保健体育課	(事業概要、事業実績等) 給食関係職員等に対して専門知識を深める研修会等を実施したことにより職員等の資質が向上し、各衛生検査の実施により衛生管理の徹底に効果があった。 ◎研修参加率 実績93% (目標95%)							
15	学校教育における食育推進事業 3,963千円 教育局 保健体育課	(事業概要、事業実績等) 朝日新町学校給食センターで各種食育関連行事を開催し、同センターを食育の拠点として活用するとともに、私立幼稚園に市費栄養士を派遣し、園児・保護者への指導を行ったことにより、幼児期からの食育の推進に効果があった。 ◎学校給食における県産食材使用率 実績32.4% (目標35%) ◎食育セミナー開催回数 実績4回 (目標4回)							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		16	学校体育推進事業		114.3%	A	A	B
27,979千円	<p>(事業概要、事業実績等) 児童生徒の交流の場として体育大会を開催したことにより、児童生徒の体力・運動能力が向上し、相互の友情が深められたとともに、教職員の体育指導の資質が向上し、健全な体育環境が強化した。</p> <p>◎全国調査において本市平均が全国平均を上回るか同等の項目 実績16種目(目標14種目)</p>							
	教育局 保健体育課							
17	高等学校カウンセラー配置事業		61.2%	A	B	B	C	継続
	477千円	<p>(事業概要、事業実績等) 生徒の不登校や問題行動等に対応するため、専門的知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、生徒や保護者等へのカウンセリングを行ったことにより、生徒の快適な学校生活を支援する効果があった。</p> <p>◎全校生徒に対する相談件数の率 実績10.4%(目標17%)</p>						
	教育局 高松第一高等学校事務局							
18	高松市学校給食会補助事業		101.6%	A	A	B	A	継続
	69,089千円	<p>(事業概要、事業実績等) 高松市学校給食会に補助金を交付することにより、学校給食の食材等給食用物資が適正かつ円滑に供給され、学校給食の質の向上及び学校給食に係る保護者の負担が軽減した。</p> <p>◎給食実施延べ食数 実績6,911千食(目標6,800千食)</p>						
	教育局 保健体育課							
19	不登校対策事業		55.0%	A	A	B	C	継続
	101,312千円	<p>(事業概要、事業実績等) 適応指導教室新塩屋町虹の部屋、香川町みなみとも202日開室し、小学生27名、中学生53名が通室した。そのうち学校復帰に至ったのは27.5%と成果目標値の50%に至らなかった。</p> <p>◎適応指導教室通室児童生徒の学校復帰率 実績27.5%(目標50%)</p> <p>なお、前年度からの繰越事業である旧高松市南消防署仏生山出張所解体工事については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：14,029,000円)</p>						
	教育局 総合教育センター							
20	児童生徒指導推進事業	一般重点	80.0%	175.0%	A	A	A	継続
	106,205千円	<p>(事業概要、事業実績等) 学校、地域に関わりの深い人材40名を「ハートアドバイザー」として、小学校40校に配置し、学習支援生活支援、教育相談等にあたることにより、問題行動等の未然防止と解消に寄与した。スクールソーシャルワーカー12名を中学校23校に配置し、専門的知識や技術、関係機関とのネットワークを活用し、対応策を立てることで、問題行動等の未然防止と解消に寄与した。138名に138名に委嘱する23校において、学校生徒指導員会を組織するなど、地域の教育力を生かしながら、生徒の健全な育成を推進した。30件(目標25件) ◎小学校における暴力行為の発生件数 実績105件(目標420件) ◎中学校における暴力行為の発生件数</p>						
	教育局 学校教育課							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
21	(評価対象外) 学校保健推進事業 42,227千円							
	教育局 保健体育課	(事業概要、事業実績等) 環境衛生検査を実施したことにより、学校における教育活動が安全な環境の下で行われ、学校内の環境衛生が向上した。 また、教職員の健康診断、ストレスチェックを実施した結果、疾病の早期発見と教職員の健康の保持増進、ストレスへの気付き及びその対処の支援に効果があった。						
22	(評価対象外) 日本スポーツ振興センター負担金事業 33,363千円							
	教育局 保健体育課	(事業概要、事業実績等) 学校管理下における児童生徒等の災害に対して、独立行政法人日本スポーツ振興センターにおいて、災害共済給付(医療費・障害見舞金)を行ったことにより、学校教育の円滑な実施と保護者の経済的負担が軽減した。						
23	(評価対象外) 給食調理場管理運営事業 217,731千円							
	教育局 保健体育課	(事業概要、事業実績等) 学校給食センター以外の調理場において、機器類の整備等、適切な維持管理を行ったことにより、安全安心な学校給食を提供することができた。						
24	(評価対象外) 給食センター管理運営事業 349,462千円							
	教育局 保健体育課	(事業概要、事業実績等) 学校給食センターにおいて、適切な施設管理に努め、円滑な運営を行ったことにより、安全安心な学校給食の安定的な提供ができた。 なお、前年度からの繰越事業である高松市山田学校給食共同調理場受変電設備改工事については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：19,013,400円)						
25	(評価対象外) 学校給食共同調理事業 38,525千円							
	教育局 保健体育課	(事業概要、事業実績等) 学校給食センターから、受配校への学校給食の配送及び回収を業務委託により、迅速・確実・安全に行ったとともに、学校給食センター受配校における配膳業務に係る嘱託職員を雇用したことにより、配膳用務が円滑に行われ、安全安心な学校給食を提供することができた。						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
26	(評価対象外) 共同調理給食運搬事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	68,016千円							
教育局 保健体育課		<p>(事業概要、事業実績等) 学校給食調理場から、受配校への学校給食の配送及び回収を業務委託により、迅速・確実・安全に行ったとともに、学校給食共同調理場受配校における配膳業務に係る嘱託職員を雇用したことにより、配膳業務が円滑に行われ、安全安心な学校給食を提供することができた。</p>						
27	環境教育推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	8,494千円		46.5%	A	A	A	C	縮小
教育局 学校教育課		<p>(事業概要、事業実績等) 「高松市子ども環境学習交流会」を開催し、児童による各学校の環境学習の取組の発表や、エコホテルの見学等を行うことにより、環境意識の高揚につながった。また、「香川用水の水資源巡りの旅」(中学生対象)を実施し、早明浦ダムや池田ダム等の見学をすることにより、香川用水及び水資源の重要性についての意識の高揚につながった。</p> <p>◎子ども環境学習交流会参加者数 実績92人(目標198人)</p>						
28	(評価対象外) 教育委員会事務	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	5,120千円							
教育局 教育局総務課		<p>(事業概要、事業実績等) 教育基本法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育に関する事務を執行するため、施策等について協議・決定した。 また、教育振興基本計画の推進を図り、総合教育会議等を開催した。</p>						
29	学校図書館活性化推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	139,439千円	一般重点	112.2%	125.8%	A	A	A	A
教育局 学校教育課		<p>(事業概要、事業実績等) 子ども読書活動の推進にあたっては、全ての小・中学校に学校図書館指導員を配置し、読み聞かせや図書紹介等を行うことにより、学校図書館の活性化につながった。</p> <p>◎児童1人当たりの学校図書館図書の貸出冊数 実績61.7冊(目標55冊) ◎生徒1人当たりの学校図書館図書の貸出冊数 実績15.1冊(目標12冊)</p>						
30	いじめ等対策事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,807千円		105.5%		A	A	A	継続
教育局 学校教育課		<p>(事業概要、事業実績等) 12学級以上(特別支援学級は除く)の小学校36校に児童の臨床心理に対して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラー及びスクールカウンセラーに準ずる者を配置することにより、小学校におけるいじめ、不登校等の問題行動等の早期発見・早期対応につながった。</p> <p>◎小学校におけるいじめ、不登校等に関する相談件数 実績3,309件(目標3,500件)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
31	生徒等健康診断事業 146,570千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	教育局 保健体育課		106.3%	A	A	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 児童生徒の健康診断を実施し、疾病の早期発見と適切な予防に役立てたほか、小児生活習慣病予防検診を小学校の4年生を対象に実施し、さらに、小学校での生活習慣の改善が継続できているかの確認をするため、全中学校1年生のうち、肥満度・腹囲などから抽出した者を対象に実施するなど、健康診断を充実させた。 また、就学時健康診断を実施し、小学校入学予定者の健康状態等を把握し、円滑な学校教育の推進と学校保健の向上に取り組んだ。</p> <p>◎小児生活習慣病予防検診における二次検診の受診率 実績60.6% (目標57%)</p>						
32	教育文化振興事業 5,352千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	教育局 学校教育課		100.1%	A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 教育文化祭音楽会においては、小学校12校(545名)、中学校19校(695名)の児童生徒が参加し、合唱・音楽劇・合奏・吹奏で日頃の音楽活動の成果を発表することにより、保護者等、多くの来館者を得た。 また、科学展、展覧会等を開催することにより、児童生徒の豊かな創造力と表現力の育成に寄与した。</p> <p>◎展覧会の作品点数 実績1,401点 (目標1,400点)</p>						
33	小中一貫・連携教育推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	教育局 学校教育課		116.3% 100.0%	A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 児童生徒や教員へのアンケート調査から、子どもたちの活動と交流の幅が広がるとともに、これまで以上に興味・関心を持って、意欲的に学習に取り組む状況が認められるなど、小中一貫教育が安定した学校生活につながっている。</p> <p>◎「英語」・「高松みらい」の授業についてのアンケート支持率 実績93% (目標80%) ◎小中連携教育の実践校数 実績71% (目標71%)</p>						
34	高等学校教育研究研修事業 61,666千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	教育局 高松第一高等学校事務局		111.4%	A	B	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 各種の研究会等に参加し、研究用の雑誌を購読したことにより、教員の資質が向上するとともに、授業の質が高まり、生徒の学力を向上させる効果があった。</p> <p>◎国公立大学の合格率 実績39% (目標35%)</p>						
35	高松型学校・地域連携システム推進事業 1,016千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	教育局 学校教育課	一般重点	100.0%	A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 地域や社会に開かれた学校づくりをより一層推進するために役立ち、地域と一体となって子どもたちを育むことに寄与した。</p> <p>◎高松型学校・地域連携システム組織結成割合 実績100% (目標100%)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
36	特別支援教育体制整備推進事業 187千円 教育局 総合教育センター	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				100.0%		A	A	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 巡回相談を31回、連携訪問を40回実施したことにより、特別な支援を必要とする幼児児童生徒の指導対応能力等の充実を図ることができた。</p> <p>◎相談希望校等への相談訪問率 実績100% (目標100%)</p>						
37	(評価対象外) 教職員能力向上事業 15,679千円 教育局 総合教育センター	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 学校職員の資質・能力を向上させることを目的として、平成30年度は、基本研修、専門研修等の51研修を実施したことにより、学校課題の解決及び学校教育の充実につながった。</p> <p>なお、高松市総合教育センター外柵等改修工事については、設計内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：17,600,000円)</p>						
38	教育に関する調査研究推進事業 14,917千円 教育局 総合教育センター	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			95.6%		A	B	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 大学教員等と連携し、協力校の取組を支援するとともに、児童生徒及び教職員等に意識調査を実施し、取組の成果を検証した。その成果を「教育フォーラム高松」で教員・教育関係者・児童生徒・保護者に広く紹介した。また、高松一高生の参加の様子をセンターだよりにもとりまとめ、市立小中学校に配布するとともに、ホームページにも掲載したことから、好意的な意見が市民から寄せられた。</p> <p>◎教育フォーラム参加人数 (アンケート回収後) 実績239人 (目標250人)</p>						
39	研究指定校研究推進事業 1,518千円 教育局 学校教育課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			118.2%		A	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 国・県から研究指定校等事業を受けけることにより、学校課題の解決及び学校教育活動の改善・充実や、教職員能力の向上に一定の効果を得ることができた。平成30年度は、教育課程研究指定校事業(太田南小) 学力向上モデル校事業(庵治モデ) 学力向上育成モデル校事業(屋島中) 学力向上意欲向上モデル校事業(庵治・不尾中) 学力向上モデル校事業(幼小連携実践研究(国分寺北部幼稚園) いじめ・登校) アクティブ・ラーニング研究推進モデル校事業(木太中) 古高松) NIE教育推進事業(亀小)、英語指導力向上事業英語教育改善プラン推進事業(一宮小)を実施した。成果を生かしている学校数の割合 ◎研究指定校等事業の実績13% (目標11%)</p>						

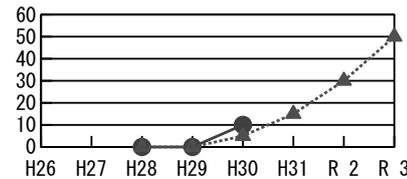
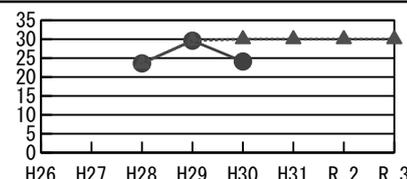
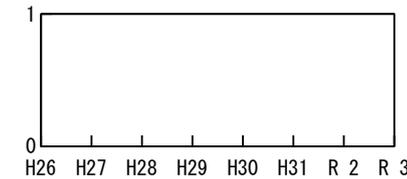
施策	学校教育環境の整備
----	-----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
6,092,814千円	A	31.8%	72.3%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	市立小・中学校、高松第一高等学校の児童及び生徒	意図	子どもたちが、学校において、安全・安心に、健康的で、快適に学習・生活できる教育環境を整備する。
----	-------------------------	----	---

概要(実績)
 計画的かつ効率的な老朽化対策を行うため、平成29年3月に策定した「高松市学校施設整備指針」を基に「高松市学校施設長寿命化計画」を策定した。また、学校教育施設の整備として、屋島中学校屋内運動場・プール改築整備、栗林小学校改築、林小学校校舎増築、外壁改修(小学校15校、中学校8校)、屋上防水(小学校8校、中学校3校)等の工事を実施したほか、高松第一高等学校においては改築の実設計業務が完了した。
 平成30年度PC更新機器450台のうち、タブレットPCに変更したものはなかったため、全体としての配置割合が24.1%となった。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		① 状況	10%	5%
		達成度の推移		
	学校施設長寿命化整備の進捗率			
	② 状況	24.1%	30%	80.3%
	教育用PCのうち、タブレット端末の配置割合	達成度の推移		
	平成30年度PC更新機器450台のうち、タブレットPCに変更したものはなかったため、全体としての配置割合が24.1%となった。これは平成30年度から電子黒板の整備を進めており、それとセットでノートPCを配置する必要があることから、ノートPCを増台したため、タブレットPCの割合が低下した。			
	③ 状況			
		達成度の推移		

施策の課題
 今後、学校施設の老朽化がさらに進行し、学校施設の改修・改築の需要が集中することが想定される中、施設の老朽化対策は喫緊の課題であり、計画的に実施する必要がある。
 機器更新年度に合わせ、必要に応じてタブレットPCへの更新を実施していく中で、技術革新、ICT教育環境の急激な変化を見極めながら、最適な機器選定を行っていく必要がある。

施策の方向性
 「高松市学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的かつ効果的な老朽化対策に取り組む。
 情報技術の進歩状況と平成30年度に作成した「高松市ICT教育推進計画」に基づき、今後、教育用PCのタブレット端末への変更ではなく、PC教室のパソコンのタブレット化を推進していく。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
							重点	成果達成度
1	学校施設緑化事業		100.0%	C	C	C	B	改善継続
	7,720千円	<p>(事業概要、事業実績等) 環境教育の推進や体力向上をはじめ、みどり豊かな学校教育環境の向上、また、地球温暖化対策にも貢献した。</p> <p>◎校庭の芝生化進捗率(全11校) 実績100%(目標100%)</p>						
教育局 学校施設整備室								
2	給食センター整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	一般重点	100.0%	68.2%	A	A	A	A	拡充
418,663千円	<p>(事業概要、事業実績等) 安全で良質な学校給食の提供を図るため、施設の老朽化が著しい調理場や校区内の児童数の増加により調理能力が逼迫している調理場について、複数の調理場を統合し学校給食センターを建設するため、造成工事等を行った。</p> <p>◎ドライ施設として整備した調理場から給食が提供される学校の比率 実績19%(目標19%)</p> <p>◎新設第二学校給食センター(仮称)整備進捗率 実績40.9%(目標60%)</p> <p>なお、建設工事に日時を要したことから、年度内に事業の完了が不可能となったため、建設工事等事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額:5,880,000円) また、前年度からの繰越事業である実施設計等については完了した。 (29年度繰越明許事業費:31,060,000円)</p>							
教育局 保健体育課								
3	小・中学校施設老朽化対策事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	特別重点	200.0%		A	A	B	A	継続
125,817千円	<p>(事業概要、事業実績等) 小・中学校施設について、老朽化対策である香東中学校の改築工事实施設計に着手した。</p> <p>◎老朽化対策進捗率 実績10%(目標5%)</p> <p>なお、国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するなどのため、事業を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額:150,111,000円) また、前年度から繰り越した外壁改修事業などについては完了した。 (平成29年度繰越明許事業費:125,817,668円)</p>							
教育局 学校施設整備室								
4	小・中学校トイレ整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	特別重点	100.0%		A	A	A	A	継続
881,160千円	<p>(事業概要、事業実績等) 洋式化を含めた学校トイレの環境整備及び避難所機能の強化を図るため、小学校等のトイレ整備を行った。</p> <p>◎トイレ改修完了率 実績14.8%(目標14.8%)</p> <p>なお、国の補正予算の執行に当たり、実施期間を確保するなどのため、事業費を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額:761,239,000円) また、前年度からの繰越事業である円座小学校便所改修工事などについては完了した。 (平成29年度繰越明許事業費:859,402,332円)</p>							
教育局 学校施設整備室								
5	高松第一高等学校校舎等改築事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	一般重点	100.0%		A	A	B	A	継続
22,500千円	<p>(事業概要、事業実績等) 生徒が安全で快適に学習できる環境を確保するため、老朽化した校舎等の全面改築に係る仮設校舎の建設に着手し、学校教育環境の整備に寄与した。</p> <p>◎改築事業の進捗率 実績30%(目標30%)</p>							
教育局 高松第一高等学校事務局								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性			
6	中学校校舎等整備事業 143,269千円		62.2%		A	B	B	C	継続
	教育局 学校施設整備室	<p>(事業概要、事業実績等) 学校施設の整備を行い、良質な学校教育施設を維持するために、修繕・改修工事等を実施した。</p> <p>◎校舎等外壁改修の進捗率 実績23% (目標37%)</p> <p>なお、国の補正予算の執行に当たり、実施期間を確保するため、事業費を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：148,755,000円) また、前年度から繰越事業である牟礼中学校給水設備改修工事などについては完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：19,179,629円)</p>							
7	小学校校舎等整備事業 298,158千円		69.7%		A	B	B	B	継続
	教育局 学校施設整備室	<p>(事業概要、事業実績等) 学校施設の整備を行い、良質な学校教育施設を維持するために、修繕・改修工事等を実施した。</p> <p>◎校舎等外壁改修の進捗率 実績24.4% (目標35%)</p> <p>なお、国の補正予算の執行に当たり、実施期間を確保するなどのため、事業費を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：430,674,000円) また、前年度から繰越事業である花園小学校プールサイド改修工事などについては完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：42,986,784円)</p>							
8	小・中学校校舎等増・改築事業 1,851,423千円	重点 特別重点	100.0%		A	A	A	A	継続
	教育局 学校施設整備室	<p>(事業概要、事業実績等) 校区内の児童数の急増により教室不足が生じている、小学校等の増・改築の整備を行った。</p> <p>◎増改築完了率 実績75% (目標75%)</p> <p>なお、建設工事に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：427,422,000円) また、前年度からの繰越事業である林小学校校舎等建設事業などについては完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：740,282,309円)</p>							
9	小学校管理運営事業 729,852千円		100.0%		A	A	A	A	継続
	教育局 学校教育課	<p>(事業概要、事業実績等) 学校施設の維持管理、運営のほか学校の現状を十分に把握して非常勤講師の適切な配置を行うとともに、優れた知識や技術を有する地域人材を学校教育に活用したことで、学校運営の充実に貢献した。</p> <p>◎非常勤講師配置率 実績100% (目標100%)</p>							
10	中学校管理運営事業 354,059千円		100.0%		A	A	A	A	継続
	教育局 学校教育課	<p>(事業概要、事業実績等) 学校施設の維持のほか学校の現状を十分に把握して非常勤講師の適切な配置を行うとともに、優れた知識や技術を有する地域人材を学校教育に活用したことで、学校運営の充実に貢献した。</p> <p>◎非常勤講師配置率 実績100% (目標100%)</p>							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	(評価対象外) 高等学校管理運営事業 172,613千円							
	教育局 高松第一高等学校事務局	<p>(事業概要、事業実績等) 安全で快適な学習環境を確保するため、施設の維持管理や管理用品の整備をしたほか、老朽化した施設の改修工事を実施し、生徒の学力の向上に寄与した。 なお、前年度からの繰越事業であるトレーニング棟外壁その他改修工事等については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：41,778,960円)</p>						
12	(評価対象外) 教育情報通信ネットワークシステム(TENS)管理運営事業 524,142千円							
	教育局 総合教育センター	<p>(事業概要、事業実績等) 教職員に一人一台の校務用パソコンを配置することで、教職員の情報活用能力は向上している。また、校務支援システムの拡大充実及び管理システムの利用により、校務の効率化、情報管理の徹底が図られている。</p>						
13	(評価対象外) 高等学校図書整備事業 1,267千円							
	教育局 高松第一高等学校事務局	<p>(事業概要、事業実績等) 学校図書館法に基づき、生徒及び教員の利用に供する図書等を整備したことにより、学校教育の充実や調査研究等に寄与した。</p>						
14	(評価対象外) 学校図書館図書整備事業 34,331千円							
	教育局 学校教育課	<p>(事業概要、事業実績等) 各小・中学校の学校図書館図書標準達成率に基づき、小・中学校に図書整備費を配当し、廃棄も行いながら、各校において図書整備を進めたことから、全小・中学校の学校図書館図書標準達成率が概ね100%を維持し、各校における読書や学習に必要な図書が整備されたことにより、読書活動の活性化が図られ、児童生徒の一人当たりの年間貸出冊数の増加につながった。</p>						
15	遠距離児童・生徒等通学費助成事業 24,449千円		100.0%	A	A	B	A	継続
	教育局 学校教育課	<p>(事業概要、事業実績等) 遠距離通学児童生徒等の保護者の経済的負担を軽減することで、義務教育の円滑な実施に寄与している。 ◎通学費補助率 実績100% (目標100%)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
16	(評価対象外) 就学奨励事業							
	458,055千円	<p>(事業概要、事業実績等) 経済的な理由によって、小・中学校に就学することが困難な児童生徒の保護者に対して、就学に必要な経費の援助を行い、保護者の経済的負担を軽減することにより、義務教育の円滑な実施に役立てた。</p>						
	教育局 学校教育課							
17	教育資金支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	27,616千円	100.0%		A	A	B	A	継続
	教育局 学校教育課	<p>(事業概要、事業実績等) 就学者の経済的負担が軽減され、教育環境の充実に結びついた。</p> <p>◎高松市の奨学金受給希望者の高等学校等の進学率 実績100% (目標100%)</p>						
18	教育ICT整備・活用推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	17,720千円	特別重点	92.9%	147.5%	A	A	B	A
	教育局 総合教育センター	<p>(事業概要、事業実績等) パイロット校では、一人一台のタブレットPCや電子黒板とタブレットPCをつないだ学習に取り組み、児童生徒の学習意欲の向上や学び合いに成果がみられる。小学校5・6年生の全ての普通教室に設置した電子黒板により、外国語や社会、理科等の教科だけでなく、朝の会や道徳、総合的な学習の時間等で活用も進み、毎日の利用が約70%となっている。</p> <p>◎ICTを活用した授業をわかりやすいと回答した割合 実績65% (目標70%)</p> <p>◎教員の授業でのICT活用率 実績59% (目標40%)</p>						

施策	子どもの安全確保
----	----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
4,283千円	A	39.7%	81.4%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	児童生徒及び関係機関・団体	意図	児童生徒を事件や事故、犯罪から守るための安全対策を推進する。

概要 (実績)	(概要) 子どもたちを事件や事故、犯罪から守り、地域ぐるみで子どもの安全確保を図るため、防犯の専門家である警察官OBのスクールガード・リーダーを小学校などに派遣するとともに、不審者情報のメール配信、学校における相談体制の充実や安全教育の推進などに取り組む。
	(実績) 安全体制の構築、安全教育の実施、不審者情報のメール配信等の安全対策を推進した。また、市内の各幼稚園・小学校などへのスクールガード・リーダーの派遣に伴い、地域の警察派出所との情報交流を行った。

成果指標	①	指標名	子ども人口千人当たりの不審者情報メール配信先件数	H30実績	9.4件	H30目標	8.2件	達成度	114.6%
		状況	関係団体等の会合の場において、不審者情報メール配信の内容や登録について説明し、配信先の拡大に努めた結果、目標を達成できた。	達成度の推移					
	②	指標名	通学路合同点検計画における達成率	H30実績	80%	H30目標	80%	達成度	100.0%
		状況	「高松市通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図った結果、目標を達成できた。	達成度の推移					
	③	指標名		H30実績		H30目標		達成度	
		状況		達成度の推移					

施策の課題	スクールガード・リーダーの人員確保やメール配信先の拡充、さらには、学校における相談体制の充実や安全教育の推進など、安全対策強化への取組が必要である。
-------	--

施策の方向性	地域ぐるみで子どもを見守り育てる活動を推進するため、学校、家庭、地域、関係機関等がより一層、連携、協力して安全対策に取り組むことが求められている。
--------	---

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	学校安全対策事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%	A	A	A	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 相談体制の充実、安全教育の推進、下校時の巡回強化などの安全対策の推進について成果が見られた。 ◎学校安全対策事業実施割合 実績100% (目標100%)						
	教育局 学校教育課							
2	子どもの安全確保活動事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			114.6%	A	A	A	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 安全体制の構築、安全教育の実施、不審者情報のメール配信等の安全対策を推進した。また、市内の各幼稚園、小学校などへのスクールガード・リーダーの派遣に伴い、地域の警察派出所との情報交流を行うなど、子どもの安全確保に寄与した。 ◎子ども人口千人当たりの不審者情報メール配信先件数 実績9.4件 (目標8.2件)						
	4,283千円 教育局 少年育成センター							

施策	青少年の健全育成
----	----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
39,279千円	A	19.8%	69.1%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	市内の青少年	意図	子どもたちの創造性や積極性、社会性を養い、心豊かな人間の育成を目指す。
----	--------	----	-------------------------------------

概要(実績)

青少年の非行防止活動を始めとする青少年健全育成事業やPTA・子ども会など社会教育団体との協働による子どもたちの幅広い交流体験活動等を通じて、青少年が心身ともに健やかに成長できる取組を推進する。

・非行防止活動事業
 少年育成センターでは、市内を13ブロックに分け、毎日2～3班で補導・巡視活動を実施した。また、インターネット利用に係るトラブルの未然防止を図るため、小学4年生及びその保護者を対象とした情報モラル教育推進事業に取り組んだ。

・少年教育推進事業
 高松市子ども会育成連絡協議会との共催による新春子どもフェスティバルやフットベースボール大会等、様々な体験活動を通じて、異年齢の子どもたち同士が交流し、親交を深めた。

成果指標	①	指標名	子ども会加入率	H30実績	68.1%	H30目標	68%	達成度	100.1%
	状況	あらゆる機会を捉えて子ども会加入促進を図った結果、目標の68%を達成できた。	達成度の推移					☀️	
成果指標	②	指標名	少年人口千人当たりの補導人数	H30実績	5人	H30目標	19人	達成度	173.7%
	状況	学校及び関係機関・団体等との連携を密にするとともに、より効果的で温かい巡視・補導活動に努めた結果、目標を達成できた。	達成度の推移					☀️	
成果指標	③	指標名		H30実績		H30目標		達成度	
	状況		達成度の推移						

施策の課題

地域、学校、関係機関などとの多面的かつ緊密な連携強化が必要である。

施策の方向性

引き続き、補導活動や情報モラル教育の推進により、非行やネットトラブルの未然防止に努めるとともに、地域での体験活動に取り組む機会を設定するなど、地域ぐるみで子どもを見守り育てる体制の構築とともに、心豊かでたくましい子どもの育成を図る。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
1	社会教育団体育成支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
			89.3%	A	B	B	A	継続	
	4,600千円	<p>(事業概要、事業実績等) 高松市PTA連絡協議会や高松市子ども会育成連絡協議会等の社会教育関係団体を支援し、団体の自立を図ることにより、団体の自主的な活動を促進し、加入児童等の健全育成に寄与した。</p> <p>◎社会教育団体1団体当たりの平均年間主催事業数 実績35.7件(目標40件)</p>							
	教育局 生涯学習課								
2	少年教育推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
			93.6%	A	B	B	A	継続	
	3,133千円	<p>(事業概要、事業実績等) 子どもたちが土に親しみ、農作物を育てる喜びや、労働の尊さを体験し、健康で豊かな子どもの育成に資するため、こども農園を会館や子ども会活動の充実・発展に寄与した。</p> <p>◎共催(主催を含む。)事業における子ども(3~12歳)の参加率 実績10.3%(目標11%)</p>							
	教育局 生涯学習課								
3	成人式式典事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
			86.2%	A	B	B	B	継続	
	4,665千円	<p>(事業概要、事業実績等) 新成人となる青年が、大人になったことを自覚するとともに、自立していく決意を新たにしてもらうため、成人式を開催し、前年度より参加率が減少したものの、厳粛に式典を実施したこと、大人になるという大きな節目の行事として一定の役割を果たした。</p> <p>◎成人式参加率 実績56%(目標65%)</p>							
	教育局 生涯学習課								
4	青年教育推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
			62.8%	C	B	B	C	継続	
	319千円	<p>(事業概要、事業実績等) 青年教育の振興を図るため、関係団体を支援したほか、市民ボランティアの協力により、知的障がい者青年教室を実施し、知的障がいのある青年が人とふれあう喜びを実感し、様々な学習・体験活動を通じて知識・技能を習得するとともに、市民ボランティアが知的障がい者に対する理解を深める機会を提供した。</p> <p>◎高松市青年連絡協議会の活動に参加した会員の延べ人数 実績157人(目標250人)</p>							
	教育局 生涯学習課								
5	非行防止活動事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
			173.7%	102.7%	A	A	A	A	継続
	26,562千円	<p>(事業概要、事業実績等) 少年育成センターでは、市内を13ブロックに分割し、毎日2~3班の巡視活動、地域においては、少年育成委員会を中心として46校区で、月1回以上の巡視活動を実施した。</p> <p>◎少年人口千人当たりの補導人数 実績5人(目標19人) ◎児童の情報モラルについての理解度 実績94.5%(目標92%)</p>							
	教育局 少年育成センター								

施策	家庭・地域の教育力の向上
----	--------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
2,820千円	B	22.7%	66.2%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	市民（家族に子どもがいる家庭、地域住民）	意図	学校・家庭・地域が連携し、地域ぐるみで子どもの健やかな成長を促す教育力が向上することを旨とする。
----	----------------------	----	--

概要（実績）
 子育て力向上応援講座を市立の全小学校及び全幼稚園・こども園等で実施したことにより、子育てやしつけ等の向上に寄与した。
 家庭教育学級の開設により、家庭教育の向上を推進した。
 早寝早起き朝ごはん運動の啓発のため、就学時健康診断時に全小学校で啓発資料を保護者に配布し、子どもたちの基本的な生活習慣の形成を推進したほか、小・中学校の児童・生徒を対象に「生活リズムチェックシート」を配布し、自らの生活習慣を見直す機会を提供した。
 子どもを中心とした地域交流事業を通して、地域の子どもと保護者並びに地域の大人が顔見知りになることで、地域の教育力の向上に寄与した。

成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度	
		達成度の推移			
①	状況	43.2%	72.7%	59.4%	
		地域交流事業を実施している割合 地域交流事業を実施した地域は、平成30年度3地域増加し、19地域となったが、目標は達成できなかった。			
成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度	
		達成度の推移			
②	状況	83.3%	89%	93.6%	
		朝ごはん摂取率 早寝早起き朝ごはん運動の啓発をしているが、全国学力学習状況調査において、朝ごはんを毎日摂取している小学6年生の割合は、ここ数年間減少傾向であり、目標には達しなかった。			
成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度	
		達成度の推移			
③	状況				
		地域交流事業を実施している割合 地域交流事業を実施した地域は、平成30年度3地域増加し、19地域となったが、目標は達成できなかった。			

施策の課題
 真に家庭教育の啓蒙・啓発が必要な保護者に対する、継続的なアプローチの方策を講じるほか、地域、学校、関係団体、家庭などとの多面的連携の強化を図る必要がある。

施策の方向性
 現行事業の実施・拡充だけでなく、社会における環境変化や市民ニーズを的確に把握し、家庭と地域の教育力の向上に最も効果的な事業展開を目指す。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
1	家庭教育推進事業		117.1%	A	B	B	A	継続
	1,712千円	<p>(事業概要、事業実績等) 小学校において、保護者を対象とした「家庭教育学級」を開設したほか、就学時健康診断等の機会を活用して、子育てに精通した専門の講師による「子育て力向上応援講座」を実施することにより、家族の役割や子育てに関する多種多様な学習機会・関連情報を提供し、家庭の教育力の向上に寄与した。</p> <p>◎講座の開催数 実績445件(目標380件)</p>						
教育局 生涯学習課								
2	子どもを中心にした地域交流事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	940千円	一般重点	114.6% 132.8%	A	B	B	A	改善継続
教育局 生涯学習課		<p>(事業概要、事業実績等) 地域の子ども会、PTA、婦人会など複数の各種団体で構成された実行委員会が実施する、子どもとその保護者並びに地域の大人が交流する事業や通学合宿事業を支援することにより、地域の一体感を醸成するとともに、地域ぐるみで子どもを育む機運が高まり、地域の教育力の向上に寄与した。</p> <p>◎地域交流事業に参加した児童生徒の累計人数 実績54,054人(目標47,182人) ◎地域交流事業に参加した保護者の累計人数 実績15,495人(目標11,667人)</p>						
3	早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	168千円		97.3%	A	B	B	A	継続
教育局 生涯学習課		<p>(事業概要、事業実績等) 子どもたちが生活リズムを向上させ、学習やスポーツ、読書など様々な活動にいきいきと取り組めるよう、小学校の就学時健康診断を活用して、就学前の児童の保護者を対象に「早寝早起き朝ごはん」運動の普及・啓発を実施したほか、保育所・幼稚園・小学校・中学校に啓発用ちらしを、また、小・中学校の児童生徒に「生活リズムチェックシート」を配布したことにより、子どもたちの基本的な生活習慣の形成に寄与した。</p> <p>◎生活リズムチェックシートで朝食を概ね食べていると回答した小学6年生の比率 実績97.3%(目標100%)</p>						

施策	大学等高等教育の充実
----	------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
597千円	A	14.5%	54.9%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	市民政策局

対象	大学等高等教育機関への進学者 大学等高等教育機関の在学者 大学等の高等教育機関	意図	高等学校卒業後の人材の流出を抑制し、本市への定着化を図るため、郷土愛を醸成するとともに、高等教育機関の充実と教育環境の整備を図り、市内及び近隣の高等教育機関への進学者を増加させる。
----	---	----	--

概要(実績)

大学等の実施する、地域活性化のための事業を支援するとともに、県内各大学等との情報共有と連携の活性化を推進した。こうした活動を通じて、大学生等の若者が地域と関わる地域貢献の機会を創出し、地域における地元大学等への親近感を深めるとともに、郷土愛の醸成に寄与した。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度	
		① ① 状況	包括協定を結んでいる大学等の学生・生徒の充足率 総定員2,571人に対し、2,548人が入学し、充足率について、目標を達成した。	99.1%	92%
		達成度の推移			
					☀
② ② 状況	包括協定を結んでいる大学等入学生の市内出身者割合 市内出身の入学者数が増加し、目標を達成した。	25.5%	24%	106.3%	
			達成度の推移		
					☀
③ ③ 状況	指標名	H30実績	H30目標	達成度	
	状況	達成度の推移			

施策の課題

本市が行っている大学等との連携が、高等教育の充実に対して、より効果的なものとなるよう、検討する必要がある。

施策の方向性

大学等との連携事業の充実を図るほか、取組効果の情報発信をするとともに、地元大学等の地域への貢献やその必要性を市民に周知する機会を増加させる。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	大学等連携による地域の魅力発信事業	一般重点	115.9%	A	A	B	A	改善継続
	597千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>本市における地域活性化の検討と地域での実践活動を行い、活力ある地域再生を図るため、地域における人的・知的資源である大学等と連携・協力し、地域課題に関する調査研究共同事業を実施した。また、県内大学等との一層の連携協力を推進するため、若者から選ばれる大学づくり・まちづくり等を議題として、市長と学長・校長との懇談会を開催した。</p> <p>◎大学等との連携・協力事業数 実績95事業 (目標82事業)</p>						
	市民政策局 政策課							

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
	政策	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成

総合評価
A

1 政策の概要

心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成を図るため、生涯学習センターを始めとした学習機会の充実や学習施設・機能の充実により、生涯学習を推進します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
生涯学習の推進	88%	A
平均	88%	A

3 政策の評価

心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成に向けて、1施策に取り組んだ。
「生涯学習の推進」では、設定する2つの成果指標のうち、市民1人当たりの図書館図書貸出冊数において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を概ね達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は88%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
生涯学習の推進	28.2%	14.8%	57.6%
平均	28.2%	14.8%	57.6%

施策	生涯学習の推進
----	---------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
529,610千円	A	28.2%	57.6%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成
担当局	教育局

対象	高松市民	意図	心豊かな生涯学習の形成を図るため、学習機会の拡充や、学びの場の充実と活用により生涯にわたって学習することができる環境を整える。
----	------	----	---

概要(実績)

生涯学習センターと地域のコミュニティセンターが連携して様々な講座を開催したほか、市民の幅広い学習ニーズに応えるよう、市民と行政との協働によるまちづくりの実現を目指し、公募型企画講座を実施するなど市民の生涯学習の機会の充実に寄与した。

また、中央図書館及び地域館4館等におけるネットワーク環境により、図書館間での資料の貸出・返却の取次サービスを実施したほか、移動図書館車により、「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏形成に係る連携協約」に基づく直島町を含めた、86か所の巡回の実施により、図書館サービスの利便性が向上した。

さらに、コミュニティセンター内にある図書館分室の活性化を図るとともに、子ども読書まつり等を開催したことにより、子どもの読書活動推進に効果があった。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		① 状況	576,220人	615,000人
		達成度の推移		
	主に、まなびCANにおける多目的ホールの天井工事の影響により講座数が減少したこと、また、コミュニティセンターの講座数が減少したことから、目標を達成できていない。個々の講座等について問題点を洗い出し、さらなる内容の充実を図る必要がある。			☁
	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		6.9冊	8冊	86.3%
	② 状況	達成度の推移		
	市民1人当たりの図書館図書貸出冊数			☁
	中学生ビブリオバトル大会の初開催や、ビジネス支援コーナーの充実など、利用者層の拡大に努めたものの、貸出冊数は微増にとどまった。			
	指標名	H30実績	H30目標	達成度
	③ 状況	達成度の推移		

施策の課題

生涯学習センターやコミュニティセンターで実施する講座の開催回数や内容を精査し、地域における生涯学習の推進を図るとともに、より実践的・効果的なものとする必要がある。

また、図書館で実施する各種行事等の情報発信を強化し、来館者数や図書貸出冊数の増加を図る必要がある。

施策の方向性

講座の回数や内容を精査し、改善を加えながら、地域における生涯学習の推進を継続し実施していく。

図書館においては、蔵書の充実など、サービスの向上に努め、市民の読書意欲・学習ニーズ等に応じていく。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1	高齢者教育推進事業 1,530千円		75.8%	A	A	B
教育局 生涯学習センター	<p>(事業概要、事業実績等) 超高齢化社会の到来に向け、より一層高齢者の生きがいづくりや高齢者間のネットワークづくりは重要になってきており、コミュニティセンターを中心に高齢者教室を開設し、多種多様な学習機会を提供することにより、高齢者の生きがいづくりや社会活動への参画を促進した。</p> <p>◎高齢者教室受講延べ人数 実績：18,954人(目標：25,000人)</p>							
2	コミュニティセンター講座事業 19,009千円		100.0%	A	A	B	A	継続
	教育局 生涯学習センター	<p>(事業概要、事業実績等) 52のコミュニティセンターにおいては、人権・環境問題などの現代的課題に対応した各種講座のほか高齢者教室、家庭教育学級などを実施するとともに、自主的な学習活動の場を提供し、地域住民の学習意欲に応じた。</p> <p>◎人口1人当たり受講回数 実績：0.013回(目標：0.013回)</p>						
3	市民参画促進事業 128千円		93.3%	A	A	B	A	継続
	教育局 生涯学習センター	<p>(事業概要、事業実績等) 市民と行政との協働によるまちづくりの実現を目指し、地域で生涯学習を推進するコーディネーター養成講座のほか、公募型の自主企画講座である「学習成果発表の場事業」などを実施し、生涯学習事業等の企画・運営などに市民が積極的に参加できる環境の整備に寄与した。</p> <p>◎学習成果発表の場事業における講座開催回数 実績：28回(目標：30回)</p>						
4	生涯学習推進事業 2,461千円		100.0%	A	A	B	A	継続
	教育局 生涯学習センター	<p>(事業概要、事業実績等) 少子高齢化や情報化、環境問題など現代的課題をテーマとした講座や大学等との連携による各種の専門的講座のほか、多様な団体と連携し、市民の学習ニーズに応じた様々な講座を開催するとともに、さらに幅広い市民の利用が得られるよう、まなび映画CANや市民ギャラリーの活用事業等を行った。</p> <p>◎受講者の満足度 実績95団体(目標95団体)</p>						
5	(評価対象外) ふれあい創作館管理 事業 576千円							
	教育局 生涯学習課	<p>(事業概要、事業実績等) ふれあい創作館の施設を適切に維持管理したことにより、地域活動拠点の場を提供した。</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	(評価対象外) 公共施設利用総合情報システム管理事業 443千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	教育局 生涯学習センター							
(事業概要、事業実績等) 公共施設利用総合情報システムを活用し、インターネット等を利用した施設予約により行政サービスの向上に寄与した。								
7	(評価対象外) 生涯学習センター管理運営事業 124,479千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	教育局 生涯学習センター							
(事業概要、事業実績等) 市民により良い生涯学習の場を提供するよう商店街のアーケード内の吊下げ広告や歩道上の案内標識の増設、エントランスホールの立て看板の更新を行った。また、営利目的の利用基準を見直し、新たな貸館利用者の開拓に努めたほか、多目的ホールの天井改修を行った。								
8	図書館文化活動事業 394千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	教育局 中央図書館		105.0%	A	A	A	A	継続
(事業概要、事業実績等) 子どもの読書活動を推進するため、子ども読書まつりや子ども向け講座を開催したほか、子どもを対象としたおはなし会を行うボランティアの技能向上等を図るため、講座・研修会を実施した結果、目標を達成できた。 ◎子ども読書まつり参加者数 実績：約2,100人(目標：2,000人)								
9	図書館分室活性化事業 1,999千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	教育局 中央図書館	一般重点	81.4%	A	B	B	B	改善継続
(事業概要、事業実績等) コミュニティセンター内にある図書館分室の活性化を図り、市民の読書意欲を向上させるとともに、生涯学習の支援、推進につなげるため、20分室に新規図書配置を行った結果、配置後の貸出冊数が増加となった。 ◎図書貸出冊数 実績：26,040冊(目標：32,000冊)								
10	図書館運営事業 218,362千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	教育局 中央図書館		85.7% 92.0%	A	B	B	B	継続
(事業概要、事業実績等) 中央図書館(瓦町サテライトを含む)及び地域館4館におけるネットワーク環境により、各館間での資料の貸出・返却の取次サービスを実施したほか、移動図書館3台により市内84か所の巡回「瀬戸・高松広域連携中核都市圏形成」に基づき、直島2か所への巡回を行った。また、多様化する市民の生涯学習意欲に応え、直島より資料の選定や収集の環境を整え、子育て支援、ビジネス支援、障がい者支援事業等も積極的に実施したことにより、貸出冊数は前年度比6,247冊の増、図書館利用者数は前年度比972人の増となった。 ◎貸出冊数 実績：2,880,063冊(目標：3,360,000冊) ◎図書館利用者数 実績：625,674人(目標：680,000人)								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	(評価対象外) 図書館管理事業							
	160,085千円 教育局 中央図書館	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>中央図書館・菊池寛記念館・歴史資料館及び各地域館の施設維持管理事業で、開館後20数年を経過し、老朽化が進んでいるサンクリスタル高松の建物・設備を適切に維持管理することにより、図書館等利用者への安全で快適な環境を提供した。</p> <p>なお、設計内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：6,200,000円)</p> <p>また、前年度からの繰越事業である中央図書館直流電源装置改修事業については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：15,498,000円)</p>						

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
	政策	基本的人権を尊重する社会の確立

総合評価
A

1 政策の概要

基本的人権を尊重する社会の確立を図るため、同和問題を始めとする様々な人権問題の解決に向け、人権教育・啓発を推進するとともに、人権啓発活動の機能を充実し、人権を大切にする社会づくりを進めます。
また、平和意識の高揚を図るため、平和記念館を中心に、平和意識の普及啓発に取り組み、平和を大切にする社会づくりを推進します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
人権尊重意識の普及・高揚	100%	A
平和意識の普及・高揚	86%	A
平均	93%	A

3 政策の評価

基本的人権を尊重する社会の確立に向けて、2施策に取り組んだ。
「人権尊重意識の普及・高揚」では、設定する成果指標の人権啓発事業等参加人数について、目標を達成した。
「平和意識の普及・高揚」では、設定する成果指標の平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数について、目標に届かなかったものの、前年度に比べ倍増し、目標にかなり近づくことができた。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は93%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
人権尊重意識の普及・高揚	19.1%	12.7%	52.8%
平和意識の普及・高揚	19.1%	10.8%	50.4%
平均	19.1%	11.8%	51.6%

施策	人権尊重意識の普及・高揚
----	--------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
178,689千円	A	19.1%	52.8%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	基本的人権を尊重する社会の確立
担当局	市民政策局、教育局

対象	市民	意図	同和問題を始め、様々な人権問題の解決に向け、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現を図る。

概要(実績)	人権啓発推進員への支援、人権・同和問題啓発講座、ハンセン病を正しく理解する講演会、パネル・作品展、人権フェスティバルの開催、LGBTに対する正しい認識を醸成するLGBTの講座、パネル展など、各種の啓発推進事業等を実施したことにより、市民の人権意識の普及・高揚につながった。
--------	--

成果指標	①	指標名	人権啓発事業等参加人数	H30実績	13,406人	H30目標	13,400人	達成度	100.0%
		状況	人権啓発推進員による啓発事業において、推進員の工夫により様々な形態での啓発事業を実施し、広く市民の人権意識の普及・高揚に努め、目標値を達成できた。	達成度の推移					
	②	指標名		H30実績		H30目標		達成度	
		状況		達成度の推移					
	③	指標名		H30実績		H30目標		達成度	
		状況		達成度の推移					

施策の課題	<p>【市民政策局】同和問題を始めとする様々な人権問題が今なお解決に至っていないことから、今後とも、市民一人一人が正しい認識と理解を深めることができるよう、なお一層の効果的な取組が求められる。</p> <p>【教育局】同和問題を始め、様々な人権問題に対し、学校人権教育・社会人権教育の関係組織と連携を図っているが、市民一人一人の人権教育に対する意識・関心が十分でないことから、今後とも、人権教育の充実・発展を強力に推進していく必要がある。</p>
-------	---

施策の方向性	市民一人一人が、あらゆる問題に対して、正しい認識と理解を深めることができるよう、各種講座や研修会等を開催し、人権を尊重する社会の実現を推進していく。
--------	--

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		1	LGBT啓発等推進事業 479千円 市民政策局 男女共同参画・協働推進課	一般重点	116.0%	A	B	A	A
		(事業概要、事業実績等) LGBT(性的少数者)の正しい理解と認識を深める講演会やパネル展などの啓発活動を行うことで、男女を問わず、全ての人々の人権が尊重され、差別や偏見のない社会、多様性を尊重する社会の形成に寄与した。 ◎講演会等参加人数 実績290人(目標250人)							
2	人権啓発推進事業 42,390千円 市民政策局 人権啓発課	重点	95.0%	99.6%	A	A	A	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 人権啓発推進員への支援、人権・同和問題啓発講座、ハンセン病を正しく理解する講演会及びパネル・作品展、人権フェスティバルの開催など、各種啓発推進事業等を実施したことにより、市民の人権意識の普及・高揚につながった。 ◎市民満足度(「人権尊重意識の普及、高揚」)実績19%(目標20%) ◎参加人数(人権啓発推進員による啓発事業、講演会等)実績4,968人(目標4,990人)							
3	文化センター・児童館整備事業 55,518千円 市民政策局 人権啓発課	重点	73.8%		A	A	A	B	継続
		(事業概要、事業実績等) 文化センター・児童館改修計画に基づき、適切な管理運営を図るため、修繕・改修工事等を実施したことにより、地域における福祉の向上や児童の健全育成につながった。 ◎文化センター・児童館改修進捗率 実績53.33%(目標72.5%) なお、隣保館整備事業(吉光文化センター大規模改修)については、工法の検討に日時を要したこと、児童館整備事業(新居児童館大規模改修)については、地元関係者との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額:89,979,000円)							
4	隣保館・児童館管理運営事業 37,332千円 市民政策局 人権啓発課	重点	87.5%	107.8%	A	A	A	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 各種相談事業や啓発・広報活動事業等を実施したことにより、地域住民の福祉の増進及び教育水準の向上並びに地域児童の健全育成に寄与した。 ◎隣保館利用者数 実績53,359人(目標61,000人) ◎児童館利用者数 実績29,105人(目標27,000人)							
5	学校人権教育推進事業 5,074千円 教育局 人権教育課	重点	100.2%		A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 高松市立の幼稚園、こども園、小学校、中学校、高等学校に対して、人権教育指導資料の作成・発行、人権教育教員研修会の開催、人権教育研修会への参加補助、人権教育資料の購入等を行ったことにより、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。 ◎研修会等参加者人数 実績460人(目標459人)							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
6	子ども教育推進事業 6,545千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		63.6%	107.6%	A	A	B	B	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 地区小・中学生を対象とした補充学習や保護者も対象とした進路・進学等についての教育相談、大学生ボランティアによる学習支援等を行ったことにより、地区小・中学生の基礎学力や進学意欲の向上につながった。</p> <p>◎子ども学級出席者数 実績3,170人(目標4,987人) ◎教育相談出席者数 実績369人(目標343人)</p>						
教育局 人権教育課								
7	社会教育指導員設置事業 17,681千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		33.1%		A	A	B	D	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 地域における子どもの学習指導、生活指導を充実させ、進路保障を実現するために社会教育指導員を配置することにより、子ども達の基礎学力や進学意欲等の向上に寄与した。 また、課内配置の社会教育指導員を人権教育市民講座等に派遣したことにより、人権教育・啓発の推進や人権を尊重する社会の実現に寄与した。</p> <p>◎学習指導等出席者数 実績8,598人(目標26,000人)</p>						
教育局 人権教育課								
8	社会人権教育推進事業 9,052千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		47.9%		A	A	B	C	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 市民に対し、人権教育市民講座や人権教育研修会の開催、人権教育指導用資料の作成、視聴覚教材の購入、人権尊重都市たかまつ市民会議への助成等を行ったことにより、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。</p> <p>◎人権教育市民講座受講者数 実績1,503人(目標3,140人)</p>						
教育局 人権教育課								
9	(評価対象外) 人権教育事務 318千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 人権教育課職員が多様化する人権・同和教育の正しい理解と実践について研究を行うため、全国人権・同和教育研究会、四国地区人権教育研究会等に参加したことにより、知識の向上、新たな人権問題に対する理解が進み、市民に対し、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。</p>						
教育局 人権教育課								
10	人権啓発活動事業 393千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		111.0%		A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 幼児・児童生徒及び保護者等による表現や合唱、ペープサート劇、作文朗読などを発表する「みんなで人権を考える会2018」を開催し、幼児・児童生徒及び保護者等を始めとする市民の人権意識の高揚につながった。</p> <p>◎「みんなで人権を考える会」参加者数 実績666人(目標600人)</p>						
教育局 人権教育課								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
11	文化交流推進事業 3,907千円 教育局 人権教育課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
					77.9%	201.4%	A	A	B
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>地域住民を対象に文化センターや児童館主催で、教養を高める各種講座(社会教育学級)、ボランティア活動、二世世代交流、地域交流行事など様々な体験・交流の機会を提供する「ふれあい教室」を開催したことにより、地域住民の教育水準の向上や、家庭及び地域社会における人間関係の円滑化、自立意識の高揚及び社会的自覚の促進につながった。</p> <p>◎社会教育学級受講者数 実績4,110人(目標5,277人) ◎ふれあい教室受講者数 実績1,188人(目標590人)</p>							

施策	平和意識の普及・高揚
----	------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
14,211千円	A	19.1%	50.4%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	基本的人権を尊重する社会の確立
担当局	市民政策局

対象	市民	意 図	平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭などの開催、小学校4年生などを対象とした平和学習の実施により、市民に戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和意識の向上を図る。

概要 (実績)	平和記念館での戦争遺品等の常設展示や「平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭」、「高松市戦争遺品展」、「教職員のための平和教育講演会」等の開催、平和記念だよりの発行などにより、市民に対して戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和意識の普及・啓発を推進することができた。		
------------	---	--	--

成果指標	①	指標名	平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数	H30実績	7,002人/年	H30目標	8,000人/年	達成度	87.5%
		状況	戦争遺品展の開催場所の変更、長崎市との共催による戦争・原爆被災展や被爆体験講演会の開催などにより、参加者数が前年度に比べ倍増し、目標値にかなり近づくことができた。	達成度の推移					
	②	指標名		H30実績		H30目標		達成度	
		状況		達成度の推移					
	③	指標名		H30実績		H30目標		達成度	
		状況		達成度の推移					

施策の課題	戦争体験者が高齢化し、戦争を知らない世代が大半となっていることから、平和を守り育てるため、平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、戦争遺品展などの各種ソフト事業や小学校4年生などを対象とした平和学習を継続的かつ積極的に実施することが必要である。
-------	---

施策の方向性	引き続き、平和意識の普及・啓発と向上を推進していく。
--------	----------------------------

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
1	平和啓発推進事業 14,211千円 市民政策局 人権啓発課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
					87.5%	95.5%	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>平和記念館での平和学習の実施や「平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭」、「高松市戦争遺品展」、長崎市との共催による「戦争・原爆被災展」等の開催、平和記念だよりの発行などにより、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和意識の普及・啓発を推進することができた。</p> <p>◎平和意識の啓発事業の参加者数 実績7,002人(目標8,000人) ◎平和意識の普及・高揚に対する市民満足度 実績19.1%(目標20%)</p>							

**(3) 産業の活力と文化の魅力あふれる
創造性豊かなまち**

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化

総合評価
A

1 政策の概要

地域を支える産業の振興と経済の活性化を図るため、市外からの企業の誘致及び市内の中小企業等の支援による雇用の創出や、商店街のにぎわいづくりを推進し、商工業の振興に努めるほか、農地や森林の保全や、安全・安心で良質な農水産物の生産を振興するとともに、生鮮食料品等の流通の強化など、農林水産業の振興を図ります。

また、庵治石や盆栽、漆器など特産品の育成と振興に努めるとともに、効果的な情報発信を行うなど、ブランド力の向上に向けた取組を推進します。

また、いきいきと働ける環境の充実のため、就業支援を推進するとともに、勤労者福祉の充実に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
商工業の振興	90%	A
農林水産業の振興	97%	A
特産品の育成・振興とブランド力の向上	82%	B
就業環境の充実	100%	A
平均	92%	A

3 政策の評価

地域を支える産業の振興と経済の活性化に向けて、4施策に取り組んだ。

「農林水産業の振興」及び「就業環境の充実」の2施策では、設定する4つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

「商工業の振興」では、設定する3つの成果指標のうち、中小企業経営講習会の年間受講者数及び中央商店街の空き店舗率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。

「特産品の育成・振興とブランド力の向上」では、設定する3つの指標のうち、盆栽輸出登録申請者数（EU）及び伝統的ものづくり普及啓発事業等参加者数において、目標に届かなかったものの、他の指標については目標を概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は92%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
商工業の振興	15.9%	34.7%	72.2%
農林水産業の振興	22.7%	19.0%	71.5%
特産品の育成・振興とブランド力の向上	31.0%	14.9%	71.1%
就業環境の充実	13.9%	25.8%	74.1%
平均	20.9%	23.6%	72.2%

施策	商工業の振興
-----------	--------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
383,425千円	A	15.9%	72.2%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化
担当局	創造都市推進局

対象	市内の商工業者	意図	経営の改善・向上
-----------	---------	-----------	----------

概要（実績）

関係機関との共催による中小企業経営講習会・合同就職面接会の開催、中小企業融資の実施等により、市内中小企業の育成と振興に寄与した。
 商店街振興組合が実施する電力需給対策事業や安全安心対策事業を県と共に助成した他、空き店舗改装費の助成やにぎわい創出などにより、中央商店街の活性化に寄与した。
 企業誘致・立地活動については、企業誘致専門員を中心に、県や関係機関と連携・情報共有を図り、助成措置対象企業の指定や助成金の交付を行った。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		①	中小企業経営講習会の年間受講者数	1,995人
	状況	<p>企業側のニーズも高く、2000人近い受講を得たが、平成29年度より、開催回数と、見直しの余地のないメニュー（確定申告相談会等）の受講者数が減少したことにより、目標とする受講者数の達成には至らなかった。</p>		<p>達成度の推移</p>
②	中央商店街の空き店舗率	16.85%	14.9%	86.9%
	状況	<p>商店街共同施設の改修等や中央商店街にぎわい促進事業と効果的に組み合わせて、利用者のニーズに沿った空き店舗活用支援策を実施しているものの、目標達成には至らなかった。</p>		<p>達成度の推移</p>
③	企業誘致助成制度指定件数	75件	50件	150.0%
	状況	<p>企業誘致専門員を中心に、香川県や金融機関等と緊密に連携を図り、企業動向等の情報収集や立地、設備投資等を希望する企業への訪問、先端設備等導入計画の認定申請で来庁する企業に対する助成制度の紹介等の支援を行うことで目標を達成できた。</p>		<p>達成度の推移</p>

施策の課題

事業者が本市で創業するよう周辺環境の整備や本市経済の持続的な発展のため、中小企業の育成と振興を図ることが求められている。
 中央商店街のにぎわいを向上させるため、空き店舗率の改善、また地域経済の発展、産業の高度化及び雇用機会の拡大を図るため、企業誘致の強化が必要である。

施策の方向性

人口減少・少子超高齢社会の進展等を背景として、地域経済には厳しい状況が続くことが予想されることから、引き続き、商工業の振興に取り組む必要がある。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	中小企業金融対策事業 101,862千円			A	A	B	A	継続
	創造都市推進局 産業振興課	<p>(事業概要、事業実績等) 市内の中小企業者の経営改善・安定経営のために、売上げが一定割合以上減少している企業に対し、緊急融資(緊急経営安定対策特別融資を含む)を期限内に償還した者に対し、保証料の補給を行うとともに、0.8%の利子補給を行った。また、支払いを滞らせずに、小規模事業者経営改善金融の対象者に対し、一定率の利子補給を行った。</p>						
2	中小企業経営講習会等事業 1,635千円		84.0%	A	A	B	B	改善継続
	創造都市推進局 産業振興課	<p>(事業概要、事業実績等) 中小企業経営の近代化・合理化の促進並びに従業員の資質及び技術水準の向上を図るため、関係団体と共催で講習会等を実施した。 中小企業経営講習会「プレゼン資料の作り方セミナー」ほか11回(全12回) 中小企業経営講習会共催負担金等 1,635千円 ◎講習会等受講者数 実績1,995人(目標2,375人)</p>						
3	中小企業指導団体等育成事業 34,984千円			A	B	B	B	継続
	創造都市推進局 産業振興課	<p>(事業概要、事業実績等) 中小企業等の経営の近代化・共同化及び地場産業の育成・指導の推進に努めるとともに、その構成員の文化的・経済的な改善向上を図っている指導団体に対し、高松市中小企業振興助成条例に基づき事業助成を行うことにより、その活動を支援した。</p>						
4	中小企業人材確保・就業機会拡大事業 285千円		117.9%	A	A	A	A	継続
	創造都市推進局 産業振興課	<p>(事業概要、事業実績等) 合同就職面接会を、高松商工会議所、香川労働局、高松公共職業安定所、香川県などとの共催により開催したことで、中小企業の労働力及び人材の確保を促し、経営の安定につながる効果が得られた。 かがわくフェア(合同就職面接会)の開催 日時：平成30年8月22日(水)午後1時～午後4時 場所：サンメッセ香川 大展示場 参加企業数：133社、参加求職者数179人 ◎就職面接会参加企業の満足度 実績94.3%(目標80%)</p>						
5	貿易振興事業 2,688千円		109.0%	A	B	B	A	継続
	創造都市推進局 産業振興課	<p>(事業概要、事業実績等) 貿易振興に係る事業を実施している独立行政法人日本貿易振興機構香川貿易情報センター(ジェトロ香川)に対して助成を行ったほか、関係団体等で組織された高松港コンテナターミナル振興協議会において、広報・宣伝・海外ポートセールスを行うことにより、地場産業を始めとする、関連中小企業の貿易振興を推進した。 ◎コンテナ取扱増加量 実績3,016TEU(目標2,766TEU)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	中央商店街にぎわい促進事業 33,233千円	一般重点	86.9%	94.5%	A	B	B	A	改善継続
	創造都市推進局 産業振興課	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>商店街共同施設の改修事業等に助成し、商店街の環境整備を進めたほか、空き店舗改装費の助成や、南部三町商店街活性化拠点施設「マチカド・プラザ」の整備に助成を行う等、中央商店街の活性化に寄与した。</p> <p>◎中央商店街の空き店舗率 実績16.85% (目標14.9%) ◎中央商店街の歩行者通行量 実績133,200人 (目標141,000人)</p>							
7	企業誘致・起業支援による地域経済 活性化促進事業 208,172千円	特別重点	150.0%		A	A	B	A	拡充
	創造都市推進局 立地・創業・イノベーション支援 室	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>企業誘致専門員を配置し、企業誘致や立地に向けた情報収集やネットワークづくりに取り組むとともに、企業誘致助成制度を活用した支援を行い、企業立地を促進した。</p> <p>また、平成27年度に策定した創業支援等事業計画に基づき、関係団体等との連携を強化しながら創業支援に取り組むとともに、四番丁スクエア内に設置した創造支援センターを活用して、創造性に富む発想や独自性のある技術を活用した新規事業者等の支援を行った。</p> <p>◎企業誘致助成制度指定件数(21年度以降の累計) 実績75件 (目標50件)</p>							

施策	農林水産業の振興
----	----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
3,733,738千円	A	22.7%	71.5%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化
担当局	創造都市推進局、農業委員会事務局

対象	市内の農林漁業者	意図	農林漁業者の生産販売額の増加
----	----------	----	----------------

概要（実績）
 経営所得安定対策制度の推進や園芸産地育成推進事業、林業振興事業、水産増養殖事業等により、生産性が向上したほか、農林水産業団体育成事業や人・農地プラン推進事業等により、生産体制が充実・強化された。また、土地改良事業や土地改良施設管理事業、林道施設整備事業、漁場保全補助事業等により、生産基盤が整備されたほか、鳥獣被害対策の実施により農業経営が安定した。その他、香南アグリームでの農業体験や市民農園整備事業等により、農業体験者数が増加した。

成果指標	①	指標名	認定農業者数	H30実績	H30目標	達成度
		状況	平成30年度は、新たな認定農業者の積極的な確保に努めた結果、前年比7名増の経営体数となった。引き続き、新規就農者からのステップアップを円滑に進めるなど、担い手の確保・育成に努め、目標の達成を目指す。	315経営体	318経営体	99.1%
				達成度の推移		☁
	②	指標名	農畜産物販売額（JA取扱金額に限る）	H30実績	H30目標	達成度
		状況	担い手農家等によるブロッコリー等の露地野菜の面積が拡大傾向にあることなどから目標を上回っており、今後もこの状況を継続していきたい。	41.3億円	38.2億円	108.1%
			達成度の推移		☀	
③	指標名	卸売市場の取扱金額	H30実績	H30目標	達成度	
	状況	取扱金額の実績値は、前年度並みで推移しており、今後もこの状況を継続していきたい。	318億円	323億円	98.5%	
			達成度の推移		☁	

施策の課題
 農業においては、農業者の高齢化や後継者等の担い手不足、農産物の価格低迷などの課題解決による早急な農業経営の安定化を図る必要がある。林業においては、従事者の不足と木材価格の低迷から、管理不十分となっている森林が増加しており、適正管理の推進が必要である。水産業においては、漁業従事者の高齢化や後継者不足、水産資源の減少などにより、経営状況が一層厳しくなっており、これらの課題への対策の強化が重要である。
【農業委員会事務局】農地等利用の最適化の推進に向け、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入を促進するため農地中間管理機構等関係機関との連携を強化する必要がある。

施策の方向性
 農林水産業の振興のため、農産物等の品質向上や規模拡大のほか、6次産業化やICT導入の促進、森林・漁場保全等の環境整備、担い手等の確保・育成に努める。また、有害鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、効果的な捕獲や防護の支援に努める。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	森林団体育成事業		117.3%	A	A	A	A	継続
	4,323千円	<p>(事業概要、事業実績等) 山間地域の活性化と林業並びに森林の管理運営の活性化を図るため、森林組合等への支援を行った。これにより、関係団体が森林関係補助事業などの国等への要望や、森林・林産業の陳情活動及び啓蒙活動・情報誌等の発行を行い、林業発展に一定の効果があった。</p> <p>◎木材の出荷数 実績469立米 (目標400立米)</p>						
	創造都市推進局 農林水産課							
2	畜産団体育成事業		95.0%	A	B	B	A	継続
	1,036千円	<p>(事業概要、事業実績等) 高松市畜産振興協議会に助成し、畜産振興に寄与した。また、高松市畜産共進会や肉牛枝肉共励会等の開催を支援し、農家の技術研鑽、情報収集及び地産地消が促進された。</p> <p>◎県畜産共進会出品頭数 実績57頭 (目標60頭)</p>						
	創造都市推進局 農林水産課							
3	(評価対象外) 治山施設建設事業							
	432千円	<p>(事業概要、事業実績等) 由良町地区において治山事業の要望があり、平成30年度は測量設計業務を行った。</p> <p>なお、契約の締結に不測の日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：4,000,000円)</p>						
	創造都市推進局 農林水産課							
4	中山間地域等直接支払事業		99.3%	A	A	B	A	継続
	43,252千円	<p>(事業概要、事業実績等) 中山間地域などの農業生産条件が不利な指定地域内の農用区域において集落協定を締結し、5年以上農業を継続する農業者に交付金を交付したことにより、耕作放棄地の発生を防止し、農業の多面的機能を確保した。</p> <p>協定数 51集落 農家数 712戸</p> <p>◎協定面積 実績282ha (目標284ha)</p>						
	創造都市推進局 農林水産課							
5	農業経営対策事業		146.6%	A	A	A	A	継続
	20,130千円	<p>(事業概要、事業実績等) 農業の担い手の経営規模拡大と農地の有効利用を図るため、農地中間管理事業の推進、経営規模を拡大する認定農業者に対する支援等を実施することにより、農地の効率的な利用と担い手への利用集積を促進し、遊休農地の拡大を防止するとともに、地域農業の振興と生産性が向上した。</p> <p>認定農業者への助成対象面積 17.1ha</p> <p>◎農地中間管理機構への集積面積 実績73.3ha (目標50.0ha)</p>						
	創造都市推進局 農林水産課							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	農業後継者育成事業 1,703千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				80.0%		B	A	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 高松市内の若手農業者で構成する農業青年クラブの活動を支援し、関係機関との連携を図るとともに、若手農業者相互の情報交換や交流を促進し、農業技術の向上や新規就農者の育成に寄与した。 ◎農業後継者クラブ主催事業参加者 実績12人(目標15人)</p>						
創造都市推進局 農林水産課								
7	農業団体育成事業 8,872千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			108.1%		A	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 農業協同組合、農業共済組合及び香川県東讃農業改良普及センター等の関係機関と連携を図るとともに、各種農業団体への支援等を行い、農業技術の普及や自主的な活動を促進することにより農業振興に寄与した。 ◎高松市内の農畜産物販売額(農協取扱分) 実績41.3億円(目標38.2億円)</p>						
創造都市推進局 農林水産課								
8	人・農地プラン推進事業 36,578千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%	107.9%	A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 農業次世代人材投資事業の実施により、新規就農者の確保及び安定が図られるとともに、人・農地プランの推進により、地域の担い手や農地集積に関する話し合いが促進された。 ◎地区「人・農地プラン」数 実績32件(目標32件) ◎人・農地プランへの参画者数 実績205人(目標190人)</p>						
創造都市推進局 農林水産課								
9	(評価対象外) 盆栽集出荷施設管理運営事業 895千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 国分寺町盆栽集出荷場の運営及び維持管理を委託し、盆栽の生産振興と流通の円滑化を促進した。 また、選定枝のリサイクル作業を業者に委託し、資源を有効利用した。</p>						
創造都市推進局 農林水産課								
10	優良農地確保対策事業 9,758千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	70.1%	128.6%	B	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 国の荒廃農地等利活用促進交付金を活用して、耕作放棄地の利用希望がある担い手農家への貸借の推進を通じて、荒廃農地再生利用事業に取り組むことにより、耕作放棄地の再生利用に効果があった。 再生利用事業による耕作放棄地解消面積 113a ◎荒廃農地の再生利用面積(累積:a) 実績1,543(目標2,200) ◎農用地区域への編入面積(累積:h a) 実績0.9(目標0.7)</p>						
創造都市推進局 農林水産課								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
11	林道施設整備事業 5,903千円	89.3%	A	A	A	A	継続	
	創造都市推進局 農林水産課	<p>(事業概要、事業実績等) 林道を整備したことにより、山間地域が活性化し、森林の管理運営にも寄与できた。 宮谷線開設工事 17.2m ◎整備計画予定路線全体の整備進捗率 実績67% (目標75%)</p>						
12	(評価対象外) 財産区管理事務 204千円							
	創造都市推進局 農林水産課	<p>(事業概要、事業実績等) 4財産区管理会(弦打財産区・雌雄島財産区・塩江財産区・上西財産区)を適切に運営することにより、その住民の福祉の増進に寄与した。</p>						
13	漁業近代化資金等利子補給事業 928千円	74.0%	A	A	B	B	継続	
	創造都市推進局 農林水産課	<p>(事業概要、事業実績等) 漁業者の施設整備資金等の借入金に対し、利子補給を行ったことにより、漁業の近代化が促進された。 ◎高松市内の漁獲量 実績2,887t (目標3,900t)</p>						
14	(評価対象外) 市有山林管理事業 3,246千円							
	創造都市推進局 農林水産課	<p>(事業概要、事業実績等) 市有林の適切な維持管理を実施した。 また、生活環境保全林等にある遊歩道の草刈り等の里山保全活動や市有林内にあるトイレの維持管理を行ったことにより、市有林の保全と利用者の利便が向上した。</p>						
15	水産団体育成事業 2,406千円	74.0%	A	A	B	B	継続	
	創造都市推進局 農林水産課	<p>(事業概要、事業実績等) 7水産団体(漁業種別協議会、漁業後継者クラブ等)に助成することで、栽培漁業や資源管理型漁業を推進したほか、後継者の育成が進んだ。また、県水産振興協会の事業やあじっこ市場を通じ、魚食普及や水産物の消費が拡大した。 ◎高松市内の漁獲量 実績2,887t (目標3,900t)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		16	海浜清掃補助事業 2,547千円 創造都市推進局 農林水産課		106.7%	A	A	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 市内の海浜及び漁港を漁業者が清掃することにより、漁港機能の確保や海浜の美観が維持できた。 ◎回収ゴミ量 実績64t (目標60t)</p>						
17	漁場保全補助事業 1,126千円 創造都市推進局 農林水産課		74.0%	A	A	B	B	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 海底に堆積した汚泥物質を海底耕うんすることにより、分解を促進し、漁場の機能及び生産力を回復させ、底質が改善した。 ◎高松市内の漁獲量 実績2,887t (目標3,900t)</p>						
18	(評価対象外) 農業振興地域整備計画事務費 1,651千円 創造都市推進局 農林水産課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 農業振興地域の整備に関する法律に基づき、農業上の利用を確保すべき土地の区域(農用地区域)を設定することにより、優良農地を確保するとともに各種農業施策を推進している。</p>						
19	(評価対象外) 農村環境改善センター管理運営事業 5,951千円 創造都市推進局 農林水産課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 農村環境改善センターの適正な管理運営を行ったことにより、農家の生活の改善、健康増進及び市民相互交流が活発になるなどの効果があった。</p>						
20	(評価対象外) 林道施設管理事業 11,534千円 創造都市推進局 農林水産課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 林道の維持管理として、危険箇所等の修繕、除草、竹林等の除去を実施し、利用者の安全の確保及び森林環境の維持に寄与した。 林道管理延長 82km</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
21	(評価対象外) 畜産競争力強化整備事業							
	113,342千円	(事業概要、事業実績等) 畜産クラスター事業に取り組み、経営規模の拡大や機器整備に助成することにより、高品質牛乳の増産及び良質の堆肥の生産・販売並びに乳製品の新たな開発を促進した。 (事業費333,999,741円、補助金額113,342,000円)						
創造都市推進局 農林水産課								
22	土地改良施設管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	39,018千円	100.0%	98.5%	A	B	B	A	継続
創造都市推進局 土地改良課		(事業概要、事業実績等) 農業生産性の向上、農業生産の増大等に資するため、土地改良事業関係各種団体への負担、補助を行うとともに、土地改良施設の維持管理・環境整備を行うことにより、農業生産基盤の整備を促進した。 ◎土地改良区受益面積 実績11,717ha(目標11,717ha) ◎施設利用者数 実績19,691人(目標20,000人)						
23	土地改良事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,046,042千円	102.7%		A	A	B	A	継続
創造都市推進局 土地改良課		(事業概要、事業実績等) 県営・団営・単営・市単・市単・農協の健全な発展に向け、支援を行った。 ◎補助金交付件数と実績462件(目標450件) ◎なお、県営・単営・市単補助土地改良事業補助金等については、施工内容の検討事業費の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費額:95,058,000円) また、完了した(平成29年度繰越明許事業費:94,591,240円) 【30年度事業内訳(29繰越案件を含む)】県営事業14件(内繰越4件)、単営事業3件、単営費補助事業等291件(内繰越15件)、災害復旧事業費56件						
24	(評価対象外) 農業委員会事務事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,657千円	(事業概要、事業実績等) 農地転用の各種申請については、適正な審査と迅速な処理を行い、議事録をホームページ等で公表し、審議過程等透明性を確保した。また、市長に対して農地利用最適化推進「かがわの農地利用最適化推進」等に関する改善意見を提出したほか、指導農業者の育成・確保を図り、地域の農業の振興に繋がる成果が得られた。						
農業委員会事務局 農政課								
25	(評価対象外) 農地利用最適化推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	37,847千円	(事業概要、事業実績等) 改正農業委員会法の施行により必須業務となった、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等による農地利用の最適化の推進に積極的に取り組んだ。定め、全ての農地の利用状況調査を実施し、約656haの荒廃農地の実態把握や分佈地図の更新を行うとともに、再生利用が可能な遊休農地の所有者等に対する香川県農地機構への貸付けを促す利用意向調査を実施し、利用促進策を強化し、18回開催し、認定農業者等担い手へ約209haの農地を集積する農地有効利用及び担い手等の経営確立を支援し、地域の農業が振興した。						
農業委員会事務局 農政課								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
26	有害鳥獣被害対策事業 29,443千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	99.3%	122.5%	A	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等) イノシシ対策として猟友会の捕獲活動等に対する助成を行ったことにより、鳥獣被害防止計画の計画数をおおむね達成することができた。また、農家への侵入防止柵等設置助成や狩猟免許取得を推進したことにより、農作物被害の拡大を防止した。</p> <p>◎有害許可捕獲によるイノシシの捕獲頭数 実績1,588頭 (目標1,600頭) ◎有害鳥獣による農作物被害面積 実績11.82ha (目標15.26ha)</p>						
27	(評価対象外) 農業振興事業 73千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 高松市農業基本対策審議会及び専門委員会を合同で開催し、高松市農業振興計画(計画期間：平成28年度～令和5年度)における進捗状況の点検・評価など、本市農業施策に関する重要事項について審議した。</p>						
28	(評価対象外) 食肉センター周辺施設管理運営事業 1,608千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 茜町会館を適正に管理運営することにより、市民に集会、レクリエーション、文化等の場を提供し、市民福祉の増進に寄与した。 また、郷東海浜公園の維持管理に努め、市民にスポーツ等の場を提供し、市民福祉の増進に寄与した。</p>						
29	園芸産地育成推進事業 42,264千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			104.3%	111.2%	A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 多様化する消費者のニーズに対応した品質と安定的な供給力を持った園芸産地の持続的発展を図るため、県オリジナル品種などの園芸作物等の生産拡大に取り組むための農業機械施設等の整備に対する支援を行った。 高松市園芸産地育成強化推進事業 かがわ園芸産地活性化基盤整備事業ほか</p> <p>◎高松市内の野菜販売額(農協取扱分) 実績1,397百万円 (目標1,340百万円) ◎高松市内の果物販売額(農協取扱分) 実績645百万円 (目標580百万円)</p>						
30	森林整備事業 857千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			29.0%		A	A	A	D
		<p>(事業概要、事業実績等) 松くい虫防除事業については、被害を受けた立木を適切に調査及び駆除を行うことにより、松枯れ被害の拡大を防いだ。</p> <p>◎年間松くい虫被害材積において、伐倒駆除事業を実施した面積の比率 実績5.8%(目標20%)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性			
							重点	成果達成度	
31	水田農業振興事業		99.9%	A	A	A	A	統合	
	創造都市推進局 農林水産課	<p>(事業概要、事業実績等) 水稲や麦類などの土地利用型農業における規模拡大や経営の高度化を推進した。</p> <p>◎交付対象作物の作付面積 実績 5,894,855㎡ (目標5,900,000㎡)</p>							
32	高松産ごじまん品6次産業化等支援事業	重点	80.0%	C	A	B	B	縮小	
	創造都市推進局 農林水産課	<p>(事業概要、事業実績等) 高松産ごじまん品等の市内農産物について、6次産業化及び農商工連携の取組を支援し、新たな加工品やサービスの開発を促進した。</p> <p>◎農産物の加工品の創作数 実績4品 (目標5品)</p> <p>2,000千円</p>							
33	たかまつ農業ICT導入活用支援事業	重点	225.0%	A	A	B	A	継続	
	創造都市推進局 農林水産課	<p>(事業概要、事業実績等) 本市農業の持続的な発展に向け、認定農業者や新規就農者等の農業経営の高度化に必要なICTシステムの導入等を支援した。</p> <p>◎高松市農業ICTシステム導入活用事業 実績9件 (目標4件)</p> <p>1,477千円</p>							
34	農業経営安定対策事業	重点	94.3%	101.9%	A	A	B	A	継続
	創造都市推進局 農林水産課	<p>(事業概要、事業実績等) 農業協同組合、農業委員会、農業共済組合等の関係機関と連携して、国の経営所得安定対策事業を実施し、米の計画的生産と畑作物等の作付を推進した。</p> <p>◎経営所得安定対策等交付申請者数 実績660人 (目標700人) ◎交付対象作物の作付面積 実績8,560,136㎡ (目標8,400,000㎡)</p> <p>20,362千円</p>							
35	林業振興事業	重点	100.0%	100.0%	A	A	A	A	継続
	創造都市推進局 農林水産課	<p>(事業概要、事業実績等) 分収造林地における森林施業事業について、現況に合わせた適切な事業実施ができた。造林事業助成については、木材価格が低迷し、森林所有者の造林意欲が低下している中ではあるが、ほぼ予定通りの施業に対し、支援が行えた。</p> <p>◎分収造林地において造林施業を実施した面積の比率 実績3% (目標3%) ◎人工造林地において造林施業を実施した面積の比率 実績3% (目標3%)</p> <p>5,685千円</p>							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
36	畜産振興事業	87.4%	A	A	B	A	継続	
	4,351千円	<p>(事業概要、事業実績等) 家畜法定伝染病予防事業に助成したことにより、家畜法定伝染病の予防を図った。また、家畜環境衛生対策事業に対し助成したことにより、環境保全と家畜衛生の改善が図られた。さらに、肉用牛等生産振興事業に助成したことにより、畜産経営の体質強化と上質肉牛の生産拡大に寄与した。</p> <p>◎予防注射・検査頭数 実績5,068頭(目標5,800頭)</p>						
創造都市推進局 農林水産課								
37	水産振興事業	70.6%	A	A	B	B	継続	
	7,308千円	<p>(事業概要、事業実績等) 栽培漁業推進事業、水産増養殖事業等に助成したことにより、水産資源の培養及び養殖漁業の振興に繋がる成果が得られた。</p> <p>◎ヒラメ漁獲量 実績12,000kg(目標17,000kg)</p>						
創造都市推進局 農林水産課								
38	(評価対象外) 鳥獣飼養許可等事業							
	458千円	<p>(事業概要、事業実績等) 有害鳥獣の捕獲許可事務を実施し、農作物等の被害防止を推進した。 捕獲許可件数 660件</p>						
創造都市推進局 農林水産課								
39	多面的機能支払事業	102.4%	A	A	B	A	継続	
	137,879千円	<p>(事業概要、事業実績等) 水源涵養や景観整備、防災など、農業・農地が有する多面的な機能を維持発揮させるため、耕作継続に必要な農道・水路などの保全活動や施設の修繕、長寿命化を図る活動を促すことを目的として、農業者や地域住民で構成される活動組織へ支援を実施した。</p> <p>平成30年度実績 農地維持活動組織数 35組織 対象面積 2,364.5ha 資源向上(共同)活動組織数 22組織 対象面積 1,305.4ha 資源向上(長寿命化)活動組織数 15組織 対象面積 1,087.2ha ◎対象農用地面積 実績2,365ha(目標2,310ha)</p>						
創造都市推進局 土地改良課								
40	(評価対象外) 農村公園等運営事業							
	5,919千円	<p>(事業概要、事業実績等) 農村公園等(14施設)の日常的な維持管理(指定管理)を行い、市民に憩いとふれあいの場を提供し、市民の日常的な健康増進及び相互の交流が行われた。</p>						
創造都市推進局 農林水産課								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
41	(評価対象外) 香南アグリーム管理運営等事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	10,587千円							
創造都市推進局 農林水産課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>農業体験施設である香南アグリームの運営管理(指定管理)を行い、園地を利用した農業体験、工房では園内で取れた野菜等を使った調理体験を実施し、来場者の農業に対する理解を深めるとともに食育を推進した。また、香南朝市(産地直売所)では香南町を中心とした農家が出荷した農産物の販売をするなど、地域農業の振興及び地産地消を推進した。</p>						
42	グリーン・ツーリズム推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	226千円		100.9%	A	A	B	A	継続
創造都市推進局 農林水産課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>都市と農村の交流を促進するため、グリーン・ツーリズムに取り組む農業者等で組織する協議会に対する支援を実施した。</p> <p>スタンプラリー及びモニターツアーの実施</p> <p>◎グリーン・ツーリズム実践団体来場者 実績179,636人 (目標178,000人)</p>						
43	市民農園整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,686千円		86.1% 94.8%	B	B	C	B	改善継続
創造都市推進局 農林水産課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>市民農園の新規開設補助 1カ所 開設初期の市民農園の運営支援 2カ所</p> <p>◎市民農園の設置カ所数 実績31カ所(目標36カ所) ◎市民農園利用率 実績82.5%(目標87%)</p>						
44	水産教室開催事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	360千円		62.5%	A	B	B	C	継続
創造都市推進局 農林水産課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>水産教室の開催に助成したことにより、地元漁業への児童の理解を深めることができた。(料理教室・タッチプール)</p> <p>◎開催回数 実績5回(目標8回)</p>						
45	(評価対象外) 研修集会施設管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,041千円							
創造都市推進局 農林水産課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>研修集会施設の適切な維持管理を行い、農業振興のための研修及び集会、レクリエーション、文化等の場を提供したことにより、市民福祉の増進に寄与した。</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
46	(評価対象外) 食肉センター管理運営事業 523,269千円							
	創造都市推進局 農林水産課	<p>(事業概要、事業実績等) 本市食肉センターは、平成18年4月1日に指定管理者制度の導入後、指定管理者に指定した高松食肉事業協同組合により、円滑な施設管理が行われた。</p> <p>なお、軌条機械設備等改修実施設計業務については、設計内容の検討に期間を要したなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：2,315,000円) また、前年度からの繰越事業である係留室内空調設備改修工事については、完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：4,644,000円)</p>						
47	卸売市場活性化推進事業 1,756千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 市場業務課		106.2%	100.7%	A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 現行の市場の活性化に関するマスタープランに基づき、市場見学、たかまつ市場フェスタ2018、市場特別開放及び夏休み市場DE自由研究などを実施した。</p> <p>◎市場への一般市民の来場者数 実績25,481人(目標24,000人) ◎当該年次取扱高を対前年比の95%以上にする 実績95.7%(目標95%)</p>						
48	(評価対象外) 卸売市場管理運営事業 238,765千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 市場業務課	<p>(事業概要、事業実績等) 中央卸売市場及び公設花き地方卸売市場施設・設備の維持管理、修繕及び保守点検を行った。また、市場内の清掃やごみの分別収集を徹底し、美化に努めるとともに、市場内警備を行い、安全を確保するなど、健全な市場運営を行った。</p> <p>なお、中央卸売市場ガス配管改修実施設計業務委託及び中央卸売市場冷蔵庫棟コンクリートブロック塀等改修工事については、設計内容の検討に日時を要したことから、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：7,217,000円) また、前年度からの繰越事業である公設花き地方卸売市場花き棟受変電設備改修工事については、完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：3,213,000円)</p>						
49	卸売市場整備事業 814,004千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 施設整備室	特別重点	98.5%		A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 新青果棟の基本設計や南海トラフを震源とする地震や高潮被害に備えた、地盤の液状化対策や盛土工事などの実施設計を実施した。 また、青果棟の移転候補地の用地を所有者である日本たばこ産業株式会社から購入した。</p> <p>◎卸売市場の取扱金額 実績318億円(目標323億円)</p>						

施策	特産品の育成・振興とブランド力の向上
-----------	--------------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
24,343千円	B	31.0%	71.1%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化
担当局	創造都市推進局

対象	市内の特産品生産者・製造者及び購入者	意図	高松ブランド化の推進に向けた取組を実施し、特産品の育成・振興を図る。

概要（実績）
本市の伝統的ものづくり製品や特産品・農作物について、各種展示会への支援等を通じて、普及啓発事業・販路拡大事業等を実施し、特産品の育成・振興とブランド化の推進及び地場産業の活性化に寄与した。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度	
		①	販路開拓事業等来場者数	18,832人	20,000人
	状況	<p>特産品の育成・振興とブランド化の推進に寄与するため、販路開拓事業の支援を実施しているが、開催期間の短期化等により、目標達成には至らなかった。</p>		<p>達成度の推移</p>	
②	指標名	盆栽輸出登録申請者数（E U）	18人	23人	78.3%
	状況	<p>盆栽振興に関する新たな取組を実施しているが、慢性的な後継者不足の中、生産者の高齢化が進み、目標達成には至らなかった。</p>		<p>達成度の推移</p>	
③	指標名	伝統的ものづくり普及啓発事業等参加者数	599人	750人	79.9%
	状況	<p>特産品の育成・振興とブランド化の推進に寄与するため、普及啓発事業を実施しているが、開催数及び開催場所等の制限により、目標達成には至らなかった。</p>		<p>達成度の推移</p>	

施策の課題
伝統的ものづくり製品や特産品、農作物について、一定の評価はあるものの、その価値や評価を高めることが求められている。今後も関係団体と連携して、販路拡大や後継者育成等に取り組むとともに、国内だけでなく、国外への輸出拡大を見据えた新たな取組が必要である。

施策の方向性
地域経済の活性化を図る上で、地場産業の振興は重要性を増しており、継続実施していく必要がある。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	伝統的ものづくり支援事業（産業振興課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	5,833千円	特別重点	79.9%	94.2%	A	A	B	A
創造都市推進局 産業振興課		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>高松市伝統的ものづくり振興条例に基づき、伝統的ものづくり振興審議会や、夏休み親子体験教室、学校巡回教室、伝統的ものづくり事業者対象セミナーなどを開催した他、香川漆芸魅力発信戦略事業、展示会等への補助、伝統的ものづくり振興事業補助などにより、人づくりの推進や販路拡大等に寄与した。</p> <p>◎普及啓発事業等参加者数 実績599名（目標750名） ◎販路開拓事業等来場者数 実績18,832名（目標20,000名）</p>						
2	特産品育成・振興事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,458千円				A	B	B	B
創造都市推進局 産業振興課		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>昨年度は、水戸市において開催された姉妹都市・親善都市と交流都市の観光と物産展に本市の特産品を出品したほか、彦根市、由利本荘市、金沢市、帯広市、かほく市にも同様に出品をした。また、新たに羽田空港において伝統工芸品の展示を行うなど、特産品の育成や振興に寄与した。</p>						
3	伝統的ものづくり支援事業（農林水産課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	11,552千円	特別重点	78.3%		A	A	B	B
創造都市推進局 農林水産課		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>香川県、JA及び盆栽事業者等と連携し、高松盆栽PR、生産振興、輸出拡大、販路拡大等に取組み、高松盆栽の振興とブランド化を推進した。</p> <p>高松盆栽振興事業費 1,843千円 高松盆栽の郷推進事業費 7,571千円</p> <p>◎盆栽輸出登録申請者数（EU） 実績18人（目標23人）</p>						
4	高松ブランド農産物育成支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,500千円		93.3%	114.6%	A	A	B	A
創造都市推進局 農林水産課		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>JA香川県等の関係機関と連携して、高松産ごじまん品を推進し、食育・地産池消に取り組んだ。</p> <p>◎食育・農業体験教室への参加者数 実績56人（目標60人） ◎たかまつ食と農のフェスタ出展者販売額 実績10,315千円（目標9,000千円）</p>						

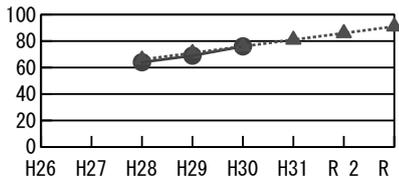
施策	就業環境の充実
----	---------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
376,782千円	A	13.9%	74.1%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化
担当局	創造都市推進局

対象	市内の事業所及び勤労者	意図	市内事業所の就業環境の充実及び勤労者の勤労意欲の向上を目指す。
----	-------------	----	---------------------------------

概要(実績)
 平成18年度に創設した子育て支援中小企業等表彰制度に基づき、30年度は、7事業所を表彰・PRするなど、市内事業所のワーク・ライフ・バランス推進の成果が得られた。
 中小企業勤労者支援事業では、市内の勤労者の持ち家の促進を図るため、四国労働金庫との協調融資により住宅資金を貸し付けた。利用状況は好調であり、勤労者の就業意欲・環境の向上につながった。
 中小企業勤労者福祉共済事業においては、新規事業所の加入促進に努めたことにより、新規事業所加入に伴う被共済者加入人数189人を獲得するなどして、被共済者数が8,388人へと増加するとともに、福利事業も多くの利用を得るなど、市内の中小企業に働く勤労者の福利厚生が向上した。

成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		①	子育て支援中小企業等表彰事業の表彰事業者延べ数	76団体
	状況	平成30年度は平成29年度を上回る270事業所に応募案内し、自主的な応募のみで、年間の目標表彰事業者数(5社)を上回る7社を表彰することができた。		
②	指標名	H30実績	H30目標	達成度
	状況			
③	指標名	H30実績	H30目標	達成度
	状況			

施策の課題
 施策を構成する各事務事業においては、成果目標を達成しているが、経済の先行きが不透明な状況下において、本市が就業環境の充実や雇用対策に取り組んでいくためには、これまで以上に市の関係部局や国・県・関係機関との連携・協力が必要である。

施策の方向性
 市内企業における就業環境の向上を後押しすることや、市として市内の優良企業をPRすることは、勤労者福祉はもとより、企業の人材確保の面でも重要性を増しており、今後一層、市の関係部局や国、県、関係機関と連携しながら施策を継続(表彰制度についてはより効果的に市内企業をPR等できるような見直し)していく必要がある。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		就業支援推進事業			100.0%	A	A	B
1	3,090千円	<p>(事業概要、事業実績等) 労働関係情報を発信するとともに一般事業主行動計画を策定し、従業員の仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組んでいる市内の7企業・団体を表彰した。その他、勤労者福祉に関する事業を行っている団体に補助を行った。これらにより、市内事業所の就業環境の向上等につながった。</p> <p>◎子育て支援中小企業等表彰事業の表彰事業者延べ数 実績76団体 (目標76団体)</p>						
	創造都市推進局 産業振興課							
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		中小企業勤労者支援事業			A	A	B	A
2	180,500千円	<p>(事業概要、事業実績等) 四国労働金庫との協調融資により、住宅資金の貸付け(融資限度額は600万円)を行うとともに、優遇措置として、融資額の0.1%(最高6千円)を1回還付(四国労働金庫が費用負担)することによって、勤労者の持ち家促進の成果が得られた。</p> <p>融資件数：193件、融資額：1,151,020,000円 利子還付件数：171件、利子還付額：1,013,590円 利用率：159.86%</p>						
	創造都市推進局 産業振興課							
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		中小企業勤労者福祉共済事業		101.9%	A	A	B	A
3	98,523千円	<p>(事業概要、事業実績等) 福利事業や給付事業等のほか、会報紙を年9回発行し、事業の案内や決算状況だけでなく、新規会員事業所の紹介などを行った。また未加入事業所の訪問勧誘や、加入事業所の要望を聴くなど、加入確保対策を実施した。これらにより、市内の中小企業に働く勤労者の福祉の増進と中小企業振興の成果が得られた。</p> <p>平成31年3月31日現在の高松市中小企業勤労者福祉共済事業加入事業所数 699事業所</p> <p>◎加入被共済者数 実績8,388人(目標8,230人)</p>						
	創造都市推進局 産業振興課							
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(評価対象外) 高松テルサ管理運営事業						
4	84,413千円	<p>(事業概要、事業実績等) 高松テルサの管理運営を指定管理者である穴吹エンタープライズ株式会社に委託した。その他、自主企画事業である「高松テルサ音楽祭」において高松市長賞を贈呈した。これらにより、高松テルサを利用する勤労者等の福祉を増進することができた。</p> <p>高松テルサについては、平成31年3月31日に閉館記念式典を開催し、平成30年度をもって閉館した。高松テルサ平成30年度利用者数：387,059人</p> <p>なお、契約の締結に不測の日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：45,734,000円)</p>						
	創造都市推進局 産業振興課							

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政策	文化芸術の振興と発信

総合評価
A

1 政策の概要

文化芸術の振興と発信を図るため、瀬戸内国際芸術祭や高松国際ピアノコンクールの開催を始め、市民の近くに出向いて行う、文化芸術のアウトリーチ活動など、優れた文化芸術に触れる機会を拡充させるほか、文化芸術施設の整備と機能の充実に努めるとともに、学校と連携したプログラムの推進や菊池寛の顕彰事業など、教育普及活動や効果的な情報発信を図ります。

また、国の特別史跡讃岐国分寺跡や史跡高松城跡、史跡石清尾山古墳群の整備など、長い歴史と伝統に生まれ、伝承されてきた文化財の保存と活用に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
文化芸術の振興	87%	A
文化財の保存・活用	95%	A
平均	91%	A

3 政策の評価

文化芸術の振興と発信に向けて、2施策に取り組んだ。

「文化芸術の振興」では、設定する3つの成果指標のうち、美術館来場者数において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成又は概ね達成した。

「文化財の保存・活用」では、設定する2つの成果指標について、目標を概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は91%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
文化芸術の振興	46.4%	6.9%	59.8%
文化財の保存・活用	29.1%	11.4%	59.9%
平均	37.8%	9.2%	59.9%

施策	文化芸術の振興
----	---------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,099,389千円	A	46.4%	59.8%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	文化芸術の振興と発信
担当局	創造都市推進局

対象	市民	意図	優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援等市民の自主的・創造的な文化芸術活動を推進する。
----	----	----	---

概要 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・デリバリーアーツ事業 公演回数17回、鑑賞者数2,240人 ・文化芸術活動推進事業 学校巡回芸術教室20校 学校巡回能楽教室6校 文化芸術活動補助56件 文化団体活動補助9件 ・美術館運営事業 (市美)常設展4回 特別展5回、(塩江)常設展1回 企画展3回 ・菊池寛顕彰事業 菊池寛生誕130年・没後70年記念シンポジウム、菊池寛のマンガ製作、文学展等の開催、香川菊池寛賞及び菊池寛ジュニア賞の作品募集選奨等 ・文化芸術ホール管理運営事業 文化芸術ホール管理運営、自主事業等 ・美術館管理事業 施設運営、建物の維持管理 ・美術館資料収集事業 美術品購入等19点 (市美19)
------------	--

成果指標	①	指標名	文化芸術ホールにおける事業の参加者数	H30実績	H30目標	達成度
				209,232人	218,750人	95.6%
	状況	目標値には達しなかったが、今後も公演内容の充実や施設の整備を行いながら、利用者により満足していただけるホールを目指し、本市の文化振興に繋げる。	達成度の推移			☁️
	②	指標名	アウトリーチ事業の参加者数	H30実績	H30目標	達成度
				123,208人	72,500人	169.9%
	状況	平成30年度は、まちなかパフォーマンスの鑑賞者数増等により前年度を上回った。今後も、内容の充実を図りながら市民のニーズに応じた事業展開を目指す。	達成度の推移			☀️
	③	指標名	美術館来場者数	H30実績	H30目標	達成度
				116,140人	161,500人	71.9%
	状況	魅力的な展覧会ラインアップや教育普及活動の广がりに努めたが、目標に達しなかった。今後も幅広い層から利用され、親しみのある美術館事業の展開を目指す。	達成度の推移			🍄

施策の課題	優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援等、市民の自主的・創造的な文化芸術活動を更に推進する必要がある。
-------	---

施策の方向性	今後の施策を取り巻く環境変化や市民満足度調査の結果を踏まえ、デリバリーアーツ事業や美術館運営事業などにより、効果的かつ継続的に文化芸術活動を推進していく。
--------	---

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	市民文化祭開催事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	7,760千円		100.7%	A	A	B	A	継続
創造都市推進局 文化芸術振興課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>市民が創造・参加する市民企画提案型の文化の祭典として、市民文化祭「アーツフェスタたかまつ」を開催している。平成30年度は17の公演・展示を実施し、文化芸術活動の参加・発表の場を提供するとともに、幅広いジャンルの作品鑑賞機会を提供した。</p> <p>◎アーツフェスタたかまつ2018観覧者数 実績9,066人(目標9,000人)</p>						
2	デリバリーアーツ事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,799千円		112.0%	A	A	B	A	継続
創造都市推進局 文化芸術振興課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>市民に身近な場所で、瀬戸フィル音楽会、讃岐国分寺太鼓、落語等の出前を実施し、外に出られない人等にも生の優良芸術を鑑賞する機会を提供している。また、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組として、連携市町の協力の下、圏域内市町にも出前し、平成30年度はさぬき市及び東かがわ市で実施した。</p> <p>◎デリバリーアーツ事業鑑賞者数 実績2,240人(目標2,000人)</p>						
3	(評価対象外)文化奨励賞贈呈事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	319千円							
創造都市推進局 文化芸術振興課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>本市を中心に活動し、本市における文化の振興に貢献している者で、将来においてさらにその活躍が期待される者を奨励することを目的として、高松市文化奨励賞選考審議会の審議により、新人部門、顕彰部門の2部門から選考し、同賞を贈呈している。</p>						
4	文化芸術活動推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	25,239千円		135.5%	A	A	B	A	継続
創造都市推進局 文化芸術振興課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>文化団体の育成・支援を行うとともに文化芸術活動への補助事業を実施し、活動団体の自主的な活動を促進した。また、小中学校の児童生徒を対象に、学校巡回芸術教室・能楽教室を実施したほか、劇団四季公演「こころの劇場」共催等により、子どもたちが優良芸術を鑑賞、体験する機会を提供した。</p> <p>◎文化芸術活動助成事業における参加人数 実績3,387人(目標2,500人)</p>						
5	アート・シティ高松推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	19,686千円	一般重点	161.2%	A	A	A	A	継続
創造都市推進局 文化芸術振興課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>高松市文化芸術振興計画に基づき、アートディレクター推進事業、アーティスト・イン・レジデンス事業、0才からのコンサート事業、まちなかパフォーマンズ事業、ホスピタルアート事業を実施した。多様なアート展開により、市民による文化芸術活動の場への参加や作品鑑賞の機会を広げ、文化芸術を生かしたまちづくりを推進した。</p> <p>◎まちなかパフォーマンズ事業観覧者数 実績108,810人(目標67,500人)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	菊池寛顕彰事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	13,435千円		80.8% 142.6%	A	A	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 高松市が、市民の向上と文化の発展に寄与する目的を以て、菊池寛の顕彰事業として、市内小・中学校を対象とした「菊池寛の文化芸術の普及」をテーマとした文化芸術の普及活動を実施した。この活動により、市民の文化芸術への関心を高め、市民の文化芸術の振興に貢献した。また、市内小・中学校の先生や保護者の文化芸術への関心を高め、市民の文化芸術の振興に貢献した。</p> <p>◎文学展観覧者数 実績3,564人(目標2,500人) ◎文芸講座参加者数(10回延べ数) 実績638人(目標790人)</p>						
7	美術教育普及事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,361千円		220.7%	A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 平成30年度は開館30周年記念ということもあり、教育普及活動の一層の充実を図った結果、美術講座参加者数は前年度よりも大幅に増加した。</p> <p>◎美術講座参加者数 実績4,413人(目標2,000人)</p>						
8	瀬戸内国際芸術祭推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	50,444千円	特別重点	100.0%	A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 平成30年度は「ART SETOUCHI 2018」として継続作品の公開や島同士の交流事業を進めたほか、実行委員会において取りまとめた瀬戸内国際芸術祭2019実施計画に基づき、芸術祭開催に向けた準備を進めた。</p> <p>◎瀬戸内国際芸術祭2019開催準備進捗率 実績100%(目標100%)</p>						
9	高松国際ピアノコンクール事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,800千円	一般重点	133.3%	A	A	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 平成27年度に国際音楽コンクール世界連盟に加盟したことにより、国内外からより一層注目を集めるコンクールとなった中、平成29年度に開催した第4回コンクールは、いずれも過去最多となる32の国や地域から332人の参加があった。コンクールが開催されない年度においては、コンクールの審査員・入賞者のリサイタル事業や公開レッスン、地域での無料演奏会などの事業を展開し、次回開催への機運を高めるとともに、より市民に親しまれ、地域に育まれていくコンクールとなるよう推進している。</p> <p>◎同コンクール推進事業学校訪問リサイタル実施校数 実績8校(目標6校)</p>						
10	(評価対象外) 元香南陶芸館管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3千円							
		<p>(事業概要、事業実績等) 香南地区の陶芸の普及と香南焼の伝承を図るため、香南陶芸館の土地・建物を香南陶芸クラブに貸し付けていたが、平成29年度末をもって同クラブが活動を休止したことに伴い、用途廃止した。木造で非常に老朽化しているため、今後、地元の見解を踏まえながら早期の除却を検討する。</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	(評価対象外) 高松国分寺ホール管理運営事業 40,257千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 文化芸術振興課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 本市西部地域における文化芸術活動の拠点として、日本管財・JTBコミュニケーションデザイン共同事業体を指定管理者として指定し、同ホールの効果的な管理運営に努めるとともに、11メニュー48件の自主事業数に対し補助を行った。</p>						
12	(評価対象外) 文化芸術ホール管理運営事業 570,823千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 文化芸術振興課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 公益財団法人高松市文化芸術財団を、文化芸術ホールの指定管理者として指定し、施設の効果的な管理運営に努めるとともに、同財団が実施する情報誌等発行事業、ホームページ運用事業、財団自主事業に対し助成を行うことにより、文化芸術の振興を推進している。</p> <p>なお、消費税増税に伴う予約管理システムの改修事業費について、システム改修方法の検討に日時を要し、年度内に事業の完了が不可能となったため翌年に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：955,000円)</p>						
13	(評価対象外) 瓦町アートステーション管理運営事業 11,601千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 文化芸術振興課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 本市の交通結節点における文化芸術活動の創造・発表・交流拠点として、コトデン瓦町ビル8階のIKODE瓦町に整備し、市民課を始めとする他ゾーンと連携しながら賑わいの創出に取り組んだ。</p>						
14	高松市文化芸術ホール改修事業 29,808千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 文化芸術振興課	一般重点	100.0%	A	A	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 平成30年7月から工法検討業務を開始し、月1回の定例会において情報共有と進行管理を行いながら、計画とおり業務を進めている。検討業務は令和元年7月終了予定だが、平成30年度末に、想定される特定天井への対応策等に関する中間報告を受けた。</p> <p>◎更新改修に係る進捗率(工事計画策定) 実績30%(目標30%)</p>						
15	高松市文化芸術ホール開館15周年記念事業 1,000千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 文化芸術振興課	一般重点		A	A	A	A	拡充
		<p>(事業概要、事業実績等) 平成30年度は、各記念事業のメニューを決定するとともに、ホール主催事業等において開館15周年をPRするなど広報に取り組み、平成31年4月27日の記念イベントから始まる一連の記念事業の準備を予定どおり行った。</p> <p>◎15周年記念事業参加者の本市人口に対する割合 実績-%(目標1.4%) ※H30は事業実施年度でないため実績なし</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		16	菊池寛記念館管理運営事業		100.1%	A	A	B
11,970千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>菊池寛の業績を顕彰し、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与するため、菊池寛や寛が創設した芥川賞・直木賞等に関する資料の収集、研究調査、保管及び展示を実施するなど、後世に残す適切な管理運営を行った。</p> <p>◎菊池寛記念館利用者数 実績7,508人(目標7,500人)</p>							
	創造都市推進局 文化財課							
17	美術館運営事業		66.8%	100.0%	B	A	B	継続
	8,618千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>平成30年度の高松市美術館主催展入場者数は特別展5展が全体的に低調であるのに伴い常設展も低調となり、さらに塩江美術館が8か月間改修のため休館したことから、伸び悩んだ。アンケートに基づく展覧会満足度は目標値85%に達しており、内容面では充実していたと言える。</p> <p>◎高松市美術館主催展入場者数 実績40,103人(目標60,000人)</p> <p>◎展覧会鑑賞に満足した人の割合 実績85%(目標85%)</p>						
	創造都市推進局 美術館美術課							
18	美術館資料収集事業		74.6%	A	A	B	B	継続
	11,433千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>平成30年度は美術品の購入10点、寄贈9点、寄託3点と、寄贈点数が多かったが、これは当館コレクションが評価されている事の表れであり、継続的な収集活動の成果と言える。収集した美術品は常設展で公開しているが、30年度の常設展入場者数は特別展入場者数に伴い低調気味であった。</p> <p>◎高松市美術館常設展入場者数 実績17,153人(目標23,000人)</p>						
	創造都市推進局 美術館美術課							
19	(評価対象外)美術館管理事業							
	220,845千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>収蔵品を適切に保管するとともに、快適な鑑賞環境を維持するため、設備機器の点検や整備、清掃等の業務を委託し適切な施設管理を行うほか、平成30年度は高松市美術館消防設備改修事業として、防火シャッター・防火戸・防火ダンパー等の改修を行い施設の安全面を充実させた。</p> <p>なお、前年度からの繰越事業である高松市美術館地下駐車場消火設備改修事業については、入札不調のため未執行となった。 (平成29年度繰越明許事業費：0円)</p>						
	創造都市推進局 美術館美術課							
20	高松市美術館開館30周年記念事業	一般重点	46.8%	A	A	B	C	完了
	68,188千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>30周年記念事業は特別展5展、記念講演会、パフォーマンス、収蔵品図録V、商店街との連携など多彩な内容で、職員も、職員の努力や学校・商店街との連携の甲斐もあって内容的には充実させることができ、例えはパフォーマンス(コンサート)で新曲として披露されたサカイ音楽は地元高校生によるもので、平成30年10月からは美術館開館30周年記念音楽として使用され、親しまれている。記念展5展の入場者数は当初予想よりも少ないものとなった。</p> <p>◎記念特別展入場者数：実績22,950人(目標49,000人)</p>						
	創造都市推進局 美術館美術課							

施策	文化財の保存・活用
-----------	-----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
290,125千円	A	29.1%	59.9%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	文化芸術の振興と発信
担当局	創造都市推進局

対象	本市の歴史文化遺産のなかで、国・県・市において指定する等、調査・保存・活用するのに相応しいもの。	意図	本市の歴史文化遺産の保存・管理と公開・活用を図る。
-----------	--	-----------	---------------------------

概要(実績)

史跡天然記念物屋島等で文化財的価値を明らかにするための確認調査や、開発事業に伴う事前の発掘調査を実施するとともに、史跡讚岐国分尼寺跡等において公有地化を行ったほか、指定等文化財の管理や伝承に係る補助金の支出、史跡地における除草や修繕等の維持管理を実施し、文化財の保存に寄与した。また、高松城築城430年記念事業を開催するとともに、ふるさと探訪や埋蔵文化財をテーマにした連載講座等の学習会を開催し、文化財の活用を進めた。各施設においては、埋蔵文化財センターでは、埋蔵文化財の情報発信、歴史資料館をはじめ、各資料館・郷土館では、企画展及び講座等を開催し適切な運営を行い、市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与した。史跡高松城跡・玉藻公園では、桜御門復元整備工事について工事契約が締結できず未着工であるが、重要文化財披雲閣の修繕を進めるとともに、耐震化に向けて大書院の耐震補強案を作成した。玉藻公園の入園者数に関しては、豪雨や猛暑等の影響がみられるものの、4年連続して20万人を超えた。

成果指標	①	指標名	歴史資料館等利用者数	H30実績	H30目標	達成度
	状況	歴史資料館ほか各館で企画展等の開催や教育普及活動等の充実を図ったが、広報活動・周知不足もあり、目標値を下回った。	達成度の推移	134,460人	140,000人	96.0%
	②	指標名	文化財学習会・体験講座参加者数	H30実績	H30目標	達成度
	状況	ふるさと探訪については、参加者が前年度を上回ったが、親子文化財教室は、会場の都合のため人数制限を設けたため、また、市民文化財教室は開催場所が遠方だったため参加者が減少し、目標値を下回った。	達成度の推移	1,227人	1,250人	98.2%
	③	指標名		H30実績	H30目標	達成度
	状況					

施策の課題

指定文化財の件数増加や披雲閣の耐震補強等により、適正に維持管理するためのコスト増が予想される。

施策の方向性

文化芸術の振興と発信という上位の政策を実現するためには、地域を特色づける文化財の保存と活用に関する事業を継続していくことは必要不可欠である。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1	史跡石清尾山古墳群保存・整備事業	一般重点	103.0%	A	A	B
5,153千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>稲荷山の積石塚4基が国史跡に指定され、関連行事を多数実施したことで市民等から多くの反響もあり、報道等でも多数取り上げられた。同時に、史跡の保存に活用計画の作成に着手し、稲荷山には史跡境界標を設置するなど、史跡の保存に資する事業を進捗させることができた。</p> <p>◎見学者数(累積) 実績1,030人(目標1,000人)</p> <p>なお、30年度に実施予定の峰山にある古墳の史跡境界標設置の委託業務は、土地所有者との協議等に日時を要したことにより、年度内の実施が不可能となったことから、翌年度に繰り越した。(繰越明許費繰越額:4,263,000円)</p> <p>また、前年度からの繰越事業である稲荷山の史跡境界標設置の委託業務は完了した。(平成29年度繰越明許事業費:1,130,760円)</p>							
2	(評価対象外) 史跡讃岐国分寺・国分尼寺跡保存整備事業	重点						
	85,442千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>国の特別史跡讃岐国分寺跡及び史跡讃岐国分尼寺跡は、文化財保護法によって建築等の現状変更が許可されない地域となっている。このため、本市は史跡内に土地を所有する住民の財産を補償するものとして、国庫補助を受けて土地買上をしており、30年度は史跡讃岐国分尼寺跡について実施、公有地化を進めた。</p> <p>なお、地元関係者との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。(繰越明許費繰越額:9,545,000円)</p>						
3	史跡・天然記念物屋島保存・整備事業	重点						
	2,530千円	一般重点	100.0%	A	A	B	A	継続
2,530千円		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>史跡・天然記念物屋島の価値の再確認及び新たな価値を発見するため、史跡・名勝・天然記念物の各分野において実施している。30年度は、これまでの調査成果を報告書としてまとめるとともに、石切場の調査等を開始し、屋島の文化的価値の一端を明らかにすることができた。</p> <p>◎確認調査によって内容の詳細が判明した件数(累積) 実績4件(目標4件)</p>						
4	高松城跡等整備事業	重点						
	25,094千円	一般重点	87.9%	55.6%	A	B	B	継続
25,094千円		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>高松城跡整備事業について、披雲閣耐震補強においては、大書院の耐震補強方針案を作成した。</p> <p>◎玉藻公園の年間入園者数 実績202,161人(目標230,000人)</p> <p>◎桜御門の復元 実績50%(目標90%)</p> <p>なお、桜の馬場・北の丸石堀等撤去工事については、設計内容の検討に日時を要したことにより、年度内の事業の一部を翌年度に繰り越した。(繰越明許費繰越額:68,173,000円)</p> <p>また、前年度からの繰越事業である桜御門復元整備工事については、契約不成立のため、不用とした。(平成29年度繰越明許事業費:0円)</p>						
5	(評価対象外) 文化財保存活用推進事業	重点						
	18,116千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>指定文化財の管理・修理・伝承公開事業に対する補助金の支出、本市が所有する史跡地の除草及び施設修繕等、さらに、ふるさと探訪等文化財学習会を開催し、文化財の保存と活用に寄与した。</p> <p>なお、前年度からの繰越事業である重要文化財小比賀家住宅土堀保存修理補助事業(正面)については完了した。(平成29年度繰越明許事業費:388,000円)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
6	埋蔵文化財公開活用事業 1,780千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				106.9%		A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 史跡石清尾山古墳群の国史跡追加指定記念のシンポジウムを開催するとともに、埋蔵文化財をテーマにした連載講座を5回にわたって開催したほか、遺跡の説明パンフレットの作成を行うなど、埋蔵文化財の公開活用を積極的に進めることができた。</p> <p>◎埋蔵文化財公開活用事業関連行事参加者数 実績6,415人 (目標6,000人)</p>						
7	(評価対象外) 玉藻公園整備事業 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 土地開発公社から玉藻公園整備事業用地を取得することにより、史跡高松城跡と一体となる都市公園を整備し、風格ある都市空間の創出を図る玉藻公園整備事業の推進に寄与した。</p>						
8	(評価対象外) 文化財調査事業 20,969千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 市内の史跡及び埋蔵文化財包蔵地の内容を確認し、文化財の適切な保存及び活用を図る上で必要な資料の蓄積を行うことができた。</p>						
9	石の民俗資料館管理運営事業 22,863千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			94.8%		A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 石と人間のかかわりの文化を観点に、資料の収集・保管・調査研究を行うとともに、展示等の情報発信、体験学習等の教育普及活動を実施した。</p> <p>◎利用人数 実績55,995人 (目標59,090人)</p>						
10	香南歴史民俗郷土館管理運営事業 12,282千円 創造都市推進局 文化財課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			88.9%		A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 香南地区の有力豪族由佐氏の居城跡という立地を生かし、高松平野南部地域の歴史民俗資料の収集・保管・調査研究を行うとともに、展示等の情報発信、講座等の教育普及活動を実施した。</p> <p>◎利用人数 実績30,207人 (目標33,973人)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		11	讃岐国分寺跡資料館管理運営事業 9,615千円 創造都市推進局 文化財課		100.7%	A	A	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 特別史跡讃岐国分寺跡を保護し、文化財の保存及び活用を図るとともに、歴史的意義等を説明するため、展示等の情報発信、講座等の教育普及活動を実施した。</p> <p>◎利用人数 実績22,316人(目標22,161人)</p>						
12	(評価対象外) 玉藻公園管理運営事業 53,818千円 創造都市推進局 文化財課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 玉藻公園に係る管理運営の指定管理者への委託や、公園内のメンテナンスを行った。入園者数については、豪雨や猛暑の影響がみられるものの、4年連続して20万人を超えた。</p> <p>なお、披雲閣屋根等の修繕工事については、関係機関との協議に日時を要したことにより、年度内の事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：9,993,000円)</p>						
13	(評価対象外) 歴史資料館管理運営事業 14,578千円 創造都市推進局 文化財課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 本市の歴史民俗資料の収集・保管・調査研究を行うとともに、適切な管理運営を行い、歴史・考古・民俗等に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与した。</p>						
14	歴史資料館教育普及活動事業 3,177千円 創造都市推進局 文化財課		95.8% 93.9%	A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) サンクリスタル学習の受入れ、企画展等での講演会・ワークショップ等の開催により、郷土の歴史や文化についての興味を喚起し、知識を深められる教育普及活動を実施した。</p> <p>◎教育普及活動の受講者数 実績4,522人(目標4,722人) ◎サンクリスタル学習参加校数 実績31校(目標33校)</p>						
15	歴史資料館常設展事業 5,444千円 創造都市推進局 文化財課		82.8% 78.7%	A	A	A	B	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 本市の歴史民俗資料の収集・保管・調査研究のほか、資料整理を行い、収蔵品システムへの登録を実施した。 また、企画展及び収蔵品展を4展、ロビー展を8展開催するとともに、学習室を利用した展示も3展開催したほか、資料館サポーター等による展示解説を24回開催した。</p> <p>◎展覧会観覧者数 実績21,362人(目標25,794人) ◎収蔵品システムHPアクセス数 実績23,141件(目標29,421件)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
16	(評価対象外) 四番丁スクエア等管理運営事業							
	9,264千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>埋蔵文化財の整理作業及び展示等の普及啓発を実施するとともに、地域コミュニティ協議会及び創造支援センターの複合施設並びに学校開放及び地域活動の場を維持する上で、必要な施設管理を実施した。</p>						
	創造都市推進局 文化財課							

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政策	元気を生み出すスポーツの振興

総合評価
B

1 政策の概要

元気を生み出すスポーツの振興を図るため、スポーツ活動の促進や屋島陸上競技場などスポーツ施設の整備を行うほか、市民スポーツフェスティバルの見直しやスポーツ関係団体間の連携強化に取り組むとともに、地域密着型トップスポーツチームの支援や、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴う事前合宿の誘致等により、市民が、スポーツを「する、観る、支える（育てる）」ことのできる環境を整えます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
スポーツの振興	84%	B
平均	84%	B

3 政策の評価

元気を生み出すスポーツの振興に向けて、1施策に取り組んだ。
 「スポーツの振興」では、設定する3つの成果指標のうち、トップスポーツチーム試合観戦者数及び社会体育施設利用者数において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。
 以上により、政策を構成する施策の平均得点率は84%となり、政策全体として目指す方向に概ね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
スポーツの振興	23.9%	15.1%	56.9%
平均	23.9%	15.1%	56.9%

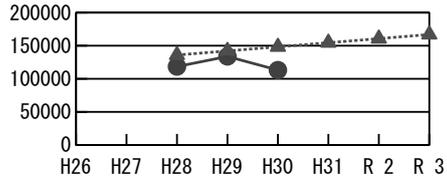
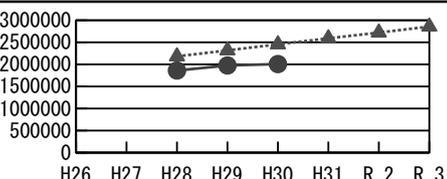
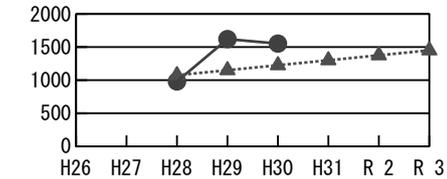
施策	スポーツの振興
----	---------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
975,854千円	B	23.9%	56.9%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	元気を生み出すスポーツの振興
担当局	創造都市推進局

対象	市民	意図	スポーツ活動の推進やスポーツ施設の整備を行い、スポーツの振興を図る。
----	----	----	------------------------------------

概要(実績)
 スポーツ施設等管理運営事業については、指定管理者との連携により適切な管理運営を行った結果、前年度より施設利用者数が増加した。また、倒壊の恐れのあるスポーツ施設のブロック塀をフェンス等へ改修し、市民の安全を確保した。サポート高松トライアスロン大会開催事業については、平成29年度からはアジアカップを併催し国際交流の推進や交流人口の拡大に寄与しているが、30年度は荒天により大会中止となった。障がい者スポーツ推進事業については、四国初開催となる第29回日本パラ陸上競技選手権大会を開催したほか、日本パラ陸上競技連盟の強化指定選手、育成指定選手等の合宿を受け入れた。また、パラリンピアンと小学生との交流事業をはじめ、大会パネル展や障がい者スポーツの体験等を他のスポーツイベントに併せて積極的に実施した。地域密着型トップスポーツチーム支援事業については、ホームタウンデーやパブリックビューイングなど、市民に試合観戦・応援機会の提供を通じて、認知度の向上やスポーツへの関心等につなげた。南部地域スポーツ施設(仮称)整備事業については、7月に建設工事がしゅん工し進捗率100%を達成した。

成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		① 状況	トップスポーツチーム試合観戦者数	113,138人
	観客数全体の約26%を占める香川ファイブアローズは前年比増となったものの、約57%を占めるカマタマーレ讃岐が、成績の低迷もあり前年比大幅減少し、全体での目標達成率は76%となった。	達成度の推移		
				
② 状況	社会体育施設利用者数	2,007,396人	2,454,500人	81.8%
	高松市立りんくうスポーツ公園のオープンなどにより、前年度に比べ利用者数は増加したものの、天候不良の影響などにより市民プールの利用者が6,533人減少したことなどから、81.8%の達成率に留まった。	達成度の推移		
				
③ 状況	トップスポーツ4チームの後援会等会員(高松市民)数	1,552人	1,225人	126.7%
	カマタマーレ讃岐と香川オリブガイナースは成績低迷、入場者数減少等により後援会員も減少となったが、香川ファイブアローズ及び香川アイスフェローズは積極的な後援会員募集を行ったことにより後援会員増につながっており、全体としての目標値達成率は126%となった。	達成度の推移		
				

施策の課題
 市民ニーズが多様化する中、市民ニーズの的確な把握に努めるとともに、スポーツ振興のさらなる推進のため、これまで以上に行政と市民が協働・連携する方策の検討が必要である。

施策の方向性
 引き続き、高松市スポーツ推進計画に基づき、スポーツ振興の推進を図る。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	サンポート高松トライアスロン大会 開催事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	26,870千円	一般重点	84.8%	A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>平成22年から開催しているエイジグループの大会に加え、29年からはアジアカップを併催した結果、国際交流の推進や交流人口の拡大に寄与している。なお、30年度においては、荒天のため大会中止となった。</p> <p>◎観客動員数 実績一人(目標39,000人) ◎ボランティア参加者数 実績1,017人(目標1,200人) ※30年度は大会中止となったが、事前申し込みのあったボランティア希望者数としている。</p>						
創造都市推進局 スポーツ振興課								
2	障がい者スポーツ推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	17,345千円	特別重点	78.2%	A	A	B	B	継続
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>屋島レクザムフィールドに障がい者用投てき設備を整備した結果、日本パラ陸上競技連盟の強化指定選手、育成指定選手、投てき合宿の誘致につながったほか、視覚障がい者用対応工事をしたことにより、第29回日本パラ陸上競技選手権大会出場者及び来場者の利便性が向上した。また、大会開催に併せ、PRイベントのほか、パラリンピアンとの交流事業、障がい者スポーツ体験、大会パネル展の実施により、障がい者スポーツに対する理解や認識が高まった。</p> <p>◎香川県障がい者スポーツ交流大会への参加人数 実績212人(目標271人)</p>						
創造都市推進局 スポーツ振興課								
3	市民スポーツ活動推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	36,059千円		70.0%	A	A	C	B	改善継続
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>市、高松市スポーツ協会が主催し、高松市スポーツ推進委員連絡協議会が主管となり、ソフトボールやバレーボール等の地区対抗競技大会を年6回開催し、成人のスポーツ実施率の向上に寄与した。30年度においては、地区行事と大会の日程が重複したこともあり、84チーム(985名)の参加となり、前年比89.3%と減少した。</p> <p>◎主催6大会参加者チーム数 実績84チーム(目標120チーム)</p>						
創造都市推進局 スポーツ振興課								
4	(評価対象外) スポーツ施設等管理 運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	776,531千円							
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営を行った。</p> <p>なお、はくちょう温泉ボイラー改修工事などの体育施設の整備について、関係機関との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度へ繰り越した。 (繰越明許費繰越額：28,194,000円)</p>						
創造都市推進局 スポーツ振興課								
5	学校体育施設開放事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	16,132千円		105.2%	A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>市民が気軽に利用できる体力づくりや生涯スポーツの場を提供し、利用者数の目標値を達成した。</p> <p>◎中学校体育施設開放利用者数 実績50,517人(目標48,000人)</p>						
創造都市推進局 スポーツ振興課								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		6	新県立体育館建設環境整備事業 2,478千円 創造都市推進局 スポーツ振興課	一般重点	66.7%	A	A	B
		(事業概要、事業実績等) 県と協力して建設予定地の周辺関連基礎調査及び測量調査を実施した。また、関係課と連携・協力し、地下埋設物移設・撤去実施設計業務委託を実施した。 ◎新県立体育館建設環境整備進捗率 実績20% (目標30%) なお、県施行の新県立体育館の基本設計に遅れが生じたことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：46,666,000円)						
7	スポーツ施設オープニングイベント開催事業 2,286千円 創造都市推進局 スポーツ振興課	一般重点	112.5%	A	B	A	A	完了
		(事業概要、事業実績等) スポーツ施設の供用開始に際し、オープニングイベントを開催することで、スポーツへの機運を醸成することはもとより、施設の利用促進や市民スポーツ活動の推進につながった。 ◎スポーツ施設オープニングイベント参加者数 実績900人 (目標800人)						
8	南部地域スポーツ施設(仮称)整備事業 81,439千円 創造都市推進局 スポーツ振興課	特別重点	100.0%	A	B	B	A	完了
		(事業概要、事業実績等) 平成28年度より工事に着工し、平成30年7月にしゅん工した。 ◎南部地域スポーツ施設(仮称)整備進捗率 実績100% (目標100%) なお、前年度からの繰越事業である、倉庫等の建設工事、倉庫等建設に伴う電気及び機械設備工事、園内道路等整備工事、舗装工事については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：81,439,320円)						
9	地域密着型トップスポーツチーム支援事業 16,714千円 創造都市推進局 スポーツ振興課	一般重点	76.3% 115.8%	A	B	B	B	継続
		(事業概要、事業実績等) 地域密着型トップスポーツチームに対する支援として、ホームタウンデーや児童観戦誘致事業など、市民に試合観戦・応援の機会を提供した。また、ホームタウン推進事業、チーム独自の教室開催により、認知度の向上や市民の「観るスポーツ」「するスポーツ」への関心等につなげ、教室参加者数は大幅に増加したが、観客数全体の約57%を占めるカマタマーレ讃岐の成績低迷等により観客数は減少した。 ◎地域密着型トップスポーツチームのホームゲームでの観客数 実績113,138人 (目標148,300人) ◎地域密着型トップスポーツチームの市内でのスポーツ教室参加者数 実績2,200人 (目標1,900人)						

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政策	訪れたい観光・MICE（マイス）の振興

総合評価
B

1 政策の概要

訪れたい観光・MICE（マイス）の振興を図るため、観光に携わる様々な主体が連携・協力し、魅力あるイベントの振興など、観光資源の活用と創出に取り組むとともに、旅行者が安心して快適に、移動、滞在、観光ができる受入環境を整備します。

また、本市の観光都市としてのブランドイメージを創出するとともに、国内外への、様々な媒体を活用した効果的・戦略的な情報発信と、MICE（マイス）による観光客誘致の推進に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
観光客受入環境の整備	76%	B
観光客誘致の推進	80%	B
平均	78%	B

3 政策の評価

訪れたい観光・MICE（マイス）の振興に向けて、2施策に取り組んだ。

「観光客受入環境の整備」では、設定する2つの成果指標のうち、香川県への再来訪意向割合において、香川県が実施する再来訪意向調査の調査方法の変更が影響し、目標に届かなかったものの、他の指標については目標を達成した。

「観光客誘致の推進」では、設定する2つの成果指標とも、目標に届かなかった。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は78%となり、政策全体として目指す方向に概ね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
観光客受入環境の整備	27.5%	13.5%	62.9%
観光客誘致の推進	20.2%	13.5%	58.1%
平均	23.9%	13.5%	60.5%

施策	観光客受入環境の整備
----	------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
584,291千円	B	27.5%	62.9%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	訪れたい観光・MICEの振興
担当局	創造都市推進局

対象	観光資源及び観光客・MICEに係わるすべての事業者、市民、行政機関等	意図	受入態勢を充実させ、訪れる人の満足度が向上し、再来訪意向の割合が高まる。
----	------------------------------------	----	--------------------------------------

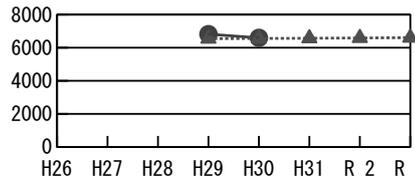
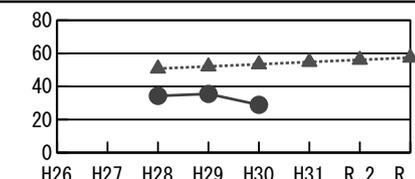
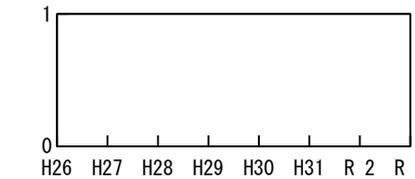
概要（実績）

行政・観光関連事業者・大学生が一堂に会して、外国人観光客の受入環境を改善するための座談会を開催するとともに、座談会での意見を契機として、高松外国人観光客お助け隊を発足させ、多くの外国人観光客が立ち寄るエリアにおけるガイド活動の実施に向けた準備を行った。

本市を代表する観光地である屋島について、「屋島スカイウェイ」の市道供用を開始するとともに、屋島山上拠点施設や利便施設の設計を完了させたほか、「屋島活性化基本構想」に基づき、新たな価値や魅力を創成するためにPR動画の作成・配信等の各種取組みを展開した。

また、塩江温泉郷については、「道の駅しおのえ」エリアや「奥の湯」エリアの再整備に向けて、測量や設計業務に着手した。

高松まつりを始めとした各地域のまつり等に補助を行い、地域の賑わい創出、観光振興を図った。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		① 状況	観光施設等利用者数	6,595千人
	平成29年度より減少したものの、目標を達成できた。	達成度の推移		
				
② 状況	香川県への再来訪意向割合	28.9%	53.4%	54.1%
	平成27年度から、再来訪意向調査の選択項目が変更され、「ぜひ来たい」の割合が29年度の35.5%から30年度は28.9%に減少した一方で、「来たいと思う」の割合が29年度の41.1%から50.0%に増加した。また、「やや来たいと思う」が13.4%でほとんどが再来訪意向を示した。	達成度の推移		
				
③ 状況				
		達成度の推移		
				

施策の課題

平成28年度に策定した高松市観光キャッチコピーを基に、29年度に決定したロゴマークを活用し、関係者の機運の醸成を図るなど、行政、民間、市民が一体となった観光まちづくりの推進体制を構築していく必要がある。

施策の方向性

高松ならではの歴史や文化などの資源を活用しつつ、新たな観光資源の創出、さらに行政が担うべきハード整備の実施や観光客を受け入れる市民等の機運の醸成を図るなど、来訪者に満足感を与えられる受入環境を形成し、魅力のある観光まちづくりを推進する。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
1	観光イベント振興事業 85,693千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 観光交流課		78.2%	A	A	C	B	改善継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 高松まつりを始め、各地域のまつり等に対し補助を行うことで、80万人を超える入込客があり、地域のにぎわい創出、観光振興に寄与した。</p> <p>◎まつり・イベント入込み客数 実績796,550人(目標1,018,000人)</p>						
2	観光客受入環境整備事業 8,507千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 観光交流課	一般重点	128.7%	A	A	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 行政・観光関連事業者・大学生が一堂に介し、本市の外国人観光客の受入環境改善について議論する座談会を開催。座談会で意見のあった、学生ガイド団体を設立したほか、サポート高松地区エリアや高松中央商店街等において、平成28年3月から導入している公衆無線LANやデジタルサイネージの運用を引き続き行った結果、観光案内所を利用する外国人数が目標数値を達成する等、多くの観光客の利用があった。</p> <p>◎観光案内所利用者数(外国人) 実績23,164人(目標18,000人)</p>						
3	観光団体育成事業 2,060千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 観光交流課		98.6%	A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 地域の伝統芸能やイベントの育成振興、またイベントの主催者になり得る観光協会等の団体育成のため、地域の活性化を支援した。</p> <p>◎観光関連施設等利用者数 実績6,614,500人(目標6,705,600人)</p>						
4	観光ボランティアガイド育成事業 505千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 観光交流課		98.6%	A	A	A	A	改善継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 高松を訪れる観光客の満足度アップを図るため、市内の歴史・文化・自然及び特産品等の正しい知識を紹介できるよう、本市の観光地を案内・紹介する観光ボランティアガイドの育成を行い、昨年度と同程度のガイド件数があった。</p> <p>平成30年度ボランティアガイド件数 2,666件</p> <p>◎観光関連施設等利用者数 実績6,614,500人 (目標6,705,600人)</p>						
5	観光連携プラットフォーム推進事業 143千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 観光交流課		88.7%	A	B	B	A	改善継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 高松観光まちづくりネットワーク推進委員会と連携し、市内の観光関連事業者に対して、観光課題を共有するための講演会を開催したことにより、観光関連事業者がまちぐるみで観光振興に取り組むための機運が高まった。</p> <p>◎香川県の延べ宿泊者数 実績399万人(目標450万人)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	高松城跡（玉藻公園）を活かした観光振興事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	7,922千円	一般重点	96.7%	A	A	B	A	改善継続
創造都市推進局 観光交流課		<p>（事業概要、事業実績等） 高松城跡（玉藻公園）の魅力増進を図るため、夜間無料開放ライトアップやバーチャル高松城事業、和船乗船体験、鉄砲隊事業などの事業を展開したところ、入園者数は20万人を超えた。</p> <p>◎高松城跡（玉藻公園）入園者数 実績202,161人（目標209,000人）</p>						
7	温泉をいかした塩江地域の観光振興事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	74,238千円	特別重点	91.7%	B	B	B	B	拡充
創造都市推進局 観光エリア振興室		<p>（事業概要、事業実績等） 観光客のニーズや嗜好、競争環境の変化等に対応しながら、塩江温泉郷の活性化を図るため、塩江温泉郷を「オンラインワンの価値を持つ温泉郷」に磨き上げるための指針として、平成29年3月に策定した「塩江温泉郷観光活性化基本構想」に基づき、各種取組を検討・実施した。</p> <p>◎塩江温泉郷観光入込客数 実績65,944人 （目標72,000人）</p> <p>なお、設計内容の検討に日時を要したことにより、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：28,881,000円）</p>						
8	屋島活性化推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	309,427千円	特別重点	70.7%	A	A	A	B	継続
創造都市推進局 観光エリア振興室		<p>（事業概要、事業実績等） 瀬戸内海国立公園及び史跡天然記念物という特性をいかしながら、屋島全体の活性化を目指すため、平成25年1月に策定した「屋島活性化基本構想」に基づき、屋島を訪れる観光客のニーズ等に見合い、新たな価値や魅力を創成する各種取組を展開した。</p> <p>◎屋島観光入込客数 実績494,984人 （目標700,000人）</p> <p>なお、関係機関協議及び許認可手続に日時を要したことなどにより、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：561,686,000円） また、前年度からの繰越事業である屋島山上拠点施設（仮称）建設実施設計業務等については完了した。 （平成29年度繰越明許事業費：187,394,048円）</p>						
9	男木島灯台資料館管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,591千円		73.2%	A	B	B	B	改善継続
創造都市推進局 観光エリア振興室		<p>（事業概要、事業実績等） 男木島灯台資料館の管理運営を、地元の男木島観光協会に委託し、観光客からの施設観覧の要望に応じて開館し、案内を行った。瀬戸内国際芸術祭をきっかけに、男木島の認知度は高まっている。</p> <p>◎利用者数 実績7,319人（目標10,000人）</p>						
10	（評価対象外）純愛の聖地庵治・観光交流館管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	5,272千円							
創造都市推進局 観光エリア振興室		<p>（事業概要、事業実績等） 映画のロケーション地としての観光資源を生かすこと等によって観光の振興を図り、観光客と市民に憩いと交流の場を提供するために設置された純愛の聖地庵治・観光交流館については、特定非営利活動法人はじめの一步を指定管理者として管理運営を行った。</p> <p>利用者数 実績21,968人（目標30,000人）</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	(評価対象外) 太鼓の鼻オートキャンプ場等管理運営事業 2,885千円							
	創造都市推進局 観光エリア振興室	<p>(事業概要、事業実績等) 瀬戸内海を望むロケーションで、自動車を利用したキャンプができる太鼓の鼻オートキャンプ場については、ハウス美装工業(株)を指定管理者として管理運営を行った。海水浴シーズンである夏季にはキャンセル待ちとなるなど、好評を博している。</p> <p>利用者数 実績3,326人(目標5,000人)</p>						
12	(評価対象外) 鬼ヶ島おにの館管理運営事業 43,473千円							
	創造都市推進局 観光エリア振興室	<p>(事業概要、事業実績等) 女木島のフェリー発着所に鬼に関する資料の展示場とフェリーの待合所を兼ねた施設として整備した鬼ヶ島おにの館については、地元の特定非営利活動法人瀬戸内・女木アイランド振興会を指定管理者として、管理運営を行った。瀬戸内国際芸術祭をきっかけに、女木島の認知度は高まっている。</p> <p>利用者数 実績70,623人(目標98,000人)</p> <p>なお、地元関係者との調整などにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額:2,000,000円)</p>						
13	(評価対象外) 香南楽湯管理運営事業 13,248千円							
	創造都市推進局 観光エリア振興室	<p>(事業概要、事業実績等) 道の駅「香南楽湯」の物販・レストラン・公衆浴場部分について、(株)創裕を指定管理者として、管理運営を行った。また、同社に委託し、県整備部分(駐車場・手洗い)についても清掃等管理を行った。</p> <p>利用者数 実績163,476人(目標228,000人)</p>						
14	(評価対象外) 道の駅源平の里むれ管理運営事業 13,634千円							
	創造都市推進局 観光エリア振興室	<p>(事業概要、事業実績等) 「道の駅源平の里むれ」における、施設部分について、引き続き四国にぎわいネットワーク株式会社を指定管理者とし、管理運営を行った。また、同社に委託し、国が管理する駐車場部分についても、管理を行った。</p> <p>利用者数 実績447,202人(目標626,000人)</p>						
15	(評価対象外) 塩江湯愛の郷センター管理運営事業 12,073千円							
	創造都市推進局 観光エリア振興室	<p>(事業概要、事業実績等) 塩江湯愛の郷センターは、当初、浴場施設(行基の湯)・宿泊施設(自然休養村センター)・道の駅(物産施設)の3施設から構成されていたが、老朽化に伴い、宿泊施設を閉館し、2施設となった。同時期に閉館した奥の湯温泉と一体的に管理していた「奥の湯公園」を加えることにより、平成29年4月からは、「塩江湯愛の郷センター等」と称し、塩江温泉旅館飲食協同組合を指定管理者として、管理運営を行っている。</p> <p>利用者数実績 浴場施設(行基の湯):23,596人(目標33,000人) 道の駅しおのえ:131,917人(目標184,000人) 塩江奥の湯公園キャンプ場:570人(内日帰り:355人)(目標700人)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
16	(評価対象外) 温泉水給水事業							
	3,620千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>塩江町上西地区にある奥の湯温泉1号井から塩江地区まで約7キロを給水管を配管して公共施設のほか地域の旅館・ホテルに温泉水を送水した。</p> <p>送水箇所 9箇所 使用量 13,656トン</p>						
	創造都市推進局 観光エリア振興室							

施策	観光客誘致の推進
----	----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
309,399千円	B	20.2%	58.1%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	訪れたい観光・MICEの振興
担当局	創造都市推進局

対象	国内外の観光旅行及びMICEを予定している人	意図	本市への観光客及び交流人口が増加する。
----	------------------------	----	---------------------

概要(実績)
 リニューアルした外国語版観光サイトについて、体験型コンテンツを積極的に取材することで、サイト内累積記事件数を36件に増加させた。
 高松市MICE振興戦略に基づき(公財)高松観光コンベンション・ビューローや香川県MICE誘致推進協議会等と連携しながら、首都圏を中心とした主催者団体を訪問して本市開催をアピールするとともに、地元大学の研究者等も訪問して、全国大会等の引き受けを働きかける等のMICE誘致に取り組んだ。
 香川県等と連携し、高松空港国際線の航空ネットワークを活用した事業を実施するなどにより、平成30年度の香川県外国人延べ宿泊者数が過去最高となった。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		796千人	1,018千人	78.2%
① 状況	まつり・イベント入込客数	達成度の推移 		
	目標に届いていないが、今後、補助金交付団体が開催するイベントへの参加人数を増加させるよう支援啓発に取り組む。			
② 状況	コンベンション数	達成度の推移 		
	昨年に比べて開催件数は減少しているものの、参加人数は昨年度の79,349人から84,063人に増加しており、今後、コンベンション開催件数及び参加人数を増加させられるように取り組む。			
③ 状況	指標名	達成度の推移 		
	状況			

施策の課題
 香川県MICE誘致推進協議会の発足に伴い、大規模なMICEや政府系MICEの誘致体制の強化が図られている。また、外国人観光客の誘致は大きな成果を収めているが、一過性のものとならないよう、更なる観光資源の発掘や、効果的な観光情報発信の方法等について検討し、集客に努める必要がある。

施策の方向性
 平成28年度に策定した高松市MICE振興戦略に基づき(公財)高松観光コンベンション・ビューローや香川県MICE誘致推進協議会等と連携しながら、各種事業を実施し、高松らしいMICE振興を図る。また、新しい高松の魅力を発信する観光宣伝活動を充実させるほか、周辺地域と連携した観光客等誘致政策の拡充に努める。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	観光客誘致宣伝事業 5,078千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				98.6%		A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 本市の観光振興に資するため、総合観光パンフレット等を最新の情報に更新するとともに、需要に合わせたパンフレットの増刷を行い、利用者の満足度を向上した。</p> <p>◎観光関連施設等利用者数 実績6,614,500人(目標6,705,600人)</p>						
2	「気持ち高まる、高松。」シティブロモーション事業 4,848千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	85.8%	82.8%	A	B	B	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 灯台を活用したイベントを実施したほか、海外観光客情報発信事業において、5言語(日・英・韓・中(繁体・簡体))に対応した記事を作成することによって、高松市のこれまで知られていなかった魅力を多くの日本人観光客及び外国人観光客に発信することができ、地域の魅力向上につながった。</p> <p>◎地域魅力度市区町村順位(地域ブランド調査) 実績137位(目標120位) ◎高松市への愛着度(18~29歳)(市民満足度調査) 実績74.5%(目標90%)</p>						
3	共同観光宣伝事業 12,836千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			98.6%		A	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 他自治体等と連携し、市内では瀬戸内サマーナイトフェスティバルを実施したほか、都市圏では誘客キャンペーンを複数回実施した。また、東備讃瀬戸観光懇談会においては、英語版のパンフレットを作成した。これらの施策により、観光関連施設等利用者数は、目標値を達成することができた。</p> <p>◎観光関連施設等利用者数 実績6,614,500人(目標6,705,600人)</p>						
4	誘客促進事業 174,361千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	88.7%		A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 県等と連携し、高松空港定期路線の航空ネットワークを最大限活用した誘客促進事業を実施した。また、来高者の利便性向上を図るため、常時多言語に対応可能な観光案内所の運営を実施した。これらの施策により、平成30年の香川県延べ宿泊者数は、3,989千人と過去最高となった。</p> <p>◎香川県の延べ宿泊者数 実績399万人(目標450万人)</p>						
5	観光コンベンション振興推進事業 70,239千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			87.9%		A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) サンポート高松でのイベント開催をはじめとした多様な観光振興に関する事業を実施するに当たり、高松観光コンベンション・ビューローに補助金を交付することで、観光客誘致による交流人口の拡大につながった。</p> <p>◎高松シンボルタワー来場者数 実績2,286,000人(目標2,600,000人)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
6	国際観光都市推進事業 300千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				128.7%		A	B	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 国際観光振興機構の賛助会員となり、当機構のウェブサイトを通じて高松の魅力を海外に発信する等の観光誘致宣伝事業を実施した結果、香川・高松ツーリストインフォメーションの外国人利用者が23,164人と増加した。</p> <p>◎観光案内所利用者数(外国人) 実績23,164人(目標18,000人)</p>						
7	MICE振興事業 41,737千円 創造都市推進局 観光交流課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	83.5%		A	B	B	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 平成29年3月に策定した高松市MICE振興戦略に基づき、香川県MICE誘致推進協議会等の関係団体と連携してMICE誘致に取り組んだ結果、本市のコンベンション開催件数は増加している一方、全国的に誘致競争が激しさを増している。</p> <p>◎コンベンション開催件数実績217件(目標260件)</p>						

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政策	国際・国内交流の推進と定住の促進

総合評価
B

1 政策の概要

国際・国内交流の推進と定住の促進を図るため、海外の姉妹・友好都市等との親善交流や民間団体への助成を通して、国際交流の推進を図るとともに、地域に暮らす全ての人々が文化や習慣の違いを認めながら、共に生活していく多文化共生のまちづくりを進めます。

また、国内の各都市との交流を推進することにより、交流人口の増加や地域の活性化に努めます。

また、たかまつ移住応援隊による市民目線での本市の魅力発信や地域おこし協力隊の受入など、移住・交流の促進に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
国際・国内交流の推進	95%	A
移住・交流の促進	60%	C
平均	77%	B

3 政策の評価

国際・国内交流の推進と定住の促進に向けて、2施策に取り組んだ。

「国際・国内交流の推進」では、設定する2つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

「移住・交流の促進」では、設定する2つの成果指標のうち、年間社会増において、本市人口の社会動態としては社会増ではあるが、若年層（15～39歳）の社会減が影響し、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は77%となり、政策全体として目指す方向に概ね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
国際・国内交流の推進	17.5%	9.2%	44.9%
移住・交流の促進	10.9%	17.1%	52.9%
平均	14.2%	13.2%	48.9%

施策	国際・国内交流の推進
----	------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
41,378千円	A	17.5%	44.9%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	国際・国内交流の推進と定住の促進
担当局	創造都市推進局

対象	市民	意図	海外の姉妹・友好都市や国内の提携都市等との多彩な交流活動を推進し、国内外の様々な地域との相互理解を深める。
----	----	----	---

概要(実績)

国際交流については、姉妹・友好都市等との交流活動を推進し、市民の国際感覚の醸成を図るとともに、(公財)高松市国際交流協会の実施する事業に対して助成することにより、市民レベルでの交流活動を促進した。また、英語、フランス語及び中国語に専門性を有する職員を配置し、翻訳業務を行ったほか、在住外国人への情報提供や市役所を訪れる外国人に対して通訳支援を行った。国内交流については、都市提携をしている国内の各都市と交流を深めることにより、交流人口の増加や地域の活性化に努めた。

成果指標	①	指標名	姉妹・友好都市等との交流事業参加者数	H30実績	482人	H30目標	340人	達成度	141.8%
		状況	(公財)高松市国際交流協会や民間団体と協力し、目標を達成することができた。	達成度の推移					
	②	指標名	国内の提携都市との交流事業参加者数	H30実績	309人	H30目標	340人	達成度	90.9%
		状況	国内の提携都市との交流を図り、目標をおおむね達成した。	達成度の推移					
	③	指標名		H30実績		H30目標		達成度	
		状況		達成度の推移					

施策の課題

国際交流では、海外の姉妹・友好都市等との交流事業を行い、市民の国際感覚の涵養が図られた。また、国内交流では、下野市などの提携都市との交流を推進した。今後は、より多くの市民が交流事業に参加できるよう努めていく。

施策の方向性

国際交流については、姉妹・友好都市等との交流を推進することにより、市民が異なる文化や習慣を理解し、尊重し合える国際感覚の醸成を図る。国内交流については、提携都市との交流事業を推進することにより、人が行きかう、活力あるまちづくりを進める。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	魅力にあふれ人が輝く創造都市推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,070千円	一般重点	103.0%	97.8%	A	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>創造都市推進審議会及び懇談会を主催し、委員の意見を反映させ、創造都市推進の取組を進め、高松市の魅力を高め、市民の生活向上を図る。また、国際交流事業の推進を図る。また、姉妹都市等との親善交流を推進した。</p> <p>◎高松市への愛着度(市民満足度調査) 実績84.5%(目標82%) ◎「高松市創造都市推進局ウェブサイト」いいね!数 実績4,585(目標4,688)</p>						
創造都市推進局 産業振興課								
2	国際交流推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	10,648千円		141.8%		A	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>国際交流事業を効果的かつ積極的に推進するため、(公財)高松市国際交流協会の実施する事業に対して助成を行った。また、姉妹・友好都市から英語教師の招へいや親善研修生の相互派遣等を行うなど、姉妹・友好都市等との親善交流を推進した。</p> <p>◎姉妹・友好都市等との交流事業参加者数 実績482人(目標値340人)</p>						
創造都市推進局 都市交流室								
3	ツール市姉妹都市提携30周年記念事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	13,128千円	一般重点	135.0%		A	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>今年度は、姉妹都市提携30周年という節目の年であることから、公式訪問団をツール市へ派遣したほか、関係団体等で組織する「高松市・ツール市姉妹都市提携30周年記念事業実行委員会」を設立し、(公財)高松市国際交流協会、TAKUMIKUMO(匠雲)等と連携、協力しながら、市民や民間団体を幅広く巻き込み、記念事業を実施した。この結果、記念事業には目標を大きく上回る市民が参加し、国際交流活動を更に活性化させるとともに市民の国際感覚の醸成に効果があった。</p> <p>◎記念事業参加者数 実績1,350人(目標1,000人)</p>						
創造都市推進局 都市交流室								
4	多文化共生推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	9,272千円		113.0%		A	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>高い外国語能力を有する職員3人を配置し、翻訳業務を行ったほか、在住外国人への情報提供や市役所を訪れる外国人に対して通訳支援を行った。</p> <p>◎通訳・翻訳件数 実績836件(目標740件)</p>						
創造都市推進局 都市交流室								
5	姉妹城都市等観光交流事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,726千円		125.0%		A	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>姉妹城都市等において開催される観光と物産展等に参加し、本市の観光及び特産品のPRに努めた。</p> <p>6月2日・3日 金沢市観光と物産展(金沢市) 9月16日・17日 香川県・石川県合同観光キャンペーン 10月20日・21日 由利本荘市観光と物産展(由利本荘市) 11月15日～20日 姉妹城・親善都市と交流都市の観光と物産展(水戸市) 2月1日～3日 氷まつり(帯広市) 2月4日～17日 羽田空港イベント「にっぽんは、楽しいぞ！」</p> <p>◎交流イベント等開催回数 実績10回(目標8回)</p>						
創造都市推進局 観光交流課								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
6	国内交流推進事業 534千円 創造都市推進局 都市交流室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				90.0%		A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>貴重な文化遺産を有する、高松市国分寺地域と栃木県下野市との交流事業を行う団体に対し、事業補助金を交付することにより、多彩な地域間交流を促進し、活力あるまちづくりの実現に寄与した。</p> <p>◎交流事業参加者数 実績198人(目標220人)</p>						

施策	移住・交流の促進
----	----------

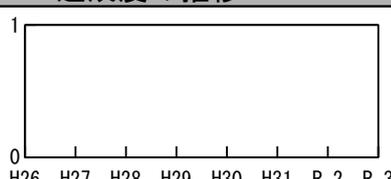
事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
44,948千円	C	10.9%	52.9%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	国際・国内交流の推進と定住の促進
担当局	市民政策局

対象	市外に居住しており、地方への移住を考えている人	意図	大都市圏に居住している現役世代層を中心に、本市への移住者を増加させることにより、たかまつ創生総合戦略に掲げる数値目標の一つである「平成31年に1年間の社会増を1,000人」の実現を目指す。
----	-------------------------	----	--

概要(実績)

平成30年度は、香川県移住・定住推進協議会への参画のほか、「たかまつ移住応援隊」を軸に市内移住者交流会、移住体験ツアー、首都圏交流会といった取組を実施するとともに、東京都内に瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンターを開設し、首都圏から瀬戸・高松広域連携中枢都市圏への移住や就職に関する相談業務を新たに開始した。
また、27年度から設置している地域おこし協力隊については、30年度は、2人目の塩江担当及び女木島担当の隊員を採用し、5人の隊員が活動を行った。

成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		達成度の推移		
①	高松市移住ナビ（ホームページ）閲覧件数	35,735件	12,000件	297.8%
	状況	平成30年2月、高松市移住ナビを改修し、情報発信のメニューを増やすとともに、新着情報の更新回数を増加させたことなどにより、閲覧件数は目標値を大きく上回る結果となった。		
②	年間社会増	198人	900人	22.0%
	状況	本市人口の社会動態としては社会増ではあるが、若年層（15歳～39歳）の社会減が影響し、目標値を大きく下回る結果となった。転入者の状況としては、県内市町からの転入が多いため、今後、大都市圏の若者世代等を対象とした効果的なプロモーション方策を行うなど、県外からの転入者の割合を高めていく必要がある。		
③	指標名			達成度
	状況			

施策の課題

本市の平成30年の社会動態は社会増となったものの、若年層（15～39歳）の転出超過が大きく影響しており、若年層が大都市圏へ流出していること、また、全国的に東京一極集中が顕著であることから、大都市圏の若者世代等に効果のあるプロモーション等を強化する必要がある。
また、地域おこし協力隊については、隊員の活動に関する情報を行政からも全市的に発信・周知する必要がある。

施策の方向性

本市における人口減少を抑制する戦略の一環として、移住施策の軸である「たかまつ移住応援隊」の機能強化を図り、効果的なプロモーションや各種移住促進施策を展開することにより、更なる社会増の実現を目指す。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1	政策コンテスト開催事業 2,045千円 市民政策局 政策課	特別重点	102.6%	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 本市が将来も若者から選ばれるまちであるために、将来を支える若者のアイデアを、本市の政策に取り入れるとともに、若者の地元への愛着を深め、地元に着させることを目的として、政策コンテストを開催した。</p> <p>◎コンテスト参加者アンケートによる愛着が高まったとする割合 実績92.3% (目標90%)</p>						
2	地域おこし協力隊活動事業 17,317千円 市民政策局 地域振興課	一般重点	100.0%	A	A	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 本市の中では、人口減少により地域力が低下している、山間部や島しょ部における地域の活性化に資するため、平成27年度から「地域おこし協力隊」を配置している。 30年度は、本庁、塩江、女木、男木地区、計5名の隊員が、食に関する開発、休耕田などの整備、地域の魅力発信などの活動を行った。</p> <p>◎隊員と地域コミュニティ協議会との連携により実施した事業数 実績5事業 (目標5事業)</p>						
3	移住・定住促進事業 21,143千円 市民政策局 移住・定住促進室	特別重点	158.8%	53.3%	B	B	B	拡充
		<p>(事業概要、事業実績等) 香川県移住・定住推進協議会による大都市圏での移住フェアへの参加に加え、市内移住者交流会、移住体験ツアー、首都圏交流会などを実施した。また、東京都内に瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンターを開設し、首都圏からの瀬戸・高松広域連携中核都市圏域への移住や就職に関する相談業務のほか、県内出身者の多い都内の大学を訪問し、就職情報の周知を行うなど大学生のUターン就職の促進に取り組んだ。</p> <p>◎移住交流フェア等相談組数 実績127組 (目標80組) ◎移住促進事業を利用した移住者数の推計 実績320人 (目標600人)</p>						
4	生涯活躍のまちづくり推進事業 4,443千円 市民政策局 移住・定住促進室	特別重点	101.3%	B	A	A	A	拡充
		<p>(事業概要、事業実績等) 平成31年3月に、地域コミュニティ協議会を軸として、移住者を含むアクティブシニアが、地域に溶け込み、多世代の地域住民と交流をしながら、自らの経験やスキルをいかして生涯健康で生きがいを持って活躍できるまちづくりの全市民的展開を目指す姿とする「高松版生涯活躍のまち構想」を策定した。</p> <p>◎50代及び60代の市民における「住みやすさ」に対する市民満足度 実績85.9% (目標84.8%)</p>						

(4) 安全で安心して暮らし続けられるまち

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成

総合評価
A

1 政策の概要

安全で安心して暮らせる社会環境の形成を図るため、防災体制の整備・充実により、南海トラフ地震を始めとする各種災害への対応能力の向上を図るとともに、災害・緊急時において、迅速かつ的確に対応できる消防・救急の充実強化や防災・減災対策の充実に努めます。

また、交通事故のない社会を目指し、市民及び警察等関係機関と連携した取組など、交通安全対策の充実に努めます。

また、防犯体制の整備や食品・環境衛生対策など生活衛生の向上、消費者の権利保護と自立促進に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
消防・救急の充実強化	81%	B
防災・減災対策の充実	100%	A
交通安全対策の充実	100%	A
防犯体制の整備	100%	A
生活衛生の向上	100%	A
消費者の権利保護と自立促進	96%	A
平均	96%	A

3 政策の評価

安全で安心して暮らせる社会環境の形成に向けて、6施策に取り組んだ。

「防災・減災対策の充実」、「交通安全対策の充実」、「防犯体制の充実」、「生活衛生の向上」及び「消費者の権利保護と自立促進」の5施策では、設定する7つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

「消防・救急の充実強化」では、設定する2つの成果指標のうち、救命率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は96%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
消防・救急の充実強化	48.6%	5.1%	76.6%
防災・減災対策の充実	30.3%	17.7%	83.7%
交通安全対策の充実	24.7%	25.2%	79.9%
防犯体制の整備	20.3%	23.1%	77.9%
生活衛生の向上	29.5%	9.3%	65.7%
消費者の権利保護と自立促進	17.2%	8.5%	45.8%
平均	28.4%	14.8%	71.6%

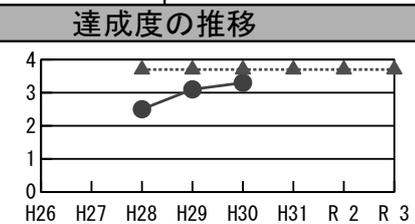
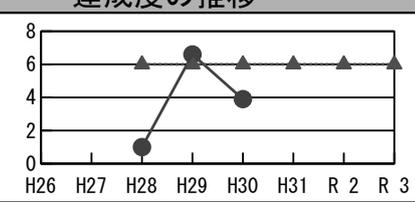
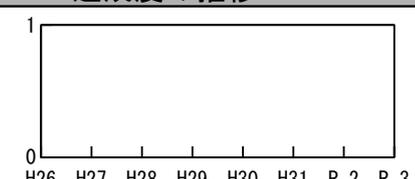
施策	消防・救急の充実強化
----	------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
948,044千円	B	48.6%	76.6%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	消防局

対象	市民	意図	生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水 火災又は地震等の災害を防除し、これらの災害による被 害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に 行う。

「消防体制の整備」においては、総合的な消防力の充実強化を図るため、東消防署山田出張所整備について、建設設計委託業務をはじめ、地質調査委託業務や仮設庁舎建設用地造成工事などを行った。
また、老朽化した消防車両を計画的に更新したほか、木太分団第1部屯所の整備を完了するとともに、香川分団第3部川東消防屯所、下笠居分団第2部消防屯所の整備工事等を計画的に行った。
さらに、高度化・複雑化する各種災害に対し、迅速かつ確に対処できる体制を構築するため、高機能消防指令システム等整備工事を完了させたことなどから、消防体制の充実・強化に繋がった。

成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度	
		①	出火率	3.3%	3.7%
①	状況	住宅火災の減少を目的とした住宅用火災警報器の設置促進や火災予防広報活動による意識啓発を継続的に実施することにより、引き続き目標値を達成できている。			
					
②	指標名	H30実績	H30目標	達成度	
		救命率	3.9%	6%	65.0%
②	状況	応急手当普及啓発活動や「まちかど救急ステーション」事業の推進など、継続的な取組により心肺蘇生等の知識を持つ市民は少しずつ増えているが、目標値は達成できなかった。その要因は、救急要請件数や、高齢者の増加等が影響していると考えられる。			
					
③	指標名	H30実績	H30目標	達成度	
③	状況	達成度の推移			
					

施策の課題
ハード面における消防力の充実・強化を図るため、消防署所の耐震化及び消防車両の更新等を計画的に進めていく必要がある。
一方、ソフト面では、地域コミュニティの変容や高齢化、人口減少等による消防需要の多様化に対応するため、消防団をはじめとする関係団体との連携を強化し、地域が持つ防災力を高め、総合的な消防力の強化に努める必要がある。

施策の方向性
ハード面においては、大規模災害への対応力強化のため、引き続き施設・装備等を計画的に整備・充実していく。
ソフト面では、消防団員の確保・育成、ひとり暮らし高齢者宅防火診断等の実施による住宅防火対策の推進及び地域における防災訓練の支援等により、地域防災力の充実・強化を図っていく。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		1	消防緊急情報システム整備事業 10,335千円 消防局 消防局情報指令課	一般重点	100.0%		A	A	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 高機能消防指令システムの整備が完了したことから、消防緊急情報システムの機器貸借を終え、システム機器撤去を完了した。 ◎事業全体進捗率 実績100% (目標100%)</p>							
2	消防署所適正配置整備事業 16,096千円 消防局 消防局総務課	一般重点	100.0%	100.0%	A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 東消防署山田出張所の整備に係る実施設計業務を行ったほか、当該整備に伴う仮設庁舎建設のための用地造成工事等を実施するなど、計画的に事業を推進したことから、安全で安心できる生活環境の整備に寄与した。 ◎消防署所の耐震化率 実績91% (目標91%) ◎消防署所数 実績12箇所 (目標12箇所) なお、用地造成工事については、設計内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。(繰越明許費繰越額：2,043,000円)</p>							
3	(評価対象外) 消防事務管理事業 97,844千円 消防局 消防局総務課								
		<p>(事業概要、事業実績等) 非常勤嘱託報酬費を始め、職員の福利厚生や被服費、事務に関する経費を適切に管理するとともに、消防施設整備基金の適正な運用を行い、消防事務を円滑に実施した。</p>							
4	(評価対象外) 消防屯所管理事業 6,625千円 消防局 消防局総務課								
		<p>(事業概要、事業実績等) 市内97箇所の消防屯所の維持管理を適切に行うとともに、必要な施設の修繕等を計画的に実施するなど、消防屯所の適正管理を行った。</p>							
5	(評価対象外) 消防署所管理事業 97,987千円 消防局 消防局総務課								
		<p>(事業概要、事業実績等) 消防署所の電気、ガス、水道、電話等に係る経費を適切に管理するとともに、電気工作物等設備の保守点検、ごみ収集、庁舎等清掃、庁舎修繕を行うなど、消防署所の適正管理を行った。</p>							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
6	(評価対象外) 消防業務受託事業 33,856千円	(事業概要、事業実績等) 地方自治法(昭和22年法律第67号)第252条の14第1項の規定に基づき、三木町、綾川町から委託を受けている消防事務を、適切に管理し執行した。						
	消防局 消防局総務課							
7	(評価対象外) 消防車輛整備事業 280,833千円	(事業概要、事業実績等) 常備消防車輛73台と非常備消防車輛111台の点検、修繕、保険、燃料関係等を計画的に実施するとともに、老朽化した消防車輛を計画的に更新整備し、消防体制を充実強化した。 また、前年度からの繰越事業である小型動力ポンプ付積載車整備事業については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：15,790,172円)						
	消防局 消防局総務課							
8	(評価対象外) 消防屯所整備事業 31,699千円	(事業概要、事業実績等) 建物の老朽度、狭あい度などを総合的に勘案して策定した消防屯所整備計画に基づき、香川分団第3部川東消防屯所については、実施設計及び境界確定業務を、下笠居分団第2部消防屯所については、現屯所の解体工事及び実施設計をそれぞれ行った。 また、前年度からの繰越事業である木太分団第1部消防屯所整備事業については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：22,031,720円)						
	消防局 消防局総務課							
9	(評価対象外) 消防水利整備事業 12,419千円	(事業概要、事業実績等) 消防水利の基準に基づき、消火活動に必要な消火栓58個を整備し、消防力を向上させた。						
	消防局 消防局総務課							
10	(評価対象外) 消防職員研修事業 15,146千円	(事業概要、事業実績等) 高度化・複雑化する災害活動に、適切に対応できる消防職員を育成するため、消防大学校及び消防学校に職員を派遣するとともに、救急救命士を養成するための研修に派遣するなど、職員の資質を向上させた。						
	消防局 消防局総務課							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	(評価対象外) 消防活動事業 51,439千円							
	消防局 消防局総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 消火防災・救急救助における災害現場活動に必要な資機材の購入及び修繕などを計画的に実施するとともに、重大な違反のある防火対象物の是正を重点的に行うなど、安心安全に暮らせるまちづくりに寄与した。</p>						
12	(評価対象外) 消防団活動推進事業 253,419千円							
	消防局 消防局総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 消防団活動に必要な報酬及び旅費を始め、退職・災害補償及び福祉共済に関する経費や、団員の研修、表彰、被服費等を適正に管理することにより、地域防災力を維持した。</p>						
13	(評価対象外) 救急艇等管理事業 40,346千円							
	消防局 消防局総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 女木・男木・大島などの本市島しょ部における、迅速な救急搬送体制を構築するため、救急艇を運航する船長等の報酬を始め、燃料、修繕費及び保険料などを適正に管理するなど、島しょ部における救急搬送体制等を維持向上させた。</p>						

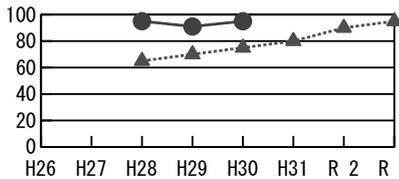
施策	防災・減災対策の充実
-----------	------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,291,874千円	A	30.3%	83.7%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	総務局、財政局、都市整備局、教育局、消防局

対象	市民等	意図	市民等の防災意識を高めるとともに、地域及び国・県等防災関係機関と連携し、防災・減災対策の充実を図る。
-----------	-----	-----------	--

概要(実績) 【総務局】災害情報や避難に関する情報などを発信するため、防災ラジオの普及促進に努めた。【財政局】災害発生時における本市の拠点施設とするため、常設の災害対策本部機能を備えた高松市防災合同庁舎(危機管理センター)の整備に向け、工事を着実に進め、平成30年2月に建物工事を完了するとともに、高機能消防指令システム等の関連システム整備に取り組んだ。【都市整備局】民間住宅及び耐震診断が義務化された建築物などの耐震化に取り組むほか、鉄道事業者が実施する老朽化施設の長寿命化事業に要する費用の一部を助成し、今後発生が予測される大規模地震や劣化による鉄道施設の被害の軽減に寄与した。【消防局】避難所運営に必要な防災資機材や防災訓練で使用する非常食を助成するなどして、各地域における訓練の実施を推進した。【教育局】避難所機能を維持するため、避難所となっている学校施設の非構造部材の耐震化を行った。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		①	地域における防災訓練の実施率	95%
成果指標	① 状況	防災訓練で使用する非常食を助成するなどして、防災訓練の実施を促進した。実施率は、台風の影響を受けたが、前年度より、4ポイント増加した。		
	② 指標名	H30実績	H30目標	達成度
	② 状況	達成度の推移		
③	③ 指標名	H30実績	H30目標	達成度
	③ 状況	達成度の推移		

施策の課題 【総務局】防災ラジオの普及など災害時の緊急放送体制の整備を進めた。【財政局】高松市防災合同庁舎(危機管理センター)の早期供用開始に向け、整備を推進した。【都市整備局】大雨の発生頻度が高まっており、県と連携した急傾斜地崩壊防止事業を推進した。また、住宅・建築物の補助制度を活用した耐震化を促進した。また、鉄道事業者が実施する長寿命化事業の費用の一部を助成し、鉄道施設の長寿命化を推進した。【消防局】全ての地域で防災訓練の実施を指導し、未実施の地域は早期の実施を促進した。【教育局】学校施設(屋内運動場)における非構造部材の耐震化対策を実施した。

施策の方向性 安全で安心して暮らせる環境整備のため、着実に各事業を継続し実施する。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1	防災合同庁舎整備事業 908,118千円 財政局 財産経営課		100.0%	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 「安全・安心のまちづくり」の中核施設として、常設の災害対策本部機能を有する「高松市防災合同庁舎(危機管理センター)」を整備するため、施設の建設工事を進め、平成30年2月に整備を完了し、30年4月24日の落成式挙行後、順次、香川県広域水道企業団高松事務所、下水道部、消防局、危機管理課、情報政策課が移転し、5月21日から本格運用を開始した。</p> <p>◎危機管理センター(仮称)等施設整備進捗率 実績100%(目標100%)</p> <p>なお、前年度からの繰越事業である防災合同庁舎整備事業については、完了した。(平成29年度繰越明許事業費:862,188,324円)</p>						
2	デジタル式同報系防災行政無線整備事業 20,923千円 総務局 危機管理課	重点 一般重点	84.8%	A	A	B	B	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 自然災害や緊急事態に、市民等へ迅速かつ確実に情報を伝達するため、防災ラジオを市民へ普及させた。</p> <p>◎防災ラジオ普及率 実績84.8%(目標100%)</p> <p>なお、工事の入札不調により、年度内に事業の完了が不可能となったため、翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額:17,766,000円) また、前年度からの繰越事業である高松市アナログ式同報系防災行政無線撤去工事については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費:9,062,280円)</p>						
3	防災IoT活用事業 総務局 危機管理課	重点 特別重点		A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 防災WEBカメラ等の構築委託や防災IoTの拡充等の庁内検討を行い、防災WEBカメラ等の構築委託に関する業者選定作業を進めた。</p> <p>なお、業者選定に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額:20,000,000円)</p>						
4	(評価対象外) 防災行政無線事業 26,159千円 総務局 危機管理課	重点						
		<p>(事業概要、事業実績等) デジタル式同報系防災行政無線が円滑に作動するように保守点検を実施した結果、災害時における市民へ情報伝達及び災害対策本部の情報収集・伝達等の機器について、適切な運用維持を実施した。</p>						
5	小・中学校施設天井等落下防止対策事業 66,144千円 教育局 学校施設整備室	重点 一般重点	96.0%	A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 児童生徒の安全を確保するため、屋内運動場の天井などの非構造部材の耐震化を行った。</p> <p>◎小・中学校非構造部材耐震化率 実績96%(目標100%)</p> <p>なお、国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するため、事業費を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額:42,717,000円) また、前年度からの繰越事業である中学校施設耐震化事業については完了した。(平成29年度繰越明許事業費:66,144,250円)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
		重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点							
6	住宅建築物耐震改修等事業 84,056千円		89.4%	113.2%	A	A	B	A	継続
	都市整備局 建築指導課	<p>(事業概要、事業実績等) 住宅・建築物の耐震化を促進し、地震時の建物の倒壊等によって発生する人的、経済的被害を軽減するため、住宅のほか、緊急輸送道路沿いや耐震診断が義務化された民間建築物に対し、耐震診断、耐震改修等に要する費用の一部を助成した。 ◎民間住宅の耐震改修実施済棟数(累積) 実績966棟(目標1,080棟) ◎民間住宅の耐震改修実施済棟数(累積) 実績351棟(目標310棟) なお、民間主体の事業の遅れにより、年度内の完了が不可能となった事業の一部を翌年度に繰り越した。(繰越明許事業費：90,840,000円) また、前年度からの繰越事業である民間建築物の耐震診断、耐震改修等の事業については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：24,191,000円)</p>							
7	鉄道施設安全対策事業 14,640千円		100.0%	100.0%	A	A	B	A	継続
	都市整備局 都市計画課	<p>(事業概要、事業実績等) 鉄道事業者が実施する老朽化施設の長寿命化事業に要する費用の一部を助成したことにより、今後発生が予測される大規模地震や劣化による鉄道施設の被害の軽減に寄与した。 ◎長寿命化率(事業費ベース) 実績29%(目標29%) ◎耐震補強化率(事業費ベース) 実績100%(目標100%)</p>							
8	急傾斜地崩壊防止事業 17,648千円		105.5%		A	A	A	A	継続
	都市整備局 河港課	<p>(事業概要、事業実績等) 香川県急傾斜地崩壊防止対策事業費補助要綱に基づく採択基準に合致した市内1箇所において、急傾斜地崩壊による災害から市民の生命を守るため、崩壊防止対策工事を実施した。また、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律に基づき、香川県が施行する急傾斜地崩壊防止対策事業に対し、費用の一部を負担した。 ◎完成までの進捗率 実績100%(目標94.8%) なお、香川県が施行する急傾斜地崩壊防止対策事業については、事業主体である香川県が事業の一部を翌年度に繰り越したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：3,274,000円) また、前年度からの繰越事業については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：3,280,000円)</p>							
9	災害時緊急物資備蓄事業 2,612千円		100.0%		A	A	B	A	継続
	総務局 危機管理課	<p>(事業概要、事業実績等) 賞味期限切れ前に、効率的に災害時に必要な緊急物資を備蓄することができた。 ◎賞味期限切れ前備蓄物資の総数 実績8,298個(目標値8,298個)</p>							
10	(評価対象外) 水防対策事業 125,120千円								
	都市整備局 河港課	<p>(事業概要、事業実績等) 水防法に基づき市域内の水防責任を十分に果たすため、水防本部を設置し、水災害の軽減を図るため水防活動を推進したほか、水防用資機材の購入整備等実施し、安全で安心して暮らせる環境整備に寄与した。</p>							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		11	市民防災力向上推進事業 1,114千円 総務局 危機管理課		111.0%	A	A	A
		(事業概要、事業実績等) 市民の防災力向上に一定の成果が得られた。 ◎ぼうさいまちカフェ年間参加人数 実績222人(目標200人)						
12	自主防災組織等育成事業 9,075千円 消防局 消防局予防課	重点 一般重点	成果達成度 102.5%	妥当性 A	有効性 A	効率性 B	総合評価 A	今後の方向性 継続
		(事業概要、事業実績等) 地域コミュニティ協議会が実施する防災訓練に非常食品を助成するとともに、職員を派遣するなど支援を行い、防災訓練の実施を推進した。 ◎避難所運営訓練又は安否確認訓練実施率 実績82%(目標80%)						
13	(評価対象外) 国民保護推進事業 総務局 危機管理課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) 高松市国民保護計画について、修正等の必要が生じた場合には、高松市国民保護協議会を開催するとともに、その内容を広く市民へ周知するため、広報たかまつ及び市ホームページなどで掲載する。						
14	地域防災対策事業 584千円 総務局 危機管理課	重点	成果達成度 118.6%	妥当性 A	有効性 A	効率性 A	総合評価 A	今後の方向性 継続
		(事業概要、事業実績等) 高松市地域防災計画に基づき、震災対策活動の習熟及び防災関係機関との連携強化、市民防災意識の高揚等を図るため、大地震を想定した震災対策総合訓練を一宮地区(新池農村公園)において、36機関・団体、地域住民約1,000人が参加し実施した。 また、市民の防災力向上のため、高松市民防災講演会を実施し、102人が参加した。 ◎高松市民防災講演会参加人数 実績102人(目標86人)						
15	(評価対象外) 地域防災計画見直し事業 986千円 総務局 危機管理課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) 市民の迅速な避難行動や被害の軽減を図るため、高松防災マップの増刷を行ない、市民の防災力向上に一定の成果が得られた。						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
16	(評価対象外) 地震災害等救援事業 10,286千円							
	総務局 危機管理課	(事業概要、事業実績等) 災害被災地に対する職員派遣や救援物資搬送ができる体制を整えている。						
17	(評価対象外) 防災事業 4,409千円							
	総務局 危機管理課	(事業概要、事業実績等) 避難場所、緊急指定場所に新たなピクトグラムを反映した避難標識柱の設置を実施して、防災啓発の向上に寄与した。						

施策	交通安全対策の充実
-----------	-----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
127,838千円	A	24.7%	79.9%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	市民政策局、都市整備局

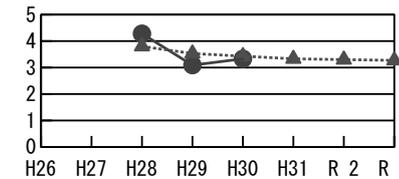
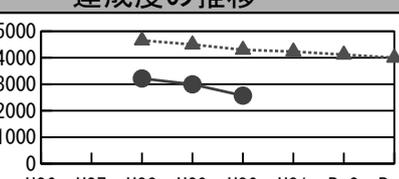
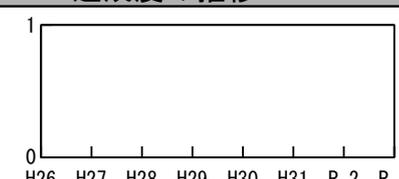
対象	市民	意図	交通安全教育・啓発活動を推進し、交通安全意識の向上を図り、市民が道路を安心して、安全に通行できる環境を整える。
-----------	----	-----------	---

概要(実績)

高松市交通安全都市推進協議会や交通安全母の会連絡協議会等の交通安全活動団体に対して助成を行ったほか、交通安全教室(1,560回)や交通安全フェアの開催、交通安全啓発街頭キャンペーンの実施や高齢者運転免許証返納促進事業(1,250人)を実施したことにより、市民の交通安全意識の向上と、高齢者の交通事故防止に寄与した。

また、道路反射鏡(カーブミラー)などの交通安全施設を整備したほか、番町地下道や荷捌き駐車スペースの管理を関係機関と連携して行うとともに、放置自動車対策にも取り組むなど、交通環境を整備した。

このほか、交通事故相談事業については、利用者の激減等により事業の継続又は廃止を検討した結果、平成30年4月から休止し、同年6月末をもって廃止した。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		① 状況	人口10万人当たりの交通事故による死者数	3.33人
		達成度の推移		
	交通事故による死者数は、平成29年の13人から30年は14人と1人増加したものの、目標値は達成しており、引き続き、交通安全教育・啓発の推進と交通環境の整備を推進していく。			
② 状況	交通事故発生件数	2,569件	4,300件	140.3%
		達成度の推移		
	平成18年をピークに交通事故発生件数は年々減少しており、30年も対前年比86%の件数と順調に推移している。			
③ 状況				
		達成度の推移		

施策の課題

【市民政策局・都市整備局】高齢者に対する交通安全対策を推進するとともに、地域との協働で交通マナーの一層の向上に取り組んでいるほか、交通安全施設整備による安全対策を図るなど、安全な道路環境整備を推進している。

今後も、交通安全教育や啓発活動に取り組むとともに、道路環境整備の効果的な推進により、交通事故防止に努める必要がある。

施策の方向性

市民満足度調査において不満度は改善傾向にあるものの、依然として高い状況であることも踏まえ、引き続き、交通安全対策の充実に向け、各種事業を推進していく。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	交通安全教育等推進事業 24,207千円 市民政策局 くらし安全安心課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				93.2%	88.6%	A	A	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 高松市交通安全都市推進協議会等に助成するほか、市内の幼稚園児、小学生などを対象に、年齢や心身の発達状況に応じた交通安全教室を開催するとともに、その講師となる交通指導員を養成するなど、交通安全教育と啓発活動を推進し、市民の交通安全意識の向上につながった。</p> <p>◎幼稚園、保育所、小学校、中学校交通安全教室参加者数 実績33,539人(目標36,000人) ◎高齢者交通安全教室等参加者数 実績4,430人(目標5,000人)</p>						
2	交通安全啓発推進事業 1,926千円 市民政策局 くらし安全安心課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			80.6%	100.4%	A	B	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 交通安全フェアの開催のほか、市内統一の交通安全啓発街頭キャンペーンの実施や交通安全啓発塔の管理を行い、市民の交通安全意識の向上につながった。</p> <p>◎交通安全フェア参加者数 実績29,000人(目標36,000人) ◎統一街頭キャンペーン参加者数 実績8,032人(目標8,000人)</p>						
3	(評価対象外) 交通事故相談事業 市民政策局 くらし安全安心課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
								廃止
		<p>(事業概要、事業実績等) 交通事故相談事業については、利用者の激減等により事業の継続又は廃止を検討した結果、平成30年4月から休止し、同年6月末をもって廃止した。</p>						
4	高齢者交通安全啓発推進事業 12,419千円 市民政策局 くらし安全安心課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	113.6%	88.6%	A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 高齢者を対象としたシルバードライバースクールや各種交通安全教室を開催したほか、高齢者向け交通安全冊子を作成、配布するなど、高齢者の交通安全教育の推進と交通安全意識の向上につながった。 また、高齢者運転免許証返納促進事業の実施により、高齢者の自動車運転中の交通事故発生抑制に寄与した。</p> <p>◎ICカード乗車券交付申請者数 実績1,250人(目標1,100人) ◎高齢者交通安全教室等参加者数 実績4,430人(目標5,000人)</p>						
5	違法駐車防止対策事業 66千円 都市整備局 交通政策課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			111.2%		A	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 違法駐車防止重点地域に指定する5路線及び周辺8路線を含めた市街地中心部において、定期的に違法駐車の状態を調査するとともに、関係機関と協力して啓発活動を実施した。 また、荷捌き駐車スペース及びタクシーベイの管理等に関係機関と連携して取り組みをすすめて、利用促進に向けた情報の発信を実施したことにより、違法駐車防止に寄与した。 なお、新たな荷捌き駐車場の設置がない中、配送・集荷業者が手法を変更し、車両総量を抑制する取組を始めていることから、高松ポケットローリングシステム協議会に対する、荷捌き駐車施設の管理・運営及び新規設置拡充に係る補助金については平成30年度をもって廃止した。 ◎違法駐車防止重点区域における平均瞬間違法駐車台数 実績22.2台(目標25台)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
6	(評価対象外) 交通安全施設整備事業 86,572千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 道路管理課	(事業概要、事業実績等) 道路反射鏡(カーブミラー)、防護柵、道路区画線、道路照明灯など交通安全施設の設置及び補修を行ったことにより、交通安全対策を充実させた。						
7	(評価対象外) 放置自動車等対策事業 86,572千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 交通政策課	(事業概要、事業実績等) 対象となる放置自動車が無かったことから、廃物判定委員会は開催しなかったが、放置自動車の発生防止に関する指導、啓発を実施したことにより、公共の場所における機能の保全と生活環境の維持向上に寄与した。						
8	(評価対象外) 番町地下道管理事業 2,648千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 都市計画課	(事業概要、事業実績等) クリエイティブ高松・中央通りプロムナード事業により整備された番町地下道において、エレベーター監視設備やモニュメント類の保守点検業務を実施したことにより、安全な歩行空間の確保、憩い・安らぎの場の提供に寄与した。						

施策	防犯体制の整備
----	---------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
80,353千円	A	20.3%	77.9%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	市民政策局

対象	市民	意図	犯罪の未然防止や、犯罪などを発生させない環境づくりを推進し、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組むとともに、各地域コミュニティ協議会が主体となった防犯活動を活性化する。

概要(実績)	香川県警が設置し、地域コミュニティ協議会が管理している防犯カメラ等の電気料金の助成を行ったことにより、安全で安心なまちづくりに寄与した。
	地域の単位自治会が管理する防犯灯の新設、移設などに係る経費や、電気料金など維持管理上必要な経費の助成を高松市連合自治会連絡協議会に対して行ったことにより、夜間における犯罪の防止と通行の安全に寄与した。防犯協会の行う防犯活動事業に対する補助金の交付を行うとともに、公益財団法人香川県暴力追放運動推進センター・公益社団法人かがわ被害者支援センターへの負担金を交付した。

成果指標	①	指標名	人口千人当たりの街頭犯罪等発生件数	H30実績	3.5件	H30目標	4.1件	達成度	114.6%
		状況	全国の刑法犯認知件数は前年比10.7%減で16年連続の減少となっている。	達成度の推移					
	指標名		H30実績		H30目標				
	状況		達成度の推移						
	指標名		H30実績		H30目標				
	状況		達成度の推移						

施策の課題	高齢者世帯が増加し、単位自治会への加入率も低下する中、地域自ら防犯意識の高揚を図り、地域が主体となった防犯体制を整備する必要がある。
-------	--

施策の方向性	犯罪の未然防止や犯罪などを発生させない環境づくりを一層進めるため、引き続き、地域の単位自治会が管理する防犯灯の新設や維持管理に要する費用に対し、支援を行うほか、防犯協会とも連携し、防犯意識の高揚を図るための取組を推進していく。
--------	---

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
							一般重点	
1	防犯活動推進事業		57.0%	B	A	A	C	改善継続
	951千円	<p>(事業概要、事業実績等) 県警が推進する防犯カメラ等に係る電気料金について、地域コミュニティ協議会に対して助成を行った。</p> <p>◎青色防犯活動助成達成率 実績57% (目標100%)</p>						
市民政策局 くらし安全安心課								
2	防犯組織・環境整備事業		107.7%	A	A	B	A	継続
	79,402千円	<p>(事業概要、事業実績等) 防犯協会の行う防犯活動事業に対する補助金の交付を行うとともに、公益財団法人香川県暴力追放運動推進センター・公益社団法人かがわ被害者支援センターへの負担金を交付した。 地域の単位自治会が管理する防犯灯の新設、移設などに係る経費や、電気料金など維持管理上必要な経費の助成を高松市連合自治会連絡協議会に行ったことにより、夜間における犯罪の防止と通行の安全に寄与した。</p> <p>◎総防犯灯数 実績29,293灯 (目標27,188灯)</p>						
市民政策局 くらし安全安心課								

施策	生活衛生の向上
----	---------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
748,062千円	A	29.5%	65.7%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	健康福祉局、市民政策局

対象	市民	意図	飲食店営業施設等の食品関係営業施設や毒物劇物営業施設、旅館業営業施設等諸営業施設、ペットショップ等の動物取扱施設における監視・指導や流通食品の収去検査等を行うほか、墓地、斎場の安定的な維持・運営等を実施することにより、衛生水準の向上に努め、安全で快適な市民生活の推進に寄与する。
----	----	----	---

概要(実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・墓園・墓地整備事業 新規墓所使用許可数：92区画 ・市民葬儀事業 市民葬儀利用件数：546件 ・食品衛生監視指導事業 食品営業施設の監視件数：7,262件 ・衛生試験検査事業 食品の収去等検査件数：485件 ・食肉衛生検査事業 と畜検査頭数：10,067頭 ・毒物劇物監視指導事業 毒物劇物販売業者等への監視件数：187件 ・動物愛護管理事業 動物愛護推進員数：25人 ・環境衛生諸営業等監視指導事業 環境諸営業監視件数：726件
--------	---

成果指標	①	指標名	食品衛生等違反指導率	H30実績	H30目標	達成度
				0.8%	1.1%	127.3%
	状況	従来からの監視指導に加え、立入監視施設数を増加したことにより、違反施設数が減少し、違反指導率の目標値は達成できた。	達成度の推移			
成果指標	②	指標名	犬・猫の殺処分率	H30実績	H30目標	達成度
				64%	67%	104.5%
	状況	野犬対策を強化したことにより、犬の収容数が前年度より増加したが、殺処分率の目標値は達成できた。	達成度の推移			
成果指標	③	指標名		H30実績	H30目標	達成度
	状況		達成度の推移			

施策の課題	<p>【市民政策局】墓地環境の適正な維持管理、及び墓所需要に応じた墓所の供給が求められている。また、施設の適正な維持管理により、斎場業務を円滑に実施するほか、低価格で内容も充実している市民葬儀制度の活用を促進するため、普及啓発を積極的に実施する。</p> <p>【健康福祉局】食に関する市民の関心が高まったことなどから、食品の安全確保対策を、より一層強化するほか、各種衛生対策や動物愛護の普及啓発等を積極的に実施する。</p>
-------	---

施策の方向性	食品衛生法に基づく各種営業施設等に対する監視・指導などの食品衛生対策を推進するほか、動物愛護の推進や墓地、斎場の安定的な維持・運営等を実施することにより、引き続き、生活衛生の向上に取り組んでいく。
--------	--

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	(評価対象外) 食品衛生監視指導事業							
	12,056千円	<p>(事業概要、事業実績等) 食品関係営業施設における監視指導や流通食品の取去検査等を行うことにより、食品衛生を確保し、生活安全を確保する。食品衛生を確保し、生活安全を確保する。食品衛生を確保し、生活安全を確保する。</p>						
	健康福祉局 生活衛生課							
2	(評価対象外) 食肉衛生検査事業							
	24,409千円	<p>(事業概要、事業実績等) 高松市食肉センターで処理される畜肉の衛生検査及び畜場の衛生指導を行い、と畜場における高度な衛生管理手法（HACCP）の導入に向けた協議を重ねた。と畜場における高度な衛生管理手法（HACCP）の導入に向けた協議を重ねた。と畜場における高度な衛生管理手法（HACCP）の導入に向けた協議を重ねた。</p>						
	健康福祉局 生活衛生課							
3	(評価対象外) 衛生試験検査事業							
	9,091千円	<p>(事業概要、事業実績等) 食品衛生法に基づき、高松市内で製造又は流通する食品、輸入食品の理化学・微生物の検査を実施し、安全な食生活の確保に寄与した。また、有害物質を含む家庭用品の理化学検査を実施し、健康被害の防止に寄与した。また、有害物質を含む家庭用品の理化学検査を実施し、健康被害の防止に寄与した。</p>						
	健康福祉局 生活衛生課							
4	(評価対象外) 毒物劇物監視指導事業							
	5,224千円	<p>(事業概要、事業実績等) 毒物及び劇物取締法に基づき、保健衛生上の見地から毒物劇物販売業者等の登録申請・届出に対する審査及び監視指導を実施することにより、毒物劇物の適正な販売及び管理等の体制を確保し、保健衛生上の危害の未然防止に寄与した。</p>						
	健康福祉局 生活衛生課							
5	(評価対象外) 環境衛生諸営業等監視指導事業							
	997千円	<p>(事業概要、事業実績等) 研修会等に積極的に参加し、環境衛生監視員の資質向上に努め、監視指導における内容充実を図ることで、計画的な立ち入り調査を行った。</p>						
	健康福祉局 生活衛生課							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
6	害虫駆除事業 32,358千円	100.0%	A	A	A	A	継続	
	健康福祉局 生活衛生課	<p>(事業概要、事業実績等) 感染症の原因となる蚊の駆除を行うことにより、感染症の蔓延を未然に防止した。</p> <p>◎衛生害虫(主に蚊)媒介感染症罹患患者数(海外渡航後発症等を除く) 実績0人(目標0人)</p>						
7	公衆浴場施設改善事業等助成事業 6,934千円	100.0%	A	B	A	A	継続	
	健康福祉局 生活衛生課	<p>(事業概要、事業実績等) 風呂のない家庭や地域住民の交流の場としての機能を持ち、公衆衛生の向上に貢献している。</p> <p>◎一般公衆浴場数(銭湯) 実績6か所(目標6か所)</p>						
8	(評価対象外) 水道施設等衛生管理 指導事業 838千円							
	健康福祉局 生活衛生課	<p>(事業概要、事業実績等) 水道施設等の立入指導等を通して、法定検査等の受検徹底を周知した。また、登録検査機関からの情報をもとに、台帳整理を行った。</p>						
9	(評価対象外) 動物愛護管理事業 70,754千円							
	健康福祉局 生活衛生課	<p>(事業概要、事業実績等) 野犬対策を強化し捕獲を進めた結果、野犬の収容が増加し、市民の生活環境保全に寄与した。 また、保健所へ収容された犬猫の飼い主への返還を推進するために、啓発ポスター及びチラシを作成したり、各種メディアを利用した啓発活動を実施し、適正飼養の普及啓発に努めた。</p>						
10	動物愛護センター整備等事業 290,510千円	特別重点 104.5%	100.0%	A	A	B	A	継続
	健康福祉局 生活衛生課	<p>(事業概要、事業実績等) より見やすい・わかりやすいサイトを目指し、ウェブサイト「わんにゃん高松」のリニューアルを行った。 ◎犬猫の殺処分率 実績64%(目標76%) ◎動物愛護センター整備進捗率 実績100%(目標100%)</p> <p>なお、県と共同で整備していたさぬき動物愛護センターが、平成30年12月にしゅん工、平成31年3月に開所となり、前年度から繰り越していたセンター整備については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：55,040,500円)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		11	市民葬儀事業 12,053千円 市民政策局 市民やすらぎ課		95.3%	A	A	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 簡素な葬儀を普及させため、葬儀に対する経済的負担の軽減を図り、市が葬儀の種類及び料金を定め、市民葬儀取扱指定業者に取り扱わせた。また、霊柩車運送料を補助し、火葬料及び市斎場の式場使用料(一定時間)を免除した。 ◎市民葬儀利用率 実績12.7% (目標13.3%)</p>						
12	墓園・墓地整備事業 79,482千円 市民政策局 市民やすらぎ課		99.3%	A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 市民の墓所需要に応じて墓所を供給するため、返還墓所の整備及び通路修繕等の環境整備を実施し、92区画の墓所を貸出した。 また、平和公園墓園において管理事務所の新築工事等を実施した。 ◎新規墓所使用許可数(累計) 実績1,167区画(目標1,175区画) なお、平和公園墓園整備事業については、設計内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額:10,562,000円)</p>						
13	(評価対象外) 斎場等管理運営事業 158,184千円 市民政策局 市民やすらぎ課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 斎場公園ほか5施設の斎場業務等を円滑に実施するため、斎場公園の空調機修繕工事や牟礼斎場及び庵治斎場の燃焼設備の修繕工事等を実施、施設の適正な維持管理を行った。(火葬件数 4,416件 人体のみ) なお、修繕に日時を要したことにより、年度内に修繕の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額:983,000円)</p>						
14	(評価対象外) 墓園・墓地管理事業 45,172千円 市民政策局 市民やすらぎ課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 市営墓地を適切に維持・管理するため、清掃、植栽剪定、塵芥収集を定期的実施した。</p>						

施策	消費者の権利保護と自立促進
----	---------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
14,773千円	A	17.2%	45.8%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	市民政策局

対象	市民	意図	消費者が安心・安全に暮らせるために、賢い消費者として自立促進を行う。

概要(実績)
 第35回消費者ウイーク・第40回暮らしをみなおす市民のつどい、消費者月間記念講演会、夏休み親子消費者教室、多重債務問題研修会及び出前講座等の各種啓発事業を実施するとともに、消費者団体への支援を行い、自立した賢い消費者を多く育成した。
 消費生活相談においても、利用した覚えのない有料サイト等の未納料金と称して高額な料金を請求される「架空請求」をはじめとする「不当請求」に関する苦情・被害への対応だけでなく、相談員の助言・情報提供等により相談者自身で自主的に対応できる賢い消費者を増やし、特殊詐欺等防止のため、市広報、市ホームページなどにより啓発を行った。
 また、環境に対する省資源意識の向上を図るため、廃食油収集ステーションを22か所(収集日数92日)設置し、6,687リットルを収集した。

成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		99%	99.2%	99.8%
①	状況	全体の相談件数は、昨年度は、一昨年度に比べ136件減少したが、相談内容は、多様化・複雑化していることから、最新の傾向を把握し、消費者に対し適切な助言等の対応が必要である。また、相談員が、適切な助言等を行えるよう研修等に参加し相談業務等のスキルアップを行う。なお、目標はほぼ達成することができた。		
		達成度の推移 		
②	指標名	H30実績	H30目標	達成度
③	状況	達成度の推移 		
		H30実績	H30目標	達成度
		達成度の推移 		

施策の課題
 今後も消費者団体を支援しながら、より連携を強化していく。また、年々手口が巧妙化している悪質商法に対応できるよう、消費生活センターの相談体制堅持及び機能強化を行い、消費生活における安全安心を確保していくことが求められる。

施策の方向性
 消費者の利益の確保及び消費者被害のより一層の救済を目指す。そのために、消費者が参加できるイベント・機会の提供、消費生活相談員による相談事業はもとより、出前講座の実施及び消費者団体の支援等を実施し、賢い消費者の育成を行い、消費者保護を推進していく。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1	(評価対象外) 消費生活相談事業 10,212千円 市民政策局 くらし安全安心課					
		(事業概要、事業実績等) 消費者からの相談による商品及び業務に関し、事業者と消費者との間に生じた苦情・紛争等について、その解決のために、消費者からの相談に相談員が対応している。また、平成30年11月に、消費被害を防ぐために、民生委員、事業者、警察等と連携し「消費者安全確保地域協議会」を立ち上げ、消費被害の未然防止を行っている。						
2	(評価対象外) 計量検査事業 1,180千円 市民政策局 くらし安全安心課							
		(事業概要、事業実績等) 小規模な事業所等が廃業しており、廃業に伴い特定計量器の数が減少してきている中、定期検査が必要な特定計量器の未受検者数を減らすために、コンビニを中心に受検を促した。						
3	消費者啓発事業 1,923千円 市民政策局 くらし安全安心課		100.8%	A	B	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 高松市消費者団体連絡協議会と連携し、講演会、イベント等を行い、消費者被害に遭わないための啓発行事等を行った。また、小学校高学年を対象に消費者教育リーフレットを市内小学校に配布している。 ◎消費者月間事業等の満足度 実績80.6% (目標80%)						
4	消費者団体支援事業 1,235千円 市民政策局 くらし安全安心課		191.5%	A	B	B	A	改善継続
		(事業概要、事業実績等) 消費生活に関する各種の調査・研究の諸活動や啓発活動を推進するとともに、加入団体相互の交流を行うため支援をした。 ◎高松市消費者団体連絡協議会主催事業の参加者数 実績517人 (目標270人)						
5	廃食油収集事業 223千円 市民政策局 くらし安全安心課		95.7%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 省資源意識の向上と環境保全防止のため、廃食油収集ステーションを設置し、廃食油収集を実施した。廃食油収集量は、一昨年度より351リットル増加した。 ◎廃食油収集量 実績6,687リットル (目標6,984リットル)						

平成30年度 政策の概要調書

総合計画 画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成

総合評価
A

1 政策の概要

環境と共生する持続可能な循環型社会の形成を図るため、ごみの減量と再資源化を推進するとともに、一般廃棄物、産業廃棄物の適正処理や不法投棄の防止に努めます。
また、環境保全意識の啓発等の環境保全活動を推進するとともに、再生可能エネルギーの利用促進などの地球温暖化対策を行い、低炭素社会の構築を目指します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
ごみの減量と再資源化の推進	93%	A
廃棄物の適正処理	91%	A
不法投棄の防止	100%	A
地球温暖化対策の推進	86%	A
環境保全活動の推進	96%	A
平均	93%	A

3 政策の評価

環境と共生する持続可能な循環型社会の形成に向けて、5施策に取り組んだ。
「ごみの減量と再資源化の推進」、「不法投棄の防止」及び「環境保全活動の推進」の3施策では、設定する5つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。
「廃棄物の適正処理」では、設定する2つの成果指標のうち、一般廃棄物の年間埋立処分量において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。
「地球温暖化対策の推進」では、設定する2つの成果指標のうち、地球温暖化防止のための取組実施率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は93%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
ごみの減量と再資源化の推進	26.3%	19.7%	74.8%
廃棄物の適正処理	31.2%	11.8%	73.1%
不法投棄の防止	23.6%	21.0%	69.9%
地球温暖化対策の推進	13.1%	13.4%	60.1%
環境保全活動の推進	20.2%	10.6%	56.9%
平均	22.9%	15.3%	67.0%

施策	ごみの減量と再資源化の推進
-----------	---------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
350,975千円	A	26.3%	74.8%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局

対象	ごみを排出する市内の家庭や事業所	意図	ごみの減量と再資源化の推進により、環境と共生する持続可能な循環型社会の形成を目指す。
-----------	------------------	-----------	--

概要(実績)

まず、家庭系ごみ減量推進事業では、多量排出事業者等に購入補助事業を実施し、家庭から出るごみの減量を推進し、リサイクル率の向上に寄与した。また30年度エコシティたかまつ優良事業者表彰について、優秀な事業者2者を表彰した。次にレジ袋等削減推進事業では、協定締結事業者の店舗入口等へ告知看板を設置することにより、恒久的な意識啓発に努めるとともに、地球にやさしいオフィス・店、多量排出事業者にもレジ袋削減について働きかけた。次に家庭系ごみ有料化事業では、5種類の有料指定収集袋の運用を実施し、ごみ減量・資源化を促進した。次に小型家電等リサイクル推進事業では、使用済小型家電の回収の結果、希少金属等の再資源化等に寄与し、前年度より1.3トン回収量が上昇した。次にごみ減量・資源化啓発事業では、スマートフォンやタブレット利用者向けに「ごみ分別アプリ」を配信し、ごみの減量・再資源化の促進に寄与した。次にごみ再資源化事業では、家庭系資源ごみの再資源化のため中間処理を行い、循環型社会の形成に寄与した。

成果指標	①	指標名	1人1日当たりのごみ排出量	H30実績	H30目標	達成度
		状況	施策構成基本事業と事務事業の積極的かつ継続的推進と市民・事業者の「ごみの減量と再資源化」に対する意識の向上等により、目標を達成することができた。	921g/人・日	928g/人・日	100.8%
				達成度の推移		
②	指標名	1人1日当たりの資源化量	H30実績	H30目標	達成度	
	状況	家庭から分別して出された資源ごみや小型家電等のリサイクル、正しいごみの分別方法の周知等によるごみの減量・リサイクルの推進に向けた事業を実施しているが、目標達成には至らなかった。	184g/人・日	207g/人・日	88.9%	
				達成度の推移		
③	指標名		H30実績	H30目標	達成度	
	状況					
				達成度の推移		

施策の課題

市民・事業者の「ごみの減量と再資源化の推進」に対する意識の向上と分別の徹底等により、さらにごみの減量と再資源化を進める必要がある。

施策の方向性

引き続き、「ごみの減量と再資源化の推進」に積極的に取り組むことにより、環境への負荷の低減と限りある資源の有効利用を通じて、上位目標である政策「環境と共生する持続可能な循環型社会の形成」を目指す。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1	家庭系ごみ減量推進事業		85.7%	A	A	A
1,404千円	<p>(事業概要、事業実績等) 生ごみ処理機及び生ごみ堆肥化容器の購入にかかる費用の一部を補助することにより、ごみの減量化・資源化を促進するとともに、市民のごみ処理に対する意識の高揚に寄与した。</p> <p>◎生ごみ処理機等使用による生ごみ減量値(推定) 実績23,069kg(目標26,933kg)</p>							
	環境局 環境保全推進課							
2	事業系ごみ減量推進事業		90.3%	A	A	B	A	継続
	18千円	<p>(事業概要、事業実績等) 事業の用に供する延べ面積3,000㎡以上の建物を所有・占有する事業者を「多量排出事業者」として、毎年、事業系一般廃棄物減量等計画書の提出を依頼するとともに、優秀な取り組みをしている事業者を2者表彰し、事業系一般廃棄物の減量及びリサイクル率の向上に寄与した。</p> <p>◎多量排出事業者の廃棄物リサイクル率 実績59.6%(目標66%)</p>						
	環境局 環境保全推進課							
3	レジ袋等削減推進事業		97.4%	A	A	B	A	拡充
		<p>(事業概要、事業実績等) 環境負荷の少ない循環型社会を構築するため、事業者、市民団体、市の三者でレジ袋等の削減に関する協定を締結し、市民に対して買い物袋の持参を呼びかけるなど、協働してレジ袋の削減に取り組むことで、意識の啓発等に寄与した。また、多量排出事業者・地球にやさしいオフイス・店にもレジ袋削減について取り組む事業所の拡大を図るため、働きかけを行ったほか、職員に対しても、使い捨てプラスチック製品の使用自粛について周知を行い、その削減を推進した。</p> <p>◎協定締結事業者の年間レジ袋削減枚数 実績10,737,000枚(目標11,029,000枚)</p>						
	環境局 環境保全推進課							
4	食品ロス対策等推進事業	一般重点	113.1%	A	A	B	A	継続
	1,107千円	<p>(事業概要、事業実績等) 食品ロスに関する実態調査や市民アンケート調査を実施するとともに、「3きり」啓発リーフレットを活用した周知啓発を行い、食品廃棄物の削減に向け事業を推進した。</p> <p>◎食品ロス認知度 実績84.5%(目標74.7%)</p>						
	環境局 環境総務課							
5	家庭系ごみ有料化事業		99.4%	A	A	A	A	継続
	159,147千円	<p>(事業概要、事業実績等) 定期収集家庭ごみのうち、「燃やせるごみ」「破碎ごみ」について、大(40リットル相当)・中(30リットル相当)・小(20リットル相当)・特小(10リットル相当)・超特小(5リットル相当)の5種類の有料指定収集袋での運用を実施し、高齢者等のごみ排出量の少ない世帯の利便性向上にも配慮しながら、更なるごみの減量化・再資源化を促進した。</p> <p>◎有料指定収集袋使用枚数(特小換算) 実績43,273,250枚(目標43,000,000枚)</p>						
	環境局 環境保全推進課							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
6	小型家電等リサイクル推進事業	70.0%		B	B	B	C	継続
	97千円	<p>(事業概要、事業実績等) 市内22か所に設置した回収ボックス等で約1,774キログラム、また、南部クリーンセンター及び西部クリーンセンターで実施したピックアップ回収並びにイベント回収で約2,502キログラムを回収し、合計4,276キログラムの携帯電話やデジタルカメラなど21品目の使用済小型家電を回収した。このことにより、希少金属等の再資源化や理立こみの減量化に着実な効果があった。</p> <p>◎使用済小型家電の年間回収量 実績4.2トン(目標6トン)</p>						
環境局 環境業務課								
7	ごみ減量・資源化啓発事業	96.8%		A	A	A	A	継続
	3,588千円	<p>(事業概要、事業実績等) 「ごみ分別ガイドブック」・「ごみ収集カレンダー」、小学校社会科副読本の作成・配布、スマートフォンやタブレット利用者向けの「ごみ分別アプリ」の配信により、広く市民にごみ処理等に対する啓発を行った。さらに、高松市リサイクル推進員の各校区への配置により、地域ぐるみの主体的なリサイクルの推進に効果があった。</p> <p>◎プラスチック容器包装ごみの再資源化割合 実績87.1%(目標90%)</p>						
環境局 環境保全推進課								
8	ごみ再資源化事業	105.1%	102.4%	A	A	A	A	継続
	185,614千円	<p>(事業概要、事業実績等) 日々家庭から出される缶・びん・ペットボトル、プラスチック、紙類等の資源ごみを、再資源化のための中間処理を行い、プラスチック、色つきのびんについては日本容器包装リサイクル協会に引渡したほか、缶・びん・ペットボトル、紙類など有価にて売払いできるものは専門業者に売却を行った結果、成果目標を100%達成した。</p> <p>◎缶・びん・ペットボトル資源化量 実績2,363,734kg(目標2,250,000kg)</p> <p>◎プラスチック資源化量 実績3,099,427kg(目標3,026,000kg)</p>						
環境局 環境保全推進課								

施策	廃棄物の適正処理
----	----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
4,384,997千円	A	31.2%	73.1%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局

対象	一般廃棄物（し尿を含む）を排出する市民及び市内の事業者並びに産業廃棄物を排出する事業者や廃棄物の収集運搬・処分を行う者等。	意図	一般廃棄物及び産業廃棄物の排出を抑制し、適正かつ効率的な処理を推進するとともに、将来に向けた安定した処理体制を構築することにより、生活環境保全及び公衆衛生の向上を図り、循環型社会の形成に寄与する。
----	---	----	--

概要（実績）

・一般廃棄物処理基本計画に基づき、一般廃棄物（し尿を含む）の適正処理を行うとともに、ごみの減量・資源化を推進した。また、家庭から排出されたごみについて経済的で効率的な収集・運搬システムを運用した。・ごみステーションの適正管理を行うため、パトロールや看板配布等の啓発活動を行った。・南部・西部クリーンセンターの適正かつ効率的な維持管理を行い、再資源化や廃棄物の減容化を行うことにより、最終処分量を削減するとともに、最終処分場の延命化を推進した。・西部クリーンセンター長寿寿命化計画に基づき行っていた、焼却施設基幹的設備改良工事（H27～H29）は完了した。引き続き、破碎施設基幹的設備改良工事（H29～R元）を進めている。・し尿及び浄化槽汚泥については、し尿等を衛生センターから東部下水処理場へ移送し、下水道との共同処理を行った。・許可事務や苦情処理等を通じて、産業廃棄物の排出抑制、適正処理等を促進した。

成果指標	①	指標名	一般廃棄物の年間埋立処分量	H30実績	14,022 t	H30目標	12,300 t	達成度	86.0%
	状況	家庭ごみの適正処理について、ホームページや広報紙等で周知・啓発に努めた。基幹的設備改良工事に伴い停止していた西部クリーンセンターの焼却炉の稼働を平成30年2月に再開したことにより、同センターでの処理量が工事着手前の状況に戻った（外部委託処理を終了した）ことから、焼却灰等の年間埋立処分量が増加した。	達成度の推移						☁️
	指標名	産業廃棄物の不適正保管量	H30実績	11,857 t	H30目標	12,200 t	達成度	102.8%	
状況	継続的・定期的な指導を行ったことにより、前年度と比較し、不適正保管量が減少し、目標値を達成した。	達成度の推移						☀️	
③	指標名		H30実績		H30目標		達成度		
状況	達成度の推移								

施策の課題

ごみの適正処理を確保した上で、より経済的で効率的な収集運搬体制を検討する必要がある。・西部クリーンセンター等施設の老朽化に伴い、適切な維持管理と効率的な運転管理で施設の延命化を図る必要がある。・し尿等の処理については、下水道との共同処理を行っており、引き続き、適正に処理を行う必要がある。・排出事業者の責任や収集運搬・処分を行う者の責務について、更に理解を深めてもらい、適正処理を推進していく必要がある。

施策の方向性

新たな一般廃棄物処理基本計画に基づき、一般廃棄物の発生抑制、適正処理、資源化を推進し、ごみ処理施設の適切な維持管理を図るとともに、市の収集運搬体制の検討にも取り組み、公衆衛生の向上及び循環型社会の形成に貢献していく。・し尿等の処理については、下水道との共同処理を安定的かつ適正に推進していく。・産業廃棄物については、排出事業者や許可業者等に指導や啓発活動により、排出抑制や適正処理及び再生利用の推進を図る。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	(評価対象外) 南部クリーンセンター管理運営事業							
	1,053,201千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>特別目的会社との間に締結した、平成30年度までの長期一括委託契約により、ごみ処理施設、廃棄物再生利用施設、埋立処分地等について、一体的かつ効率的な管理運営を行った。また、不適物の混入防止及び排除、並びにごみ処理の適正化のため、ごみの搬入検査を行った。</p>						
	環境局 南部クリーンセンター							
2	(評価対象外) ごみ収集運搬事業							
	1,472,034千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>ごみ収集運搬計画に基づき、旧高松市の家庭から排出された破碎ごみを始め、缶・びん・ペットボトルやプラスチック容器包装等の資源ごみ、また、市全域から排出された臨時・粗大ごみなど、約8,347tを直営で収集するとともに、旧高松市の可燃ごみ及び紙・布類やプラスチック容器包装等の資源ごみに加え、合併地区の定期収集ごみなど約77,299tを委託により収集した。</p>						
	環境局 環境業務課							
3	(評価対象外) 西部クリーンセンター管理運営事業(破碎処理)							
	267,088千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>有害物等を除去した後の破碎ごみを破碎・選別(中間)処理し、有価物の再資源化(リサイクル)や廃棄物の減容化に取り組むなど、破碎施設の適正な維持管理を行った。また、施設の延命化を図るための基幹的設備改良工事を平成29年度より令和元年度の3か年の予定で実施中である。</p>						
	環境局 西部クリーンセンター							
4	(評価対象外) 西部クリーンセンター管理運営事業(焼却処理)							
	387,274千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>焼却施設を適正に維持管理しながら、可燃ごみを焼却(中間)処理し、廃棄物の減容化を行うことにより、最終処分量の削減を推進し、最終処分場の延命化を推進した。</p>						
	環境局 西部クリーンセンター							
5	(評価対象外) ごみ最終処分場管理事業							
	75,896千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>陶最終処分場では、リサイクルや減量化を推進した上でなお残る廃棄物について、埋立処分を行った。また、第3処分地の埋立整備に係る保護マット敷設工事を行った。</p> <p>なお、老朽化に伴う散水車の整備について、契約の締結に不測の日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の全部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：9,807,000円)</p>						
	環境局 西部クリーンセンター							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
6	ごみ適正処理指導事業		97.7%	B	A	B	A	継続
	4,391千円	<p>(事業概要、事業実績等) 市内全域のごみステーションの管理や利用者に対する指導等を行うことにより、適正なごみ処理が実現し、環境美化に貢献している。また、30年度は、3,790kgを回収し、海ごみ対策の推進に寄与した。</p> <p>◎不適正管理ごみステーション対応件数 実績808件(目標790件)</p>						
環境局 適正処理対策室								
7	西部クリーンセンター大規模改修事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	650,025千円	一般重点	85.4%	A	A	B	B	継続
環境局 環境施設対策課		<p>(事業概要、事業実績等) 西部クリーンセンター長寿命化計画に基づき行っていた、ごみ焼却施設の基幹的設備改良工事(H27~H29)は完了した。引き続き、破碎施設の基幹的設備改良工事(H29~R元)を発注し、工事を進めている。 また、施設周辺の地域振興事業として、農道・水路改修等補助事業を行った。</p> <p>◎西部クリーンセンター大規模改修整備進捗率 実績81.6%(目標95.6%)</p> <p>なお、施設周辺の地域振興事業として行っている農道・水路改修等補助事業については、実施主体の事業が遅れたことにより、年度内の事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：3,500,000円)</p>						
8	南部クリーンセンター次期運営方法等検討事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	23,984千円	特別重点	100.0%	A	A	A	A	完了
環境局 南部クリーンセンター		<p>(事業概要、事業実績等) 南部クリーンセンターの管理運営業務委託が、平成30年度末までの契約期間であることから、令和元年度以降の管理運営が、最も効率的で安定したごみ処理が行えるよう、平成28年度から30年度までの3年間で次期委託事業者選定を含む、運営方法等について検討を行った。また、30年度は、引き続き専門コンサルタントを活用し、入札公告、入札を行った。応募のあった事業者のうち、学識経験者等第3者の委員で構成する「高松市南部クリーンセンター次期管理運営事業者選定委員会」において、高松市選定された事業者を次期管理運営事業者として決定し、11月5日に基本協定を締結し、12月20日に契約を締結した。</p> <p>◎次期運営方法等検討事業の進捗率 実績100%(目標100%)</p>						
9	(評価対象外) 南部クリーンセンター場内整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,808千円	<p>(事業概要、事業実績等) 南部クリーンセンター場内の埋立処分終了用地等に、植栽を行った。 また、総合防災調整池の浚渫を行った。</p>						
環境局 環境施設対策課								
10	(評価対象外) 一般廃棄物最終処分場整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	723千円	<p>(事業概要、事業実績等) 陶最終処分場周辺対策事業として、大原2号線道路に関する事業を行った。</p> <p>なお、ほ場整備事業に関する工事等について、実施主体の事業が遅れたことにより、年度内の事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：1,728,000円) また、前年度からの繰越事業であるほ場整備事業については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：486,000円)</p>						
環境局 環境施設対策課								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	(評価対象外) ごみ処理関連施設統廃合整備事業 489千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	環境局 環境施設対策課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 旧最終処分場の適正な管理を行った。</p> <p>なお、女木最終処分場フェンス復旧工事について、設計内容の検討に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：680,000円)</p>						
12	(評価対象外) ごみ処理計画推進事業 2,143千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	環境局 環境総務課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 廃棄物減量等推進審議会を開催し、廃棄物減量・再資源化等について審議するとともに、高松市一般廃棄物処理基本計画の執行管理を行ったほか、高松市一般廃棄物処理実施計画を策定し、一般廃棄物の適正処理や減量・再資源化の推進を行った。</p> <p>なお、松島町集会場ブロック塀等改修工事について、設計内容の検討に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：9,600,000円)</p>						
13	災害時し尿処理事業 1,527千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	環境局 衛生センター		100.0%	100.0%	A	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 高松市災害物資備蓄計画に基づく、避難所へ簡易トイレ等緊急物資の配備が平成29年度に完了したため、平成30年度から、し尿凝固剤を計画的に更新した。</p> <p>◎簡易トイレ備蓄率 実績100% (目標100%) ◎し尿凝固剤備蓄率 実績100% (目標100%)</p>						
14	し尿中継貯留槽整備事業 15,299千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	環境局 衛生センター		100.0%		C	C	C	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 女木町及び男木町貯留槽の整備が完了し、離島のし尿等収集の効率化が図られた。</p> <p>◎し尿中継貯留槽整備率 実績100% (目標100%)</p> <p>また、前年度からの繰越事業である男木町し尿・浄化槽汚泥中継貯留施設整備事業については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：13,967,860円)</p>						
15	(評価対象外) 離島し尿収集事業 8,166千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	環境局 衛生センター							
		<p>(事業概要、事業実績等) 離島のし尿収集の円滑化と住民負担軽減を図るため、収集業者に補助金を交付した。 また、定期の収集時に合わせて、浄化槽清掃を行う場合の航送料について補助金を交付した。</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		16	し尿処理施設跡地利用事業 132,994千円 環境局 衛生センター	一般重点	106.0%	A	B	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 衛生処理センターの上部解体工事が完了した。</p> <p>◎解体・跡地整備進捗率 実績48.69% (目標45.94%)</p> <p>また、前年度からの繰越事業である上部解体撤去工事及び監理業務については、完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：87,392,000円)</p>						
17	(評価対象外) 衛生センター管理事業 263,766千円 環境局 衛生センター	重点						
		<p>(事業概要、事業実績等) 本市及び処理を受託している三木町・綾川町で収集したし尿処理及び浄化槽汚泥を下水処理施設で下水と共同処理するため、前処理施設の運転維持管理を適切に行った。平成30年度においては、71,554立方メートルの共同処理を効率的に行うことができた。</p> <p>なお、衛生センター管理棟空調設備改修工事については、設計内容の検討に時間を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：8,016,000円)</p>						
18	(評価対象外) し尿中継貯留槽管理事業 3,181千円 環境局 衛生センター	重点						
		<p>(事業概要、事業実績等) 合併地区(塩江町、庵治町、香川町、国分寺町)及び離島地区(女木町、男木町)に設置している、し尿中継貯留槽の維持管理を適切に実施することにより、各地区から衛生センターへのし尿等の運搬を効率的に行うことができた。</p> <p>なお、香川町貯留槽防食被膜工事については、契約の締結に不測の日時を要したことにより、年度内に事業の着手が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：35,532,000円)</p>						
19	(評価対象外) 衛生処理センター跡地管理事業 10,980千円 環境局 衛生センター	重点						
		<p>(事業概要、事業実績等) 跡地管理事業における委託業務等の執行により、バラ園等施設管理を適正に行えた。</p>						
20	(評価対象外) 産業廃棄物適正処理指導事業 10,028千円 環境局 環境指導課	重点						
		<p>(事業概要、事業実績等) 廃棄物の収集・運搬業、処分業及び施設設置の許可事務を通して処理業者への適正処理の指導を行うとともに、パトロールによる不適正処理の未然防止や早期発見、苦情処理及び事業場への立入検査による改善指導を行い、適正処理の促進を行った。</p>						

施策	不法投棄の防止
-----------	---------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,567千円	A	23.6%	69.9%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局

対象	高松市内全域における不法投棄が見られる地域	意図	不法投棄を防止するとともに、市民の環境美化意識の高揚を図ることによって、清潔で、美しい高松を実現する。
-----------	-----------------------	-----------	---

概要 (実績)	山間地や海岸線などの広範囲に渡る不法投棄ごみが見られる地域において、行政と住民が連携して、不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦を実施し、不法投棄されているごみの回収を行うことにより、地域の環境美化と環境意識の向上に努めた。
--------------------	---

成果指標	①	指標名	不法投棄通報、相談件数	H30実績	H30目標	達成度
		83件	125件	133.6%		
	状況	不法投棄の通報及び相談件数は目標に達している。しかし、不法投棄はまだまだ後を絶たない状況であるため、引き続き市民の環境美化意識の高揚を図る必要がある。		達成度の推移 		
	②	指標名	ボランティア清掃の参加者数	H30実績	H30目標	達成度
	191,122人	158,000人	121.0%			
	状況	目標を大きく超える参加者数であったが、今後も引き続き啓発を行っていく。		達成度の推移 		
③	指標名		H30実績	H30目標	達成度	
状況			達成度の推移 			

施策の課題	平成28年度のクリーン作戦において、イノシシに襲われ大けがををするといった事故があったことから、29年度から全てのクリーン作戦に傷害保険を掛け事故があった場合の対策を行った。また、当日のクリーン作戦においても香川県猟友会や高松市農林水産課の協力のもとパトロールを実施しイノシシ対策を行った。
--------------	---

施策の方向性	監視パトロールの強化等による不法投棄の早期発見、早期対応を図るとともに、市民や事業者と連携してクリーン作戦を実施し、不法投棄撲滅及び意識啓発のための取組を進める。クリーン作戦については、イノシシ対策を講じるとともに、地区衛生組合協議会やコミュニティ協議会等と早めの時期から協議を行い、安全面に重点を置いて取り組んでいく。
---------------	--

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	高松ふれあいクリーン事業 198千円 環境局 適正処理対策室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				67.7%	133.6%	B	A	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 不法投棄が特に多く見られる山間部や海岸線地域において、不法投棄の撲滅に向けて、行政と市民及び企業ボランティアが協働して、不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦を実施し、不法投棄されているごみの回収を行った結果、地域の環境美化と市民の環境美化意識の高揚に寄与した。</p> <p>◎不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦参加者数 実績 4,873人 (目標 7,200人) ◎不法投棄苦情処理件数 実績 83件 (目標 125件)</p>						
2	不法投棄防止対策事業 1,369千円 環境局 適正処理対策室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				52.6%		B	A	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 市内全域における不法投棄が多くみられる地域の監視パトロールを強化し、不法投棄行為者の特定調査や指導を行い、不法投棄ごみに対する対策を講じた。また、不法投棄の抑止効果が高い監視カメラや啓発看板を設置して、不法投棄の未然防止・早期発見・早期回収を図ったほか、保育所や幼稚園、小・中学校等で次世代を担う子ども達に対し、環境啓発の取組を行った。</p> <p>◎不法投棄書類送検件数 実績 28件 (目標 19件)</p>						

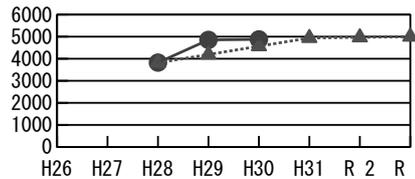
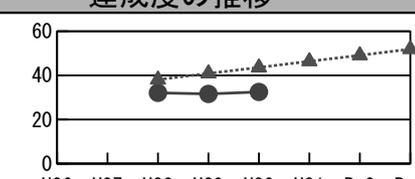
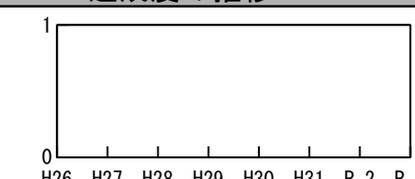
施策	地球温暖化対策の推進
-----------	------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
58,957千円	A	13.1%	60.1%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局、財政局

対象	市民・事業者	意図	市民・事業者との協働を進めながら、温室効果ガスの排出抑制となる施策を推進し、地球温暖化対策を進める。
-----------	--------	-----------	--

概要(実績)
 【地球温暖化防止活動の推進】たかまつCOOL CHOICEキャンペーンを実施し、地球温暖化防止の普及啓発を行った。【再生可能エネルギー普及の促進】太陽光発電システム設置費補助(383件26,532千円)、蓄電システム設置費補助(78件7,800千円)及び太陽熱利用システム設置費補助(1件60千円)を実施。【電気自動車等普及の促進】公用車に電気自動車を新たに1台(環境業務センター)導入。急速充電設備(3箇所)の運営を実施。【緑のカーテン事業】家庭部門等3部門でコンテストを実施(196件の応募)。【東部下水処理場バイオマス発電事業】下水汚泥の処理過程で発生する消化ガスを燃料としてバイオマス発電(発電量2,804千kWh/年、売電量2,088千kWh/年)を実施。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		① 状況	4,876 kW	4,566 kW
	市有施設における再生可能エネルギー発電設備の発電出力	達成度の推移		
	これまで、小・中学校を中心に設置しており、平成30年度は木太コミュニティセンター及びみんなの病院に設置しており、目標は達成できた。			
② 状況	32.5%	43.6%	74.5%	
	地球温暖化防止のための取組実施率	達成度の推移		
	ホームページ及び広報媒体(広報誌、ケーブルテレビ等)、啓発展示に加え、「たかまつCOOL CHOICEキャンペーン」を実施し、温暖化防止に向けた普及啓発に努めた。13項目中9項目で取組実施率は増加しているが、目標値を下回った結果となった。(家庭における地球温暖化防止のための取組率)			
③ 状況				
		達成度の推移		
				

施策の課題
 課題となっていた家庭部門及び業務部門での温室効果ガス排出量は、前年及び基準年比ともに減少しており、今後も引き続き啓発していく。

施策の方向性
 家庭部門、業務その他部門及び運輸部門における温室効果ガスの排出抑制に向けて、引き続き周知啓発を進める。また、再生可能エネルギーの利活用を進める。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	低排出ガス・低公害車・省エネルギー車導入事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	7,743千円		95.9%	A	A	A	A	継続
財政局 財産経営課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>公用車の更新等において、平成17年度排出ガス基準75%低減レベル以上の環境性能に優れた車両を23台導入した。</p> <p>◎低公害車等占有率 実績52.74% (目標55%)</p>						
2	再生可能エネルギー普及促進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	34,392千円	一般重点	100.0%	10.0%	A	A	B	C
環境局 環境保全推進課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>住宅用太陽光発電システム及び太陽熱利用システムの設置に対して助成を行い、二酸化炭素を排出しないクリーンエネルギーの利用によって地球温暖化防止を推進した。</p> <p>なお、太陽光発電システムと同時に定置用リチウム蓄電システム又は電気自動車充電設備を併設する場合に補助を行うプラスワン補助についても、平成26年度から引き続き実施した。</p> <p>◎総電力消費量に占める太陽光発電補助による発電量の割合 実績1.59% (目標1.59%)</p> <p>◎太陽熱利用システム年間二酸化炭素削減量 実績243kg (目標2,430kg)</p>						
3	(評価対象外) 市有財産を活用した再生可能エネルギーの普及促進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	環境局 地球温暖化対策室	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>再生可能エネルギーの普及促進を図るため、平成24年7月から開始された再生可能エネルギー固定価格買取制度を利用して、市内4か所の市有地を太陽光発電事業者の有償で貸し出し、発電させている。</p>						
4	(評価対象外) 地球温暖化対策推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	10,068千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>市域における温室効果ガス排出量の抑制を図るため策定した「高松市地球温暖化対策実行計画」の推進を図るとともに、地球温暖化問題についての認識を深め、取組を進められるよう、「ストップ!地球温暖化展」などによる情報発信・啓発活動を実施した。</p>						
環境局 地球温暖化対策室								
5	電気自動車等普及促進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,072千円	一般重点	73.1%	C	B	B	C	縮小
環境局 地球温暖化対策室		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>市域における温室効果ガス排出量の抑制を図るため、走行時に二酸化炭素を排出しない電気自動車1台を公用車に率先導入するとともに、車体ラッピングを行い市内を走行させることにより、普及啓発を実施した(累計9台)。</p> <p>また、電気自動車の利用促進を図るため、市内3か所の道の駅(隣接地を含む)に設置した急速充電設備の運営を行った。</p> <p>◎市内の電気自動車保有台数(個人、法人等所有) 実績367台(目標420台)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
6	緑のカーテン事業 212千円	163.3%	A	C	B	A	継続	
	環境局 環境保全推進課	<p>(事業概要、事業実績等) つる性植物を建物の壁面にはわせることにより、夏の強い日差しを和らげ、電力エネルギーの節約が期待できる緑のカーテンを環境業務センター等で実施した。また、緑のカーテン・コンテストを実施し、家庭部門、学校・保育所部門及び事業所部門の3部門において入賞者の表彰を行うなど、緑のカーテンの啓発・普及を促進した。</p> <p>◎「たかまつ緑のカーテン・コンテスト」応募件数 実績196件(目標120件)</p>						
7	COOL CHOICE啓発事業 5,470千円	103.0%	A	B	A	A	継続	
	環境局 地球温暖化対策室	<p>(事業概要、事業実績等) 昨年度に引き続き、たかまつCOOL CHOICEキャンペーンを実施し、香川大学や地元事業者等と連携し各種事業を実施し、幅広い方面に対し普及啓発を行った。</p> <p>◎本事業によるCOOL CHOICE賛同者数 実績206人(目標200人)</p>						

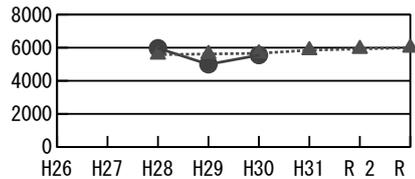
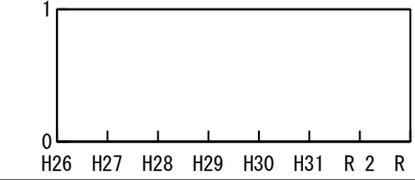
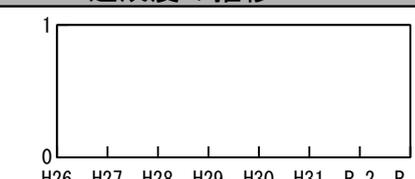
施策	環境保全活動の推進
----	-----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
80,272千円	A	20.2%	56.9%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局、創造都市推進局、都市整備局

対象	市民・事業者	意図	一人一人が環境問題を考え、行動するとともに、市民・事業者・行政の協働を進めながら、あらゆる分野において、環境に配慮した持続可能な社会に向けた施策を推進し、人と環境にやさしいまちづくりとして、良質な環境の保全に努める。

概要(実績)
 環境保全推進事業においては、市民の環境意識向上のため、環境展や環境学習を実施するとともに、環境学習活動を自主的に企画、運営、実施する団体に対しては、補助を(1団体 100千円)実施した。
 「いざ里山」市民活動支援事業においては、市民が身近な自然を見直すきっかけづくりのため、従来、生活の一部として利用されていた里山を保全する地域住民等の活動に対し補助(6団体 758千円)し、また、「ため池守り隊」市民活動支援事業においても、用途地域内のため池について、ため池管理者だけでなく地域住民も参加する清掃活動等に対し補助(11地区 1,786千円)した。
 たかまつマイロード事業においては、自発的に、市が管理する道路の清掃等を行う道路愛護団体の活動を支援するとともに、新たに3団体を認定した。

成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		①	環境学習参加者数	5,550人
	状況	環境学習参加者数は、目標の5,660人には届かなかったが、昨年度より5,560人増加しており、市民の環境意識の向上が図られている。		
成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		②		
	状況			
成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		③		
	状況			

施策の課題
 【環境局】環境学習活動や清掃活動など、市民・事業者・行政が、連携して環境保全活動に取り組む必要がある。
 【創造都市推進局】補助事業終了後も、里山やため池の保全活動が継続して実施されるよう、地域住民へ里山やため池に対する保全の大切さを認識していただくことが必要である。
 【都市整備局】市が管理する道路等の施設管理には、地元市民団体の協力が不可欠であることから、市民との協働事業として、環境意識の向上を図る必要がある。

施策の方向性
 環境展や環境学習講座の実施などの啓発事業や、清掃活動などの環境美化、公害への対策などを継続実施することにより、環境保全活動の推進を図り、環境と共生する持続可能な循環型社会の形成を目指す。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1	環境保全推進事業 14,283千円		86.2%	A	B	B
環境局 環境保全推進課	<p>(事業概要、事業実績等) 6月の環境月間に合わせ、環境展を実施するとともに、環境活動団体との協働による環境学習の実施をしたことにより、市民の環境意識の向上につながった。また、本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた環境白書を発行した。環境さらさら環境省などが主催し、大気環境の保全意識を高めるとともに、郷土の環境を活かした地域おこしの推進に役立てることを目的として開催されている「星空の街・あおぞらの街」全国大会の第30回大会を本市で開催した。</p> <p>◎環境学習講座参加者数 実績1,949人(目標2,260人)</p>							
2	南部クリーンセンター環境学習事業 343千円		89.3%	A	A	A	A	継続
	環境局 南部クリーンセンター	<p>(事業概要、事業実績等) 施設見学を通じて、ごみ処理の現状と課題を学習する機会を提供した。また、環境問題に関する展示ギャラリーでは、環境パネル、環境に関する図書、パソコンなどで環境問題を考える機会を提供し、地球規模での温暖化対策の必要性を啓発するとともに、学習室では、紙すきや工作などを実施して、楽しみながら、リサイクル体験を行った。エコハタル利用者 3,235人 自主企画講座回数(見学会を含む) 15回</p> <p>◎エコハタル自主企画講座参加者数(見学会等を含む) 実績402人(目標450人)</p>						
3	(評価対象外) 環境基本計画推進事業 78千円							
	環境局 環境総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 環境審議会を開催し、環境基本計画に基づく取組の状況について審議した。また、本市の環境の状況や、環境保全等のための施策を取りまとめた環境白書を環境審議会に報告するとともに、市HPに掲載するなど広く市民に公表することで、市民の環境意識の向上を推進した。</p>						
4	「いざ里山」市民活動支援事業 759千円		96.0%	A	A	A	A	継続
	創造都市推進局 農林水産課	<p>(事業概要、事業実績等) 従来、生活の一部として利用されていた里山を保全する地域住民等の活動に対し補助(6団体 758千円)し、市民が身近な自然を見直すきっかけづくりとなった。</p> <p>◎里山・保全活動面積 実績7.2ha(目標7.5ha)</p>						
5	「ため池守り隊」市民活動支援事業 1,786千円		89.5%	A	A	B	A	継続
	創造都市推進局 土地改良課	<p>(事業概要、事業実績等) 事業開始3年間で補助金上限を毎年5万円ずつ漸減する中で、前年と同様の事業を実施しており、地域住民も参加した自主的かつ継続的な美化保全活動が継続されている。</p> <p>◎事業実施箇所 実績17箇所(目標19箇所)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
6	衛生組合活動促進事業 3,789千円	86.4%		A	A	B	A	継続
	環境局 環境総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 高松市衛生組合連合会の運営、各地区衛生組合協議会の清掃活動参加者を対象にした保険料、及び啓発活動について、補助金を支出し、地域住民が主体となった環境美化活動やごみの適正排出等の活動を推進した。</p> <p>◎清掃活動（河川清掃等）を実施する地区衛生組合協議会数 実績38協議会（目標44協議会）</p>						
7	環境美化推進事業 1,179千円	95.4%	94.4%	A	B	B	A	継続
	環境局 環境保全推進課	<p>(事業概要、事業実績等) 「高松クリーンデー“たかまつきれいでー”」や「サンポート高松中央通り等一斉清掃」を実施し、市民、事業者、ボランティア、行政の協働による美化活動を促進するとともに「環境美化推進運動功労者表彰」などを行うことによって、市民の環境美化意識の向上に寄与した。</p> <p>◎高松クリーンデーでの回収ごみの重量 実績51.5t（目標54t） ◎高松クリーンデー参加者数 実績34,000人（目標36,000人）</p>						
8	たかまつマイロード事業 1,979千円	100.7%		A	A	A	A	継続
	都市整備局 道路管理課	<p>(事業概要、事業実績等) 自発的に、市が管理する道路の清掃等を行う道路愛護団体の活動を支援することにより、道路の環境美化だけでなく、道路への愛護意識の高揚を図るとともに、道路利用者のマナー向上の啓発活動を実施した。 また、平成30年度は新たに3団体（計118団体）を道路愛護団体に認定したことなどから、清掃延長は前年から2.1km増となった。</p> <p>◎清掃延長 実績138km（目標137km）</p>						
9	(評価対象外) 公衆便所管理等事業 13,347千円							
	環境局 環境施設対策課	<p>(事業概要、事業実績等) 市内23箇所に設置する公衆便所の衛生的な維持管理を行った。</p>						
10	(評価対象外) コミュニティ広場管理事業 596千円							
	都市整備局 道路管理課	<p>(事業概要、事業実績等) まちのオアシスとして、美観上・風致上のモデル地区として位置付けられた、北部コミュニティ広場、兵庫町広場及び田町コミュニティ広場を市民の憩いの場として提供するとともに、道路空間の環境保全に寄与した。</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
11	(評価対象外) 大気汚染防止対策事業 32,132千円 環境局 環境指導課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	(事業概要、事業実績等) 大気環境保全の促進のため、市内の大気環境の常時監視により、その状況を把握するとともに、事業場の立入検査を行った。また、苦情処理による改善指導等を行った。							
12	(評価対象外) 水質汚濁防止対策事業 6,124千円 環境局 環境指導課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	(事業概要、事業実績等) 水質環境保全の促進のため、市内の河川等の水質検査の実施により、水環境の状況を把握するとともに、事業場への立入検査を行った。また、苦情処理による改善指導等を行った。							
13	(評価対象外) 騒音・振動・悪臭規制事業 164千円 環境局 環境指導課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	(事業概要、事業実績等) 騒音、振動及び悪臭に係る生活環境の保全の促進のため、騒音、振動調査を行い、その状況を把握するとともに、苦情処理による改善指導等を行った。							
14	(評価対象外) 公害対策事業 3,713千円 環境局 環境指導課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	(事業概要、事業実績等) 公害苦情相談員等ブロック会議に出席し、複雑多様化する住民ニーズ等に対応するため、幅広い情報を得た。							

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上

総合評価
A

1 政策の概要

豊かな暮らしを支える生活環境の向上を図るため、生活道路・公園の整備、緑の保全・創造を始め、良好な居住環境の整備や地籍調査の推進など、生活基盤の整備・充実を図ります。

また、自己処理水源の確保を始め、浄水場の老朽設備等の更新や耐震化、県内水道広域化などに取り組み、安定給水の確保を図るとともに、水質検査体制の充実による安全で良質な水の供給や持続可能な水環境の形成に努めます。

また、汚水・雨水対策の充実を図るとともに、港湾・漁港の整備や河川・水路環境の保全に努めるなど、都市基盤の充実・強化を図ります。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
居住環境の整備	96%	A
身近な道路環境の整備	100%	A
河川・港湾の整備	93%	A
みどりの保全・創造	100%	A
水の安定供給	97%	A
汚水・雨水対策の充実	100%	A
平均	97%	A

3 政策の評価

豊かな暮らしを支える生活環境の向上に向けて、6施策に取り組んだ。

「居住環境の整備」、「身近な道路環境の整備」、「河川・港湾の整備」、「みどりの保全・創造」、「水の安定供給」及び「汚水・雨水対策の充実」の6施策では、設定する12の成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は97%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満足度	重要度
居住環境の整備	14.3%	24.4%	60.0%
身近な道路環境の整備	32.2%	22.3%	65.0%
河川・港湾の整備	27.4%	15.3%	67.1%
みどりの保全・創造	35.6%	11.1%	55.2%
水の安定供給	41.2%	9.0%	77.4%
汚水・雨水対策の充実	31.4%	10.0%	66.9%
平均	30.4%	15.4%	65.3%

施策	居住環境の整備
----	---------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
851,503千円	A	14.3%	60.0%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局、市民政策局、創造都市推進局

対象	市民（市営住宅の入居者及び入居申込者、住居表示実施区域内の住民、地籍調査計画区域内の関係権利者、開発行為をしようとする者、建築物を建築しようとする者、空き家所有者等）	意図	市営住宅の建設や適切な維持管理、住居表示設定、地籍調査の実施、開発行為や建築に係る許認可事務の適正な実施、空き家等対策の実施をすることにより、居住環境の整備水準の向上を目指す。
----	---	----	--

概要（実績）	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅の維持管理、空家修繕、建替事業を行うことにより、低廉な家賃の住宅を供給した。 住居表示実施区域内での新規表示設定を実施したことにより、住所の明確化に効果があった。 地籍調査の実施により、生活基盤の整備充実及び居住環境の整備に役立てた。 開発行為の許可等の事務を適正に実施したことにより、良好な居住環境の向上に寄与した。 建築確認、完了検査等の事務を適正に実施したことにより、良好な居住環境の向上に寄与した。 空き家等の除却に対する支援や空き家の利活用を推進するなど、総合的な空き家対策を実施したことにより良好な居住環境の向上に寄与した。
--------	---

成果指標	①	指標名	建築物等の完了検査済証交付率	H30実績	95.3%	H30目標	100%	達成度	95.3%
		状況	建築主や建設業者等に完了検査の受検を周知したほか、追跡調査を実施した結果、完了検査済証交付率は高い値を維持している。	達成度の推移					
	②	指標名	老朽危険空き家除去支援件数	H30実績	63件	H30目標	30件	達成度	210.0%
		状況	老朽危険空家の除却について、補助制度を活用し、31件の除却支援を行った。	達成度の推移					
	③	指標名		H30実績		H30目標		達成度	
		状況		達成度の推移					

施策の課題	<p>【市民政策局】倒壊の危険性や環境衛生面で問題のある空き家等には、防災、防犯、衛生、環境面などで多くの問題を含んでおり、対策が急がれる。</p> <p>【創造都市推進局】地籍調査は、災害時の復興事業を円滑に進めるためにも有効な事業であるため、調査の進捗率の向上が課題となっている。</p> <p>【都市整備局】市営住宅においては、老朽化による維持管理費等の増加と長寿命化計画に沿った効率的な事業実施が課題となっている。</p>
-------	---

施策の方向性	豊かな暮らしを支える生活・居住環境の向上のため、各事業を引き続き継続し、着実に実施していく。
--------	--

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
							(評価対象外) 建築指導事業	
1	22,879千円	(事業概要、事業実績等) 建築基準法等の関係規定に基づき、建築確認申請等の審査、検査、許可、認定、届出、承認、指導、取締り、相談、閲覧、定期報告、統計調査、道路調査等の事業を実施し、良好な居住環境の形成に寄与した。						
都市整備局 建築指導課								
(評価対象外) 開発指導事業								
2	781千円	(事業概要、事業実績等) 都市計画法に基づく開発許可制度の適切な運用により、無秩序な市街化を防止するとともに、一定の開発行為に対して、道路、公園等の公共施設等の必要な整備を義務付けることなどにより、良好な居住環境の形成に寄与した。						
都市整備局 建築指導課								
(評価対象外) 住居表示管理事業								
3	43千円	(事業概要、事業実績等) 市内中心部において、土地の分合筆により、欠番や飛び番が多くなり、住所が分かりにくいことに対応するため、土地所在地とは別に、住居ごとに番号を付す住居表示制度を昭和39年から実施している。この住居表示実施区域について、新旧証明書発行事務や住居新築時等における住居表示の新規設定を行ったことにより、住所の明確化に寄与した。						
都市整備局 都市計画課								
市営住宅建設事業								
4	296,042千円	96.0%	A	A	B	A	継続	
都市整備局 市営住宅課		(事業概要、事業実績等) 住宅困窮者に対する住宅セーフティネットとしての公営住宅の役割を担うため、建築年度が古く、老朽化が進んでいる市営住宅の建替整備を進めることにより、安全・安心で快適な居住環境を整備した。 ◎事業進捗率実績72%（目標75%） なお、工程調整に日時を要したこと等により、年度内に事業の完了が不可能となったため、香南町北部団地解体工事（2期・13戸）等の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：136,839,000円） また、前年度からの繰越事業である香南町北部団地建設工事（1期・10戸）については完了した。 （平成29年度繰越明許事業費：202,003,240円）						
(評価対象外) 市営住宅管理事業								
5	454,070千円	(事業概要、事業実績等) 住宅困窮者に対する住宅セーフティネットとしての公営住宅の役割を果たすため、空家募集用住宅の改修工事や、浄化槽・上下水道施設・エレベータ・消防施設の保守等、市営住宅の維持管理を行ったことにより、安全・安心で快適な居住環境を維持した。 なお、契約の締結に不測の日時を要したこと等により、年度内に事業の完了が不可能となったため、朝日町団地内壁改修工事（3号棟）等の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：118,262,000円） また、前年度からの繰越事業である市営住宅の外壁改修工事等については完了した。 （平成29年度繰越明許事業費：84,026,480円）						
都市整備局 市営住宅課								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
6	空き家等対策事業 44,747千円	特別重点	310.0%	25.0%	A	A	B	C	継続
	市民政策局 くらし安全安心課	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>空き家等対策の推進に関する特別措置法に規定する特定空き家等の措置を行ったほか、老朽危険空き家等の除却や、空き家の活用と高松市内への移住の促進を図るため、香川県空き家バンク登録物件の改修工事に対し、補助金を交付するなど、総合的な空き家対策に鋭意取り組んだ。</p> <p>◎老朽危険空き家除却支援件数 実績31件(目標10件) ◎空き家改修等支援件数 実績5件(目標20件)</p>							
7	(評価対象外) 地籍調査事業 32,941千円	重点							
	創造都市推進局 地籍調査室	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>平成17年度の本市及び6町の合併に伴い、合併前から地籍調査事業に着手していた塩江町、牟礼町、庵治町の調査業務を合併時の建設計画、合併基本計画に基づき継続して事業を行ない、平成21年度末で塩江町は調査を終了した。令和元年度現在、庵治町、牟礼町、香川町において事業継続している。事業実施により、豊かな暮らしを支える生活環境の向上(政策)、居住環境の整備(施策)等に基礎的、根幹的部分で大きく貢献している。</p>							

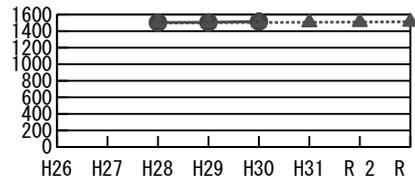
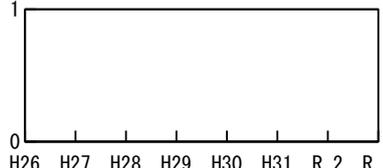
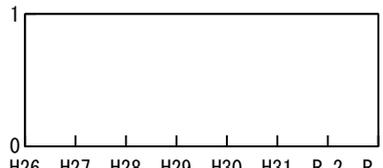
施策	身近な道路環境の整備
-----------	------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
2,627,122千円	A	32.2%	65.0%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局

対象	市道利用者	意図	道路の点検、修繕及び適切な道路改良などを行うことにより、良好な道路環境を確保するとともに、その整備・充実を図る。

概要(実績)	・道路橋りょう維持管理事業 ○工事件数：102件 ○舗装修繕面積：約8万㎡
	・道路新設改良事業（単独） ○工事施工路線数：29路線
	・道路整備事業（建設計画等登載路線） ○道路整備進捗率の伸び：約3%
	・県施行道路整備事業地元負担金 ○負担路線数：13路線21工区
	・橋梁改築修繕事業 ○修繕等橋梁数：1橋

成果指標	①	指標名	市道改良延長	H30実績	H30目標	達成度	
				1,516KM	1,504KM	100.8%	
	状況	建設計画登載路線や生活道路の整備を進め、目標を達成できた。 橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋りょうの修繕や、舗装の補修等を適切に行い、良好な道路環境を確保することができた。			達成度の推移		
							
	②	指標名		H30実績	H30目標	達成度	
	状況				達成度の推移		
							
③	指標名		H30実績	H30目標	達成度		
状況				達成度の推移			
							

施策の課題	道路の維持管理は、近隣6町との合併による管理区域の拡大から、より一層のコスト削減が求められており、今後、橋りょうのみならず、舗装についても、維持管理コストの削減を図っていく必要がある。 また、道路の整備についても、財源を確保しつつ、平成28年度に創設した生活道路整備事業により効率的な整備が求められている。
--------------	--

施策の方向性	道路や橋りょうの点検、修繕及び適切な道路改良などを行うことにより、安全で安心できる道路環境を確保するとともに、その整備、充実を図る。
---------------	--

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	(評価対象外) 道路橋りょう維持管理事業 1,695,796千円							
	都市整備局 道路管理課	<p>(事業概要、事業実績等) 道路を保全するための点検、修繕を行ったことにより、安全で安心できる道路環境を確保した。</p> <p>なお、関係機関との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：255,938,000円) また、前年度からの繰越事業費である道路修繕工事等については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：293,652,138円)</p>						
2	橋りょう改築修繕事業 171,179千円	重点 一般重点	成果達成度 76.9%	妥当性 A	有効性 A	効率性 A	総合評価 B	今後の方向性 継続
	都市整備局 道路整備課	<p>(事業概要、事業実績等) 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に橋の修繕等を行ったことにより、管理コストを縮減するとともに、道路交通の安全性を確保した。</p> <p>◎橋梁修繕数(累積) 実績20橋(目標26橋)</p> <p>なお、関係機関との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：47,943,000円) また、前年度からの繰越事業費である橋りょう定期点検等については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：48,873,600円)</p>						
3	(評価対象外) 県管理河川改修関連橋りょう架替事業 78,886千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 道路整備課	<p>(事業概要、事業実績等) 本事業は、県の河川改修に併せ、橋りょうをグレードアップすることにより、生活環境の向上に寄与するものであり、平成30年度は、橋りょう架替工事について、事業主体である県に委託料を支出した。</p> <p>なお、事業主体である県が事業を翌年度に繰り越したことにより、年度内に支出が不可能となったため、委託の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：1,700,000円) また、前年度からの繰越事業費である工事委託については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：16,760,000円)</p>						
4	(評価対象外) 県施行道路整備事業 地元負担金事業 63,465千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 道路整備課	<p>(事業概要、事業実績等) 県が施行する道路整備について、道路法第52条の規定に基づき地元負担金として、事業費の10%を負担したことにより、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境の創出を推進した。</p> <p>なお、実施主体である県が事業の一部を翌年度に繰り越したことにより、年度内に支出が不可能となったため、負担金の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：30,718,000円) また、前年度からの繰越事業費である道路整備に係る負担金の支出については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：20,163,874円)</p>						
5	道路新設改良事業 538,438千円	重点	成果達成度 100.0%	妥当性 A	有効性 A	効率性 A	総合評価 A	今後の方向性 継続
	都市整備局 道路整備課	<p>(事業概要、事業実績等) 適切な道路構造への改良を行ったことにより、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境の創出を推進した。</p> <p>◎幅員4m以上の市道整備率 実績65.5%(目標65.5%)</p> <p>なお、地元関係者との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業費の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：97,034,000円) また、前年度からの繰越事業費である道路改良工事等については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：184,498,698円)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	道路整備事業（建設計画等登載路線）	重点	75.8%	A	A	A	B	継続
	79,358千円	<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>建設計画等に位置付けられている2車線以上の道路の整備を行ったことにより、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境の創出を推進した。</p> <p>◎道路整備率 実績69%（目標91%）</p> <p>なお、関係機関との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業費の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：162,476,000円） また、前年度からの繰越事業である用地取得等については完了した。 （平成29年度繰越明許事業費：15,100,000円）</p>						
	都市整備局 道路整備課							

施策	河川・港湾の整備
----	----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
635,838千円	A	27.4%	67.1%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局

対象	河川・生活排水路・港湾・漁港・海岸などの施設	意図	各施設の適正管理及び計画整備を行い、その機能を十分に発揮させる。

概要（実績）
 平成16年度の台風による高潮被害を踏まえ、「香川県津波・高潮対策整備推進アクションプログラム」に基づく、市管理漁港・港湾内施設の胸壁、陸こう等の整備を完了した。また、今後発生が予想される南海トラフ地震等の大規模地震を想定し、総合的かつ計画的に浸水被害の解消を図るため、「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」に基づき、市管理漁港・港湾において、発生頻度の高い津波に対して、人命と財産を守る防災を目指した施設整備を推進するとともに、最大クラスの津波に対しては、粘り強い構造により減災を目指した施設整備事業を進めており、庵治港において地質調査・基本設計・実施設計を行った。

成果指標	① 指標名	津波・高潮対策施設の整備率	H30実績	H30目標	達成度	
			14%	16%	87.5%	
	① 状況	庵治港において、平成30年度からの地震・津波対策事業の施設整備工事に向け、地質調査・基本設計・実施設計を行った。庵治港の地震・津波対策事業の一部を繰り越したことから、目標の整備率を達成できなかった。		達成度の推移		
	② 指標名	治水施設の不具合による浸水発生件数	H30実績	H30目標	達成度	
			0件	0件	100.0%	
② 状況	老朽化した河川の護岸や排水路の改修及びポンプの更新のほか、適時に堆積土砂のしゅんせつを実施したことで、施設の不具合による浸水発生件数は0件となり、目標を達成した。		達成度の推移			
③ 指標名		H30実績	H30目標	達成度		
③ 状況			達成度の推移			

施策の課題
 事業の実施に当たり、厳しい財政状況を踏まえて、国・県に対し、引き続き補助要望を行い、予算確保に努める。

施策の方向性
 引き続き、豊かな暮らしを支える生活環境の向上を図るため、計画的に河川・港湾の整備事業を推進する。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	(評価対象外) 河川改良事業 206,260千円							
	都市整備局 河港課	<p>(事業概要、事業実績等) 高松市が管理する準用河川及び普通河川において、大雨や台風時の通水機能を確保し、洪水被害を未然に防ぐため、老朽化した護岸構造物の改修やしゅんせつ工事を実施した。</p> <p>なお、地元関係者との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：212,502,000円) また、前年度からの繰越事業である中ノ川改修工事等については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：180,894,377円)</p>						
2	(評価対象外) ポンプ場等整備・維持管理事業 44,891千円							
	都市整備局 河港課	<p>(事業概要、事業実績等) 大雨や台風時等における河川の氾濫浸水を防ぐため、ポンプ場、水門等の点検整備や維持修繕を実施し、施設の機能維持を行った。</p> <p>なお、地元関係者との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：118,100,000円) また、前年度からの繰越事業である辻2号ポンプ場ポンプ分解整備工事については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：9,618,948円)</p>						
3	(評価対象外) 生活排水路整備事業 31,099千円							
	都市整備局 河港課	<p>(事業概要、事業実績等) 生活排水等による水質の悪化や、通水不良が発生している生活排水路の改修及びしゅんせつ工事を行うことにより、生活環境の改善に寄与した。</p> <p>なお、地元関係者との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：24,276,000円) また、前年度からの繰越事業である第1号生活排水路整備工事等については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：10,161,160円)</p>						
4	(評価対象外) 港湾施設管理事業 130,073千円							
	都市整備局 河港課	<p>(事業概要、事業実績等) 市管理港湾の修繕、改良等を行うとともに、港湾内清掃の実施や港湾施設の適正な使用を求めるなど、環境の改善を図り、管理9港湾の機能を維持した。</p> <p>なお、関係機関との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：26,318,000円) また、前年度からの繰越事業である女木港西防波堤防食工事等については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：80,000,000円)</p>						
5	(評価対象外) 漁港施設管理事業 172,915千円							
	都市整備局 河港課	<p>(事業概要、事業実績等) 市管理漁港の修繕、改良等を行うとともに、漁港内清掃の実施や漁港施設の適正な使用を求めるなど、環境の改善を図り、管理12漁港の機能を維持した。</p> <p>なお、関係機関との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：35,620,000円) また、前年度からの繰越事業である高松漁港防波堤防食工事等については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：36,176,040円)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	津波・高潮関連整備事業	一般重点	87.5%	A	A	A	A	継続
	50,600千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>平成16年度の台風による高潮被害を踏まえ、「香川県津波・高潮対策整備推進アクションプログラム」に基づき、市管理漁港・港湾内施設の胸壁、陸こる浸水の整備を完了した。また、今後発生が予測されている南海トラフ地震等による水被害の解消を図るため、「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」に基づく実施設計等を行った。</p> <p>◎津波・高潮関連整備事業の進捗率 実績14% (目標16%)</p> <p>なお、関係機関との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：98,901,000円) また、前年度からの繰越事業である庵治港胸壁建設工事等については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：27,769,320円)</p>						
	都市整備局 河港課							

施策	みどりの保全・創造
----	-----------

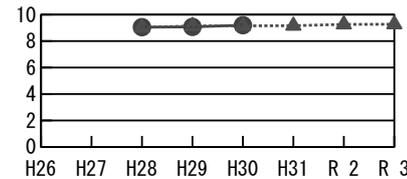
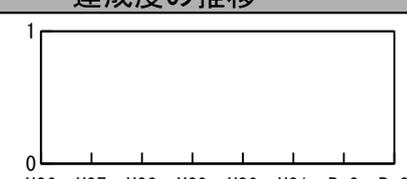
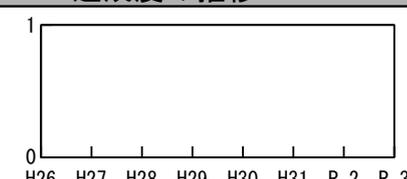
事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
509,122千円	A	35.6%	55.2%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局

対象	市民	意図	公園の整備や緑地の保全等により、生活環境の向上を目指す。

概要（実績）

- ・身近な公園の大野ふれあい公園については、計画どおり工事の施工等が完了し、供用開始した。また、香西中央公園についても工事の施工に着手し、令和元年6月に供用開始予定であり、街のみどりの創造に努めた。
- ・ちびっこ広場修繕等により、市民が気軽に憩い、ふれあえる場の保全に努めた。
- ・公園・街路樹の維持管理により、緑豊かで美しい景観の維持に寄与した。
- ・名木の指定や管理支援などにより、地域のシンボルである名木の保存・育成に寄与した。
- ・花壇づくりやフラワーフェスティバルの開催により、快適な生活環境づくりや緑化意識の高揚に寄与した。
- ・公共公益施設、民有地の緑化により、温暖化対策に寄与するとともに、市民が憩え、楽しめる空間を創出することができた。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度	
		市民1人当たりの都市公園等の面積	9.2㎡	9.15㎡	100.5%
①	状況	仏生山駅前公園、りんくうスポーツ公園、大野ふれあい公園の整備が計画どおり完了し、供用開始したことにより、都市公園等の面積が増加した。			
		達成度の推移 			
	指標名	H30実績	H30目標	達成度	
②	状況	達成度の推移 			
	指標名	H30実績	H30目標	達成度	
③	状況	達成度の推移 			

施策の課題

第2次緑の基本計画に基づき、緑の保全・創造に取り組んでおり、運動公園であるりんくうスポーツ公園や、街区公園である仏生山駅前公園、大野ふれあい公園が完成する等、緑豊かなまちづくりを計画的に進めている。一方、多様化する市民の緑や公園に対する要望や、都市公園法等の一部法改正、上位計画である都市計画マスタープランの見直し、立地適正化計画の策定を踏まえた基本計画の改定を、今年度実施予定である。なお、基本計画の主要事業である「1小学校区1公園」の身近な公園整備事業については、地域の実情等に留意し、整備基準、整備対象となる小学校区の優先順位等を考慮した計画策定が必要となっている。

施策の方向性

環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、景観形成機能等の多様な機能を持つ都市公園の整備や公園・街路樹の維持管理等の緑の保全に関する施策は、潤いと安らぎのある生活環境の創出に不可欠であることから、今後とも継続していくものとする。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
1	(評価対象外) 公園・街路緑化事業							
	103,231千円	<p>(事業概要、事業実績等) 公園の高木や街路樹の剪定、病虫害の駆除等を行い、樹木の育成や樹形を整えたことにより、市民に緑あふれる快適な環境を提供できた。</p>						
都市整備局 公園緑地課								
2	(評価対象外) 名木保護事業							
	893千円	<p>(事業概要、事業実績等) 郷土の景観やシンボルである貴重な古木・巨木45本を、高松市の名木として指定し、樹木の紹介や管理を支援するとともに、平成30年度は3本の樹勢診断を行ったことなどにより、市民に自然の恵みを与えてきた名木の保存に寄与した。</p>						
都市整備局 公園緑地課								
3	(評価対象外) 公園施設管理運営事業							
	315,378千円	<p>(事業概要、事業実績等) 公園愛護会による公園の清掃活動のほか、公園施設の安全点検、修繕及び樹木の剪定などの愛護活動を支援したことにより、公園の適切な維持管理ができた。 なお、公園等再整備事業については、設計内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：109,472,000円)</p>						
都市整備局 公園緑地課								
4	身近な公園整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	66,158千円	一般重点	83.5%	A	A	A	A	継続
都市整備局 公園緑地課		<p>(事業概要、事業実績等) 第2次緑の基本計画に基づき、大野ふれあい公園の整備を行うことにより、小学校区に公園が少ない地域に、気軽に憩いふれあえる場の創出事業の推進を図ることができた。 ◎全体進捗率(公園整備件数累計) 実績45.5%(目標54.5%) なお、身近な公園整備事業については、設計内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：29,546,000円)</p>						
都市整備局 公園緑地課								
5	(評価対象外) ちびっこ広場整備事業							
	235千円	<p>(事業概要、事業実績等) 第2次高松市緑の基本計画に基づき、地域に都市公園等が無く、当分の間、公園整備が見込まれない地区の公園を補完するちびっこ広場の適切な維持管理を行った。</p>						
都市整備局 公園緑地課								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
6	花いっぱい推進事業 23,227千円 都市整備局 公園緑地課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				97.2%		A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>駅前広場や道路、商店街の街角の公共花壇や、公園やポケットパーク等の地区花壇の草花管理を推進するとともに、フラワーフェスティバルを開催したことにより、快適な生活環境や潤いのあるまちづくりを推進することができた。</p> <p>◎ボランティア管理花壇箇所数 実績104箇所(目標107箇所)</p>						

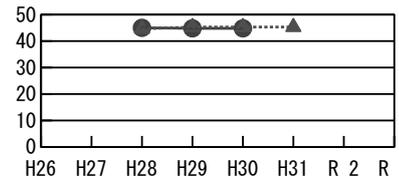
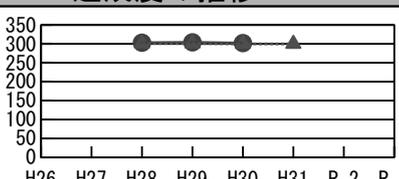
施策	水の安定供給
----	--------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
498,445千円	A	41.2%	77.4%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	市民政策局、環境局、都市整備局、総務局

対象	市民、事業者	意図	限りある水資源を有効利用することで、持続可能な水環境を形成するとともに、安心して、いつでも、いつまでも使える水道水を供給する。
----	--------	----	---

概要(実績)
 県が行う柗川ダム建設事業に対する負担金の支出を始め、浄水場整備事業や配水管布設工事、布設替工事などを実施し、安定給水に寄与した。さらに、水道水を将来にわたり、安定的に供給するため、県と市町で協力しながら、県内水道事業の広域化に取り組んだ結果、平成29年11月に香川県広域水道企業団が設立され、30年4月から、水道事業が同企業団に移管された。安全で良質な水の供給においては、浄水場の適正な運転管理や水質検査を実施するとともに、あらゆる工事機会を捉えた鉛管の取替えや助成制度の利用促進など、鉛製給水管の解消にも積極的に取り組む。安全な水道水を供給してきた。なお、給水対象外の居住者に対しては、自家用給水装置の費用の一部を補助し、飲用水を確保する事業に取り組んだ。持続可能な水環境の形成においては、「水環境基本計画」の円滑な進捗を図るため、第2期実施計画に沿って取組を進めた。さらに、引き続き、我が家の水がめづくり事業や水道週間関連事業など、水の有効利用促進に取り組むことにより、市民等の自発的・積極的な節水行動や節水意識の向上に寄与した。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		① 自己処理水比率	44.8%	45.3%
① 状況	【参考：香川県広域水道企業団実績】 前年から自己処理水の配水量を僅かに増加させることができ、自己処理水比率を維持(微増)し、目標値をほぼ達成することができた。なお、夏季渇水による香川用水の取水制限は、平成30年8月12日から8月16日までの5日間であり、これによる自己処理水比率への影響は無い。	達成度の推移		☁
				
② 成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度
	基幹管路の耐震化適合率	39.9%	39.2%	101.8%
② 状況	【参考：香川県広域水道企業団実績】 管路の布設、布設替を促進したため、目標値を達成できた。	達成度の推移		☀
				
③ 指標名	1人1日当たり水道平均使用水量	H30実績	H30目標	達成度
	302 L	300 L	99.3%	
③ 状況	【参考：香川県広域水道企業団実績】 平年よりも日照時間が長く、かつ、平均気温が高い月が多かったが、節水意識の高揚などにより、昨年度に比べ水道使用水量が減少し、目標をほぼ達成することができた。	達成度の推移		☁
				

施策の課題
 【市民政策局】水環境に関する取組は広範囲に及ぶため、市内部はもとより、香川県広域水道企業団・関係機関等の相互理解の下、連携・協力体制を構築することが必要である。【環境局】生活用水等確保対策事業については、利用件数が少ないことから、制度の周知を広く図り、自己の用に供する飲用水の安定的な確保を図る必要がある。【都市整備局】柗川ダム整備事業については、県施行に対する地元負担金について、厳しい財政状況を踏まえ、県に対し、負担金の軽減や、コストの縮減を要望している。再生水利用下水道整備事業の既存施設有効活用や雨水利用施設整備事業の制度周知により、更なる普及促進に努める必要がある。

施策の方向性
 香川県広域水道企業団との連携を図り、引き続き、自己処理水源の確保に取り組むとともに、施設の耐震化や老朽化した施設の更新を計画的に実施して、安全で安定した水道水の供給に努める。
 さらに、水環境基本計画第2期実施計画の進行管理を適切に行い、持続可能な水環境の形成の実現に向けた取組を進める。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		1	(評価対象外) 渇水対策事業 総務局 危機管理課						
		(事業概要、事業実績等) 渇水対策について、国、県及び関係機関から通知を受けたとき、又は、気象状況等により渇水対策を講じる必要があると認められたときに、渇水対策本部を設置し、渇水災害に係る災害予防、応急対策等を講じたこと、平成30年度は渇水対策本部を滞りなく立ち上げ、活動することができた。							
2	生活用水等確保対策事業補助事業 環境局 環境総務課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
			73.3%	40.0%	A	B	B	C	継続
		(事業概要、事業実績等) 香川県広域水道企業団が実施する水道事業の給水対象外の区域に居住する者に対し、自家用給水装置の費用の一部を補助することで、自己の用に供する飲用水の安定的な確保を推進したが、補助の申請がなかった。 生活用水等確保対策事業補助件数：0件 ◎生活用水確保対策事業補助累積件数（21年度以降） 実績11件（目標15件） ◎飲用水給水ホース等設置事業補助累積件数（21年度以降） 実績2件（目標5件）							
3	椋川ダム整備事業（建設事業、水源地域整備事業） 478,134千円 都市整備局 河港課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		一般重点	88.6%		A	B	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 香川県が施行する治水、利水、渇水対策機能を持つ多目的ダムの建設に対し、費用の一部を負担した。また、ダム建設による水源地域への影響を緩和し、関係住民の生活の安定と福祉の向上を図るため、香川県が施行する道路新設改良事業に対し、費用の一部を負担した。 ◎ダム本体整備率 実績67.5%（目標76.2%） なお、事業主体である香川県が事業の一部を翌年度に繰り越したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：305,426,000円） また、前年度からの繰越事業については完了した。 （平成29年度繰越明許事業費：297,297,540円）							
4	(評価対象外) 水環境基本計画推進事業 487千円 市民政策局 水環境対策室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		(事業概要、事業実績等) 平成28（2016）年度から令和元（2019）年度までを計画期間とする「第2期実施計画」に基づき各種施策に取り組んだ。							
5	我が家の水がめづくり事業 167千円 市民政策局 水環境対策室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
			99.3%		A	B	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 節水に関する事業や啓発活動等を総称する我が家の水がめづくりの取組の一環として、巧水スタイル推進チームと連携し、水道週間関連行事に参加した。また、水道週間に併せて、本市の主要水源地域の特産品等を販売する水源地交流物産市の開催などにより、市民の水源地域への理解を深めることができた。 ◎1人1日当たりの水道水平均使用量 実績302L（目標300L）							

施策	汚水・雨水対策の充実
----	------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
4,089,905千円	A	31.4%	66.9%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局

対象	市民	意図	生活環境の改善や公衆衛生の向上、浸水被害の軽減・解消、さらには、河川、海域等の公共用水域の水質保全を図る。
----	----	----	---

概要(実績)
 汚水管きよの整備を実施し、新たに約5.9haの供用を開始するとともに、雨水管きよの整備として、西部バイパス幹線や福岡排水区雨水管などの整備を行ったことにより、生活環境の改善や浸水被害の軽減に寄与した。また、下水道施設長寿化事業として、下水処理場やポンプ場など老朽化の進んだ設備の改築により、処理機能を確保し、適切な運転・維持管理を行うとともに、消化ガスや再生水など下水道資源を有効に活用した。さらに、935基の合併処理浄化槽の設置経費に助成を行い、このうち199基の単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換については、上乗せ助成を行った結果、生活環境が向上した。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		① 汚水処理人口普及率	87%	86.9%
① 状況	下水道汚水管きよの整備による5.9haの供用を始め、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進等により、汚水処理人口普及率が前年度から0.5%上昇の87.0%となり、目標を達成した。		達成度の推移 	
	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		② 雨水対策整備率	48.8%	48.8%
② 状況	中心市街地の浸水対策として、東部地区において100mの雨水管工事を、また、西部地区において事業費換算で742m相当の雨水幹線工事を行い、雨水対策整備率48.8%と目標を達成した。		達成度の推移 	
	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		③ 下水道管路耐震化率	38.3%	36.8%
③ 状況	耐震性を確保した下水道管路の新設及び改築・更新を5.5km行い、耐震化率が前年度から2.2%上昇の38.3%となり、目標を達成した。		達成度の推移 	

施策の課題
 下水道事業計画区域内の汚水・雨水対策については、計画どおり整備を進めているが、生活排水対策を更に推進するため、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進や、下水道未接続世帯の解消に努めるなど具体的な取組を継続的に行う必要がある。

施策の方向性
 多核連携型コンパクト・エコシティの取組に配慮しつつ、第4次高松市生活排水対策推進計画に基づき、公共下水道の整備や、合併処理浄化槽の設置促進により、計画的かつ効果的な生活排水対策に取り組む。また、中心市街地西部地区における浸水対策に取り組むなど、安全で安心なまちづくりを推進する。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
								102.6%
1	合併処理浄化槽設置整備事業 260,900千円	<p>(事業概要、事業実績等) 下水道事業計画区域外における合併処理浄化槽の設置に対し補助を行ったほか、下水道事業計画区域外のうち、居住誘導区域及び用途地域内の新設については、平成30年度から通常の2倍の額の補助を行った。また、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換についても、転換の重点化を図るため、撤去費や配管に要する費用に上乗せ補助を行った。このような取組の結果、汚水処理人口普及率（合併処理浄化槽）が0.4%上昇し、生活環境が改善された。</p>						
	都市整備局 下水道経営課	<p>合併処理浄化槽設置補助 935基 （単独処理浄化槽撤去・配管費補助 199基） ◎合併処理浄化槽による汚水処理人口普及率 23.5%（目標22.9%）</p>						
2	(評価対象外) 浄化槽管理指導事業 2,700千円	<p>(事業概要、事業実績等) 浄化槽の法定検査未受検管理者を対象として、香川県浄化槽協会と連携して受検指導を行ったほか、浄化槽管理士を対象とした研修会や新たに浄化槽を設置した管理者を対象とした浄化槽教室の開催などにより、浄化槽の適正な管理を推進した。</p>						
	都市整備局 下水道経営課							

(5) 環瀬戸内海圏の中核都市として
ふさわしいまち

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
	政策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成

総合評価
A

1 政策の概要

コンパクトで魅力ある都市空間の形成を図るため、人口減少、少子・超高齢社会においても、活力を失わず、市民がいきいきと暮らせるコンパクトで持続可能な集約型都市の構築に向け、都市計画制度等の的確な運用により、適正な土地利用を推進するとともに、地域における拠点性の確保を図るなど、多核連携型コンパクト・エコシティの推進に努めます。
また、自然・都市・歴史・文化の調和した、誰もが暮らしたい、訪れたいと感じる、美しいまちの実現に向け、景観の保全・形成・創出に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
多核連携型コンパクト・エコシティの推進	95%	A
景観の保全・形成・創出	100%	A
平均	97%	A

3 政策の評価

コンパクトで魅力ある都市空間の形成に向けて、2施策に取り組んだ。
「多核連携型コンパクト・エコシティの推進」及び「景観の保全・形成・創出」の2施策では、設定する3つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は97%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
多核連携型コンパクト・エコシティの推進	18.6%	24.2%	65.0%
景観の保全・形成・創出	22.1%	20.4%	61.5%
平均	20.4%	22.3%	63.3%

施策	多核連携型コンパクト・エコシティの推進
-----------	---------------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
169,137千円	A	18.6%	65.0%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成
担当局	都市整備局、市民政策局

対象	高松市民	意図	平成30年4月に改定した多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画に基づき、集約拠点への都市機能の集積と市街地の拡大抑制による、コンパクトで持続可能な都市構造「多核連携型コンパクト・エコシティ」の実現を目指す。
-----------	------	-----------	--

概要(実績)

今後の人口減少、少子・超高齢社会の到来を見据え、平成30年3月に「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを後押しする立地適正化計画を策定した。この計画に基づき、都市構造の集約化に向けた具体的な取組として、平成30年4月に「居住誘導のインセンティブ施策の推進」を始めとする事業を登載した「多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画」を改定し、効果的な支援制度等の創設について検討を行った。集約拠点における都市機能集積事業においては、地域交流拠点となっている仏生山地区における新病院を核としたまちづくりを推進し、事業の確実な進行、管理を行った。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		① ① 状況	用途地域内の人口比率	63.7%
	前年度と比べ0.1%減少しており、目標値の達成には至っていない。	達成度の推移		
② ② 状況	中心市街地の居住人口の割合	4.8%	5.1%	94.1%
	前年度から12人減の20,653人とほぼ横ばいで、居住人口の割合としても前年度と同値の4.8%であり、目標値の達成には至っていない。	達成度の推移		
③ ③ 状況				
		達成度の推移		

施策の課題

【市民政策局】 【都市整備局】平成30年3月に策定した立地適正化計画に基づき、今後、実効性のある誘導施策・事業を実施し、市街地の更なる拡大の抑制と都市機能の集約を図るとともに、コンパクトで持続可能なまちづくりを目指す。併せて、コンパクト・エコシティ推進計画を改定し、公共交通を基軸とした集約型都市の構築に向けた効果的な施策・事業を推進する。また、新病院を核とする仏生山エリアにおいて、地域交流センター整備等の適切な進捗管理を行う必要がある。

施策の方向性

今後とも、立地適正化計画やコンパクト・エコシティ推進計画に基づき、人口減少・超高齢社会を見据え、30年後、50年後においても活力を失わず市民がいきいきと暮らせるコンパクトで持続可能なまちづくりを実現するために継続して事業を推進していく。
新病院を核としたまちづくりにおける都市機能集積においては、国の「地方再生コンパクトシティ」の採択を受け、今後、地域交流センターの整備等、新病院を核とする仏生山エリアのまちづくりに重点的に取り組む。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容							
担当課									
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		1	多核連携型コンパクト・エコシティ推進事業 366千円 都市整備局 住宅・まちづくり推進室	特別重点	99.2%	94.1%	A	A	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 平成29年度に策定した立地適正化計画を踏まえ、多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画を改定するとともに、推進懇談会を開催し、事業の進捗状況を確認することで、集約拠点への都市機能の集積や市街地の拡大抑制によるコンパクトで持続可能な「多核連携型コンパクト・エコシティ」の実現に寄与した。</p> <p>◎用途地域内の人口比率 実績63.7% (目標64.2%) ◎中心市街地の居住人口の割合 実績4.8% (目標5.1%)</p>							
2	豊かな住まいづくり事業 都市整備局 住宅・まちづくり推進室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		特別重点	100.0%		A	A	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 本市の住宅需要の現状や課題を明確化し、総合的な住宅施策の推進や良好な住環境の形成に取り組むための基本指針となる「豊かな住まいづくり条例(仮称)」の制定に向けて、高松市コンパクト・エコシティ推進懇談会にて意見を聴取した。</p> <p>◎計画策定までの進捗率 実績15% (目標15%)</p>							
3	(評価対象外) 都市計画制度運用事業 6,288千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		<p>(事業概要、事業実績等) 都市の健全な発展と秩序のある整備を図るため、土地利用、都市施設、市街地再開発事業など都市計画を定める都市計画審議会の運営を行った。</p> <p>なお、平成28年度からの3か年計画で行う最終年度の都市計画基礎調査の負担金については、実施主体である県が事業を翌年度に繰り越したため、翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：1,684,000円) また、前年度からの繰越事業である都市計画基礎調査の負担金については、当該年度分の県の事業完了に伴い、完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：2,642,535円)</p>							
4	新病院を核としたまちづくり推進事業(北側エリア整備事業)(地域振興課分) 市民政策局 地域振興課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		特別重点	100.0%		A	A	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 中部総合センター(仮称)については、用地を取得し、実施設計に着手したほか、防火水槽工事、埋蔵文化財調査等を行った。</p> <p>◎整備事業の進捗状況(令和4年度完了) 実績69%(目標69%)</p> <p>なお、中部総合センター(仮称)実施設計、防火水槽工事については、工程調整に日時を要したことなどにより、年度内の事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：20,043,000円) (事業費は「総合センター整備事業(地域振興課分)」で計上。)</p>							
5	新病院を核としたまちづくり推進事業(北側エリア整備事業)(都市計画課分) 107,780千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		特別重点	100.0%		A	A	A	A	完了
		<p>(事業概要、事業実績等) 平成30年8月末までに仏生山駅パークアンドライド駐車場整備が完了し、同年9月1日から供用を開始した。</p> <p>◎整備事業の進捗状況(令和4年度完了) 実績69%(目標69%)</p> <p>なお、前年度からの繰越事業である仏生山駅西口駅前広場整備工事については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：107,779,680円)</p>							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	新病院を核としたまちづくり推進事業（北側エリア整備事業）（住宅・まちづくり企画課分） 840千円	重点 特別重点	100.0%	A	A	B	A	継続
	都市整備局 住宅・まちづくり推進室	<p>（事業概要、事業実績等） 農業試験場跡地北側エリアにおいて、埋蔵文化財調査の整理作業を実施するとともにエリア内の管理業務を遂行した。</p> <p>◎整備事業の進捗状況（令和4年度完了） 実績69%（目標69%）</p>						
7	新病院を核としたまちづくり推進事業（北側エリア整備事業）（道路整備課分） 32,870千円	重点 特別重点	100.0%	A	A	A	A	継続
	都市整備局 道路整備課	<p>（事業概要、事業実績等） 「新病院を核としたまちづくり」を推進するため、県農業試験場跡地北側エリアの整備計画に基づき、エリア内道路の改良工事等を推進した。</p> <p>◎整備事業の進捗状況（令和4年度完了） 実績69%（目標69%）</p> <p>なお、関係機関との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：260,000円） また、前年度からの繰越事業である舗装工事等については完了した。 （平成29年度繰越明許事業費：31,104,240円）</p>						
8	新病院を核としたまちづくり推進事業（新病院アクセス道路整備事業） 20,993千円	重点	99.0%	A	A	A	A	継続
	都市整備局 道路整備課	<p>（事業概要、事業実績等） 新病院へのアクセス道路である市道仏生山円座線及び仏生山町8号線の改良工事等を推進した。</p> <p>◎道路整備率 実績99%（目標100%）</p> <p>なお、関係機関との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：260,000円） また、前年度からの繰越事業である舗装工事等については完了した。 （平成29年度繰越明許事業費：19,227,106円）</p>						

施策	景観の保全・形成・創出
-----------	-------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
11,541千円	A	22.1%	61.5%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成
担当局	都市整備局

対象	市民	意図	良好な景観の保全・形成・創出と環境美化を一体的に推進するため、美しいまちづくり条例を制定し、条例に基づく景観施策の指針となる美しいまちづくり基本計画を策定するとともに、景観法に基づく景観計画を策定することにより、地域に即した都市景観の形成を目指す。
-----------	----	-----------	--

概要(実績)	良好な都市景観を保全・形成・創出するとともに、まちなかの環境美化に取り組むことで美しいまちづくりを推進するため、平成28年4月1日から屋島地区及び讃岐国分寺跡周辺地区を景観計画で定める景観形成重点地区に追加指定した。 また、景観条例に基づく届出対象行為(142件)に対する審査を行ったほか、既存不適格広告物の広告主に対し屋外広告物改修補助制度の活用による早期撤収・改修を促す(利用件数:19件)とともに、電柱広告などの違反屋外広告物について、関係者と連携して簡易除去(7件)を行ったことにより、良好な景観の保全・形成・創出に寄与した。
---------------	--

成果指標	①	指標名	特別な区域における既存不適格広告物の適正化率	H30実績	H30目標	達成度
				65%	44%	147.7%
	状況	平成27～28年度にかけて、特別な区域のうち特に栗林公園内の眺望地点から望見される広告物の改修が進み、また、30年度は主要交差点の広告物が撤去されたことにより、目標を十分に達成することができた。		達成度の推移 		
	②	指標名		H30実績	H30目標	達成度
	状況			達成度の推移 		
	③	指標名		H30実績	H30目標	達成度
	状況			達成度の推移 		

施策の課題	美しいまちづくりの実現に向けては、市・市民・事業者が適正な役割分担の下で、三者が一体となって地域の魅力や特性を活かしたまちづくりを進めていく必要がある。
--------------	--

施策の方向性	良好な都市景観の形成に向け、美しいまちづくり条例に基づく基本計画で定めた目標を達成するため、平成28年4月に一部変更した景観計画の周知・啓発と一定規模以上の建築物等に対する指導・助言により、良好な景観の保全・形成を図るとともに、25年度に改正した高松市屋外広告物条例に基づく、屋外広告物の規制・誘導を行い、建築物等と一体となった良好な景観形成を推進する。
---------------	---

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
1	美しいまちづくり推進事業 4,562千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	78.9%	83.3%	A	A	B	B	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 景観施策の指針である美しいまちづくり基本計画に定める目標を実現するため、一定規模以上の建築物等に対して指導・助言することなどにより、良好な景観形成を誘導した。</p> <p>◎都市景観に関する満足度 実績22.1% (目標28%) ◎景観形成重点地区数 実績5地区 (目標6地区)</p> <p>なお、既存不適格広告物改修等補助事業については、事業主体の事業が遅れたことにより、年度内に補助金の支出が一部不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：3,500,000円)</p>							
2	屋外広告物対策事業 6,979千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			198.8%		A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 一定規模以上の屋外広告物の安全点検義務化を規定する屋外広告物条例の改正を行うとともに、同条例に基づき、屋外広告物の表示や掲出物件の設置を規制・誘導したほか、市民との協働により簡易な違反広告物の除去活動を行うことにより、良好な景観形成に寄与した。</p> <p>◎違反広告物簡易除去件数 実績7件 (目標600件)</p>							

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成

総合評価
A

1 政策の概要

多様な交通が有機的に連携した快適で人にやさしい都市交通の形成を図るため、過度に自動車に依存せず、誰もが安全で快適に移動することができるよう、生活バス路線の確保、離島航路への支援など、公共交通機関の充実・強化や主要な駅等におけるパーク・アンド・ライドの推進など、公共交通の利便性の向上を図ります。

また、自転車利用者と歩行者の双方が道路を安全で快適に利用できるよう、駐輪場や自転車走行空間の確保を始め、レンタサイクルや放置自転車対策などの事業を進めるとともに、自転車利用者のマナー向上に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
公共交通の利便性の向上	98%	A
自転車の利用環境の向上	88%	A
平均	93%	A

3 政策の評価

快適で人にやさしい都市交通の形成に向けて、2施策に取り組んだ。

「公共交通の利便性の向上」では、設定する2つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

「自転車の利用環境の向上」では、設定する2つの成果指標のうち、自転車道等整備済延長（累積）において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は93%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
公共交通の利便性の向上	19.7%	41.0%	85.4%
自転車の利用環境の向上	22.0%	23.7%	54.7%
平均	20.9%	32.4%	70.1%

施策	公共交通の利便性の向上
----	-------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,970,238千円	A	19.7%	85.4%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政策	快適で人にやさしい都市交通の形成
担当局	都市整備局

対象	市民、来訪者	意図	市民の活動を支える多様な移動手段を確保するとともに、公共交通の利便性の向上により、公共交通の利用促進を図る。
----	--------	----	--

概要 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な公共交通ネットワークの再構築（交通結節拠点等整備及びバス路線再編） 総合都市交通計画推進協議会の開催及び公共交通利用促進条例の理念を踏まえた施策の実施 新交通システムの導入検討 モビリティ・マネジメントの実施 鉄道駅のバリアフリー化、生活交通路線の確保維持 パークアンドライド駐車場の管理運営 市道東山崎町51号線の改良工事 市立駐車場の管理運営
------------	---

成果指標	① 指標名	公共交通機関利用率	H30実績	H30目標	達成度	
			15.2%	15.7%	96.8%	
	① 状況	公共交通利用率は、平成19年度を基準年度として、毎年一定の利用者増を目標として掲げている。前年度に比べ、1日当たりの公共交通機関利用者数は、約1,000人増加し、利用率も15.0%から15.2%へと上昇したものの、平成20年代の初期に利用者数が減少した影響により、目標値の達成に至らなかった。	達成度の推移			☁
	② 指標名	交通結節拠点におけるバス路線の結節数（中心部を除く）	H30実績	H30目標	達成度	
			6路線	6路線	100.0%	
② 状況	当該指標は、平成24年度の交通結節拠点におけるバス路線の結節数を目標と掲げている。新たな公共交通の結節拠点整備に併せ、バス路線再編を進める、公共交通ネットワークの再構築の進捗を確認するものであり、昨年度は、新規路線を含め、3路線を仏生山駅に結節させ、目標は達成している。	達成度の推移			☀	
③ 指標名		H30実績	H30目標	達成度		
③ 状況		達成度の推移				

施策の課題	過度な自動車利用から公共交通へ転換を図るため、利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークの再構築に当たっては、新たな交通結節拠点整備やバス路線再編とあわせて、良好な交通環境の確保が課題である。
-------	--

施策の方向性	公共交通の利便性の向上に当たっては、市全域を対象とした公共交通体系の再編と、ハード・ソフトの両面から公共交通の利便性の向上に資する施策を積極的に推進するとともに、都市計画マスタープランに掲げる、「多核連携型コンパクト・エコシティ」の観点から、拠点地域等への都市機能の集約を進めるなど、集約型の都市構造への転換を図り、公共交通の利用を促進していく必要がある。
--------	--

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1	国道11号高松東道路関連整備事業 3,122千円 都市整備局 道路整備課		93.9%	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 国道11号高松東道路整備に関連した琴電高架化に伴う側道整備として、平成30年度は引き続き東山崎町51号線について、国道11号から南の区間のうち、約15mの区間の整備を行った。 ◎側道整備率 実績87.89% (目標93.62%) なお、関係機関との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業費の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：17,753,000円)</p>						
2	J R 端岡駅周辺整備事業 (交通政策課分) 11,988千円 都市整備局 交通政策課	重点 特別重点	成果達成度 96.8%	妥当性 A	有効性 A	効率性 B	総合評価 A	今後の方向性 継続
		<p>(事業概要、事業実績等) J R 端岡駅を本市西部南地域のまちづくりに資する交通結節拠点として整備するため、J R 端岡駅周辺整備における基本的な考え方を取りまとめた。 ◎公共交通機関利用率 実績15.2% (目標15.7%)</p>						
3	J R 端岡駅周辺整備事業 (都市計画課分) 356千円 都市整備局 都市計画課	重点 特別重点	成果達成度 71.4%	妥当性 A	有効性 A	効率性 B	総合評価 B	今後の方向性 継続
		<p>(事業概要、事業実績等) J R 端岡駅を本市西部地域のまちづくりに資する結節拠点として整備するため J R 端岡駅周辺整備基本構想の策定に向け、事業を交通政策課に移管した。 ◎ J R 端岡駅周辺整備事業進捗率 実績25% (目標35%)</p>						
4	地域公共交通再編事業 (交通政策課分) 4,550千円 都市整備局 交通政策課	重点 特別重点	成果達成度 85.7% 96.8%	妥当性 A	有効性 A	効率性 A	総合評価 A	今後の方向性 継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えの下、持続可能な公共交通体系の構築に向け、バス路線を再編するため、地域公共交通再編実施計画を改定した。 持続可能な公共交通ネットワークの形成を目指し、地域公共交通網形成計画に基づき、新たな交通結節拠点整備とバス路線再編に関し、関係機関と連携し事業を進めた。 平成30年9月には「みんなの病院」の開院に合わせ、仏生山駅を拠点とするバス路線再編を実施した。 ◎市民満足度 実績19.7% (目標23%) ◎公共交通機関利用率 実績15.2% (目標15.7%)</p>						
5	地域公共交通再編事業 (都市計画課分) 644,300千円 都市整備局 交通政策課	重点 特別重点	成果達成度 96.8%	妥当性 A	有効性 A	効率性 A	総合評価 A	今後の方向性 継続
		<p>(事業概要、事業実績等) ことடன்三條～太田駅間の新駅整備に関し、駅前広場整備については、大型物件の用地取得及び補償を行った。 駅舎整備及び複線化事業については、それぞれの実施主体である法定協議会及びことடன்において、本工事に着手した。 ◎公共交通機関利用率 実績15.2% (目標15.7%) なお、道路管理者及び河川管理者の協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：371,612,000円) また、前年度からの繰越事業である駅前広場物件補償等については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：290,247,046円)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	公共交通維持改善事業（都市計画課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	8,014千円	特別重点	100.0%		A	A	B	A
	都市整備局 都市計画課	<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>鉄道事業者である高松琴平電気鉄道（株）が実施するバリアフリー化（仏生山駅多機能トイレ改修）事業費の一部や四国旅客鉄道（株）が実施する（JR高松駅字ブロック整備）事業費の一部を支援することで、公共交通の維持、良好な交通環境の確保に寄与した。また、公共交通の利用促進のため、パークアンドライド施設（3か所）について、適正な管理・運営を行った。</p> <p>◎バリアフリー化率 実績40.5%（目標40.5%）</p>						
7	公共交通利用促進事業（交通政策課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	228,214千円	特別重点	85.7%	96.8%	A	A	A	A
	都市整備局 交通政策課	<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>「総合都市交通計画」及び「公共交通利用促進条例」の理念を踏まえた施策である。電車・バスの乗り継ぎ割引の拡大や、70歳以上の市民を対象とした連賃半額制度を継続した。また、まちなかループバス等ネットワークバスへの運行支援のほか、モビリティ・マネジメントなど、利用促進事業の実施により、公共交通機関の利用者は、平成24年度以降増加している。</p> <p>◎施策全体の満足度 実績19.7%（目標23%） ◎公共交通機関利用率 実績15.2%（目標15.7%）</p> <p>また、前年度からの繰越事業であるバスへの10カード片利用システム導入事業補助金については事業の完了を確認し、補助金の交付を完了した。（平成29年度繰越明許事業費：69,904,500円）</p>						
8	公共交通利用促進事業（都市計画課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	80.0%		A	A	B	B
	都市整備局 都市計画課	<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>自転車と路線バスの乗継利便性の向上を図るため、サイクルアンドバスライド駐輪場整備箇所について関係機関等と協議・検討を行った。</p> <p>◎C&BR駐輪場利用者数 実績60人（目標75人）</p>						
9	新都市交通システム導入検討事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,992千円	特別重点	85.7%		A	A	B	B
	都市整備局 交通政策課	<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>新交通システム導入の可能性について、調査事業を行うとともに、「総合都市交通計画推進協議会」において検討し、平成31年3月に改定した「高松市総合都市交通計画」の具体的施策の中で「需要に応じた新交通システム（LRT等）の導入」を掲げた。</p> <p>◎市民満足度 実績19.7%（目標23%）</p>						
10	公共交通維持改善事業（交通政策課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	91,671千円	特別重点	96.8%	71.4%	A	A	B	B
	都市整備局 交通政策課	<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>公共交通の維持や利便性の向上を図り、良好な交通環境を確保するため、県と共に、赤字バス路線に対する補助金や離島航路等に対する補助金を交付した。</p> <p>◎公共交通機関利用率 実績15.2%（目標15.7%） ◎コミュニティ交通路線数 実績5路線（目標7路線）</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	(評価対象外) 駐車場管理運営事業							
	710,110千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>引き続き指定管理者による、市営駐車場8施設の管理・運営を行い、利用者の利便性の向上と経費節減につなげた。</p> <p>なお、契約の締結に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：21,110,000円)</p> <p>また、前年度からの繰越事業である南部駐車場、瓦町駅地下駐車場、高松駅前広場地下駐車場についての事業は完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：12,367,120円)</p>						
	都市整備局 交通政策課							

施策	自転車の利用環境の向上
----	-------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
198,135千円	A	22.0%	54.7%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政策	快適で人にやさしい都市交通の形成
担当局	都市整備局

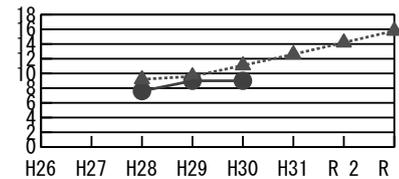
対象	市民	意図	市民が安全で快適に、自転車を利用するための環境を整備し、自転車利用の促進を目指す。
----	----	----	---

概要(実績)

自転車を利用した香川の新しい都市づくりを進める協議会高松地区委員会を継承する形で創設された、高松市自転車ネットワーク計画推進協議会を開催するとともに、平成20年11月策定の「高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針」に示された対象路線のうち、2路線を整備中である。

また、放置自転車対策として、一定の期間以上放置された自転車について、警告(47,238台)、移送(4,936台)を行うとともに、レンタサイクル事業の利用促進及びイメージアップのため、引き続き、新規導入車両に新デザインの塗装を行った。

さらに、JR栗林公園北口駅前自転車駐車場の整備(100台)を行い、自転車利用環境整備の推進に寄与した。

成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度	
		①	自転車道等整備済延長(累積)	9km	11.1km
	状況	平成30年度には、八幡町西浜新町線において整備を進めたが、関係機関等との協議に日時を要したことにより、当初の目標を達成することができなかった。			
	②	レンタサイクル利用者数	309,995人	316,000人	98.1%
	状況	駅前の地下にあるポートへの案内看板の設置や新デザインの導入などの利用促進策を講じたが、栗林公園駅及び高松駅を除く5箇所のサイクルポートの利用者数の減少により、目標を達成することができなかった。			
	③	指標名			
	状況	達成度の推移			

施策の課題

道路管理者・鉄道事業者や商店街などが、役割分担に基づき、関係機関と連携し計画的に事業の推進に努めているが、利害関係者の意見調整に時間を要する。

施策の方向性

自転車の走行空間と駐輪スペースの確保を最優先に取り組むとともに、自転車事故対策やマナーアップ等について警察やその他の関係機関と連携して取り組む必要がある。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		1	自転車利用環境整備事業 12,400千円	重点 一般重点	81.1%		A	A	A
都市整備局 道路整備課	<p>(事業概要、事業実績等) 安全空間確保部会において、平成20年11月策定の「高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針」に示された対象路線のうち、未整備路線の整備手法について検討した結果を踏まえ、2路線を整備中である。</p> <p>◎自転車道等整備済延長 実績9.0Km (目標11.1Km)</p> <p>なお、地元関係者との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業費の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：87,600,000円)</p>								
2	レンタサイクル事業 67,928千円	重点 一般重点	128.3%	98.1%	B	B	B	A	改善継続
	都市整備局 交通政策課	<p>(事業概要、事業実績等) 整備員5名による点検整備を行うとともに、平成26年度に公募により決定した新デザインを120台の車両に塗装(累計1,041台)したことにより、安全安心かつ快適に利用できる交通手段の市民への提供に寄与した。</p> <p>◎放置自転車撤去台数(禁止・整理区域) 実績2,719台(目標3,790台)</p> <p>◎レンタサイクルの利用延べ人数 実績309,995人(目標316,000人)</p>							
3	駐輪場整備事業 9,094千円	重点	99.8%	100.0%	A	A	B	A	継続
	都市整備局 交通政策課	<p>(事業概要、事業実績等) 自転車駐車場の整備及び中央商店街における民間自転車等駐車場の確保に対する支援を行ったことで、自転車利用者の利便性の確保及び放置自転車の減少に寄与した。</p> <p>JR栗林公園北口駅前自転車等駐車場整備(収容能力)100台</p> <p>◎鉄道駅周辺公共駐輪場の収容台数 実績11,234台(目標11,252台)</p> <p>◎補助駐輪場の収容台数 実績333台(目標333台)</p>							
4	(評価対象外) 駐輪場管理事業 68,893千円	重点							
	都市整備局 交通政策課	<p>(事業概要、事業実績等) 引き続き自転車等駐車場の維持・管理を行い、自転車等利用者の利便性の確保に寄与した。</p>							
5	放置自転車等対策事業 39,820千円	重点	127.3%		A	A	B	A	継続
	都市整備局 交通政策課	<p>(事業概要、事業実績等) 放置自転車の警告、移送、保管、返還、処分等を行ったことにより、快適で安全なまちづくりに寄与した。</p> <p>警告 47,238台 移送 4,936台 返還 2,679台 処分等 2,030台</p> <p>◎放置自転車警告件数 実績47,238台(目標65,000台)</p>							

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実

総合評価
A

1 政策の概要

激しさを増す都市間競争において、本市の優位性を更に高め、拠点性を発揮できる都市機能の充実を図るため、高松空港や高松港の機能強化、四国への新幹線の導入促進など、拠点性を高める交通網の整備と利用促進を進めます。

また、都市計画道路等の整備により、道路交通の円滑化・安全性の向上など、拠点性を高める道路ネットワークの整備を進めます。

また、ウォーターフロントの魅力をいかしながら、サンポート高松など中心市街地の機能強化を図るとともに、魅力ある商業・業務空間の形成やまちなか居住を促進し、人々の回遊性を高めるなど、中心市街地の活性化に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
拠点性を高める交通網の整備と利用促進	93%	A
拠点性を高める道路ネットワークの整備	93%	A
中心市街地の活性化	88%	A
平均	91%	A

3 政策の評価

拠点性を発揮できる都市機能の充実に向けて、3施策に取り組んだ。

「拠点性を高める交通網の整備と利用促進」及び「拠点性を高める道路ネットワークの整備」の2施策では、設定する4つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

「中心市街地の活性化」では、設定する3つの成果指標のうち、中央商店街の空き店舗率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は91%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
拠点性を高める交通網の整備と利用促進	24.9%	27.7%	74.4%
拠点性を高める道路ネットワークの整備	33.2%	22.3%	72.4%
中心市街地の活性化	19.0%	24.7%	60.7%
平均	25.7%	24.9%	69.2%

施策	拠点性を高める交通網の整備と利用促進
----	--------------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
619,391千円	A	24.9%	74.4%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実
担当局	都市整備局

対象	地域経済・産業（人・物・情報）	意図	環瀬戸内海圏の中核都市としての機能を発揮できる陸海空の交通ネットワークの整備と利用促進により、交流人口の拡大、物流の円滑化を促進し、地域経済及び産業の活性化を目指す。
----	-----------------	----	---

概要（実績）
 高松空港における新規定期路線の就航及び既存定期路線の増便を図り、航空ネットワークが維持された結果、利用者数は増加している。
 4 航路週 7 便の海上輸送網を維持しているが、高松港に入港した外国貿易船の年間延べ純トン数について、前年度から増加はしたものの、目標値の達成に至らなかった。
 四国の新幹線の早期実現が図られるよう、県内全市町等で組織する「香川県 J R 四国線複線電化・新幹線導入期成同盟会」等を中心として、シンポジウムや勉強会を開催した。

成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		206万人	185万人	111.4%
① 状況	定期路線については、平成28年度からの路線数を維持しており、国内・国際定期路線ともに過去最高の利用者数となった結果、全体の利用者数も前年度比で5.6%増加した。	達成度の推移		☀️
② 状況	高松港に入港した外国貿易船の年間延べ純トン数	892千純トン	1,010千純トン	88.3%
	平成9年に韓国釜山航路が開設されて以降、順次航路開設が進み、現在4航路週7便の海上輸送網を維持しており、前年度から増加はしたものの、目標値の達成には至らなかった。 （中国航路2便、韓国航路4便、フィーダー航路1便 計7便）	達成度の推移		☁️
③ 状況	市内 J R 駅の乗降客数	721万人	754万人	95.6%
	当該指標は、平成19年度を基準年度として、毎年一定の利用者増（累積）を見込み目標として掲げている。 前年度実績に比べ増加したものの、平成20年代の初期に利用者数が減少したことの影響により、目標値の達成に至らなかった。	達成度の推移		☁️

施策の課題
 航空路線の維持・定着により利用者数は増加しているが、高松空港振興期成会の一員として、運営事業者である高松空港株式会社と連携しながら、更なる交流人口の拡大による地域活性化に取り組む必要がある。
 高松港においては、4航路週7便という海上輸送網を維持しているが、今後の航路拡充・物流量の増加に向けた地域経済の活性化に取り組む必要がある。
 また、四国の新幹線を実現するため、関係団体等との連携により、国等に調査・研究を要望するなど、整備計画への格上げに向け取り組む必要がある。

施策の方向性
 高松空港の航空ネットワークの拡充については、高松空港振興期成会の一員として、運営事業者である高松空港株式会社と連携しながら、より効果的な事業の推進に努める。
 高松港の交通・物流拠点性の向上については、事業主体である香川県と連携し、より効率の良い施設整備及び運営に努める。
 四国の新幹線の整備計画への格上げに向け、関係機関と連携し、国等への要望活動とともに、市民意識の醸成に努める。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
1	航空路線網拡大促進事業 148,775千円	87.5%	A	A	B	A	改善継続	
	都市整備局 交通政策課	<p>(事業概要、事業実績等) 高松空港振興期成会が実施するエアーポートセールの積極的なPR活動、利用者に対する負担軽減を図るため、高松空港(株)と協賛し、高松空港整備事業に共同で地域活性化を図る。また、高松空港の滑走路7.5kmを延長し、滑走路8.5kmを新設する。また、高松空港の滑走路7.5kmを延長し、滑走路8.5kmを新設する。また、高松空港の滑走路7.5kmを延長し、滑走路8.5kmを新設する。</p>						
2	(評価対象外) 県施行港湾建設事業 470,015千円							
	都市整備局 河港課	<p>(事業概要、事業実績等) 香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画に基づき、香川県が施行する津波・高潮危機管理対策事業に対し、費用の一部を負担した。 なお、事業主体である香川県が事業の一部を翌年度に繰り越したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。(繰越明許費繰越額：88,686,000円) また、前年度からの繰越事業については完了した。(平成29年度繰越明許事業費：86,968,871円)</p>						
3	(評価対象外) 広域輸送交通機関整備促進事業 601千円							
	都市整備局 交通政策課	<p>(事業概要、事業実績等) 四国の新幹線の導入が早期に図られるよう、「四国新幹線整備促進期成会」や「香川県JR四国線復線電化・新幹線導入期成同盟会」等を中心として、シンポジウムや勉強会の開催により、市民意識の醸成に寄与した。</p>						

施策	拠点性を高める道路ネットワークの整備
----	--------------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
522,907千円	A	33.2%	72.4%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実
担当局	都市整備局

対象	対象施設：都市計画道路 対象者：道路利用者（歩行者・自転車利用者・自動車利用者）及び道路周辺住民	意図	中枢拠点都市としての道路ネットワークを強化し、安全安心な市民生活と機能的な都市活動を確保する。
----	---	----	---

概要（実績）	コンパクトな都市構造への転換に向けて、中心市街地地区を中心とした集約拠点間のアクセスを向上させるため、都市計画道路の整備により、道路ネットワークの強化を図った。 ・高松海岸線（玉藻工区）電線共同溝詳細設計等 ・木太鬼無線（西春日・鶴市工区）道路改良工事等 ・木太木無線（三条工区）、（木太工区）、朝日町仏生山線、香西東町香西南町線、郷東檀紙西線、兵庫町西通町線、栗林上福岡線 用地補償等 ・県施行街路事業地元負担金等
--------	--

成果指標	①	指標名	都市計画道路整備率	H30実績	86.1%	H30目標	89.6%	達成度	96.1%
		状況	木太鬼無線（西春日・鶴市工区）の供用を開始するなど都市計画道路の整備を進めたが、高松海岸線の4,450m延伸により、全体整備率は減少した。	達成度の推移					
	指標名		H30実績		H30目標		達成度		
	②	状況		達成度の推移					
	③	指標名		H30実績		H30目標		達成度	
	③	状況		達成度の推移					

施策の課題	多額の事業費が必要な街路事業においては、将来を見据えたコンパクトで持続可能なまちづくりの視点など、更なる費用対効果の分析・検討が必要である。
-------	--

施策の方向性	本市が目指す、多核連携型コンパクト・エコシティの実現に向け、立地適正化計画との整合性を図りつつ、都市の骨格を成す街路や集約拠点間を結ぶ道路ネットワークの強化が必要となっている。このようなことから、都市計画道路整備プログラムの見直しを進めており、令和元年度に完了する予定としている。
--------	--

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	街路事業（都市計画課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	30.0%		A	A	B	D
		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>前回の都市計画道路網の見直しから10年以上が経過しており、公共交通を基軸としたコンパクト・プラス・ネットワークの構築に向けた取組が、より一層求められており、都市計画道路ネットワークとしての必要性に変化が生じていることから、新設路線及び未着手路線の必要性や課題を評価した。</p> <p>◎計画策定までの進捗率 実績30%（目標100%）</p> <p>なお、都市計画道路の新設、計画の存続、変更、廃止等の方向性と、今後の整備優先順位等を明確化するため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：6,700,000円）</p>						
	都市整備局 都市計画課							
2	街路事業（道路整備課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	96.1%		A	A	A	A
		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>都市交通の円滑化及び良好な都市環境の形成により、安全で快適な都市機能を確保するため、高松海岸線、木太鬼無線、朝日町仏生山線等、都市計画道路の整備を進めた。</p> <p>◎都市計画道路整備率 実績86.1%（目標89.6%）</p> <p>522,907千円</p> <p>なお、関係機関との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：393,789,000円）</p> <p>また、前年度からの繰越事業である道路改良工事、用地取得等については完了した。 （平成29年度繰越明許事業費：233,739,755円）</p>						
	都市整備局 道路整備課							

施策	中心市街地の活性化
-----------	-----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
139,630千円	A	19.0%	60.7%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実
担当局	都市整備局、市民政策局

対象	高松市中心市街地	意図	中心市街地の機能強化を図るとともに、魅力ある商業・業務空間の形成や、まちなか居住を促進する再開発等の事業を推進することにより、中心市街地の活性化を目指す。
-----------	----------	-----------	---

概要(実績)

本市を取り巻く環境の変化に伴い、中心市街地の人口減少や商店街の空き店舗の増加など、にぎわい・活力の低下が見られたので、にぎわいを戻すために、国の交付金等を活用するべく、平成19年5月に第1期高松市中心市街地活性化基本計画の国の認定を受けた。第1期計画の計画期間が25年3月で終了したため、第2期計画を策定し、25年6月に国の認定を受けた。これらに基づきハード・ソフト両面からの施策展開を図るとともに、30年度は、第2期計画の検証を十分に行い、現状を踏まえた課題等を整理した上で、昨今のインバウンド需要等、域外からの流入を喚起する取り組みのほか、まちなか居住の推進につながる施策の展開などを盛り込んだ、第3期高松市中心市街地活性化基本計画の策定に取り組んだ。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		①	中央商店街の空き店舗率	16.9%
②	中央商店街の歩行者通行量	達成度の推移		
③	中心市街地の居住人口の割合	128,854人	141,000人	91.4%
		達成度の推移		

施策の課題

民間主導により、丸亀町商店街等で計画された再開発のうち、未着手の街区において、より魅力のある空間を創出することにより、中央商店街全体のにぎわいを取り戻すことを目指しており、事業化に向けた関係権利者の合意形成や事業スキームの確立が課題である。また、第2期基本計画に掲げた3つの数値目標の達成には至らなかったことから、第2期計画の検証を十分に行い、今後はより一層官民が連携し、ハード・ソフトの幅広い施策・事業を盛り込んだ次期計画(第3期)の策定を進めていく必要がある。

施策の方向性

激しさを増す都市間競争において、本市の優位性を更に高めるために、中心市街地の活性化は重要な継続課題であり、社会経済情勢を見極めながら、各事業の進行管理や精査・検討を行うことで、効果的に事業に取り組み、拠点性を発揮できる都市機能の充実を図るため、現状分析や課題の抽出を行い、たかまつ創生総合戦略、高松市立地適正化計画等を踏まえた第3期計画を策定し、民間事業者等との情報共有や連携を図りながら施策・事業を展開していく。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	(評価対象外) サンポート高松北側街区整備事業							
	市民政策局 政策課	<p>(事業概要、事業実績等) 平成28年11月28日の県議会において、新設のサンポート高松A1街区の整備に関する協議を進め、建設費の捻出を図るため、香川県の中心となる事業の推進を図ることを目的として、平成30年度は1回開催した。</p>						
2	(評価対象外) 瓦町駅ビル利活用事業							
	市民政策局 市民課	<p>(事業概要、事業実績等) 瓦町駅ビルを利活用するため整備した市民交流プラザIKODE瓦町について、適正に施設を維持管理した。開館以来、利用者は増加傾向にあり、平成30年度における年間利用者数は、約26万人であった。</p> <p>107,059千円</p>						
3	(評価対象外) サンポート高松管理事業							
	都市整備局 都市計画課	<p>(事業概要、事業実績等) サンポート高松の高松市土地開発公社が所有しているA1街区等について、サンポート高松のにぎわいの創出に寄与するイベントの用に貸し付けるなど、適正な維持管理を行った。</p> <p>1,052千円</p>						
4	(評価対象外) 中央商店街調査事業							
	都市整備局 住宅・まちづくり推進室	<p>(事業概要、事業実績等) 高松中央商店街の通行量や店舗立地動向調査については、高松商工会議所が行う年2回の調査結果を基に、現状を把握し、これまでの調査結果との比較分析を行ったほか、中央商店街のにぎわい向上を図るために実施する事業の基礎データとしたことから、関係団体と共に、調査費用の一部を負担した。</p> <p>464千円</p>						
5	(評価対象外) 中心市街地活性化推進事業(都市計画課分)							
	都市整備局 交通政策課	<p>(事業概要、事業実績等) IruCa電子マネー取扱手数料を支出することにより、中心市街地における施設利用者の利便性が向上した。</p> <p>210千円</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容							
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
6	中心市街地活性化推進事業（まちづくり企画課分）		91.4%	86.6%	A	A	B	A	継続
	5,441千円	<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>本事業では、平成30年3月に終了した第2期中心市街地活性化基本計画に引き続き、継続的な中心市街地の活性化を図るため、第3期計画の策定を進めた。また、同計画の策定には、中心市街地活性化協議会の意見を聴取することとなっており、本事業において同協議会の運営に対する負担金を支出した。</p> <p>◎中央商店街の歩行者通行量 実績128,854人（目標141,000人）</p> <p>◎中央商店街の空き店舗率 実績16.9%（目標14.9%）</p>							
	都市整備局 住宅・まちづくり推進室								
7	高松丸亀町商店街再開発事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
	25,404千円	特別重点	109.5%		A	A	A	A	継続
	都市整備局 都市計画課	<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>大工町・磨屋町地区における再開発事業の実施を検討する民間準備組合に対し補助金を交付することにより、再開発事業計画の熟度向上に寄与した。</p> <p>◎丸亀町商店街の通行量 実績39,978人（目標36,500人）</p> <p>なお、実施主体の事業が遅れたことにより、年度内に補助金の支出が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：57,244,000円）</p> <p>また、前年度からの繰越事業である基本設計及び資金計画書作成業務については完了した。 （平成29年度繰越明許事業費：25,200,000円）</p>							

**(6) 市民と行政がともに力を
発揮できるまち**

平成30年度 政策の概要調査

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生

総合評価
A

1 政策の概要

参画・協働によるコミュニティの再生を図るため、新しい公共の担い手として、地域コミュニティ協議会が地域社会の中心的な役割を果たし、地域のまちづくりが活性化するように、組織体制の充実を図るとともに、地域のリーダー養成や地域コミュニティ協議会事業への財政支援などを行い、地域コミュニティの自立・活性化に努めます。

また、多様なパートナーシップの下、市民やNPOなど市民活動団体と行政との協働によるまちづくりを進めるため、市民活動センター機能の拡充や協働の担い手の育成など、協働事業を充実させるとともに、広聴・広報活動の充実、情報の公開・提供などによる行政の透明性の向上を図り、参画・協働の推進に努めます。

また、女木島、男木島及び大島、それぞれの島の特性や瀬戸内国際芸術祭の経験をいかし、多様な主体が参加・協働して島の魅力をいかした島づくりに取り組むことにより、交流・定住人口の拡大を目指し、離島の振興に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
地域コミュニティの自立・活性化	76%	B
参画・協働の推進	93%	A
離島の振興	100%	A
平均	89%	A

3 政策の評価

参画・協働によるコミュニティの再生に向けて、3つの施策に取り組んだ。

「地域コミュニティの自立・活性化」では、設定する2つの成果指標のうち、コミュニティプランの見直し率については、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を概ね達成した。

「参画・協働の推進」及び「離島の振興」では、設定する4つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は89%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満足	重要度
地域コミュニティの自立・活性化	34.8%	11.3%	50.0%
参画・協働の推進	18.1%	10.1%	39.6%
離島の振興	20.2%	8.4%	40.6%
平均	24.4%	9.9%	43.4%

施策	地域コミュニティの自立・活性化
----	-----------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,600,711千円	B	34.8%	50.0%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政策	参画・協働によるコミュニティの再生
担当局	市民政策局、教育局

対象	市民	意図	各地域コミュニティ協議会及び高松市コミュニティ協議会連合会の活動を支援するとともに組織強化を促すほか、地域コミュニティ活動の拠点整備を促進することにより、地域コミュニティの自立・活性化を目指す。

概要(実績)
 11月の自治会加入促進月間における啓発活動などの種々加入促進活動に加え、自治会関係課長会を開催し、より実効性のある加入促進策の検討に取り組んだが、加入率の減少傾向に歯止めがかからない状態が継続しているため、地域が設置した自治会の在り方等検討プロジェクトチームに市も参画し、地域住民から共感を得られる活動や、加入・継続しやすい自治会の在り方などの検討を行った。
 また、コミュニティプランの見直しに対応するため、担当課による出前講座や、関係各課からの情報提供を行いコミュニティプラン見直しの支援を行ったが、目標達成には至らなかった。
 このほか、人材育成としての人材養成事業、活動拠点づくりとしてのコミュニティセンターの整備等を実施、活動支援としての地域まちづくり交付金の交付など、地域コミュニティ協議会及び自治会に対する支援を行った。

成果指標	①	指標名	自治会加入率	H30実績	57.7%	H30目標	62.4%	達成度	92.5%
		状況	種々の自治会加入促進活動に加え、地域で設置する自治会の在り方等検討プロジェクトチームに市も参画し、住民から共感を得られる活動や、加入・継続しやすい自治会の在り方についての検討等に取り組んだが、加入率の目標値62.4%に対し、実績は57.7%であり、目標達成に至らなかった。	達成度の推移					
	②	指標名	コミュニティプランの見直し率	H30実績	63.6%	H30目標	100%	達成度	63.6%
		状況	各地域コミュニティ協議会における課題や特性に合った事業が実施できるよう、コミュニティプランの見直しの支援に取り組んだが、目標値100%に対し、実績は63.6%であり、目標達成に至らなかった。	達成度の推移					
	③	指標名		H30実績		H30目標		達成度	
		状況		達成度の推移					

施策の課題
【市民政策局】 地域コミュニティ協議会の中核組織である自治会の加入率低下が課題となっている。
 また、地域コミュニティ組織の構築からおおむね10年以上が経過し、各地域の活動への理解や取組状況に温度差がみられ、民主的な組織運営、適正な会計処理などが求められている。
【教育局】 学校施設・跡施設利用実施計画に基づき事業を実施し、完了したが、今後継続的に利活用するには施設の維持管理等が課題となる。

施策の方向性
 自治会加入・継続促進策について、行政や自治会それぞれの役割や目的を検証した上で、地域とともに実効性のある具体的な方策を検討していく。
 また、コミュニティ組織の強化・充実に向けて、高松市コミュニティ協議会連合会や各地域コミュニティ協議会への運営支援を行うとともに、地域の裁量を生かした地域まちづくり交付金等によるコミュニティの活動支援を行う。
 また、活動拠点となるコミュニティセンター施設について、平成30年度から始動した新整備計画に基づき、計画的な改築及び改修を行う。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	地域コミュニティ協議会事務局体制強化支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	108,687千円	一般重点	100.0%	A	A	B	A	改善継続
		(事業概要、事業実績等) 地域コミュニティ協議会の事務局職員に対する人件費を補助することにより、事務局体制の強化に寄与した。 ◎事務局体制を構築・強化した地域コミュニティ協議会数 実績44協議会(目標44協議会)						
市民政策局 コミュニティ推進課								
2	(評価対象外) コミュニティ活動支援システム整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	13,233千円							
		(事業概要、事業実績等) 市とコミュニティセンター間の情報共有を促進したことにより、コミュニティセンターの管理運営業務の効率化に寄与した。						
市民政策局 コミュニティ推進課								
3	コミュニティ推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	29,223千円		115.1%	A	A	B	A	改善継続
		(事業概要、事業実績等) 高松市コミュニティ協議会連合会が実施する外部監査等を実施するために運営補助を行うことにより、各地域コミュニティ協議会における会計全体の透明性の向上につながった。 ◎講演会・講習会の参加者数 実績472人(目標410人)						
市民政策局 コミュニティ推進課								
4	自治会活動推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	5,452千円		92.5%	B	A	C	B	改善継続
		(事業概要、事業実績等) 高松市連合自治会連絡協議会に対する運営補助金を交付した。また、自治会加入率が減少傾向であるため、地域が設置する自治会の在り方等検討プロジェクトチームに市も参画し、地域住民から共感を得られる活動や、加入・継続しやすい自治会の在り方等について検討を行った。 ◎自治会加入率 実績57.7%(目標62.4%)						
市民政策局 コミュニティ推進課								
5	地域まちづくり交付金事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	305,197千円	一般重点	63.6%	A	A	B	B	改善継続
		(事業概要、事業実績等) 地域コミュニティ協議会が、コミュニティプランに基づいて主体的に行うまちづくり活動を支援し、住民自治及び市民と行政の協働による地域自らのまちづくり活動を推進するため、地域コミュニティ協議会に対し、地域まちづくり交付金を交付した結果、各地域におけるまちづくり活動の活性化につながった。 ◎コミュニティプランの見直し率 実績63.6%(目標100%)						
市民政策局 コミュニティ推進課								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	(評価対象外) コミュニティセンター管理運営事業 (コミュニティ推進課分)							
	518,494千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>各地域コミュニティ協議会をコミュニティセンターの管理運営を行うための指定管理者に指定することにより、地域交流活動や生涯学習を推進するための拠点施設として活用することにつながった。</p>						
市民政策局 コミュニティ推進課								
7	自治会集会所整備支援事業		98.1%	A	A	A	A	継続
	27,654千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>高松市自治会集会所新築等補助規程に基づき、地域住民の活動拠点である自治会集会所の新築、増築、又は改修に対して助成を行った。</p> <p>◎自治会集会所整備率 実績35.6% (目標36.3%)</p>						
市民政策局 コミュニティ推進課								
8	コミュニティセンター整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	495,798千円	一般重点	100.0%	A	A	B	A	継続
市民政策局 地域振興課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>木太コミュニティセンターの改築、川岡・太田・屋島・男木・十河コミュニティセンター改築設計を行うなど、地域の活動拠点づくりに貢献した。</p> <p>◎施設整備進捗割合 実績47.3% (目標47.3%)</p> <p>なお、川岡コミュニティセンター電気・太陽光設置工事のほか、太田、屋島、十河コミュニティセンターの設計等は、工程調整に日時を要したこと等により、年度内の事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：57,388,000円)</p> <p>また、前年度からの繰越事業である木太コミュニティセンター改築工事等、川岡コミュニティセンター実施設計、屋島コミュニティセンター地質調査は、完了した。(平成29年度繰越明許事業費：64,555,880円)</p>						
9	(評価対象外) コミュニティセンター管理運営事業 (地域振興課分)							
	73,551千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>公共施設点検マニュアルに基づき、各コミュニティセンターが、安全かつ快適に利用できるよう修繕工事等を行った。</p> <p>なお、鶴尾コミュニティセンターサービスヤード外整備工事については、契約の締結に不測の日時を要したことにより、年度内の事業の一部を翌年度に繰り越した。(繰越明許費繰越額：3,961,000円)</p> <p>また、前年度からの繰越事業である川東コミュニティセンターの空調工事等については完了した。 (平成29年度繰越明許事業費：13,276,999円)</p>						
市民政策局 地域振興課								
10	(評価対象外) 集会所施設管理事業 (牟礼総合センター分)							
	3,227千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>市民に地域活動やレクリエーション等の交流の場所を提供したことにより、コミュニティ活動の推進に寄与した。</p>						
市民政策局 牟礼総合センター								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	(評価対象外) 集会所施設管理事業 (香川総合センター分)							
	4,154千円	(事業概要、事業実績等) 市民に地域活動やレクリエーション等の交流の場所を提供したことにより、コミュニティ活動の活性化に寄与した。						
	市民政策局 香川総合センター							
12	(評価対象外) 集会所施設管理事業 (国分寺総合センター分)							
	6,337千円	(事業概要、事業実績等) 市民に地域活動やレクリエーション等の交流の場所を提供したことにより、コミュニティ活動の活性化に寄与した。						
	市民政策局 国分寺総合センター							
13	学校跡地・跡施設再利用事業		100.0%	A	A	A	A	完了
	9,704千円	(事業概要、事業実績等) 旧上西小学校プールを、解体の上、駐車場整備を行った結果、地域の利便性の向上に寄与した。 ◎事業全体進捗率 実績100% (目標100%)						
	教育局 学校施設整備室							

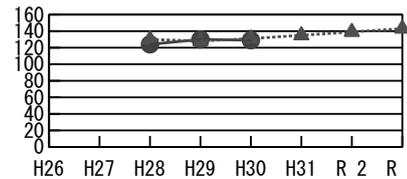
施策	参画・協働の推進
----	----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
144,606千円	A	18.1%	39.6%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政策	参画・協働によるコミュニティの再生
担当局	市民政策局、総務局

対象	市民	意 図	市民活動センター機能の拡充や協働の担い手づくりなど協働事業の充実及び広聴・広報活動の充実、情報の公開・提供など行政の透明性を図ることにより、市民と行政との参画・協働によるまちづくりの推進を目指す。
----	----	--------	--

概要(実績)
市民活動センターで行う講座の開催、情報収集・発信、相談事業等を効果的に実施したことにより、市民活動団体等の活動支援につながった。高松市自治と協働の基本指針に定める「協働の原則」に基づき、協働企画提案事業等に取り組んだ結果、協働への理解が深まるとともに、新たな「協働の担い手」が地域で事業を展開する等、協働事業の充実が得られた。「市政出前ふれあいトーク」、「市長まちかどトーク」の開催や、「広報たかまつ」の発行を始め、民放テレビ等での市政情報番組制作や、本市ホームページ等インターネットの情報発信ツールと連携しながら市政情報の効果的発信を実施するなど、市民が主体的に市政に参画できる環境を整えることにより、まちづくりへの関心や参画意識の向上に貢献した。情報公開及び個人情報保護の徹底を図るため、情報公開条例に基づき、情報公開請求に対し適正な公開を行い、また、個人情報保護条例に基づき、個人情報を適正に取り扱うとともに、個人情報の開示等について適切な措置を講じ、市民の市政に対する理解と信頼性を高めた。

成果指標	①	指標名	協働事業数	H30実績	H30目標	達成度
				129件	131件	98.5%
	状況			行政と市民活動団体等との協働事業は、協働の意識の啓発等を行ったものの、実施団体の解散等により廃止となった事業があったため、目標値を1%程度下回る結果となった。	達成度の推移 	
成果指標	②	指標名	市政出前ふれあいトーク延べ参加者数	H30実績	H30目標	達成度
				19,252人	21,000人	91.7%
	状況			市政出前ふれあいトークで実施している施設見学のうち、平成28年度からの改修工事により実施できなかった施設について、施設見学を再開したものの、受入件数は改修工事前の半数となったほか、市政出前ふれあいトークの申込件数も減少したため、目標値を8%程度下回る結果となった。	達成度の推移 	
③	指標名			H30実績	H30目標	達成度
	状況					

施策の課題
【市民政策局】市民活動団体等の活動支援のため、市民活動センターの機能強化を図るとともに、協働事業及び講座等を通じた効果的な協働意識の醸成と「協働の担い手」の育成が求められている。【総務局】市民との情報共有を推進するため、市政に関する情報を積極的に分かりやすく、適時適切に提供するとともに、参画と協働による市政運営が行えるような市民との情報共有のための仕組みづくりが課題となっている。

施策の方向性
市民活動団体等の活動を支援する中間支援組織としての役割を果たせるよう、市民活動センターの機能強化に取り組む。また、協働事業及び講座等の充実を図り、協働意識の醸成や醸成した意識の市民活動への活用及び「協働の担い手」の育成を図る。
様々な媒体を活用し、広報機能の充実に取り組むとともに、市民の意見が市政に適切に反映されるよう、市民が主体的に市政に参画できる環境づくりに取り組む。
市民の市政に対する理解と信頼を得るため、個人情報の保護と情報公開の徹底を図る。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	市民活動センター管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	21,123千円		107.3%	A	B	A	A	継続
市民政策局 男女共同参画・協働推進課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>市民活動センターの運営に、行政が積極的に取り組むことにより、市民活動センターの利用率が向上し、市民活動センターの運営に協働が促進された。また、市民活動センターの運営に協働が促進されたことにより、市民活動センターの利用率が向上し、市民活動センターの運営に協働が促進された。</p> <p>◎市民活動センター総利用者数 実績21,311人(目標19,865人)</p>						
2	協働企画提案事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,655千円	一般重点	96.7%	A	B	A	A	継続
市民政策局 男女共同参画・協働推進課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>行政と市民活動センターが協働して取り組むことにより、市民活動センターの利用率が向上し、市民活動センターの運営に協働が促進された。また、市民活動センターの運営に協働が促進されたことにより、市民活動センターの利用率が向上し、市民活動センターの運営に協働が促進された。</p> <p>◎継続事業数 実績29事業(目標30事業)</p>						
3	ボランティア・市民活動推進事業(男女共同参画・協働推進課分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,841千円		99.5% 103.0%	A	B	A	A	継続
市民政策局 男女共同参画・協働推進課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>高松市協働づくり懇談会を2回開催し、協働企画提案事業等について広く意見を聴き、市民活動推進施策等の推進につなげた。また、協働推進人材養成研修を実施し、協働企画提案事業として実際に取り組んだ実施団体の事例発表を取り入れるなど、内容を充実させ、協働意識が向上した。また、特定非営利活動法人認証事務については、昨年引き続き、事業報告書等が未提出の法人に対し、督促書等の送付を行ったことにより、法人の実情を把握するための効果があつた。また、市民活動センターにおいて、市民活動団体等と多様なパートナーシップを構築するため、市民活動団体の活動紹介を行う講座などを開催し、連携の強化に効果があつた。</p> <p>◎所属担当協働推進研修受講者数 実績189人(目標190人)</p> <p>◎市民活動センター利用登録団体数 実績340団体(目標330団体)</p>						
4	自治と協働の基本指針普及事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			73.7%	A	B	A	B	改善継続
市民政策局 コミュニティ推進課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>市政出前ふれあいトーク等を通じて、地域コミュニティ協議会や自治会関係者など、幅広い住民を対象に市の取り組みや方針を伝えたことにより、住民参画・協働への認識を高めることができた。</p> <p>◎市政出前ふれあいトークの参加者数 実績221人(目標300人)</p>						
5	ボランティア・市民活動推進事業(コミュニティ推進課分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	180千円		71.9%	A	B	B	B	改善継続
市民政策局 コミュニティ推進課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>地域担当協働推進員を対象にした研修を実施し、職員間の情報共有を行ったり、外部講師を招いての講演会を実施した結果、地域課題解決のサポートが担える人材としての資質向上につながった。</p> <p>◎地域担当協働推進研修受講者数 実績187人(目標260人)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
6	広報たかまつ等発行事業 67,654千円	97.8%	A	A	B	A	継続	
	総務局 広聴広報課	<p>(事業概要、事業実績等) 広報たかまつを月2回(毎月1日・15日)発行し、市の重要施策や事業、各種計画などを図表や写真などを用いて掲載し、市民のまちづくりの推進に貢献した。また、「声の広報」として、市内4か所の市立図書館に配置した。</p> <p>◎広報たかまつ配布部数 3,129,157部(目標3,200,000部)</p>						
7	市民相談事業 8,434千円	89.4%	A	A	B	A	継続	
	総務局 広聴広報課	<p>(事業概要、事業実績等) 市民からの意見や要望等をいただき、市政に反映させるほか、日常生活での諸問題について相談に応じて、弁護士・司法書士による法律相談などの各種専門相談を行うことで、市民が抱えている疑問や問題の解決に努めることができた。</p> <p>平成30年度実績 ・市政相談(4,432件) ・一般相談(2,602件) ・専門相談(1,701件)</p> <p>◎法律相談利用者の満足度 実績76%(目標85%)</p>						
8	吹奏楽団事業 2,383千円	103.4%	B	A	B	A	継続	
	総務局 広聴広報課	<p>(事業概要、事業実績等) 地域のイベントや小学校への訪問演奏など、計25公演を行い、演奏活動を通じて、「親しまれる市役所」を目指すとともに、地域の活性化や一体感の醸成に寄与した。</p> <p>また、定期演奏会等の機会を捉え、市政情報の発信を行った。</p> <p>◎聴衆者数(参加者数) 実績14,470人(目標14,000人)</p>						
9	テレビ放送等広報事業 20,042千円	85.0%	A	A	B	B	継続	
	総務局 広聴広報課	<p>(事業概要、事業実績等) 市の重要施策や制度、市民生活に関わりの深い事業など、市民にわかりやすく伝える市政番組を放送し、広く市政に対する関心や理解を深めたほか、郷土の歴史や伝統文化などを紹介する歴史番組等を放送し、本市の持つ魅力を再発見することにより、シビックプライドの醸成に貢献した。</p> <p>・民放市政番組1(12回/年) ・民放市政番組2(3回/年) ・民放歴史番組(2回/年) ・CATV番組(4~5回/日、毎月2回内容更新) ・FMラジオ番組(2回/週(10分番組、15回/週(3分番組))</p> <p>◎民放テレビ広報番組視聴率(年平均) 実績3.4%(目標4%)</p>						
10	ホームページ等管理運営事業 9,684千円	58.3%	A	A	B	C	継続	
	総務局 広聴広報課	<p>(事業概要、事業実績等) 本市の広報媒体の中でも、速報性が高く、より広範囲に情報を発信できるホームページを通じて、本市の施策や制度を始め、重要な市政情報などを、幅広くタイムリーに発信し、市民の市政への理解や関心を高め、参画を促したほか、本市の持つ様々な魅力ある資源や情報を積極的に国内外に発信し、本市のPRに貢献した。</p> <p>また、民間ソーシャルメディアを活用した動画配信サイト「高松ムービー(動画)チャンネル」を開設し、市政情報を始め、観光情報や地域活性化の取組などを紹介した番組を配信した。</p> <p>◎市ホームページ(トップページ)のアクセス件数 実績1,456,607件(目標2,500,000件)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	(評価対象外) 個人情報保護事業 78千円							
	総務局 コンプライアンス推進課	<p>(事業概要、事業実績等) 自治基本条例に基づき、市民の権利について、適切な措置を講じた。高松市個人情報保護条例に基づき、平成30年度に個人情報開示請求のあった148件については、条例に基づき、不開示決定等に対する審査請求1件についても、同条例に基づき、情報公開・個人情報保護審査会への諮問、答申を経て決定がなされる予定である。</p>						
12	(評価対象外) 情報公開事業 217千円							
	総務局 コンプライアンス推進課	<p>(事業概要、事業実績等) 自治基本条例に基づき、適正に情報公開を推進した。高松市情報公開条例に基づき、平成30年度に情報公開請求のあった1,874件(うち16件は取下げ)については、条例に基づき、すべて決定がなされた。また、非公開決定等に対する審査請求は2件あったが、うち1件については、同条例に基づき、情報公開・個人情報保護審査会への諮問、答申を経て決定がなされた。残りの1件についても、同様に同審査会への諮問、答申を経て決定がなされる予定である。</p>						

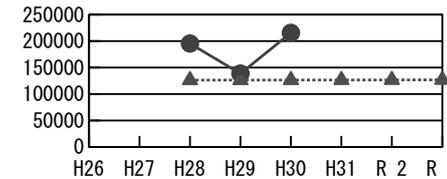
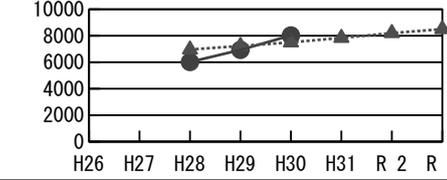
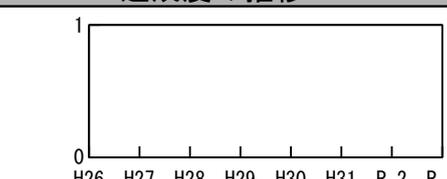
施策	離島の振興
-----------	-------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
18,999千円	A	20.2%	40.6%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政策	参画・協働によるコミュニティの再生
担当局	市民政策局、都市整備局

対象	市民（各島の住民・各島への渡航者）	意図	女木島、男木島及び大島、それぞれの特性をいかした交流・定住人口の拡大を図る。
-----------	-------------------	-----------	--

概要（実績）	離島の活性化を図るため、交流人口の増加・地域振興・活性化に向けた取組を行う。女木・男木島航路に係る利用促進策の実施、離島航路確保維持改善協議会の開催や大島ネットワーク構築に係る情報発信業務や交流ワークショップ開催業務等を行った。
---------------	--

成果指標	①	指標名	各島への年間来島者数	H30実績	H30目標	達成度
				215,572人	126,427人	170.5%
	状況	平成30年度は前年度増の215,572人となり、来島者の目標値（126,427人）を達成した。	達成度の推移			
						
②	指標名	イベント参加者数	H30実績	H30目標	達成度	
		大島振興方策等に基づき、大島振興につながる人権学習などを含む交流活動に取り組み、前年度と比較してイベント等の参加者数は増加した。	8,022人	7,500人	107.0%	
状況			達成度の推移			
						
③	指標名		H30実績	H30目標	達成度	
	状況			達成度の推移		
						

施策の課題	瀬戸内国際芸術祭の開催等により、各島への渡航者が増加傾向にあるが、芸術祭期間以外においても航路等の利用促進が図れるような施策の展開が必要である。
--------------	--

施策の方向性	各島への交流人口を増加させながら、更なる交流・定住を促進するため、多様な主体との連携・協働により各島の魅力を生かした活性化を図る。
---------------	---

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	(評価対象外) 男木交流館管理運営事業 7,222千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 地域振興課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 瀬戸内国際芸術祭を契機として、スペインを代表するアーティストがデザインした現代アート建築物である男木交流館について、必要な維持管理を行った結果、地域と観光客等との交流促進につながった。</p> <p>なお、前年度からの繰越事業である「水盤浄化設備設置工事」事業については、契約締結時に不測の日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：9,990,000円)</p>						
2	大島振興方策推進事業 2,561千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 地域振興課	特別重点	107.0%	A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 大島の将来にわたる振興を図るため、芸術家の創作活動を通じ、大島青松園入所者や子どもたちとの交流を促進する目的で宿泊型ワークショップを開催した。またワークショップを元にした大島マップを発行し、大島青松園や市の関係施設に加え、ホームページやフェイスブックでも情報発信を行った。</p> <p>◎大島交流イベント参加者数(年間総数) 実績8,022人(目標7,500人)</p>						
3	離島航路振興事業 9,216千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 交通政策課		86.1%	A	A	A	A	改善継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 瀬戸内国際芸術祭の影響がない年ということもあり、前年度より利用者は減少したが、平成24年3月に策定した男木～高松航路改善計画に基づき実施している島発往復割引やゴールドI r u C aの提示による高齢者割引の適用等により、航路利用者は基準年度の21年度と比較して約1.16倍に増加している。</p> <p>◎女木・男木島航路利用者比率(基準年：平成21年度) 実績116.44%(目標135.18%)</p>						

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
	政策	相互の特長をいかした多様な連携の推進

総合評価
A

1 政策の概要

相互の特長をいかした多様な連携を推進するため、近隣自治体と連携し、圏域全体の生活関連機能サービスの向上を始め、経済成長や高次の都市機能の集積・強化に資する事業の充実に取り組むとともに、香川県との連携強化を図り、連携事業の創出に取り組みます。
また、産・官・学・金・労等、多様な主体との連携強化を図り、地域経済の活性化や各種課題の解決を目指します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
連携の推進	100%	A
平均	100%	A

3 政策の評価

相互の特長をいかした多様な連携の推進に向けて、1施策に取り組んだ。
「連携の推進」では、設定する2つの成果指標について、目標を達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は100%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
連携の推進	17.0%	11.2%	46.3%
平均	17.0%	11.2%	46.3%

施策	連携の推進
----	-------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,207千円	A	17.0%	46.3%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政策	相互の特長をいかした多様な連携の推進
担当局	市民政策局

対象	国、県、県内市町、産学など	意図	広域的な課題を始め、基礎自治体の在り方や新たな都市圏域の在り方について調査・研究を進めるなど、効果的な連携を推進する。

概要(実績)	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン推進事業においては、協約を締結している2市5町と圏域全体の経済成長のけん引や高次の都市機能の集積・強化、生活関連機能サービスの向上を目指し、関連の事業を実施した。多様な主体との連携事業においては、大学等と特定行政課題に関する調査研究・共同事業を実施するとともに、百十四銀行等民間企業との連携協力に関する協定により、連携・協力事業を行った。また、市長と学長・校長との懇談会を開催し、大学等との連携強化に取り組んだ。広域都市連携事業においては、知事と高松市長とのトップ会談等を開催した。

成果指標	①	指標名	連携中枢都市圏での生活関連機能サービス等連携事業数	H30実績	52事業	H30目標	50事業	達成度	104.0%
		状況	連携中枢都市圏での生活関連機能サービス等連携事業数が52事業となり、目標を達成した。	達成度の推移					
	②	指標名	大学等との連携・協力事業数	H30実績	95事業	H30目標	82事業	達成度	115.9%
		状況	大学等との連携・協力事業数が95事業となり、目標を達成した。	達成度の推移					
	③	指標名		H30実績		H30目標		達成度	
		状況		達成度の推移					

施策の課題	市が広域的な課題に対処するに当たり、高度かつ専門的な内容などを取り扱うことも求められていることから、多様な主体との連携強化などを図る必要がある。
-------	--

施策の方向性	引き続き、都市間の広域連携や国・県・産学との連携を図り、社会の変革に即応した行財政運営を推進する。瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の構成自治体や大学、金融機関など多様な主体との連携事業の拡充を図る。
--------	---

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,207千円	一般重点	97.3%		A	A	B	A
市民政策局 政策課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>連携事業については、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を2回、また若者会議を2回開催し、様々な意見を伺ったほか、連携する2市5町との協議を踏まえ、次年度に向けて、新たに3事業を追加した。</p> <p>また、28年度に構築した、ポータルサイトについて、適切な保守・管理を行いつつ、都市圏ビジョンに基づく取組や本市及び連携市町の魅力を、適宜、発信した。</p> <p>◎圏域で取り組む連携事業の数(都市圏ビジョン掲載事業数) 実績71事業(目標73事業)</p>						
2	(評価対象外) 広域都市連携事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 政策課	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>県との連携について、県市間の重要課題に対する共通理解や意見交換等を行うため、知事と高松市長とのトップ会談を11月に開催したほか、香川県・高松市政策連携会議を開催し、共通の政策課題等について、効果的に取り組むための意見交換、連絡調整を行った。</p>						
3	多様な主体との連携推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 政策課	一般重点	115.9%	180.0%	A	A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>包括協定を締結している大学等と特定行政分野に関する調査研究・共同事業を実施するとともに、金融機関等との連携協力に関する協定に基づき、産業振興による地域活性化及び市民生活の向上に資する事業に取り組んだ。</p> <p>◎大学等との連携・協力事業数 実績95事業(目標82事業) ◎金融機関等との連携協力事業数 実績45事業(目標25事業)</p>						

平成30年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立

総合評価
B

1 政策の概要

健全で信頼される行財政運営を確立するため、市民から信頼される職員を目指し、高松市職員人財育成ビジョンやコンプライアンス推進施策に基づき、職員の意識改革と資質の向上など職員力の向上を図ります。

また、引き続き、行財政改革計画を策定し、進行管理を行う中で、行財政改革の推進を図るとともに、自主財源の確保に努めながら、限られた財源を重点的、効率的に配分することにより、後年度に過大な債務負担を残さないよう効率的で効果的な行財政運営の推進に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
職員力の向上	74%	B
効率的で効果的な行財政運営の推進	91%	A
平均	82%	B

3 政策の評価

健全で信頼される行財政運営の確立に向けて、2施策に取り組んだ。

「職員力の向上」では、設定する3つの成果指標のうち、市職員としてコンプライアンスを理解している職員の割合及び昇任試験受験率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を概ね達成した。

「効率的で効果的な行財政運営の推進」では、設定する3つの成果指標のうち、行財政改革計画の目標達成度において、目標に届かなかったものの、他の2つの指標については、目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は82%となり、政策全体として目指す方向に概ね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満足度	重要度
職員力の向上	21.1%	25.3%	66.2%
効率的で効果的な行財政運営の推進	19.2%	15.7%	56.9%
平均	20.2%	20.5%	61.6%

施策	職員力の向上
----	--------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
27,130,729千円	B	21.1%	66.2%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政策	健全で信頼される行財政運営の確立
担当局	総務局

対象	高松市職員	意図	職員の意識改革、資質向上及び組織の活性化を図るとともに、職員のコンプライアンス意識とモチベーションも向上させる。
----	-------	----	--

概要(実績)
 職員の長時間労働の是正とワーク・ライフ・バランスの推進を図るため、平成29年11月に、働き方改革を推進するリーダー宣言である、高松市版イクボス宣言「もっとイクボス」を行っており、その宣言を実効性のあるものとするために、30年度から3か年、働き方改革重点取組、通称「スマイルプラン」を、全庁を挙げて集中的に取り組むこととした。昇任試験制度においては、受験しやすい環境づくりを行い、資格を有する職員に対し、働きかけるとともに、女性管理職の登用率の向上を図ったが、受験率の向上には至らなかった。自治大学校への派遣研修や公務員倫理研修等の各種研修を行うことで、職員の意識改革とコンプライアンス意識の向上を実現した。

	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合	87.9%	100%
①	状況	「新コンプライアンス推進施策」に基づき、職員の意識改革に主眼を置いた各種取組を進めたが、一部の職種では効果的な研修が実施できなかったことなどから、前年度に比べ2.3ポイント下降し、目標値の達成には至らなかった。		
②	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		昇任試験受験率	9.3%	23%
②	状況	近年、昇任試験の受験資格があるにもかかわらず、受験しない職員が増えており、適宜、昇任試験の制度改正を行ったり、各種研修の充実を図っているが、受験者数を増加させることができなかった。給与制度と連動した、抜本的な改善が必要である。		
③	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		職員数の適正化計画の達成率	99%	100%
③	状況	平成29年3月に、計画を改定したものの、福祉行政など様々な行政需要への対応のため、目標には届かなかった。		

施策の課題
 職務に対する職員のモチベーション及びコンプライアンスに対する意識の向上が必要である。加えて、職員一人一人が、公務員としての自覚を持って職務に取り組むことが求められる。

施策の方向性
 高松市職員人財育成ビジョンに基づき、計画的に研修を実施し、職員力の向上を図るとともに、新コンプライアンス推進施策の各種取組を着実に実施し、信頼される職員を育成する。また、業績評価を盛り込んだ人事評価制度を実施するほか、昇任試験制度も適宜見直しを行うとともに、受験しやすい環境づくりに努め、組織の活性化と市民サービスの向上を図る。加えて、多様な市民ニーズに対応するため、業務に必要な職員数も適正に管理していく。さらに、ワーク・ライフ・バランスの推進と長時間労働の是正に向け、働き方改革として、スマイルプランを継続的に取り組む。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1	コンプライアンス推進事務 4,404千円 総務局 コンプライアンス推進課		87.9% 100.0%	B	A	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 高松市職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に関する条例に基づき、内部公益通報や不当要求行為に対応するなど、職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に取り組んだ。また、「新コンプライアンス推進施策」に基づき、各局において局内全職員を対象に、公務員倫理に係る研修を実施するなど、職員の意識改革に主眼を置いた各種取組を推進した。行政執行過程で生じる諸問題に対応するため、行政問題法律相談を実施するなど、職員のコンプライアンス意識や法的知識の向上に寄与した。 ◎市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合 実績87.9% (目標100%) ◎懲戒処分者数の減少率(対平成26年度比) 実績100% (目標100%)</p>						
2	(評価対象外) 人材育成事業 22,135千円 総務局 人事課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 平成29年3月に一部改定した「高松市職員を財育成ビジョン」に基づき、多様な行政需要に誠意を持って応え、とよみ職員の質・能力向上を図る。高松市版イク・ライ宣言「もっす」の推進を図るため、30年度から3か年、是正改革重点取組、通称「スマイルプラン」に、全庁を挙げて取り組むこととした。</p>						
3	(評価対象外) 職員力向上事業 6,100千円 総務局 人事課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 人事評価制度については、評価者に対する面談研修や新規採用職員に対する制度説明の研修を実施するなどとして、職員の人事評価制度に対する理解を促進するよう取り組んだ。昇任試験制度については、受験しやすい環境づくりに努めたものの受験率の向上には繋がらなかった。</p>						
4	(評価対象外) 人事管理事務 22,008千円 総務局 人事課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 引き続き、職員数の適正化を進めるとともに、人事院勧告に準拠した改定を行い、高松市職員の給与に関する条例等の一部改正を行った。</p>						
5	(評価対象外) 組織機構・事務所管等の見直し事業 総務局 行政改革推進室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 社会状況の複雑な変化や、多様な高度化する市民ニーズを踏まえ、本市が目指すべき都市像である「活力にあふれ創造性豊かな瀬戸の都・高松」を実現するために、効率的・効果的な組織体制の見直しを行った。 1 市民政策局の「コンパクト・エコ推進部」及び「住宅・まちづくり企画課」を廃止し、「交通政策課」を都市整備局に移管 2 都市計画課に「住宅・まちづくり推進室」を新設 3 健康福祉総務課に「地域共生社会推進室」を新設し、長寿福祉課の地域包括ケア推進室を廃止 4 教育局総務課に「学校施設整備室」を新設</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
6	(評価対象外) 職員数適正化事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) 「高松市職員の定員管理計画」を平成29年3月に策定したものの、福祉行政など様々な行政需要への対応のため達成できていない。						
総務局 人事課								
7	(評価対象外) 職員福利厚生事務 107,504千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) 安全衛生委員会を実施し、職場の安全保持及び職員の安全意識高揚を図るとともに、各職場内の一層の自主的な安全活動を推進した。 また、職員の安全管理と疾病を予防するため、産業医による健康・メンタルヘルス相談を実施した。 さらに、職員の心理的な負担の程度を把握し、メンタルヘルス不調を未然に防止するため、ストレスチェックを実施し、職員自身にストレスへの気づきを促した。						
総務局 人事課								

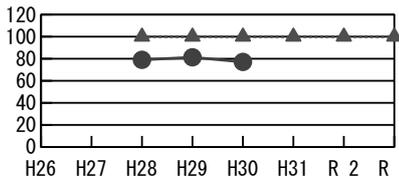
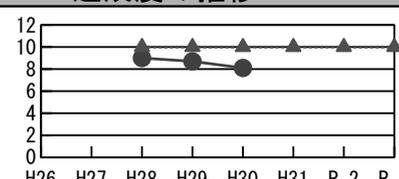
施策	効率的で効果的な行財政運営の推進
-----------	------------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
38,459,958千円	A	19.2%	56.9%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政策	健全で信頼される行財政運営の確立
担当局	総務局、市民政策局、市議会事務局、健康福祉局、財政局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、都市整備局、公平委員会、創造都市推進局、出納室

対象	市民	意図	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応できる、効率的で効果的な行財政運営を推進し、より質の高い適切な公共サービスの提供を継続する。
----	----	----	--

概要(実績)
 「効率的な行政運営の推進」では、シティプロモーションの一環として、導入を予定している高松版図柄入りナンバープレートの国への提案デザインを決定したほか、ファシリティマネジメント推進事業において、「高松市公共施設再編整備計画」の策定等により、財政負担の軽減や平準化に向けた取り組みを進めた。総合センター整備事業では、市民の利便性向上のため、中部総合センター(仮称)の実施設計、幼児健康診査の機能を有する保健センターの整備に係る施設の配置や設備等の検討を実施した。「健全な財政運営の推進」では、ふるさと高松応援寄附制度において、制度の趣旨を遵守しつつ、寄附金の使途となる事業の積極的PR、お礼品の見直し等を行ったほか、制度を活用したクラウドファンディングを実施した。また、競輪事業においては、コスト縮減と売上拡大を図る取組を行い、一般会計への繰出を行った。「電子行政の推進」では、社会保障・税番号制度推進事業において高松市ポイントのサービスを開始したほか、電気通信サービス等の安定した利用環境の提供や、ICTを活用したスマートシティの推進により、生活の利便性や快適性を向上させた。

成果指標	指標名	H30実績	H30目標	達成度
		① 状況	77.1%	100%
		達成度の推移		
	計画記載の実施項目105件のうち、関係者等との協議を要する事業において遅れが生じたことや、前年度は目標を達成できていたが、30年度においては社会情勢の変化等により目標を達成できなかった事業があったことなどから、達成度が「達成」及び「おおむね達成」となった事業は81件となり、目標を下回った。			
	② 状況	92.1%	90%	97.7%
	経常収支比率	達成度の推移		
	30年度は、経常経費が増加(+14億円)したことや、地方交付税などの経常一般財源が減少(▲4億円)したことにより、前年度比で、1.9ポイント上昇し、目標の90%以下を達成できなかった。			
	③ 状況	8.1%	10%	119.0%
	実質公債費比率	達成度の推移		
	元利償還金(繰上償還分除く)の減等により、前年度比で、0.6ポイント改善し、目標を達成した状況を継続している。			

施策の課題
 高松版図柄入りナンバープレート制度の周知・啓発により、地元高松に対する誇りや郷土愛を醸成するほか、地域行政組織再編計画及び社会保障・税番号制度の推進、ICT・データを活用したスマートシティの実現に向けた取組の推進等により、市民の利便性や行政効率を向上させる必要がある。
 また、事業の選択と集中、ふるさと高松応援寄附制度の積極的PR等により、財源を確保するとともに、公共施設については、ファシリティマネジメントの観点から、保有総量の適正化や配置の見直し等を進め、財政負担の軽減化・平準化に努める必要がある。

施策の方向性
 多様化する市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応できる、効率的で効果的な行財政運営を推進し、健全で信頼される行財政運営の確立を目指す。

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1	(評価対象外) 企画調整事務 2,164千円 市民政策局 政策課					
		(事業概要、事業実績等) 全国的な意見交換会や研修会等に参加するほか、地方への人材還流や幼児教育・保育の無償化問題など、同様の課題を持つ自治体との協議・意見交換等を行ったことにより、課題の解決及び効率的な事業実施に寄与した。						
2	自治推進事業 59千円 市民政策局 政策課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			88.2%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 高松市自治基本条例逐条解説の公開や、高松市自治基本条例パンフレット等の配布により、条例について市民への周知、啓発や職員への研修等を行った。また、高松市自治推進審議会を1回(10月)開催し、同条例の見直しの必要性及びホームページ等による効果的な情報発信等について協議した。 ◎施策全体の満足度(市民満足度調査)実績25.3%(目標28.7%)						
3	高松版図柄入りナンバープレート導入事業 391千円 市民政策局 政策課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点		A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 高松版図柄入りナンバープレートの国への提案デザインについて、広く公募し、選考委員会等の審査・選考を経て、市民投票によって決定した。その結果、市民の方が地元に着目して愛着を持ってもらえるようなデザインを提案することができた。 ナンバープレート交付枚数(目標2,000枚)						
4	(評価対象外) 総合計画推進事業 1,199千円 市民政策局 政策課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) 市民の意見を市政に反映させるため、第6次高松市総合計画に掲げる施策に対する満足度等のほか、「高松市への愛着度」や「市政への関心」等について、市民満足度調査を実施した。また、総合計画を市民に広く周知し、本市が目指すべき都市像を共有するため、総合計画概要版を作成し、市民に配布した。 ・市民満足度調査回答率 44.0%(1,101人/2,500人) ・施策全体の満足度 25.3%(前年比+1.7ポイント) ・施策全体の不満足度 16.6%(前年比△1.0ポイント)						
5	(評価対象外) たかまつ創生総合戦略推進事業 56千円 市民政策局 政策課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) たかまつ創生総合戦略推進懇談会を開催し、総合戦略に掲載している各事業の進捗状況を評価するなど、進行管理等を行った。						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	総合センター整備事業（地域振興課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	139,545千円	特別重点	100.0%	100.8%			A	A
市民政策局 地域振興課		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>中部総合センター（仮称）については、用地を取得し、実施設計に着手したほか、防火水槽工事、埋蔵文化財調査等を行った。 東部南総合センター（仮称）については、基本設計をとりまとめた。 ◎総合センターへの移行施設数 実績4箇所（目標4箇所） ◎総合センターの取扱業務数 実績241業務（目標239業務）</p> <p>なお、中部総合センター（仮称）実施設計、防火水槽工事については、工程調整に日時を要したことなどにより、年度内の事業の一部を翌年度に繰り越した。（繰越明許費繰越額：20,043,000円） また、前年度からの繰越事業である東部南総合センター（仮称）の基本設計については完了した。（平成29年度繰越明許事業費：3,747,600円）</p>						
7	（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（地域振興課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	25,988千円	<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>本課所管の支所・出張所において、住民にとっての市民サービスの向上に努めた。</p>						
市民政策局 地域振興課								
8	（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（牟礼総合センター分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	20,541千円	<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>総合センター化により、本庁機能を分散する受け皿としての役割を担うとともに、窓口サービスや相談業務の拡充により、地域に身近な行政組織として、住民福祉や利便性の向上に寄与した。</p>						
市民政策局 牟礼総合センター								
9	（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（香川総合センター分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	35,034千円	<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>総合センターとなり、香川、塩江、香南地域はもとより、それ以外の市民の方の来庁者が増えたことにより、地域における行政組織の総合的な窓口として市民サービスの向上に寄与した。</p>						
市民政策局 香川総合センター								
10	（評価対象外）支所・出張所管理運営事業（勝賀総合センター分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,501千円	<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>施設開設後2ケ年の窓口処理実績について、市民課業務、市税関係業務、保険・福祉関係業務、管理係業務の全てにおいて取り扱い件数が増加している。高松市西部北地域の拠点施設としての認知度も着実に高まっていることに加えて、中心地（本庁）に近い地理的要件からも、今後も窓口利用者の増加が見込まれ、更なる市民サービス向上に寄与できるものと期待が寄せられている。</p>						
市民政策局 勝賀総合センター								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	(評価対象外) 支所・出張所管理運営事業 (国分寺総合センター分)							
	41,858千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>市民により近いところで幅広いサービスを提供する総合センターの役割を十分に果たし、市民サービスの向上に寄与するとともに、総合センターの運営経費についても、真に必要なもののみとし、効率的に効果が得られるように努めた。</p>						
	市民政策局 国分寺総合センター							
12	(評価対象外) 工事請負契約等事務							
	19,779千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>工事及び物品に係る入札等について、「かがわ電子入札システム」を利用した契約事務を執行することにより、入札手続の透明性を確保するとともに、市及び入札参加業者の入札事務の効率化に寄与した。</p>						
	財政局 契約監理課							
13	(評価対象外) 戸籍・住民基本台帳事務							
	79,718千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>市内に本籍若しくは住所を定める日本人及び外国人からの戸籍届出や住民異動届出等に基づき、戸籍簿や住民基本台帳等を適正に管理するとともに、住民票の写し等の各種証明書交付事務を実施した。</p>						
	市民政策局 市民課							
14	(評価対象外) 自動車管理事務							
	72,365千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>公用車を一括管理することにより、車検・点検・修繕関係等を計画的に実施するなど、保険・燃料関係を含めた公用車の適正管理を行った。</p> <p>なお、五番町公用車駐車場ブロック塀改修工事に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：702,000円)</p>						
	財政局 財産経営課							
15	(評価対象外) 公有財産管理事務							
	39,214千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>公有財産の適正管理を行うとともに、未利用財産の貸付けや売払処分などの有効活用により、公有財産管理に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸付け35件、貸付収入11,087,944円 随意契約による売払い1件(30.00㎡)、売払収入100,000円 <p>なお、公有財産管理システム改修内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：2,463,000円)</p>						
	財政局 財産経営課							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
16	(評価対象外) 庁舎等管理事務 468,455千円							
	財政局 財産経営課	<p>(事業概要、事業実績等) 利用者に安全で快適な環境を提供するため、本庁舎設備のほか、不具合箇所については随時修繕を実施したことにより、庁舎等の適切な維持管理を行った。</p>						
17	総合センター整備事業（保健センター分） 3,714千円	重点 特別重点	成果達成度 100.0% 100.8%	妥当性 A	有効性 A	効率性 A	総合評価 A	今後の方向性 継続
	健康福祉局 保健センター	<p>(事業概要、事業実績等) 中部総合センター（仮称）の実施設計を行う中で、幼児健康診査の機能を有する保健センターの整備に係る施設の配置や設備等の検討を実施した。</p> <p>◎総合センターへの移行施設数 実績4箇所（目標4箇所） ◎総合センターの取扱業務数 実績241業務（目標239業務）</p> <p>なお、工程調整に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業費の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：10,364,000円）</p>						
18	(評価対象外) 行政改革推進事業 292千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 行政改革推進室	<p>(事業概要、事業実績等) 平成28年度から4年間を計画期間とする第7次高松市行財政改革計画に基づき、市政全般にわたって行財政改革に取り組み、358,562千円の節減を図ったほか、事務事業の改革・改善の実効性を高めるため、高松市行財政改革推進委員会による外部評価を実施した。</p>						
19	(評価対象外) 公文書館管理運営事業 15,381千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 歴史公文書等の収集や選別を行い、それらを適切に保存するとともに、インターネット上の検索システムへの登録や掲載を行い、市民等と利用に供した。また、公文書館や歴史公文書等の役割などについて広く知ってもらうため、市民の防災意識の向上につなげるため、公文書館及び防災合同庁舎1階の「たかまつ防災プラザ」において企画展「高松を襲った危機」を開催した。このほか、小学生親子を対象とした夏休み子ども講座「公文書館ってなに？」を実施した。</p> <p>来館者数 390人</p>						
20	(評価対象外) 市有建築物設計監理監督事務 16,640千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 建築課	<p>(事業概要、事業実績等) 主管課からの依頼を受け、高松第一高等学校改築、屋島山上拠点施設（仮称）建設等の実施設計を行った。また、高松市立みんなの病院、高松市立栗林小学校、高松市立多肥小学校増築等の工事監理を行ったほか、安全・安心で良質なストック整備事業の支援及び技術的な助言を行った。</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
21	総合センター整備事業（行政改革推進室分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 行政改革推進室	特別重点	100.0%	100.8%	A	A	A	A
		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>市民により近いところで幅広い行政サービスを提供できるよう、平成28年度にオープンした牟礼、香川、勝賀、国分寺の4つの総合センターについて、事務取扱状況を検証した。取扱件数が増加しており、市民の利便性が向上している。</p> <p>◎総合センターへの移行施設数 実績4箇所（目標4箇所） ◎総合センターの取扱業務数 実績241業務（目標239業務）</p>						
22	ファシリティマネジメント推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,142千円 財政局 ファシリティマネジメント推進室		100.0%		A	B	B	A
		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>公共施設の保有総量の適正化や配置の見直し等を進め、財政負担の軽減化・平準化を図るため「高松市公共施設再編整備計画」を策定した。</p> <p>◎各種方針・計画等の進捗率 実績100%（目標100%）</p> <p>なお、公共施設マネジメントシステム改修内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。（繰越明許費繰越額：162,000円）</p>						
23	（評価対象外）議員報酬、市長及び副市長の給料等審議会事務	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	130千円 総務局 総務課							
		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>市長からの諮問に応じ、高松市議員報酬、市長及び副市長の給料等審議会を3回開催し、議員報酬の額、市長及び副市長の給料の額、議会における政務活動費の額について審議、答申した。</p> <p>審議結果（平成30年度答申）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員報酬の額 据置き ・市長及び副市長の給料の額 据置き ・議会における政務活動費の額 据置き 						
24	（評価対象外）統計調査事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	16,651千円 総務局 情報政策課							
		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>住宅・土地統計調査や学校基本調査など、統計法に基づく各種基幹統計調査等を実施した。</p>						
25	（評価対象外）監査事務	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,335千円 監査委員事務局 監査委員事務局監査課							
		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>平成30年度高松市監査実施計画に基づき、①補助金交付事務②財産の管理③行財政改革計画の検証を重点取組事項とし、事務改善や行財政改革の推進に資する監査を実施するとともに、監査結果、措置通知等の公表は市民に対し、分かりやすく情報発信を行った。</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
26	(評価対象外) 議会事務							
	600,209千円 市議会事務局 総務調査課	<p>(事業概要、事業実績等) 議員の調査研究に資するため、政務活動費を交付し、調査活動の充実に寄与した。市民への議会情報提供として、インターネットによる議会映像の配信や、議会議事録の公開、市議会ホームページへの掲載、市民会報誌「たかまつ市だより」の配布及び市議会ホームページへの掲載交換会広報誌「たかまつ市だより」の配布、高松第一高等学校生徒との意見交換会、議会活動資料として、議会録音開始、市政概況、主要・新規事業調べ、議員ハンドブックなどを作成し、議員等に提供した。なお、平成30年6月から導入したタブレット端末を利用して、順次ペーパーレス化を進めている。</p>						
27	(評価対象外) 一般行政事務							
	42,522千円 総務局 総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 適正な行政運営を推進するため、報道機関がインターネットを通じてリアルタイムで配信する行政情報サービスを活用したほか、包括外部監査を実施した。また、市長、副市長の秘書業務及び貴賓の接遇を行った。 包括外部監査テーマ 教育及び子育てに関する財務事務の執行について</p>						
28	(評価対象外) 市政功労者表彰事務							
	584千円 総務局 総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 多年にわたり公益の増進や市政の振興発展に寄与され、その功績が顕著な方々に、高松市表彰条例に基づき市政功労者表彰を行った。平成30年度は市政功労者表彰式を平成31年2月15日に開催し、9人と2団体に対し、市長表彰を行った。人目につきにくい分野やボランティア分野など幅広い分野からの候補者の掘り起こしに努めるため、各部署に積極的な呼びかけを行ったが、各部署からの候補者推薦件数は、昨年度(17人と1団体)より7件減の11件であった。</p>						
29	(評価対象外) 公平委員会事務							
	847千円 公平委員会事務局 公平委員会事務局	<p>(事業概要、事業実績等) 地方公務員法に基づき、中立的かつ専門的な人事機関として、人事行政の公平性・中立性の確保や職員の権利を保護するため、臨時会を開催した。 平成30年度実績 1 公平委員会臨時会 4回開催 2 職員の勤務条件に関する措置要求及び不利益処分に対する審査請求 0件 3 職員からの苦情相談の実施 2件 4 職員団体の登録等に関する事務 3件</p>						
30	(評価対象外) 文書事務							
	42,707千円 総務局 総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 1 本庁舎PCC複写機19台を職員の利用に供した。 (用紙購入枚数約1,297万枚(A4換算)) 2 201件の例規の制定・改廃を行った。 3 メールカーによる支所・出張所等集配便により約35万9,000件の文書を集配した。 4 文書管理システムにおける電子決裁率が98.1%となった。</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
31	(評価対象外) 選挙管理委員会事務							
	11,366千円	<p>(事業概要、事業実績等) 公職選挙法の規定に基づき各種選挙の管理執行について、選挙管理委員会で決 定を行ったほか、市内の小学校児童、中学校・高等学校の生徒に「明るい選挙 発案コンテスト」を募集し、I K O D E 瓦町でポスター展を開催した。また、香川 県や明石市選挙推進協議会と共同で、高松南部3町ドームにおいて、高松大学、高 松大学・同短期大学、高等専門学校において、模擬投票開票などの選挙啓発を行ったことにより、若年層における 有権者意識が向上した。</p>						
	選挙管理委員会事務局 選挙課							
32	(評価対象外) 選挙執行事務							
	176,554千円	<p>(事業概要、事業実績等) 公職選挙法等に基づき、香川県知事選挙及び香川県議会議員補欠選挙の管理執 行を適正に行った。開票事務においては、投票用紙自動読取分類機10台を使用したことにより、 当初の想定より約20分早く作業が終了した。また、8つの土地改良区の総代選挙を執行した。</p>						
	選挙管理委員会事務局 選挙課							
33	(評価対象外) 行政不服審査事務							
	148千円	<p>(事業概要、事業実績等) 行政不服審査法に基づき、行政庁の処分に関して、高松市長に対し審査請求が 行われた件について、審理員による審理手続、行政不服審査会への諮問を経て裁 決を行うなど、適切な対応を行った。</p> <p>平成30年度実績 審査請求の受付件数 4件 行政不服審査会の開催 3回</p>						
	総務局 総務課							
34	(評価対象外) 牟礼浄化苑多目的広 場管理事業							
	307千円	<p>(事業概要、事業実績等) 牟礼浄化苑多目的広場の適切な維持管理に取り組んだ。</p>						
	総務局 総務課							
35	(評価対象外) 基金管理事務							
	3,214,928千円	<p>(事業概要、事業実績等) 基金については、12月補正において、合併特別債を活用し、地域振興基金を 32億円を積み立てたことにより、年度末には一定の基金残高を維持できた。 しかしながら、財政調整基金のみの残高は、平成30年度末で約92.4億円 となり、中期財政収支見通しでは、今後大幅な財源不足が見込まれることから、 引き続き、基金の適正規模の確保に努める。</p>						
	財政局 財政課							

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
36	(評価対象外) 財政管理事務 15,085千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		<p>(事業概要、事業実績等) 厳しい財政状況の中、将来を見据え、まちづくりを着実に推進するため、「第2期まちづくり戦略計画」を掲げ、事業の進捗を把握し、必要に応じて、財政運営の改善を図るとともに、民間企業等と連携し、市民の生活向上に努める。また、市民の生活向上に努める。また、市民の生活向上に努める。</p> <p>平成29年度繰越明許事業費：7,668,000円</p>						
<p>平成30年度決算(見込み)における主な財政指標(前年度) ・経常収支比率92.1%(90.2%)平成29年度中核市平均92.2% ・実質公債費比率8.1%(8.7%)平成29年度中核市平均6.5% ・自主財源比率50.6%(48.4%)平成29年度中核市平均49.9%</p>	<p>重点</p> <p>成果達成度</p> <p>妥当性</p> <p>有効性</p> <p>効率性</p> <p>総合評価</p> <p>今後の方向性</p>							
<p>37</p> <p>(評価対象外) 市債管理事務 17,616,386千円</p>	<p>(事業概要、事業実績等) プライマリーバランスに留意し、事業の平準化や市債発行額の抑制に努めたものの、大型建設事業の進捗等により、市債残高が増加した。今後においても、借入に際しては、交付税措置のある市債を選択するとともに、事業の緊急や必要性を検討することにより、投資的業務の重点化・効率化、後年度負担の抑制に努める。</p> <p>平成30年度末市債残高(前年度比較) 一般会計177,868,337千円(+2,691,115千円) 上記のうち臨時財政対策債を除く残高102,267,801千円(+1,811,742千円)</p>							
<p>38</p> <p>(評価対象外) 予備費管理事務 13,585,769千円</p>	<p>(事業概要、事業実績等) 西日本豪雨による被災地への支援活動経費や、台風20・21・24号に伴う災害時応急措置経費や消防団員出動報酬等について、予備費充當を行った。今後とも、突発的な経費の支出又は予算超過の支出に充てるための、予備費の適正な管理に努める。</p>							
<p>39</p> <p>競輪事業 13,585,769千円</p>	<p>重点</p> <p>成果達成度</p> <p>妥当性</p> <p>有効性</p> <p>効率性</p> <p>総合評価</p> <p>今後の方向性</p>	99.9%		A	A	B	A	継続
<p>(事業概要、事業実績等) 昭和25年度から自転車競技法に基づき、①自転車その他の機械工業の振興、②体育、社会福祉などの公益の推進、③地方財政の健全化を図るため、競輪事業を実施している。厳しい経営環境の中、ナイター場外発売やミッドナイト競輪の実施など、様々な車券売上げの増加策を講じるとともに、各種経費の見直しを行い、経営改善に取り組んだ。</p> <p>◎車券発売収入 実績13,470,003千円(目標13,490,000千円)</p>	<p>重点</p> <p>成果達成度</p> <p>妥当性</p> <p>有効性</p> <p>効率性</p> <p>総合評価</p> <p>今後の方向性</p>							
<p>40</p> <p>ふるさと高松応援寄附促進事業 45,026千円</p>	<p>(事業概要、事業実績等) 制度の趣旨を遵守しつつ、より多くの方々から応援していただけるよう、寄附金用途となる事業をホームページ等を活用し積極的にPRするとともに、お礼品の追加・見直しなどを行ったほか、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディング「世界盆裁プロジェクト～高松が切り拓く世界のBONSAI」を実施したが、寄附金額、寄附人数とも目標を下回った。</p> <p>◎ふるさと納税寄附人数実績4,390人(目標13,478人) ◎ふるさと納税寄附金額実績1億487万5千円(目標2億円)</p>							
<p>40</p> <p>ふるさと高松応援寄附促進事業 45,026千円</p>	<p>重点</p> <p>成果達成度</p> <p>妥当性</p> <p>有効性</p> <p>効率性</p> <p>総合評価</p> <p>今後の方向性</p>	32.6%	52.4%	A	A	B	C	継続
<p>重点</p> <p>成果達成度</p> <p>妥当性</p> <p>有効性</p> <p>効率性</p> <p>総合評価</p> <p>今後の方向性</p>								

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
41	(評価対象外) 収納管理事務 457,795千円							
	財政局 納税課	<p>(事業概要、事業実績等) 昨年度に引き続き、納税案内センターを設置し、市税現年課税分の納期別滞納者に対し、早期の納付等と呼び掛ける電話催告・文書送達業務を継続し、現年における収納率を維持するとともに、差押処分等行う必要がある滞納繰越件数を削減した。</p> <p>なお、納税案内センターの契約見直しに伴う、税系システムの改修内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：810,000円)</p>						
42	(評価対象外) 市民税等課税事務 79,127千円							
	財政局 市民税課	<p>(事業概要、事業実績等) 従業員の納税の利便性の向上や、収納率向上対策の一環として、特別徴収未実施の事業所に対し、制度の利用を推進した。 また、平成31年度から県内全市町で実施される特別徴収完全実施に向け、年末調整説明会等で周知を行った。</p> <p>給与所得者に占める特別徴収の割合 81.7% (前年度比+1.2%)</p>						
43	(評価対象外) 固定資産税等課税事務 72,726千円							
	財政局 資産税課	<p>(事業概要、事業実績等) 土地、家屋及び償却資産の当初課税事務や課税客体の補足事務を行った結果、平成31年度固定資産税の当初調定は、総額で259億924万円(前年度比2.0%増)、納税義務者数で173,643人(前年度比0.4%増)となった。</p>						
44	(評価対象外) 会計管理事務 44,742千円							
	出納室	<p>(事業概要、事業実績等) 公金の収納・支払事務を始め、出納員検査等を実施し、適正かつ効率的な会計事務を行った。</p> <p>出納員及び分任出納員等の職務執行状況検査 114件 審査出納員の職務執行状況検査 29件 指定金融機関等の公金収納及び支払事務等検査 54件</p>						
45	(評価対象外) 債権管理適正化推進事業 645千円							
	財政局 債権回収室	<p>(事業概要、事業実績等) 債権所管課において回収に取り組んだものの回収が困難な強制徴収公債権、非強制徴収公債権及び私債権について、効果的・効率的な回収を行うため、納税課の滞納処分等の徴収ノウハウを活かし、預金等の差押えなど徴収強化に取り組むとともに、収納担当者実務研修会を開催するなどにより、各債権所管課の債権管理の取組のレベルアップにつなげた。</p> <p>債権回収額(30年度実績) 26,171,745円 債権管理に関する研修会 4回</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
46	(評価対象外) 塩江ケーブルネットワーク管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	19,509千円							
市民政策局 香川総合センター		<p>(事業概要、事業実績等) 民営化した塩江ケーブルネットワークを安定供給するため、ケーブルなどの維持管理を行うことにより、塩江住民の情報化の推進に寄与した。</p>						
47	社会保障・税番号制度推進事業(市民課分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	95,402千円	一般重点	30.7%	17.6%	A	A	A	D
市民政策局 市民課		<p>(事業概要、事業実績等) マイナンバーカードの普及促進を図るため、タブレット端末による写真撮影及びインターネット申請を行うサービスなどを継続して実施したことにより、前年度よりマイナンバーカードの交付枚数は増加した。 ◎コンビニにおける証明書発行数 実績13,194通(目標43,000通) ◎マイナンバーカード交付枚数(累計) 実績52,830枚(目標300,000枚)</p> <p>なお、マイナンバーカード作成等事業の実施主体である国が、事業の一部を翌年度に繰り越したため、当該事業を繰り越した。 (繰越明許費繰越額:42,812,000円) また、前年度からの繰越事業であるマイナンバーカード作成等事業については完了した。(平成29年度繰越明許事業費:33,490,600円)</p>						
48	官民データ活用推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	7,696千円	特別重点	83.3%		A	A	A	A
総務局 ICT推進室		<p>(事業概要、事業実績等) 「官民データ活用推進基本法」の市町村「官民データ活用推進計画」として、スマートシティたかまつ推進プランを策定したことにより、本市のICT施策の方向性が明確になった。 また、オープンデータサイトの構築やIoTやオープンデータを活用したアイデアソン等の開催により、オープンデータの公開件数や利活用件数が増加した。 ◎オープンデータ件数 実績75件(目標90件)</p>						
49	社会保障・税番号制度推進事業(情報政策課分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	30,403千円	一般重点	30.7%	17.6%	A	A	A	D
総務局 情報政策課		<p>(事業概要、事業実績等) 個人番号制度の円滑な導入・推進を図るため、国の動向を踏まえシステムの整備方法を検討した。また、マイナンバーカードの普及を促進するために、マイナポータルと連動し、カードの新たな付加価値として、介護びったりサービスの導入を検討し、本年度、一部を導入した。 ◎コンビニにおける証明書発行数 実績13,194通(目標43,000通) ◎マイナンバーカード交付枚数(累計) 実績52,830枚(目標300,000枚)</p>						
50	社会保障・税番号制度推進事業(行政改革推進室分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	140千円	一般重点	30.7%	17.6%	A	A	A	D
総務局 行政改革推進室		<p>(事業概要、事業実績等) 29年度にはマイナンバーによる情報連携及びびったりサービスの本格運用が開始され、市の一部手続きで添付書類の省略及び電子申請手続きが可能となるなど、市民の利便性が向上した。30年度は、マイナンバーカード利活用策の一つとして、新たに高松市ポインツのサービスを開始したほか、前年度から継続して、タブレット端末を使用し、写真撮影とインターネット申請を行うマイナンバーカード申請受付サービスを、市民課窓口、イベント会場、確定申告会場等で行うなど、普及を促進した。 ◎コンビニにおける証明書発行数 実績13,194通(目標43,000通) ◎マイナンバーカード交付枚数(累計) 実績52,830枚(目標300,000枚)</p>						

平成30年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
51	情報処理システム管理運営事業 906,995千円 総務局 情報政策課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				100.0%		A	A	A
		<p>(事業概要、事業実績等) システム障害等インシデント発生時も迅速かつ適切に対応し、情報システムや情報インフラを安定的かつ効率的に運営管理した。 ◎インシデント解決率 実績100% (目標100%) なお、新元号へのシステム改修対応について、事業の一部を翌年度に繰り越した。(繰越明許費繰越額：1,734,000円)</p>						
52	データ利活用型スマートシティ推進事業 10,095千円 総務局 ICT推進室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	66.7%		A	A	A	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 産学民官の多様な主体が参画するスマートシティたかまつ推進協議会と連携を図りながら、IoT共通プラットフォーム上で、防災・観光・福祉・交通など、様々な分野での取組を推進するとともに、ワークショップや勉強会などを開催し、協議会の活性化に向けた取組を推進したことにより、ICT・データの活用により地域課題の解決を図る「スマートシティたかまつ」の実現に寄与した。 ◎共通プラットフォームで収集・分析するデータ種別数 実績4種類 (目標6種類)</p>						
53	超高速情報通信網整備事業 13,159千円 総務局 情報政策課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			99.9%		A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 池田町の一部、西植田町、東植田町、菅沢町及び庵治町東部については、公設民営方式で整備した光ファイバー網により、電気通信サービス等の安定した利用環境の提供及び設備の運用管理を実施し、また、女木島、男木島においては、WiFiスポットを整備し、地域住民の情報化の推進に寄与した。 ◎市域における整備率 実績99.8% (目標99.9%)</p>						
54	庁内ネットワーク再構築事業 39,395千円 総務局 情報政策課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%		A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等) 平成26年度に策定した「次期庁舎内及び危機管理センターネットワーク基本設計書」に基づき、平成30年度は危機管理センターを整備した。 ◎本庁舎ネットワーク再構築進捗率 実績100% (目標100%)</p>						

(参考)

**第6次高松市総合計画に
掲げる施策の目標と実績**

(参考)

第6次高松市総合計画に掲げる施策の目標と実績

1 健やかにいきいきと暮らせるまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値 (H30)	目標値 (R5)
子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実	子どもの成長への支援	1歳6か月児健康診査受診率	1歳6か月児健康診査対象者のうち受診した割合	94.1%	95.0%
		認定こども園数	教育・保育施設のうち認定こども園の施設数	17施設	12施設
		自立支援プログラム策定者の就職率	母子・父子自立支援プログラム策定者のうち就職に至った割合	72.2%	90.0%
	子育て家庭への支援	子育て支援拠点施設設置割合	教育・保育提供区域のうち、子育て支援拠点施設ができている割合	100.0%	100.0%
		放課後児童クラブ入会率	放課後児童クラブ利用申込者のうち入会した割合	94.7%	100.0%
		保育施設等待機児童数	4月1日現在での保育施設等待機児童数	62人	0人
支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成	地域福祉の推進	民生委員・児童委員の充足率	条例で定める民生委員・児童委員の定数の充足割合	97.7%	100.0%
		指導監査における文書指摘がない社会福祉法人等の割合	指導監査を行う社会福祉法人及び社会福祉施設のうち文書指摘がない法人・施設の割合	48.7%	70.0%
	地域包括ケアシステムの構築	要介護者の在宅比率	在宅での要介護認定者の割合	79.1%	79.2%
		自立高齢者率	介護・支援を必要としない65歳以上の高齢者の割合	78.8%	74.6%
		自立後期高齢者率	介護・支援を必要としない75歳以上の高齢者の割合	61.8%	57.3%
	障がい者の自立支援と社会参加の促進	施設入所者の地域生活への移行者数(累積)	障害者支援施設から持ち家、賃貸住宅、グループホーム等へ移行した障がい者数	92人	99人
		福祉施設から一般就労への移行者数	就労系障害福祉サービス事業所から一般就労へ移行した障がい者数	55人	54人
	生活困窮者等への自立支援	勤労収入の増加による生活保護廃止率	生活保護廃止世帯数に占める勤労収入の増加による廃止世帯数の割合	10.5%	22.0%
		支援プラン作成率	自立相談支援センターたかまつでの新規相談受付件数に占める支援プラン作成割合	15.3%	50.0%
	健康で元気に暮らせる環境づくり	健康づくりの推進	介護保険の要介護2～5の認定率	65歳以上で、介護保険の要介護2～5の認定者の割合	10.8%
がん検診受診率			本市が行うがん検診を受診した市民の割合	10.0%	50.0%
内臓脂肪症候群該当者出現率(国保ベース)			特定健康診査受診者に占める内臓脂肪症候群該当者の割合	21.2%	13.7%

健康で元気に暮らせる環境づくり	医療体制の充実	立入検査違反率	立入検査を行った医療施設のうち、違反が認められた施設の割合	23.5 %	40.1 %
		地域医療機関からの紹介率	市民病院に地域の医療機関から患者を紹介された割合	58.0 %	60.0 %
		地域医療機関への逆紹介率	市民病院が地域の医療機関に患者を紹介した割合	62.0 %	85.0 %
	社会保障制度の適切な運営	国民健康保険の被保険者1人当たりの保険給付費	保険給付費を国民健康保険の被保険者数で割った数	369,981 円	427,000 円
		介護保険サービス利用率	要介護（要支援）認定者に占める介護保険利用者の割合（いずれも第2号被保険者含む）	83.3 %	84.2 %
		1人当たり介護サービス費用額	介護保険サービス利用者1人当たりの介護給付費費用額（いずれも第2号被保険者含む）	148,693 円	146,900 円

2 心豊かで未来を築く人を育むまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値 (H30)	目標値 (R5)
男女共同参画社会の形成	男女共同参画の推進	審議会等における女性委員の割合	本市審議会等における女性委員の割合	39.4 %	44.0 %
		事業所における女性従業員の割合	市内事業所における女性従業員の割合（アンケート調査）	31.0 %	50.0 %
		男性の育児休業者がいた事業所の割合	1年間に男性に育児休業者がいた市内事業所の割合（アンケート調査）	2.6 %	6.3 %
社会を生き抜く力を育む教育の充実	学校教育の充実	学校評価平均評価得点（確かな学力の育成に関すること）	各校の評価得点（最高値4点、最低値1点）の平均点	3.25 点	3.5 点
		学校評価平均評価得点（体力・運動能力の育成に関すること）	各校の評価得点（最高値4点、最低値1点）の平均点	3.2 点	3.5 点
	学校教育環境の整備	学校施設長寿命化整備の進捗率	学校施設整備計画（仮称）に基づく平成35年度末の長寿命化整備工事計画棟数を100とした場合の進捗率	10.0 %	100.0 %
		教育用PCのうち、タブレット端末の配置割合	教育用PCのうち（PC教室除く）、タブレット端末の配置割合	24.1 %	50.0 %
	子どもの安全確保	子ども人口千人当たりの不審者情報メール配信先件数	15歳未満の子ども人口千人当たりの不審者情報メールを配信した相手先の件数	9.4 件	9.1 件
		通学路合同点検計画における達成率	高松市通学路交通安全プログラムにおける通学路合同点検の計画目標値に対する達成割合	80.0 %	100.0 %

社会を生き抜く力を育む教育の充実	青少年の健全育成	子ども会加入率	子ども会会員となっている児童の割合	68.1 %	73.0 %
		少年人口千人当たりの補導人数	5～19歳の少年人口千人当たりの少年育成センター・少年育成委員・高松地域生徒指導推進協議会等による補導活動で補導された人数	5.0 人	17.1 人
	家庭・地域の教育力の向上	地域交流事業を実施している割合	子どもを中心にした地域交流事業を実施している地域の割合	43.2 %	100.0 %
		朝ごはん摂取率	全国学力学習状況調査において、朝ごはんを毎日摂取している小学6年生の割合	83.3 %	91.0 %
	大学等高等教育の充実	包括協定を結んでいる大学等の学生・生徒の充足率	包括協定を結んでいる大学等の定員に対する学生・生徒数の割合	99.1 %	93.0 %
		包括協定を結んでいる大学等入学生の市内出身者割合	包括協定を結んでいる大学等における入学生に占める市内出身者割合	25.5 %	25.0 %
心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成	生涯学習の推進	まなびCAN及びコミュニティセンターの講座の参加者数等	まなびCANの来館者数及びコミュニティセンター講座（女性教室、家庭教育学級を除く）の延参加者数	576,220 人	637,000 人
		市民1人当たりの図書館図書貸出冊数	本市の人口1人当たりの図書館図書の年間貸出冊数	6.9 冊	8.2 冊
基本的人権を尊重する社会の確立	人権尊重意識の普及・高揚	人権啓発事業等参加者数	人権教育市民講座参加者、みんなで人権を考える会、人権啓発推進委員による啓発事業及び人権啓発講演会への参加者数	13,406 人	14,000 人
	平和意識の普及・高揚	平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数	市が主催する平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数	7,002 人	8,250 人

3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値 (H30)	目標値 (R5)
地域を支える産業の振興と経済の活性化	商工業の振興	中小企業経営講習会の年間受講者数	本市と高松商工会議所の共催により開催している中小企業経営講習会の年間受講者数	1,995 人	2,500 人
		中央商店街の空き店舗率	中央商店街における店舗のうち、空き店舗が占める割合	16.85 %	14.9 %
		企業誘致助成制度指定件数	企業誘致助成制度の指定件数（平成21年度以降の累積指定件数）	75 件	75 件
	農林水産業の振興	認定農業者数	本市が認定した認定農業者数	315 経営体	320 経営体
		農畜産物販売額（JA取扱金額に限る）	市内の農畜産物販売金額（JA取扱金額に限る）	41.3 億円	38.2 億円
		卸売市場の取扱金額	青果、水産物及び花きの取扱金額	318 億円	323 億円

地域を支える産業の振興と経済の活性化	特産品の育成・振興とブランド力の向上	販路開拓事業等来場者数	販路開拓事業等の来場者数	18,832 人	23,000 人
		盆栽輸出登録申請者数（EU）	農林水産省神戸植物防疫所坂出支所に申請があった数	18 人	26 人
		伝統的ものづくり普及啓発事業等参加者数	伝統的ものづくり親子体験教室や巡回教室等の参加者数	599 人	1,000 人
	就業環境の充実	子育て支援中小企業等表彰事業の表彰事業者延べ数	子育て支援中小企業等表彰事業の表彰事業者の延べ団体数	76 団体	101 団体
文化芸術の振興と発信	文化芸術の振興	文化芸術ホールにおける事業の参加者数	文化芸術ホールにおいて開催される全事業の参加者数	209,232 人	225,000 人
		アウトリーチ事業の参加者数	地域に出向いての文化芸術活動（アウトリーチ事業）の参加者数	123,208 人	85,000 人
		美術館来館者数	高松市美術館及び塩江美術館の展覧会観覧者、イベント参加者、講座室利用者等合計人数	116,140 人	174,000 人
	文化財の保存・活用	歴史資料館等利用者数	歴史資料館・石の民俗資料館・香南歴史民俗郷土館・讃岐国分寺跡資料館の利用者数	134,460 人	145,000 人
文化財学習会・体験講座参加者数		ふるさと探訪等文化財学習会・体験講座の参加者数	1,227 人	1,400 人	
元気を生み出すスポーツの振興	スポーツの振興	社会体育施設利用者数	社会体育施設の延べ利用者数	2,007,396 人	3,137,000 人
		トップスポーツチーム試合観戦者数	トップスポーツ4チームのホームゲーム観戦者数	113,138 人	179,200 人
		トップスポーツ4チームの後援会等会員（高松市民）数	各チームにおける後援会やクラブの会員（個人）のうち、高松市民を抽出した会員数	1,552 人	1,600 人
訪れたい観光・MICE（マイス）の振興	観光客受入環境の整備	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	6,595 千人	6,640 千人
		香川県への再来訪意向割合	香川県観光客動態調査報告の「香川県への再来訪意向」におけるぜひ来たい人の割合	28.9 %	60.0 %
	観光客誘致の推進	まつり・イベント入込客数	観光イベント振興事業補助対象事業入込客数	796 千人	1,030 千人
		コンベンション数	（公財）高松観光コンベンション・ビューロー報告の「コンベンション統計」における開催件数	217 件	306 件
国際・国内交流の推進と定住の促進	国際・国内交流の推進	姉妹・友好都市等との交流事業参加者数	姉妹・友好都市等との交流事業に参加した人数	482 人	400 人
		国内の提携都市との交流事業参加者数	国内の提携都市との交流事業に参加した人数	309 人	400 人
	移住・交流の促進	高松市移住ナビ（ホームページ）閲覧件数	高松市移住ナビのホームページ閲覧件数	35,735 件	16,000 件
		年間社会増	本市の1年間の転入者数と転出者数の差（社会増減）	198 人	1,570 人

4 安全で安心して暮らし続けられるまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値 (H30)	目標値 (R5)
安全で安心して暮らせる社会環境の形成	消防・救急の充実強化	出火率	人口1万人当たりの出火率	3.3%	3.6%
		救命率	心肺機能停止傷病者が社会復帰した割合(暦年)	3.9%	8.0%
	防災・減災対策の充実	地域における防災訓練の実施率	防災訓練を実施したことがある地域の割合	95.0%	100.0%
	交通安全対策の充実	交通事故発生件数	市内の交通事故発生件数	2,569件	3,764件
		人口10万人当たりの交通事故による死者数	県警交通事故統計資料による(市町別交通事故発生状況)	3.33人	3.23人
	防犯体制の整備	人口千人当たりの街頭犯罪等発生件数	市内における人口千人当たりの街頭犯罪等発生件数	3.5件	4.0件
	生活衛生の向上	食品衛生等違反指導率	立入監視を行った施設のうち違反等指導を受けた施設の割合	0.8%	1.0%
		犬・猫の殺処分率	引き取った犬・猫のうち、引き取り手がなく殺処分された犬・猫の割合	64.0%	72.0%
消費者の権利保護と自立促進	消費生活相談における解決割合	消費生活センターへの相談のうち、解決に導いた件数(他機関への誘導を含む)の割合	99.0%	99.5%	
環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	ごみの減量と再資源化の推進	1人1日当たりのごみ排出量	ごみ総量に対する1人1日当たりの排出量	921g/人・日	880g/人・日
		1人1日当たりの資源化量	資源化した総量に対する1人1日当たりの量	184g/人・日	207g/人・日
	廃棄物の適正処置	一般廃棄物の年間埋立処分量	一般廃棄物の年間埋立処分量	14,022t	11,270t
		産業廃棄物の不適正保管量	産業廃棄物の不適正保管量	11,857t	12,000t
	不法投棄の防止	不法投棄通報、相談件数	不法投棄通報及び相談件数の合計	83件	100件
		ボランティア清掃の参加者数	地区一斉清掃及びボランティア清掃の参加者数	191,122人	160,000人
	地球温暖化対策の推進	市有施設における再生可能エネルギー発電設備の発電出力	市有施設における再生可能エネルギー発電設備の発電出力	4,876kW	5,060kW
		地球温暖化防止のための取組実施率	家庭における地球温暖化防止のための取組の実施率(アンケート調査)	32.5%	57.4%
環境保全活動の推進	環境学習参加者数	南部クリーンセンターの施設見学者数及び南部クリーンセンター、まなびCAN、環境保全推進課の行う環境学習事業の参加者数	5,550人	6,100人	

豊かな暮らしを支える生活環境の向上	居住環境の整備	建築物等の完了検査済証交付率	建築確認済証を交付した建築物等のうち、竣工後に完了検査済証を交付した割合	95.3 %	100.0 %
		老朽危険空き家除却支援件数	老朽危険空き家除却支援制度利用により除却した空き家件数	63 件	85 件
	身近な道路環境の整備	市道改良延長	50m以上連続した幅員4m以上の区間を有する市道	1,516 km	1,519 km
	河川・港湾の整備	治水施設の不具合による浸水発生件数	浸水が発生した件数	0 件	0 件
		津波・高潮対策施設の整備率	香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画における第1期整備計画延長に対する整備済延長の比率	14.0 %	100.0 %
	みどり保全・創造	市民1人当たり都市公園等の面積	市民1人当たりの都市公園等の面積	9.20 m ²	9.28 m ²
	水の安定供給	自己処理水比率	全配水量に対する自己処理水配水量の割合	44.8 %	50.0 %
		基幹管路の耐震化適合率	基幹管路総延長に対する耐震・準耐震管延長の割合	39.9 %	42.6 %
		1人1日当たり水道平均使用水量	給水人口1人1日当たりの水道平均使用水量	302 L	299 L
	汚水・雨水対策の充実	汚水処理人口普及率	総人口に対する生活排水処理施設整備人口の割合	87.0 %	89.3 %
雨水対策整備率		下水道事業計画区域内において雨水による浸水対策が講じられた面積の割合	48.8 %	49.6 %	
下水道管路耐震化率		管路総延長に対する耐震管延長の割合	38.3 %	37.8 %	

5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値 (H30)	目標値 (R5)
コンパクトで魅力ある都市空間の形成	多核連携型コンパクト・エコシティの推進	用途地域内の人口比率	用途地域内の人口の割合	63.7 %	64.9 %
		中心市街地の居住人口の割合	中心市街地活性化エリア内の人口の割合	4.8 %	5.1 %
	景観の保全・形成・創出	特別な区域における既存不適格広告物の適正化率	特別な区域における既存不適格広告物の件数のうち、改修等された件数の割合	65.0 %	80.0 %
快適で人にやさしい都市交通の形成	公共交通の利便性の向上	公共交通機関利用率	本市の人口のうち、公共交通機関利用者数の割合	15.2 %	16.5 %
		交通結節拠点におけるバス路線の結節数(都心部を除く)	交通結節拠点となる鉄道駅に、結節させるバス路線総数(都心部を除く)	6 路線	14 路線
	自転車の利用環境の向上	自転車道等整備済延長(累積)	高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針に位置付けられた路線の整備延長	9.0 km	19.0 km
		レンタサイクル利用者数	1年間のレンタサイクルを利用した延べ人数	309,995 人	328,500 人

拠点性を発揮できる都市機能の充実	拠点性を高める交通網の整備と利用促進	高松空港の利用者数	高松空港を離発着する定期航空路線の年間利用者数	206 万人	199 万人
		高松港に入港した外国貿易船の年間延べ純トン数	特別とん税の課税基準となる、外国貿易船の純トン数	892千純 トン	1,110千純 トン
		市内 J R 駅の乗降客数	市内にある J R 駅での年間乗降客数	721 万人	785 万人
	中心市街地の活性化	都市計画道路整備率	都市計画道路の計画延長ベースでの整備進捗率	86.1 %	89.9 %
			中央商店街の空き店舗率	中央商店街における店舗のうち、空き店舗が占める割合	16.9 %
		中央商店街の歩行者通行量	中央商店街の歩行者通行量（休日、15地点）	128,854 人	141,000 人
		中心市街地の居住人口の割合	中心市街地活性化エリア内の人口の割合	4.8 %	5.1 %

6 市民と行政がともに力を発揮できるまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値 (H30)	目標値 (R5)
参画・協働によるコミュニティの再生	地域コミュニティの自立・活性化	自治会加入率	世帯のうち自治会加入世帯の割合	57.7 %	62.4 %
		コミュニティプランの見直し率	コミュニティプランを見直したコミュニティの割合	63.6 %	100.0 %
	参画・協働の推進	協働事業数	市民活動団体等との協働事業数	129 件	150 件
		市政出前ふれあいトーク延べ参加者数	市政出前ふれあいトーク延べ参加者数	19,252 人	21,200 人
	離島の振興	各島への年間来島者数	1年間の女木島・男木島・大島と島外の交流者数	215,572 人	127,000 人
		イベント参加者数	大島で行われる講演会、学習交流、アーティスト・イン・レジデンスの参加者数	8,022 人	9,184 人
相互の特長をいかした多様な連携の推進	連携の推進	連携中枢都市圏での生活関連機能サービス等連携事業数	圏域における生活関連機能サービスの向上に関する連携事業数	52 事業	55 事業
		大学等との連携・協力事業数	庁内照会により把握した大学等と高松市の連携・協力事業数	95 事業	100 事業
健全で信頼される行財政運営の確立	職員力の向上	市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合	コンプライアンスに関する職員意識調査の設問の回答	87.9 %	100.0 %
		昇任試験受験率	昇任試験受験資格がある職員が試験を受験した割合	9.3 %	30.0 %
		職員数の適正化計画の達成率	職員数（平成28年4月1日現在）を目標値とし、その達成率を成果指標とする。（職員数が目標を下回れば100%超えとする。）	99.0 %	100.0 %

健全で信頼される行財政運営の確立	効率的で効果的な行財政運営の推進	行財政改革計画の目標達成度	実績報告に係る達成度について、「達成」及び「おおむね達成」の事業の割合	77.1 %	100.0 %
		経常収支比率	経常的な収入を毎年度必要となる経常的・義務的な経費に使っている割合	92.1 %	90.0 %
		実質公債費比率	経常的な収入を実質的な借入金支払（公債費や公営企業繰出金など）に充てている割合	8.1 %	10.0 %